

第七十四回帝國議會 衆議院 米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和十四年三月十六日(木曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事田中 好君

理事三善 信房君 理事馬岡 次郎君

理事窪井 義道君 理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 村松 久義君

高田 耘平君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 条吉君 福田關次郎君

勝田 永吉君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

小平 重吉君 助川啓四郎君

小山田義孝君 牧野 良三君

西川 貞一君 伊東 岩男君

石坂 繁君 北 勝太郎君

平野 力三君 三宅 正一君

佐竹 晴記君 小山 亮君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 板垣征四郎君

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

大藏大臣 石渡莊太郎君

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 青木 一男君

大藏政務次官 松村 光三君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省米穀局長 周東 英雄君

馬政局長官 荷見 安君

商工省商務局長兼 新倉 利廣君

商工省統制局長 新倉 利廣君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

朝鮮總督府農林局長 湯村辰二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 開會致シマス、平野君ニ御

發言前ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、小山君

ガ陸軍大臣ノ出席ヲ要求シテ居ラレルコト

ハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ陸軍大

臣ハ暇ヲ見テ間モナク見エラレルコトニナ

ツテ居リマスカラ、陸軍大臣ガ御見エニナツ

タラ、アナタノ質問ノ途中デモ小山君ニ質問

ヲ許シマスカラ、左様御承知置キヲ願ヒマス

○平野委員 承知致シマシタ、農林大臣ガ

御出席ナイノヲ洵ニ遺憾ト致シマス、隨テ

私ノ質問ノ順序ハ相當變更ヲ致スノデゴザ

イマスガ、増産計畫ニ對シテ私ガ考ヘテ居

リマスル其ノ中ノ一部分ニ、陸稻ノ問題ガ

アルノデゴザイマス、尙ホ農產課長ノ出

デヲ非常ニ希望致シマスノハ、陸稻ニ關ス

ル主タル問題ハ、其ノ栽培ノ技術ニ關スル

問題ヲ相當重點トシテ承リタイノデアリマ

ス、栽培ノ技術ニ關スル問題ガ決定シナケ

レバ、議論ノ根柢ヲ成シマセヌノデ、農產

課長ヲ要求シタノデアリマスガ、幸ヒ農務

局長ガオ居デニナリマスノデ、農務局長ニ

於テ御分リデアラウト存ジテ質問スル譯デ、

其ノ點ヲ御含ミノ上御承知ヲ願ヒマシテ、

若シ農務局長ニ於テ御分リニナライ部分

ガゴザイマシタナラバ、農產課長ノオ出デ

ヲ待ツテ御答辯ヲ願フ、斯ウ云フコトヲ前

提トシテ御聽ヲ致シタイノデアリマス、農

林省ハ既ニ陸稻問題ニ付キマシテ、秋田縣、

茨城縣、三重縣、鳥取縣、鹿兒島縣、是ダ

ケノ府縣ニ於キマシテ陸稻ノ試驗地ト云フ

モノヲ作ツテ居リマスルコトハ御承知ノ通

リデアリマス、サウシテ是等ノ試驗地ニ於

キマシテ、又試驗地ニ於ケル地方ニ於イテ

陸稻ト云フモノガ、完全ニ水稲ニ劣ライナ

所ノ收穫ヲ擧ゲ得ル、又水稲ニ劣ライナ

ノ相當營養價值モ持ツト云フヤウナ點ニ付

テ、試驗濟ノ譯デアルト私ハ信ジテ居リマ

ス、然ルニ此ノ問題ガ多ク取上ゲラレズシ

テ、陸稻普及ト云フコトハ地方ニ於ケル所

ノ篤農家ノ手ニ依ツテノミ行ハレ、政府ノ

政策トナツテ來ナカッタ、是ハ私ノ信ズル

點ニ於キマスルト、從來日本ノ國ニ於テハ

米ガ出來過ギテ困ル、臺灣米、朝鮮米等ノ

移入其ノモノヲ防遏シナケレバナラスト云

フヤウナ點ニ重點ガアツテ、内地ノ増産計

畫ト云フコトハ寧ロ抑ヘテ居ツタ、隨テ農

林省ニ於テモ、陸稻ト云フモノガ出來ルノ

ダト云フコトノ試驗ト技術ト云フモノハ、

大體試驗場ニ於テ完了シテ居ルケレドモ、

之ヲ大體農業政策ノ中ヘハ取入レナカッタ、

ト云フノハ從來ノ米穀政策ト云フモノガ増

産計畫デハナカッタ、寧ロ米ガ出來過ギテ

値段ガ下ルカラ、成ベクサウ云フヤウナ點

ニ付テハ觸レナイヤウニスルト云フヤウナ

思想ガ、農林省ニアルガ爲ニ、此ノ問題ガ

取上ゲラレナカッタデアラウト私ハ思ツテ

付託議案 米穀配給統制法案(政府提出)

居ツタノデアリマス、然ルニ今年ニ於テ約四百萬石ノ増産計畫ヲシタ、斯ウ云フコトガ事實トシテ現ハレタ以上、此ノ陸稻ニ關スル問題ガ等閑ニ付セラレテ居ルト云フコトハナイ筈ダト私ハ信ズルノデアリマスガ、如何ナル理由デアルカ、今年ノ豫算面ヲ見マシテモ、陸稻ニ對スル普及、陸稻ニ對スル耕作獎勵ハ考ヘラレテ居ラナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、之ニ對スル先ヅ農務局長ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○小濱政府委員 陸稻ノ栽培ニ關シマスル試驗ヲ續ケテ居リマスコトハ、只今平野サンノ仰セノ通りデゴザイマス、既ニ新品種ヲ得マシテ、其ノ新品種ニ付キマシテハ獎勵品種トシテ、是ノ普及ニ努メテ居ルノデゴザイマス、今回ノ増産計畫ノ中ニモ陸稻、水稻ヲ併セテ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、陸稻ヲ全然除外シテ居ル譯デハナイノデゴザイマス

○平野委員 サウ致シマスルト陸稻ニ對シテハ、今年ドノ程度ノ増産ヲスルト云フヤウナ計畫ヲ立テ居ラレマスカ

○小濱政府委員 陸稻デ幾ラ、水稻デ幾ラト云フ風ニ區別致シテ居リマセヌ、各府縣デ目標ヲ定メマシテ、其ノ目標ノ中ニ陸稻ヲ多ク栽培セラレテ居ル地方ニ於キマシテハ、

陸稻ノ増産ニ依ル部分ガアルト云フコトニナル譯デアリマシテ、陸稻デ幾ラ、水稻デ幾ラト云フ風ニ區分ヲ致シマシテ、増産計畫ヲ立テテ居ル譯デハナイノデアリマス

○平野委員 重ネテ承リマスガ、言フマデモナク一般農民ノ概念ト致シマシテハ、旱魃ト冷害ニハ非常ニ弱イモノデアアル、斯ウナツテ居リマス、陸稻ノ普及セザル所以モソコニアリマス、又旱魃ト冷害ニ對抗シテ相當ナル收穫ヲ擧ゲ得ルト致シマシテモ、是ハ如何ナル品種ガ如何ナル所ニ於テモ出來ルト云フモノデハナイノデアリマス、例ヘバ山形縣ニ於ケル所ノ品種ヲ何縣ニ持つテ行ケバ相當收穫ガ擧ガル、秋田縣ニ出來テ居ルモノヲ何處ノ縣ニ持つテ行ケバ相當收穫ガ擧ガル、又各府縣ニ於テモ相當品種ヲ研究シテ居リマスガ、其ノ品種ニ付キマシテモ必ズシモ其ノ地方ニ於テ研究サレタモノガ、適當ダトモ言ヘナイノデアリマス、言換ヘマスト陸稻ニ對シテ本當ノ増産計畫ヲスルト云フノデアリマサラバ、苟モ農林省ガ陸稻ニ關スル栽培方法ト品種ノ斡旋ト云フコトヲ、今少シ具體的ニ考ヘラレナケレバ、今尙ホ全國大部分ノ農民ノ考ト云フモノハ、陸稻ハヤハリ旱魃ト冷害ニハ地ニ得ラレナイ、隨テ空イタ地面デモアツ

テ、ソレガ出來ナクテモ諦メラレト云フヤウナ、一ツノ副業的ノ意味ニ於テナラバ成立スルガ、本當ニヤラウトスルニハ熱意ガ薄イノデアリマス、現ニ山梨縣ニ於キマシテハ、縣内ニ於ケル米ノ自給ガ出來マセヌデ、約二十萬石ノ米ノ不足ガアツタ、ソレヲ山梨縣ニ於テハ補ツテ見タイト云フ考ノ下ニ、一昨年カラ陸稻ノ研究ニ著手致シマシテ、昨年ハ相當普及シテ居リマシタ、私ハ山形縣カラ種ヲ取ツテ——相當耕作方法ニ付キマシテモ、山形縣ノ篤農家ノ相原藤三郎氏、齋藤清氏ト云フ人ガ陸稻ニ關スル新耕作法ヲ發明シテ、名付ケテ愛國陸稻耕作法ト云フガ、此ノ耕作法ニ依ツテ實際ニ耕作シテ見タ所ガ、殆ド一段歩ニ於テ二石近ク穫レルノデアリマス、而モ其ノ品種ニ於キマシテハ、決シテ農民ノ飯米ト對シマシテハ、水稻ニ劣ラナイト云フ自信ヲ持つニ至ツタノデアリマスガ、サウ云フ自信ヲ持つニ至ツタ理由ト云フノハ、吾々ガ普及ヲ致シマシテ現實ニヤツタ結果、サウ云フ力ヲ得テ居ルノデアリマスカラ、單ニ農林省ガ陸稻ト水稻ヲ配合セテ、陸稻ノ出來ル地方ニハ陸稻ヲヤレ、水稻ノ出來ル地方ニハ陸稻ヲヤレト言ハレルヤウナ漫然タル御答辯デハ、私ハマダ誠意アルモノトハ認

メラレナイノデアリマス、是等ノ方法ニ付テモツト具體的ニ、日本全國ニ於ケル陸稻耕作ノ面積ト云フモノハ、ドノ府縣ニ於テドレ位アル、全國ヲ通ジテドレ位アル、之ニ付テハドウ云フ方法ニ依ツテ近々陸稻ニ付テハ百萬石或ハ三百万石、是ダケノ増設ヲスルノダト云フ具體的ナ増産計畫ヲ御立テニナツテ居リマスカ、又御立テニナル御積リハアリマセスカ、之ヲ承ツテ置キマス

○小濱政府委員 陸稻ノ全國ニ於ケル栽培ニ於テハ十三萬四千町歩ニナツテ居リマシテ、百三十萬石位ノ收穫ヲ擧ゲテ居リマス、之ニ付キマシテハ先程平野サンガ仰セニナリマシタ通り、秋田、茨城、三重、鳥取、鹿兒島ノ縣ノ試驗場ヲ指定致シマシテ、陸稻ノ品種ノ改良ニ付キマシテ研究ヲ重ネテ居リマス、中央ノ試驗場デ品種ノ良イモノヲ大體分離致シマシテ、ソレデ暫クソコデ栽培致シマシタモノヲ地方ニ移シマシテ、地方ノ氣候ニ合ヒマスヤウニ更ニ之ヲ研究シテ參ル譯デアリマシテ、現在マデニ九種類位ノ品種ヲ得テ居リマス、ソレデソレ等ノ品種ニ就キマシテ方々ノ縣デ陸稻ノ獎勵品種トシテ採用ヲ致シマシテ、獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマス、今回ノ増産計畫ノ中ニハ水稻及ビ陸稻ト區別シナイデ、取入レテ居ルノデゴザイマシ

テ、先程申シマス通りニ陸稻ノ多ク栽培セラレテ居ル地方ニ於キマシテハ、陸稻ノ増収ニ依ル部分ガソレノ中ニ含まレル、斯様ニ相成ルノデゴザイマス、陸稻ノ栽培方法ニ付キマシテハ、從來カラ愛國陸稻耕作法ト稱セラレルモノガ唱導セラレテ居ルコトハ承知致シテ居リマス、是ハ溝ヲ深クシ、ソレカラ廣ク播ク、或ハ肥料ニ付テハ自給肥料ニ重キヲ置キマス等、色々特長ガアリマスルケレドモ、是等ノ事項ノ一部分ハ各地方ノ農家が既ニ古クカラ其ノ地方々々ノ狀況ニ應ジテ、ヤツテ居リマスル耕作法デゴザイマシテ、土質等ニ依リマシテ必ズシモ此ノ愛國陸稻耕作法ナルモノハ、全國何處ニデモソレデ宜イト云フ譯合ニモ考ヘラレナイヤウニ思ツテ居ルノデゴザイマス、ソレニ付テ地方ニ依リマシテハ非常ニ是ハ特長アル方法デアリマスケレドモ、全國何處ニデモソレデ宜イト言ツテ、全國的ニ廣ク之ヲ推奨致シマスルニ付キマシテハ、地方ニ依リマシテ必ズシモサウ行カナイ部分ガアルト考ヘテ居リマス

當局ハ十三万町歩ト仰ツシヤイマシタガ、大シタ差ハアリマセヌ、將來ニ於テハ約五十万町歩、其ノ產額ニ於テ五百万石マデハ陸稻ト云フモノガ無理ヲシナイ範圍ニ於テデモ、大體ニ於テ増産シ得ルト云フ計算ガ立ツテ居リマスガ、之ニ對スル御當局ノ見解如何デアリマスカ

○小濱政府委員 陸稻ノ栽培ヲ擴張致シマスル場合ニ、ドレダケ位擴張ノ可能アリヤト云フコトニ付キマシテハ、サウ云フ風ナ計算モ出來ルカト思ヒマス、例ヘバ國內ニ於テノ耕地擴張ノ可能面積ハドレ位アルドラウカト云フコトト、ソレカラ現實ニ擴張セラレマスモノノ間ニ非常ナル開キガゴザイマス、同ジヤウニ陸稻ノ栽培ヲ擴張致シマスル可能ニ付キマシテハ、是ハ色々見方ガアラウカト考ヘマス、唯御承知ノ通り陸稻ハ旱魃ニ非常ニ弱イモノデゴザイマシテ、地方ノ地勢及ビ地味等ニ依リマシテ、此處ハ是ダケハ宜イト云フヤウナコトヲ一律的ニ申上ゲル譯ニハ行カナイモノデハナイカト思ヒマス、非常ニ危險ノ多イ作物デアルト云フコトヲ考ヘナガラ、凡ソ是位マデハ擴張ガ出來ルノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ行カナクテハナラヌノデ、擴張可能ノ面積ドレ位アリヤト云フコトニ付キマシテハ、是ハ爾カクハツキリシタ御答辯ガ出來兼ネルモノデハナイカト思ツテ居リマス

○平野委員 大體陸稻モ水稻ト竝ンデ相當増産計畫ノ線ニ入レテ居ルト云フ、斯ウ云フ御答辯ノアル限りニ於テハ、私ハモウ少し何十町歩ト云フコトヲ議論スレバ固ヨリ難カシイ數字ノ議論ニナリマスケレドモ、將來ニ於ケル陸稻ニ對シテ、我國ノ耕地面積ノ上ニ於テ或ハ大マカニ五十万町歩、或ハ六十万町歩ノ耕地ト云フモノハアリ得ルモノダ位ノ御研究ハ、アツテ然ルベキデハナカラウカト思フ、若シサウデナイトスルナラバ、唯私ガ陸稻ノコトヲ聽クカラ水稻ト竝行シテ考ヘテ居ルノダト云フヤウナ、ドウモオ座ナリノ答辯ノヤウニ思ハレテ不満足デス、ソコデモウツツ承リマスガ、最近全國ニ村稅ノ滯納町村ガマダアリマス、隨テ小學校教員ニ對スル俸給未拂ノ町村等モアリマスガ、是等ノ町村ニ付テ大體研究ヲシテ見マスルト、飯米ノナイ村ガ村稅ノ滯納ニナツテ居ル、是ハ殆ど全部ガ全部ト云フ譯ニハ參リマセヌガ、私ガ研究シマシタ福島縣デアルトカ、山梨縣デアルトカ、栃木縣デアルトカ云フヤウナ地方ニ付テ見マス、非常ニ山間部ニ於ケル所ノ町村ノ村稅ノ滯納、小學校教員ノ給料未拂、斯ウ云フモノガドウ云フ原因デ起ツテ來タカト云フコトヲ調べ見ルト、飯米ガナイ、ソレデソレ等ノ地方ハ養蠶デアルトカ、果樹デアルトカ、炭焼デアルトカ云フヤウナ、米ヲ生業トシナクテ、兎ニ角農産物ヲ現金ニ換ヘテ、其ノ現金デ米ヲ買ツテ食フト云フヤウナ農村地帯ニ於テハ、其ノ農産物ニ對シテ一ツノ價格ノ變動ガ參リマス、米ヲ買フ金ガナイ、隨テドウシテモ最大ニ買ハナケレバナラヌモノハ食糧品デアルカラ、其ノ食糧品ヲ買ツテ居ル間ニ村稅ナドハ當然支拂ヘナイ、村長ニ致シマシテモ背ニ腹ハ代ヘラレナイ、米ヲ買フ金ノナイ者ニ村稅ヲ納メロト云フ譯ニモ行カナイカラ、村稅ノ滯納ト云フモノガ行ハレテ居ルト云フ事實ヲ、吾々ハ目撃スルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ山間部デハ、ドウシテモ水稻ハ穫レナイ、水ガナイカラ穫レル筈ガナイ、斯ウ云フヤウナ地點ニ陸稻ト云フモノハ、研究シマス栽培シ得ルノデアリマス、傾斜面ガ相當ナ傾斜デアリマシテ、水ヲ要シナイノデアリマスカラ、稻陸ナラ穫レル、モツト之ヲ精密ニ研究致シマスナラバ、農林省ニ於テ小學校教員ノ給料ヲ未拂ニシタリ、或ハ村稅ヲ滯納シテ

居ルト云フヤウナ、所謂山間部救済運動トシテモ、是等ノ山村ニ於ケル所ノ飯米自給運動トシテモ、此ノ陸稻ト云フモノノ栽培ヲ相當考ヘラレテ然ルベキデハナイカト私ハ思フノデス、現ニ最近ニ於キマシテ、山林局アタリガ此ノ問題ニ付テ、非常ニ關心ヲ拂ツテ、山村民ノ救済ト云フコトハ、山村民ニ米ヲ作ラセル、山村ト云フモノハ米ハ出來ナイモノト思ツテ居ツタガ、陸稻ニ於テハ穫レルノダト云フ見地カラ、相當ニ此ノ陸稻普及ト云フコトニ對シテ、現在農林省ノ山林局ニ於キマシテモ、是ハ農務局ノ問題デナイ、山林局ノ問題アルカラト云フヤウナ聲ヲ揚ゲラレテ、著々陸稻ノ研究ガ進メラレテ居ルノデアリマスガ、只今農務局長ノ御答辯ダケヲ聽イテ居リマストドウモ私ノ質問ニ對シテ唯答辯ノ爲ノ答辯ノヤウナ感ジガシテ、甚ダ私ハマダ十分デナイノデアリマスガ、御研究ガ十分デナト云フテ私ハ答メルノデハナイ、今年少クトモ四百萬石ノ米ヲ増産シヨウ、斯ウ云フヤウナコトデ、既ニ今議會ニ於キマシテモ、有ユル角度カラ是ガ研究サレテ居ル時デアリマスカラ、陸稻ト云フモノハ水稻ト同じヤウナ米ガ出來ルノダト云フ研究ガ出來テ居ルト云フナラバ、モウ少シ私ハ農務局長

ニ於テ熱意ヲ持タレタラドウカト思フノデアリマスガ、モウ一度一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○小濱政府委員

今回ノ増産計畫ノ中ニハ水稻陸稻區別ナク、陸稻モ入レテ居ルノデゴザイマシテ、平野サンノ御質問ニ對シマシテ、オ座ナリニ陸稻ノ獎勵モヤルノダト私申シテ居ル積リデハナイノデゴザイマス、固ヨリ山間部等ニ於キマシテ食糧ノ自給ノ必要デアリマスルコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマシテ、サウ云フ地方デ水稻ハ無理デアル、併シナガラ陸稻ハ出來ルト云フ所ニ於キマシテハ、食糧自給ノ見地カラ陸稻ヲ栽培シ、又ソレニ適スルヤウナ品種ヲ栽培シテ增收ヲ擧ゲマスルコトニ付テハ、平常ノ場合ニ於テモ常ニ心掛ケラレナケレバナラヌモノデアリマス、隨ヒマシテ陸稻ハ旱魃ニ非常ニ弱イモノデゴザイマスカラ、陸稻ノ品種ノ改良ト云フコトニ付キマシテハ、ズット前カラ研究ヲ致シテ居リマシテ、適品種ニ付キマシテハ既ニ九種類位ガ選定サレテ居リマシテ、ソレノノ縣ニ於キマシテ獎勵品種トシテ獎勵セラレテ居リマス、山間部等ノ水稻ハムヅカシイケレドモ、陸稻ナラバ出來ルト云フ所デ陸稻ヲ獎勵致シマスルコトニ付キマシテハ、

固ヨリ農務局長ニ於テ熱意ヲ持タヌ譯デハナイノデアリマス、食糧自給ノ見地カラ陸稻ノ栽培出來ル所ニハ陸稻ヲ栽培スル、而モ其ノ品種ハ成ベク適當ナルモノヲソコニ栽培サセタイト云フノデ、研究ヲ續ケテ居リマスヤウナ次第デゴザイマスカラ、其ノ點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平野委員

サウ致シマスルコト今年ノ豫算面ノ中ニ、陸稻ニ關スル具體的ナ數字ガ出テ居リマセウカ

○小濱政府委員

今回ノ増産計畫ニ對シマスル豫算ヲ決メマスルニ當リマシテハ、地方別ノ耕種方法ノ基準ヲ設定致シマスルモノニ付キマシテモ、陸稻ノ地帯ニ於キマシテハ陸稻地帯ニ於ケル耕種改善規程ノ設定ヲヤツテ、指導ヲ徹底シタイト思ツテ居リマス、病害蟲ノ驅除等ニ付キマシテモ、陸稻地帯ニ於ケル病害蟲驅除ニ付テハ一緒ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、陸稻地帯ヲ除外スルト云フ風ナ考ハ持ツテ居ラナイノデアリマス

○平野委員

各府縣ニ於キマシテ陸稻普及ノ費用ト云フモノハ、縣ニ於テハ何ガシカ組ンデ居リマス、ソレカラ各試驗場ノ技師ハ最早單ナル試驗管ノ中ニ於テ試驗スル時代デハナクシテ、街頭ニ出テ相當陸稻普及

及フヤリタイ、斯ウ云フ希望ガアルケレドモ、其ノ府縣ニ於ケル豫算ダケハ逆モ足ラナイ、隨テ是ハ農民ニ對シテ一枚ノビラヲ撒イタリシテ宣傳スルダケデハ出來ナイノデアリマス、ヤハリ農民ノ考ノ中ニハ旱魃冷害ニ堪ヘラレナイノデハナイカト云フ疑問ガアル、之ガ爲ニハ相當ナル普及費ガ國ニ於テモ、或ハ陸稻普及ノ必要ヲ感ズル縣ニ於テハ其ノ縣ニ於テ、是ガ豫算ヲ仕組マナケレバナラナイ、既ニ各府縣ニ於テ相當陸稻問題ガ昨年ノ縣會アタリニ於テハ、縣會ノ議題トシテ屢、耳ニシテ居ルノデアリマスカラ、願ハクバ農林省ニ於テ是等地方ノ技師、技術官諸君ニ——固ヨリ陸稻ハ責任ヲ持ツテ普及シテ宜シイノダ、是ダケノ熱意ヲモウ少シ具體的ニ實現スル爲ニ、特ニ將來陸稻ニ關スル所ノ宣傳普及ノ豫算ヲ計上サレテ、一方ハ米ノ増産ト並立シテ特ニ陸稻ニ對スル所ノ農民ノ思想觀念ヲ普及セラレル所ノ御考ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、今年ハ假ニ只今仰シヤツタヤウニ甚ダ少イト致シマシテモ、來年度ニ於テハ相當之ニ對スル計畫ヲ農務局長ニ於テハ立テラレル御考カ、此ノ點ニ付テ更ニ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

○小濱政府委員

今回ノ増産計畫ノ中ニモ

先度申シマシタ通り、ソレノ地帯ニ於ケル耕種方法ニ付キマシテ、斯様々ノ方法ヲ徹底シテ行ケバ増産ガ出來ルト云フヤウナ、耕種改善基準ノ設定ヲ致ス譯デアリマス、隨ヒマシテ陸稻地帯ニ於キマシテハ陸稻地帯ニ即シテノ耕種方法ノ「プラン」ガ立テラレルト云フコトニナルデアリマス、

一般的ニ申シマスルト大部分ガ水稻デ、陸稻ガ非常ニ少イト云フ風ナ地方ニ於キマシテハ、其ノ縣ニ於ケル熱意ト云フモノガ水稻ニ集中セラレテ、陸稻ガ稍閑却セラレルト云フ風ナ場合モアラウカト考ヘマス、併シナガラ陸稻ガ多ク栽培セラレテ居リマスル地方ニ於キマシテハ、陸稻ニ關スル耕種方法ノ改善ト云フコトガ、其ノ地方ニ於ケル相當重要ナル問題トシテ取上ゲラレテ居ルモノト思ヒマス、隨ヒマシテ陸稻ニ對シマスル縣ノ技術者ノ關心ト云フモノハ、地方ニ依リマシテ必ズシモ一樣デハナイト考ヘテ居リマスルガ、陸稻ヲ相當ニ獎勵シテ行カナケレバナラスト云フ地方ニ於キマシテ、尙ホ未ダ陸稻ニ付テハ關心ヲ持タナイト云フ府縣ノ技術者ハ、餘リ居ナイモノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイシマテ、陸稻ノ栽培ニ付キマシテモ屢ニ申シマスルヤウニ耕種方法、品種等ニ付テ

ノ研究ハ、從來カラ續ケテ參ツテ居リマスルコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○平野委員 大體陸稻ニ關スル問題ハ、此ノ程度デ止メタイト思ヒマス、次ニ農林大臣ノ答辯ヲ煩ハサナケレバナラスト思フ點ハ、農林大臣ガ御見エニナツテカラノコトニシテ、時間ノ關係モアリマセウカラ、ドンドン進メテ參リマス、政務次官ニ伺ヒマシガ、私ハ今回ノ米穀配給統制法案ト云フモノハ、率直ニ申シマスルト生産者モ消費者モ、是非之ヲヤツテ貰ハナケレバナラナイト云フ熱意ニ於テハ、甚ダ缺クル案デハナイカト思ツテ居リマス、併シ農林大臣ノ御説明ヲ聞イテ居リマスレバ、國策ノ見地ニ於テハ是非必要デアル、ソコニ私共ガ本案ニ對スル所ノ贊成ヲシヨウト思フ理由ガ存スルノデアリマス、隨テ私ハ本會議ノ席上ニ於キマシテモ、本案ト農業政策ト云フモノノ關係カラ見ルト、ドウシテモ本案ト云フモノハ低米價政策ノ思想ヲ有ツテ居ル、斯ウ思フノデアリマス、農林大臣及ビ農務當局ノ御説明ト云フモノハ、ソレハ價格ノ統制ヲ圖ルモノデアツテ、必ズシモ低米價ト云フモノデハナイト斯ウ仰シヤル、是ハ私ノミナラズ、各委員ニ對シテモ同様ノ御答辯ガアルノデアリマスルガ、私ハ斯

ウ云フ點ハ單ニ所謂議會答辯ノヤウナモノデナク、正直ニ一ツ御答辯ヲ願ツテ見タラドウカト思フ、私ハ必ズシモ農民ヲ代表スル者デアアルカラ農民ノ爲ニナラヌモノハドウ斯ウト云フ極端ナ議論ハ致シマセヌガ、

本案ト云フモノヲ政府ガ編出シタ理由ガ何處ニアルカト云ヘバ、米ガ偏在スル、米ガ偏在スル理由ト云フモノハ段々諸物價ニ對抗シテ米ガ上ラナイ場合ニ於テ、或ル人間ガ上ルマデハ米ヲ賣ラスト云フ、ソコニ偏在ガアル、斯ウ云フ時ニ於テ本案ノ發動ガ必要デアルト云フコトハ、畢竟スルニ米ヲ普通ノ物價ヨリ安くシナケレバ、日本ノ米穀政策ト云フモノガ成立タヌト云フ思想ガ、本案ニ流レテ居ルト私ハ信ズル、是ハサウデナイト言ハレルナラバ吾々議論ガアル、併シサウデアアルカラト云ウテ本案ニ反對シヨウトスルノデハナイ、ソレナラバ斯ウ云フ方法モアルト云フコトヲ言ハントスルノデアアルカシテ、ドウカ此ノ點ニ付テ、本案ハ國策ノ見地カラ實際農林大臣ニ對シテハ氣ノ毒デアアルガ、米ヲ餘リ上ゲレバ人心ニ動搖ガアル、戰時物價政策上面白クナイ、米ヲ下ゲヨウト云フコトニ依ツテ、諸物價ヲ成ベク釣上ゲヌヤウニスル所ニ、案ノ精神ガ含マレテ居ルノデアアルシ、畢竟スル

ニ本案ハ農民諸君ニモ多少ノ犠牲ヲ我慢シテ貰ハナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ私ハ本案ニ對スル解釋ヲシタイノデアリマスルガ、之ニ對スル御所見ハ如何デスカ

○松村政府委員 御意見デゴザイマスガ、私ハ多少御考ト違ツタ考ヲ持ツテ居リマス、ソレハ他デモアリマセヌガ、此ノ案ハ低物價政策カラ出タモノデモ何デモアリマセヌノデ、極ク簡單ニ申シマスルナラバ、豫テ屢々大臣カラモ申上ゲテ居リマス通りニ、從來ノ長イ三百年來米ヲ投機ノ道具ニ使ツテ居リマシタノヲ取上ゲテ、正米ノ實需ニ基ク取引ニ改メル、斯ウ云フ點ガ國策ト致シマシテモ主ナル點デゴザイマシテ、本案ノ是非ヤラナケレバナラス主眼ハ、此ノ點ニ存スルコトト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ案ノ目指ス所ハ低物價政策デモアリマセズ、高物價政策デモアリマセヌ、此ノ運用ノ結果ガ低物價政策ニ墮スルカ、高物價政策ニ墮スルカト云フコトハ、此ノ法律デハアリマセヌデ、寧ロヤハリ基準米價ノ決メ方ニ存スルノデアラウト思ヒマス、米穀統制法ニ依ル此ノ基準米價ノ決メ方如何ニ依ツテ、是ガ高物價ニモ運用出來、或ハ低物價ニモ運用ガ出來ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、基準米價ノ設定如何ガ今御話

ノ重點ニナルノデアリマシテ、此ノ案其ノモノハ別ニソレ等ノモノニ關係ガナイコトト堅ク信ジテ居リマス、然ラバ其ノ基準米價其ノモノガ如何カト云フ問題ニナリマスト、是ハ非常ニ難シイ問題デアリマシテ、米價ガ最低ヘ突張りマス時ニハ、是ハ米價ヲ釣上ゲル爲ノ基準米價デアルト言ヒ、今日ノヤウニ上ヘ打突カリマス、是ハ低物價政策ノ一ツノ現ハレト見ラレマスノデ、非常ニ此ノ決定ハ困難ナコトデアリマスガ、吾々ハ米ヲ以テ低物價ノ一ツノ印トシテ之ヲ押ヘテ、他ノ物價ヲシテ之ニ順應セシムルト云フヤウナ考ハ持チマセヌケレドモ、若シモ他ノ物價ヲ押ヘテ、ソシテ米價モ之ニ伴ハシムルコトガ出來タナラバ、社會政策ノ上ニ於テハ最モ好マシイコトと思フノデアリマス、併シナガラ他ノ物價ガ抑ヘルコトガ出來マセヌノニ米價ノミヲ低クスルト云フコトハ、是ハ斷ジテイカナイと思ヒマスノデ、此ノ意味合ヒニ於キマシテ、事ハ基準米價ノ設定如何ニ存スルノデアリマシテ、此ノ案ニハ物價政策ノ問題ハ、投機的ノ取引ヲ改メテ實需ニ基ク取引ニスルト云フ以外ニハナイト存ズルノデアリマス

○平野委員 私ハ只今ノ御答辯ニハ承服出來ナイノデアリマス、投機ノ對象カラ米ヲ取上

ガタト云フコトヲ、恰モ鬼ノ首デモ取ツタヤウニカンデ居ラレルケレドモソレハサウ云フコトヲ言フナラ議論ハ別ノ議論ニナル、私ハ米ガ投機ノ對象デアるか對象デナイカト云フ議論ハ、實ヲ言ヒマスルト、必ズシモソレガ米ニ對スル根本問題デヤナイと思フ、詰リ米ト云フモノハ投機ノ對象ニナツテ居ラウガ居ルマイガ、消費者モ生産者モ共ニ喜ビ、國策ニ副フト云フコトデアレバ宜イノデアツテ、其ノ見地カラ見テ、現在投機ノ對象トナツテ居ルカラ弊害ガアルト云フノデ、單ニ政務次官ガ言ハレルヤウニ投機、博奕ガソレ程惡イト云フナラ、競馬ナンカ止メタラ宜イ、必要ナ時ハ投機ノ對象トシテハイカヌト言ヒ、必要デナイ時ハ投機ノ對象トシテモ宜イト言フノナラ、私ハ議論ノ筋ハ通ラヌト思フ、サウデハナイ、是ハ他ノ委員諸君カラモ言ハレテ居ル通りニ、米ノ數量ガ國民全體ニ一杯々ト云フヤウナ場合ニハ米ハ上ツテ來ル、是ハ當リ前ナシテ、ドンナニ米穀統制法ヤ米穀自治管理法ノヤウナ今マデノ色々ナ法律ヲ發動シテ見テモ、其ノ場合ニハサウ云フ法律デハ巧ク行カヌ、政務次官ハ只今最高米價ト云フモノノ決メ方サヘ宜ケレバ、農民ノ爲ニハ必ズシモ米ガ安クナラヌト仰シヤルガ、ソ

ナモノデヤナイ、將來實際ニ於テ大豐作ガ何年モ續イテ來レバ、米穀自治管理法ナント云フモノハ駄目ダ、實際ニ於テ二年モ増産ガアツタラ、アノ法律ハ駄目ニナル

〔委員長退席、古屋委員長代理著席〕

隨テ米價ト云フモノノ將來ノ考ヘ方トシテハ、唯數量ト云フ考ヘ方ダケデ、政府ガ買ツタリ賣ツタリスルダケデ上ダタリ下ダタリスルコトハ出來ナイ、言ヒ換ヘレバ米ノ專賣ノ所ヘ、米ト云フモノハ國家ガ管理スルト云フ線ヘドウシテモ持つテ來ナケレバイカヌト云フ思想ガ本案ニアル、米ヲ專賣ニスル、米ヲ國家ガ管理スルト云フ思想カラ行ケバ、國民全體ノ經濟カラ米ハ消費者ノ爲ニ成ルベク上ゲナイヤウニ、サウシテ人心ヲ安定セシメル、且ツ米ハ諸物價ノ基準ニナルノデアアルカラ、今日ノヤウナ「インフレ」ガ來ル場合ニ於テハ米ヲ或ル程度マデ下ゲヨウ、斯ウ云フ思想ガ本案ニ流レテ居ルノダト思フ、之ヲ私ハ惡イト云フノデハナイノダ、私ハ米穀政策上本案ト云フモノガ、從來ノ米穀統制法ヤ米穀自治管理法ヤ糶共同貯藏助成法ト云フモノノヤウナ、唯高クナレバ之ヲ賣出ス、安クナレバ買ツテヤル、サウ云フ方便的ノ米價決定デハナイ、國家ガ配給機關ヲ完備シテ統制ヲスル

ト云フ、ソコニ吾々ガ共鳴シテ居ル、唯取引所ヲ廢止シテ投機ノ對象ヲナクシタカラ宜イデハナイカト云フ御答辯デ、吾々ニ對シテ贊成ヲ求メラレルナラ、吾々ハ納得出來ナイ、今私ガ質疑致シタヤウニ、本案ト云フモノハ、國策ノ點カラドウシテモ米ト云フモノハ諸物價ヨリハ多少ハ下廻リスルノデ、ソレガ國策ノ點ニ於テ宜シイ、本案ト云フモノハ相當役ニ立ツモノデアアル、斯ウ云フ思想ヲ持つテ居ルノデ、私ハ農林大臣トシテモ農林當局トシテモ、本案ニ對スル相當ノ大膽ナル思想ガアリ、大膽ナル決意ガアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲモウ一回ハツキリ正直ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○松村政府委員 先刻私ガ申上ゲマシタノハ、此ノ法案ノ主眼點ヲ申述ベタノデアリマス、今御話ノ通り價格ノ調整ト云フコトモ其ノ結果トシテ考ヘラレテ居ルコトハ勿論デアリマス、ソレハ御説ノ通りデアリマス、併シナガラ是ハ永久ニ互ル法律デアリマスカラ、常ニ低物價主義ノ爲ニヤルノダト云フコトヲ前提トシテ此ノ法案ヲ考ヘマス時ニハ、極メテ窮屈ニナリマスカラ、其ノ時折々々々情勢ニ依リマシテ、或ハ基本米價ヲ農林大臣ノ裁定ノ間ニ於テ出來ルダ

ケ安クスル、或ル場合ニ於テハ高クセネバ
ナラヌト云フ裁量ニ依リマシテ、此ノ取引
所ノ最低最高ノ基準トモ致シ、其ノ他ノモ
ノノ運用ニ於テモ之ニ順應スルコトハ御話
ノ通りデアリマスガ、併シ此ノ法案其ノモ
ノヲ米價ヲ安クスル爲ニスルノダ、斯ウ云
フ斷定ヲシテ此ノ法案ノ提出ヲスルト云フ
コトハ、多少吾々ハソレヲ其ノ通りト申上
ガルコトガ出來ルノデアリマス、併シナガ
ラ如何ナル場合モ理想的ニ申セバ、御話ノ
通りニ物價ト米價トノ吊合ヲ保チツツサウ
シテ米價ヲ出來得ル限リ安クシテ、一般ノ
消費大衆ノ安定ヲ期スルト云フ其ノ根本義
ニ於キマシテハ、極メテ吾々モ同ジ考ヲ持
ツテ居ルノデアリマス

○平野委員 御答辯ニ相當苦心ヲ拂ツテ居
ラレル點ニ付テハ、洵ニ能ク諒承スルノデ
アリマスガ……

○田中委員長代理 一寸平野君ニ申上デマ
スガ、小山君ガ陸軍大臣ニ質問セラレルノ
デ、アナタノヲ一寸……

○平野委員 承知致シマシタ

○田中委員長代理 小山君

○小山委員 極メテ簡單ニ陸軍大臣ニ率直
ニ質問ヲ致シマスガ、本法案ガ生産力ノ擴
充ヲ目標ニシテ居リマシテ、國防トハ最モ

關係ガ深いデアリマス、隨テ是非トモ是
ハ陸軍大臣ニ率直ニ御答辯ヲ願ハナケレバ
ナラヌノデアリマス、本法案ト關聯致シマ
シテ最モ關係ノ深い問題ハ、米穀ト土地ノ
問題、ソレニ併セテ關聯シマスル問題ハ、
言フマデモナク肥料ノ問題デアリマス、御
承知ノ通り現在ノ農村ハ事變ニ因ル應
召ニ依リマシテ、壯丁ガ非常ニ減少シテ
居リマス、ソレニ又事變ノ遂行ニ伴ヒ
マシテ、殷賑産業ガ非常ニ發達シマシテ、
農村ノ青少年ノ手ハドン／＼ト軍需工業
方面ニ取ラレテ居ル現狀デアリマス、
其ノ爲ニ當然農村デハ勞力ノ不足ト云フコ
トガ問題ニナツテ來ルノデアリマス、此ノ
勞力ノ不足ヲ補フニハ、ドウシテモ豊富ニシ
テ低廉ナル肥料ヲ十分ニ配給シテヤラナケ
レバナラヌト云フコトハ言フマデモナイ、
ソレニ依ツテノミ此ノ勞力ノ不足ヲ補ヒ得
ルト私ハ思ツテ居ル、然ルニ現在ノ日本ノ
肥料ノ狀況ヲ見マスルト、窒素工業、所謂
硫酸「アンモニヤ」等ノ製造狀況ヲ見マス
我國ニアリマスル窒素工業ノ會社ハ、大體十
四社デアリマス、是ハ三井、三菱、住友或
ハ森或ハ澁澤、斯ウ云フ大財閥ガ此ノ窒素
工業會社ヲ全部完全ニ其ノ資本ノ下ニ抑ヘ
テ居リマス、約四億ノ投下資本ヲ以テ經營

シテ居リマス、サウシテ是ガ一箇年ノ年産
額ハ百八十万噸デアリマス、此ノ百八十万
噸ノ硫酸「アンモニヤ」ダケデハ、日本ノ全
體ノ農家ノ使フ肥料ハ間ニ合ハナイ、ソレ
故ニ毎年々々二十萬噸内外ノ硫酸「アンモ
ニヤ」ヲ獨逸、或ハ英吉利カラ日本ハ輸入シ
テ、補填シテ居ツタノガ、現在マデノ狀況
デアリマス、併シナガラ此ノ事變勃發以來
此ノ中ノ幾割ト云フ硫酸「アンモニヤ」ハ當
然火藥ノ原料トシテ、火藥製造ノ方ニ廻ハ
サレテ居リマス、今マデハ陸海軍トモ相當
火藥ノ貯藏モアツタニ違ヒナイノデアリマ
セウガ、事變ガ次第ニ長期ニナリマスルト、
當然常識的ニ考ヘマシテモ、火藥ノ製造ト
云フモノハ更ニ増大サレテ來ル、隨テ從來デ
サヘ足りナカツタ所ノ硫酸「アンモニヤ」ト
云フモノハ、火藥ノ製造ガ段々逐年増加ス
ルニ隨ツテ、益々減少シテ參リマス、之ニ對
シテ増產計畫ヲシナケレバナラス、所ガ現
在是等ノ大財閥ハドウ云フコトヲシテ居ル
カト申シマス、御承知ノ通り、商工省ニ
依ツテ肥料ノ價格ハ統制ヲサレテ居リマス
ダカラ窒素工業會社ガ硫酸「アンモニヤ」ヲ
造リマシテモ、儲ケガ決ツテ居ルカラ餘リ
餘計造リタガラナイ、金儲ケノ出來ル副生
産ノ方ニドン／＼投資シテ居ル、肥料ヲ造

ラウトシナイデ、外ノ方ニ廻ハシテ居ル、サ
ウシテソコデ大キナ儲ケヲ稼ガウトシテ居
ルノデアリマス、又一面ニ於テ此ノ硫酸「ア
ンモニヤ」ノ製造ハ、生産資材ト云フモノハ
言フマデモナク空氣ト水デアリマシテ、水
素ト少量ノ硫酸デ出來ルノデアリマスカラ
其ノ價格モ最新式ヲ製造方法ニ依レバ一噸
僅ニ三十二圓デ出來ルノヲ、現在デハ古
イ製造方法ヲ造ツテ居ル所モ併セテ之ヲ經
營致シマス爲ニ、ドウシテモ一噸百圓内外
ト云フヤウナ値段ニナツテ來ルノデアリマ
ス、生産資材ノ方面カラ考ヘマシテモ、現
在ノ水力電氣ト云フモノハ、軍需工業ガ盛
ンニナルニ隨ツテドン／＼使ハレテ參リマ
スカラ段々少クナリマス、急速ニハ殖エナ
イ、ソコニ石炭「コークス」ト云フモノガ非
常ニ暴騰ヲ致シテ居リマス、殊ニ又斯ウ云
フモノノ輸送ニ最モ大切ナ船舶ガ、現在デ
ハ全ク船腹不足デス、殊ニ一番大切ナ二百
噸内外カラソレ以下ノ近海沿岸ヲ廻ル小船
ガ微塵サレテ居ルモノモアリマシテ、船腹
ガ非常ニ不足シテ居ル、ソレ故ニ中小ノ軍
需工業會社ニハ石炭ガ廻ツテ參リマセヌ、
又生産物モ運送スルコトガ出來ナイ、今マ
デ最モ大切デアツタ近海ヲ廻ル小船ガナク
ナツタト云フコトガ、肥料ノ運送ニモ非常

ナ障碍ヲ來シテ居ル、デアリマス。カ運送ノ諸系統ガ悉ク異ツテ居リマス。デ、肝腎ノ農家が今耕地ニ施肥シナケレバナラスト云フ最モ肥料ノ必要ナ時期ニ間ニ合ハナイ、時機ヲ失シテカ肥料ヲ施シテモ何ニモナラス、ソレ故ニ現在ハ此ノ肥料ノ配給問題ト云フモノデ、到ル處非常ニ惱シデ居ル、當然今年及來年再來年トナルニ随ツテ、益、是ハ甚クシナルト思フ、現状ニ於テハドウシテモサウナラザルヲ得ナイ、生産力擴充ヲ目標トシテ居ラレル所ノ政府ハ、此ノ國防上當然生産力ヲ擴充シナケレバナラストニ、生産力ガ低下スル、農業生産力ガ低下スルト云フヤウナコトニナツタナラバ、私ハ國防上忽セニスベカラザル事柄ダト存ジマス、此ノ生産力ガ低下スルト云フヤウナコトニ對シマシテ、陸軍大臣ハ國防上重大ナル問題ト御考ニナリマス。カ、ドウカ伺ヒタイノデアリマス。

○板垣國務大臣 只今ノ御質問ノ農家ノ肥料ノ問題デアリマスガ、是ハ重要ナ問題デアリマシテ、先般モ申上ゲマシタ國內調整ノ問題ノ一ツトシテ、陸軍ト致シマシテモ重大ナル關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、此ノ窒素工業會社ニ對シマシテハ、陸軍トシテ硝酸ノ製造ヲ要求シテ居ルデアリマ

ス、ソレニ要スル所ノ「アンモニア」ハ量カラ申シマス。ルナラバ、肥料トシテ必要ナ「アンモニア」全體ノ量ニ較ベテハ極メテ少イモノデアリマス。ト云フコトヲ先ツ申上ゲテ置キマス、ソレカラ硫酸ノ増産ニ付キマシテハ、日滿兩國ヲ通ジマシタ増産計畫ニ於テ十六年度ヲ目途トシテ計畫ハ立ツテ居リマス、私共ト致シマシテモ其ノ關係機關ノ協力、努力ニ依ツテ、其ノ實現ニ對シテ大ニ期待ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又是等ノ先程仰セニナリマシタ會社ノ方針ト致シマシテハ、勿論單ニ營利ノミニ墮スルコトナク、國策ニ副ウテ十分必要ナル所ノ増産ヲ圖ルコトニ努力シナケレバナラスト、斯ウ云フコトハ十分ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○小山委員 只今ノ陸軍大臣ノ御考ハ、サウデナケレバナラスト私ハ思ツテ居リマス、今日ノ事變ハ申スマデモナク、上下貧富打ツテ一丸ト成ツテ、國家ノ爲ニ齊シク力ヲ捧ゲナケレバナラスト時期デアラウト考ヘテ居リマス、隨テ是等ノ大財閥ト雖モ徒ニ利ヲ追求スルニ急デアツテ、國家ノ重大時局ヲ忘レルガ如キコトハアリ得ナイ筈デア

ル態デヲ執ルヤウナコトガ明確ニナリマシテ、ソレガ必然的ニ生産力ノ減少トナツテ、農家生産物ノ減少トナツテ現ハレルヤウナ事實ガゴザイマシタ時ニハ、陸軍大臣ハ之ヲ直チニ國家管理トスルカ、或ハ國家ガ之ヲ經營スルカ云フヤウナ態度ニ國防上出ナケレバナラスト云フ風ニ、御考ニナリマス。カドウカ、其ノ御決心ヲ伺ヒタイノデアリマス。

○板垣國務大臣 先程モ申上ゲマシタ通りニ、此ノ重要ナル産業ニ任ズル所ノ諸會社ガ、單ニ營利ノミニ墮スルコトナク、國家的見地ヨリ必要ナル所ノ増産ヲ圖ルト云フコトニナラナケレバナラスト、又サウ云フ傾向ニアルモノト信ズルノデアリマスガ、只今ハ假說ヲ設ケテ、サウ云フ場合ニ於テハドウカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、茲

ニ其ノ假說ニ付テ色々斯ウ云フ場合ニナツテハドウト云フコトヲ、私カラ申上ゲル必要モナイト思ヒマスガ、其ノ根本ノ陸軍ノ觀念ト致シマシテハ、飽クマデ是等ノ會社ガ營利ニ墮スルコトナク、必要ナル所ノ國防的見地ニ向ツテ邁進スルト云フコトガ、ドウシテモ望マシイコトデアルト云フコトヲ、ハツキリ申上ゲテ置ク次第デアリマス。

○小山委員 陸軍大臣トシテハ是ハ假說デアルト云フ風ニ仰シヤイマシタガ、恐ラク一年——本年ノ末頃ニ結果トナツテ現ハレルコトト私ハ豫期シテ居リマス、其ノ際ニハ陸軍大臣ハ十分ニ今日カラ之ニ對スル對策ヲ御考ヘ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一點伺ヒタイコトハ、水産ト國防ノ關係デアリマスガ、日本ノ現在ノ狀態ハ、事變勃發以來食糧等ガ先ノ歐羅巴ノ戰爭當時ニ比ベテ、十分豊富デアルト云フヤウニ考ヘラレテ居リマス、又事實サウデアリマセウ、併シナガラ其ノ重大ナル點ハ何處ニアルカト云フト、獨逸ノヤウニ海ガ完全ニ封鎖サレテシマヒマシタ所ノ國ハ食物ヲ陸ニノミ求メテ居ツタノデアリマス。隨テ食糧難ニ陥ルトハ極メテ早カツタ、牛一匹食ヒマシテモ、其ノ牛ハ三年

間經タナケレバ出來ナイ、然ルニ四面海ニ繞ラサレテ居ル所ノ日本ハ、海上ヲ封鎖サレナイカラ、其ノ海上カラ生ズル水産物ニ依ツテ、國內ハ非常ニ惠マレテ居ルノデアアル、申スマデモナク、地球ノ七割ハ海デアアル、海ハ陸ト違ツテ、陸ハ平面的價值ダケデアリマスガ、海ハ立體的價值ガアル、上カラ下マデ悉ク魚族ノ棲家デアリマシテ、一番海ノ底ニハ海草ガアルト云フヤウニ、海ハ立體的價值ヲ持ツテ居ルノデアツテ、御承知ノ通り海岸ヲ離レテ三哩、到ル所主ナキ所ノ食糧ノ貯藏庫デアアル、此ノ貯藏庫カラ得テ居ル海産物ガ日本ノ國內ニドンドン持運バレテ居リマス爲ニ、日本ハ現在食糧ノ窮乏ヲ感ズルト云フコトガナイ、日本ガ海ノ恩惠ニ負フ所ハ非常ニ大キイノデアリマス、又長期ノ戰ヲシ、大陸ノ經營ヲスルト申シマシテモ、大陸ヲ經營スルノニハヤハリソレダケノ銃後ノ後援ガナケレバナラス、大陸經營ノ銃後ノ後援ト云フノハ、私ハ海ニ求メナケレバナラスト思ツテ居リマス、隨テ大陸經營ヲスル、或ハ長期建設ヲスルト云フナラ、ソレニ伴ツテ十分ナル水産業ノ發達ヲサセル、擴張スル、事業ノ大擴張ヲスルト云フ御考ガナケレバナラスト思ツテ居リマス、先般ノ議會ニ於テ各派

ノ決議ニ依ツテ水産業ノ飛躍的ナ擴大強化ヲ圖ルト云フ決議ヲ農林省ハ受ケテ居リマス、農林大臣モ其ノ積リデアアルノデゴザイマセウガ、其ノ場合ニハ小サナ計畫小手先ノ考ヲナサラナイデ、思切ツタ大キナ水産業ノ擴大強化ノ御圖リヲ願ヒタイ、モウ既に陸軍省當局デハ御承知デゴザイマセウガ、捕鯨業ダケヲ見マシテモ、現在日本ガ捕鯨ニ參リマス場所ハ南極デアリマス、南極ハ世界ガ鯨ヲ奪フ所ノ牧場デアリマス、現ニ南極ニアル無限ノ鯨ヲ獲リニ參リマスニ、諸威ハ毎年十一隻ノ船ヲ出シテ居ル、英吉利ハ十隻ヲ出シテ居ル、然ルニ獨逸、日本ハ四隻デアリマス、亞米利加ガ一隻「バナマ」ガ一隻、總計三十一隻ガ南極ニ在ル無限ノ鯨ヲ獲リニ出テ行クノデアリマス、先般日本カラ南極ニ參リマシタ第三圖南丸ノ成績ヲ見マシテモ、三月カラ僅ニ百十九日ノ間南極ヲ捕鯨ヲ致シマシタ、サウシテ獲得シマシタ鯨ガ二千七百頭、一日ニ多イ時ハ四十二頭以上ノ大キナ鯨ヲ獲ツテ、二万噸ノ油ヲ搾ツテ持ち歸ツテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトカラ考ヘマシテモ、マダ日本ガ伸ビル所ハ海洋ノ到ル所ニアルノデアリマス、サウシテ未會有ノ大事業ヲ決行シヨウトスルノニハ、ドウシテモ銃後運動ガ十

分デナケレバナラス、其ノ銃後運動ハ狹イ日本ノ土地ノミニ求メズシテ、廣イ海ニ其ノ銃後運動ノ食糧ノ貯藏庫ヲ開拓スルト云フ考ヘ方ヲ持ツテ來ナケレバナラスト思フ、隨テ、陸軍ハ此ノ點ニ對シテ重大ナ關心ヲ持タレマシテ、農林省當局ニ對シテハ、若シサウ云フ計畫ヲ立案スル場合ニハ、十分ナル御後援ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、陸軍大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○板垣國務大臣 只今水産業ニ關スル色々ノ御所見ガアリマシタガ、洵ニ御同感デアリマス、何レ農林省ニ於テ御計畫ヲ立テラレルト思ヒマスノデ、出來ルダケノ御協力ヲ致ス考デアリマス

○小山委員 陸軍大臣ニ對スル質疑ハ是デ終リマス、一言結論トシテ農林次官ニ伺ヒタイノデアリマス、只今陸軍大臣ガ農林省ノ水産業擴張計畫ニ對シテハ、極力應援スルト云フコトヲ言ハレマシタガ、來年度ノ農林省ハ十分ナル水産業ノ擴張計畫ヲ立テラレル御意思ガアルカ、ドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○松村政府委員 私共ハ海洋ノ問題ニ付キマシテハ、御話通り相當開拓ノ餘地ガ存スルモノト思ウテ居リマス、既ニ開拓セラレタ北洋ノ漁場ニ於キマシテモ、尙ホ新海洋

ノ如キ方面ニ手ヲ出シマスルナラバ、相當ノ餘地ガアリマス、又南ノ方ニ於キマシテモ更ニ大キナ餘地ノ存シテ居リマスコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、隨ヒマシテ是等ニ對スル海洋ノ開拓ハ勿論ヤルノデアリマスガ、同時ニ考ヘネバナリマセヌコトハ海外ヘノ販路ノ問題デアリマス、御承知ノ通り今日ハ其ノ賣行ガ相當ニ困難デアリマス、即チ販路ノ開拓ト海洋ノ開拓ト相俟ツテヤツテ行カネバナリマセヌノデ、是等ノモノヲ見合ツテ、水産業ノ發達ヲ圖リタイト思ヒマス

○小山委員 只今相當擴張スル餘地ガアルト仰シヤイマシタガ、相當擴張ナント云フ生溫イコトデハナイノデアリマス、日本ノ水産業ハ是カラ伸ビル餘地ハ到ル所ニアルノデアリマスガ、第一ニ水産業ニ關スル技術員ノ養成カラ成ツテ居リマセヌ、又今魚ヲ獲ツテ、其ノ販路ヲ求メルト仰セラレマシタガ、魚ガ軍需工業ニ對シテドノ位ノ手柄ヲ立テテ居ルカト云フト、現ニ朝鮮近海ヲ御覽ニナツテモ分ルヤウニ、朝鮮近海デ獲レル鰯ヲ搾リマシテ「グリセリン」ヲ造ル、「グリセリン」ハ化學工業ノ原料ニナツテ居リマス、鯨モサウデアリマス、從來漁師ガ相手ニシナカツタ鯨ナント云フ魚モ、

之ヲ搾ツテ五廬ナリ七廬ナノ油ヲ取ルト云
フヤウナコトヤ、今ノ皮革ノ拂底シテ居ル
時代ニ代用品トシテ鯨ノ皮、鯊ノ皮、鯨ノ
皮ヲ使フト云フコトニナレバ、是ハ研究
シ、努力スレバ努力スルダケ、色々ナ資材
ヲ海カラ得ルコトガ出來ルノデアリマシ
テ、必ズシモ外國ニ賣ラナケレバナラスト
云フコトデナシニ、日本ノ國內工業ヲ發達
サセル爲ニ必要ナコトデアアル、又戰爭ヲ遂
行スル爲ノ資材ヲ海カラ得ルト云フコト
モ、必要デアルト考ヘマスノデ、是非トモ
大規模ノ御計畫ヲ御立テ願ヒタイと思フノ
デアリマス、次ニモウ一點ダケ米穀法ニ關
シマシテ伺ヒタイ、米穀小賣業者ト産業組
合ノ購販聯ノ對立ガ、非常ニアルヤウニ私
ハ聞イテ居リマス、事實法案ノ内容カラ見
ルナラバ、此ノ對立ガアル筈ガナイと思ヒ
マス、併シナガラ從來ノ感情の對立或ハ行
懸リカラ兩方ガ反對ノ聲ヲ擧ゲ、相剋スル
ヤウナ聲ヲ擧ゲ合ツテ居ルヤウニ見エルノ
デアリマス、一方ノ米穀商側ノ主張ヲ聽イ
テ見マスルニ、色々ノ事情ヲ陳情シタモノ
ガゴザイマスガ、唯一點私ハ當局ガ考ヘネ
バナラスト思ヒマスコトハ、從來マデノ米
穀商ハ是ハ商業組合デアツテ自分達ノ利益
本位、自分達ノ利益擁護ノ組合團體デアツ

タノデアリマス、併シナガラ今日此ノ法案
ノ施行ニ依ツテ、新ニ米穀會社ノ下ニ配給
機關トシテ出來マス所ノ米穀ノ小賣組合
ハ、從來ノヤウナ利益擁護ノ團體ニアラズ
シテ、國策ノ線ニ沿ウタル所ノ配給機關ニ
ナルノデアリマスカラ、今マデノヤウナ商
權擁護ト云フヤウナ組合デハナイノデアリ
マス、サウシテ其ノ配給ニ依ル利益モ殆ド
一定サレマス、サウナレバ産業組合モ配給
機關ガアルシ、米穀組合モ配給機關デア
ルト云フコトニナリマスカラ、商權擁護デア
ルトカ、或ハ産業組合擁護デアルトカ云フ
軋轢ハ無クナル筈デアアル、之ヲ政府當局ハ
ドウ御考ニナリマスカ、利益モ殆ド一定サ
レテシマツテ、同ジ配給機關ニナツタ場合
ニハ、一方ノ産業組合ニ課税シナイナラバ
片方ノ小賣業組合ニモ課税シナイデ同ジヤ
ウニシタラドウカ、米穀商ノ方デハ自分達
ノ方ダケ税金ヲ拂ツテ産業組合ノ方ガ拂ハ
ヌノハ怪カラヌト言フノデアリマス、併シ
ナガラ今マデハ彼等ハ營利機關デアツタ
シ、片方ハ非營利機關デアツタカラ、ソコ
デ一方カラハ税金ヲ取立テ、片方カラハ税
金ヲ取立テナカツタト云フコトニナルノデ
アリマスカ、今度ハ手数料ダケデヤツテ、
等シク一定ノ利潤ニ決メラレテシマシタ、

國策ノ線ニ沿ウタル配給機關ニナツテシマ
シタ、ソレナラバ兩方トモ課税ヲシナイコト
ガ至當デハナイカと思フガ、政務次官ノ御
考ハドウデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ
○松村政府委員 全ク御趣旨ノ通りデアリ
マシテ、産業組合ト米穀商業組合トノ間ニ
國策ヘノ協力ノ意味ニ於テ、互ニ提携シテ
ヤツテ行クコトガ、是ハ最モ好マシキコト
デアルト思ヒマスシ、又サウアラネバナラ
ヌコトと思ヒマス、併シ從來ノ沿革ニ依ツ
テ兩者間ニ非常ナ相剋摩擦ヲ感情的ニモ來
シテ居ルノデアリマスカ、モト／＼農民ト
云ヒ、中小商工業者ト云ヒ、是ハ共ニ今日
ノ資本經濟機構ノ中ニ於テハ一ツノ經濟團
體ヲ組織シテ、力ヲ協セテヤツテ行カナイ
ナラバ立ツテ行キ得ナイコトハ兩者同様デ
アリマシテ、産業組合ノ方モ、米穀業者ノ
方モ一ツノ強イ團體ヲ作ツテ、是ト兩者協
調ヲ保ツテ、互ニ一方ハ生産團體トナリ一
方ハ配給團體トナツテ、手ヲ握ツテ進シデ
行カルベキ筈デアアルノデアリマス、ソレヲ
從來ノ指導者其ノ他色々ノ沿革ニ依リマシ
テ、斯ウ云フヤウナ極メテ苛烈ナ爭ヲ來シ
タコトハ、洵ニ遺憾デアリマスカ、併シ近
來ノ傾向ヲ見マスト、到ル處兩者ノ間ニ協
調ガ保タレマシテ、サウシテ産業組合ト米

穀組合トノ間ニ密接ナ取引ガ行ハレ、圓滿
ナ協調ガ行ハレテ來テ居ル所ガ非常ニ多ク
ナツテ來テ居リマス、此ノ點ハ非常ニ私共
ハ喜バシイコトデアリマシテ、御話通り理
想トシテハ今後兩者トモ國策ノ線ニ沿ウテ
協調ヲ保ツテ行ツテ戴キタイと思ヒマス、
隨テ課税ノ問題ニ付キマシテ同様デゴザイ
マシテ、産業組合ニ對シテ今日與ヘテ居リ
マス國家ノ特典ハ、是ハ大體ニ於テ米穀商
業組合ニモ現ニ與ヘラレテ居ルコトデアリ
マス、唯商業組合ノ場合ニ於テハ産業組合
ト違フ點モアリマスノデ、同ジ特典トハ申
サレマセヌケレドモ、大部分ノ免税其ノ他
ノ特典ヲ商業組合モ現ニ許サレテ居ルノデ
ゴザイマスカラ、此ノ商業組合ハ發達日尙
ホ淺ウゴザイマスカ、是ガ既ニ中央金庫モ
出來タコトデモアリマスルシ、漸次強化セ
ラレマシテ産業組合ト手ヲ握ツテ共存シテ
行クコトガ出來得ル、サウシテ摩擦ハ全然
止メルコトガ出來ルト思ヒマス、隨ヒマシ
テ本法ノ中ニアリマス統制ノ機構ノ考ヘ方
モ御話通りノ兩者ノ協調ヲ保ツテ、兩者ト
モ使命ヲ盡シ得ルヤウニ特ニ意ヲ用ヒタノ
デゴザイマス
○小山委員 ドウモ私共ノ考ヘ方ト農林次
官ノ考ヘ方ガハツキリシナイ點ガアルヤ

ウニ思フノデス、從來資本主義經濟機構ノ下ニ於テ營利經濟ノ商業組合ト、非營利組合ノ反資本主義的經營デアル所ノ産業組合トガ、相剋對立スルト云フコトハ當然ナインデス、苛烈ナ相剋摩擦ヲスルト云フノハ、兩方ノ力ガ段々ニ強クナレバナル程、是ハ當然デアル、併シナガラ現在デハ資本主義經濟機構デアルトハ言ヒナガラ、政府自身ガ既ニ資本主義經濟機構ノ缺陷ヲ是正セント致シマシテ、次第ニ統制經濟的ナ有ユル各般ノ政策ヲ執ツテ來ルト云フコトニナツテ居ルノデス、統制經濟的ナ各般ノ政策ヲ執リ、サウ云フヤウナ機構ヲ作り上ゲテ參リマスルト、其ノ下デハ資本主義經濟機構ノ下ニ十分ニ利潤ヲ追求シ得タ所ノ人々ト雖モ、利潤ヲ追求スルコトガ出來ナイ、私益ヨリ公益ト云フコトノ經濟ニナツテ參リマスルカラ、利益利潤ノミヲ追求スルト云フコトガ出來ナクナツテ來ル、隨テソレ等ノ機關ハ段々ニ態度ヲ改メテ國策ノ線ニ沿ウタ配給機關トシテ、生殘ツテ來ルト云フヤウナ狀態ニナル、其ノ時ニハ相剋摩擦ガナクナツテ來ルノハ是ハ當リ前ナノデス、ダカラ今日ハ營利利潤追求ノ建前ニ立ツタ所ノ商業組合デナクシテ、既ニ此ノ統制ノ下ニ配給機關、配給組織トシテ米穀商

組合ガ立ツト云フコトニナレバ、ヤハリ産業組合ト同様ニ唯取レルダケノ利潤ヲ追求スルト云フヤウナ建前デナクナツテ、利潤追求ノ機關デナクナツテ、國家ノ配給機關トシテ其處ニ存續スルト云フコトニナレバ、私ハ從來ノヤウナ唯何デモカンデモ其處カラ税金ヲ取立テレバ宜イト云フヤリ方ヲ止シテ、産業組合ト此ノ米穀商組合ト兩者ヲチヤント睨ミ合シテ、同様ノ御取扱ニナツタ方ガ宜イデハナイカ、又サウナサルコトガ正シイデハナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○松村政府委員 私ノ先刻申上ゲマシタコトモ、大ナル相違ハナイト考ヘテ居リマス、隨テ此ノ法ガ出來マシテ、此ノ兩方ノ案ヲ御覽ニナリマス、所謂單ニ營利ヲ追求スルト云フコトヲ法規ニ依ツテ出來ルダケ止メマシテ、サウシテ國家ノ主要食糧ノ配給機關トシテノ働キヲ爲シ得ルコトハ、是ハ御承知ノ通り此ノ案ノ中ニモ含マレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ出來得ル限り左様ナ風ニ業者ヲ指導シテ行キタイと思フノデアリマスガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ米穀業者ノ配給機關ハ、大體此ノヤウナ指導方針デヤツテ行クナラバ、或ル程度マデ國家ノ目的ノ配給機能ヲヤツテ行キ得ル、

サウシテ御話ノ通りノ指導ヲヤツテ行ク、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小山委員 モウ少シ率直ニ言ヒマス、産業組合ノ立場ト米屋ノ組合ノ立場ガ同ジヤウニナルノデス、考モ同ジニナル、其ノ時ニ米屋ノ方ダケガ從來ノヤウニ税金ヲ取ラレル、取上ゲラレテハコツチノ組合ハナクナツテシマウ、ダカラ私共モ産業組合ト同ジヤウナ氣持デ、國策ノ線ニ副ウテヤルノデゴザイマスカラ、營利ヲ目的トセズニ配給ヲ目的トシテヤルノデアリマスカラ、産業組合ト同ジヤウナ扱ヒニシテ呉レト云ツタ場合ニ、是ハ私ハ農林省當局トシテ御考ニナラナケレバナラヌ問題デアラウト思フノデス、斯ウ平タク御話スレバ分ルダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウ一點、是ハ農林大臣ニ伺ヒタイノデアリマスガ、農林省ガ來年度水産業ノ擴張計畫ヲヤルトカ、色々ナ諸般ノ事柄ヲ爲サラウト、何時デモ計畫ヲ爲サイマスガ、農林省ガ眞劍ニ農村ノ更生デアルトカ、或ハ生産物ノ擴大強化トカ、或ハ水産業ノ擴大ト云フコトヲヤラウトスレバ、農林省ニハドウシテモ農林省ノ金庫ヲアナタ方ガ御持チニナラナケレバ、仕事ガ出來ナイノデハナイカト思フ、水産

ノ助成ヲシマスルノニハ、或ハ外ニ融通ヲ致シマスルニシテモ、ヤハリ大藏省カラ一許可ヲ仰イデ、大藏省ノ指令ニ基イテヤルト云フコトニナルナラバ、本當ノ農林省獨自ノ立場ニ立ツテノ仕事ガ出來ナイノデハナイカ、今回遞信省ガ船舶ノ建造補償ト云フ名目デ、十箇年ノ期限ヲ以テ大藏省カラ兎ニモ角ニモ遞信省デ動カシ得ル所ノ金庫ヲ取ツタコトハ、是ハ私ハ遞信省ノ爲ニ大成功ダト思フ、從來私共ハ農村ノ負債整理ヲ行ハウト致シマシテモ、負債整理ニ金ヲヤラウト云フコトニナレバ、大藏省ノ方ハ回收ト云フコトヲ先ニ考ヘル、擔保ガナケレバ金ハ貸サナイト云フ頭デスガ、澤山ノ借金ヲシテ居ル人ニ擔保ノアラウ道理ガナイ、擔保ニ入レル物ガナイ、併シナガラ生キテ行キタイノデアルカラ、負債整理ヲシヨウト云フ者ニ擔保ガナケレバ金ヲ貸サスト云フコトニナレバ、モウサ云フ人達ハ救ヒ得ナイト云フコトニナル、今マデノ考ヘ方カラ言フナラバ、自由主義經濟機構ノ考ヘ方デアルナラバ、物ニ金ヲ貸シタト云フコトハアリ得ルノデアリマスガ、是カラハサウデハナイ、仕事ニ金ヲ貸ス、事業ニ貸スノデアリマス、事業ニ貸スト云フコトハ、取りモ直サズ人間ニ貸スノデス、無

擔保デアツテモ是ガ確カデアルト云フ見込
ガ立テバ、ソレニ貸シテ行クト云フノデナ
ケレバ、本當ノ農家ノ負債整理モ農村ノ更
生モアリ得ナイ筈デアアル、ソレヲ農林省ハ
其ノ考デアツテモ、大藏省ニ斯ウ云フ意味
合カラ金ヲ貸シテヤツテ呉レト云フコトニ
ナルト、大藏省ノ方ハ古イ頭デ考ヘテ居ル
カラ、金ハサウ云フコトニハ貸サヌト云フコ
トニナツテ貸サヌ、何年經ツテモ、色々ナ法
案ハ作ルケレドモ、此ノ農村ノ更生ハ爲シ
得ナイ、其ノ根本ノ原因ハドコニアアルカト
云フト、農林省ニ農村更生デアルトカ、或
ハ水産事業擴充デアルトカ云フヤウナ意味
合ヒノ農林省獨自ノ金庫ガナイト云フコト
ガ、思フ事ガ十分ニ出來ナイト云フ結果ニ
ナツテ來ルノデハナイカ、遞信省ハ其ノ意
味ニ於テ私達ハ非常ニ遞信省ニ對シテ賞揚ス
ベキ事柄デアルト考ヘテ居リマスノハ、遞
信省ガ獨自ノ金庫ヲ、少クモソレハ十箇年
ノ期限ヲ附ケテ船舶建造ニ對スル所ノ融資
金ヲ遞信省ノ獨自ノ立場ニ於テ補助ガ出來、
或ハ獎勵ガ出來ル金庫ヲ獲得シマシタ、之
ヲ見ル時ニヤハリ大臣ガ努力サヘスレバ私
ハ出來ルノデハナイカ、大臣ノ考ヘ方一ツ
デ私ハ出來ルノデハナイカ、遞信省ノ出來
タト云フコトヲ農林省ガ出來ナイ筈ハナイ

ト私ハ思フ、ダカラ本當ニ農村ノ更生ヲヤ
ルトカ、生産物ノ擴大ヲヤルトカ、水産業
ノ飛躍的發展ヲ爲サシメントスルナラバ、
大臣ハ遞信省ト同ジヤウニ、ヤハリ大藏省カ
ラ金庫ヲ持ツテ來テ、サウシテ獨自ノ立場
ニ於テ金融ヲスルト云フ風ニ爲サラナケレ
バ、私ハナラヌ筈ダト思ヒマス、從來ナラ
バヤレナカツタカモ知レナイガ、今日ハ本
當ニ非常時局ナノデアアル、一々古イ頭ヲ持
ツテ居ル大藏省ノ指揮ヲ受ケテ居ツタナラ
バ、農林行政ト云フモノハ一日モ出來ナイ
ト私ハ思ヒマス、其ノ際ニ他省デ出來ルコ
トガ、農林省ガ出來ナイ筈ハナイト私ハ思
ツテ居リマスカラ、ドウカ大臣ハ此ノ點ニ
對シテ特ニ御考ヲ願ツテ、サウシテ是ガ若
シ出來ルナラバ、農林省ハ獨自ノ立場ニ立
ツテ色々ナ保護獎勵ノ出來ルヤウニ、金庫
ヲ御作りニナルト云フコトガ一番妥當ナヤ
リ方ダラウト思ツテ居ルノデアリマスガ、
大臣ハ此ノ點ニ對シテ特ニ十分ナル御努力
ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、御所見
ハ如何デアリマスカ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 小山君ノ御趣旨ノアル所
ハ能ク分ルノデアリマスガ、今日直チニ農
林省ガ一ツノ金庫ヲ持ツテ、サウシテ農林
省ガ自由ノ立場ニ於テソレヲ配分スルト云
フヤウナ事柄ニ取扱フト云フコトハ、是ハ
ヤハリ各省各、サウ云フ風ニナレバ、金庫ト
云フモノガ出來ルヤウニナルノデアリマシ
テ、ソレハ可ナリ困難ナ事柄ダト思ヒマス、
現在ニ於テ農林省監督ノ下ニハ産業組合中
央金庫ガアリマスバカリデナク、色々ナモ
ノガアリマシテ、ソレノ貢獻ヲシテ居ル
譯デアリマスガ、今御話ノ水産並ニ森林、
斯ウ云フモノニ對シマシテハ、金融ノ途モ
甚ダ不便デアツテ、是等ノ事柄ニ付キマシ
テハ特別ナ施設ヲ致ス必要ガアルデアラ
ウ、斯ウ考ヘテ、目下考究ヲ致シテ居ル譯
デアリマス、一括シタル所ノ農林省ノ、一
手ニ依ツテ自由自在ニ金ヲドウスルト云フ
風ナ組織ノ金庫ハ、困難デアラウト思ヒマ
スケレドモ、ソレノ事業ニ對シテ、即
チ専門的ニ又實際ニ即シタ金融ガ出來、又
助成ノ出來ルヤウナ方法ニ付キマシテハ、
篤ト考慮致シタイト思ヒマス

○小山委員 私ノ質問ハ是デ濟ミマシタ
○添田委員長 ソレデハ是ニテ休憩致シマ
ス、午後一時カラ開會致シマス
午後零時五分休憩
午後一時十分開議
○添田委員長 是ヨリ開會致シマス
○山田委員 大臣ノ來ラレルマデニ一寸御
伺シタイコトガアリマス、ソレハ斯ウ云フ
問題デアリマスガ、日本ニ於ケル米ノ不足、
所謂食糧ノ不足ヲ生ズル機會ハドウ云フ機
會ニ生ズルノカト云フ問題デアリマスガ、
ソレハ先達質問ヲ申上ゲタヤウニ、日本ノ
今日マデノ米作事業、其ノ他ノ食糧ノ増産ガ
土地ノ擴張ニ依ツテ行ハレナカツタノト、一面
ニハ人口ノ増加ニモ因リ、又一人ノ消費量ノ
増加ニモ因ルノデアリマス、一人ノ消費量ト云
フノハ、明治時代ニハ國民一人ニ付テ四斗カ
ラ八斗四五升ノ間ヲ往來シテ居ツタノデアリ
マスガ、昭和ノ時代ニナリマシテカラ、一
石一斗ト云フヤウニ消費量ガ増加致シタノ
デアリマス、ソレハ色々ノ原因ガアリマセ
ウガ、要スルニ生活ノ向上ト云フコトガ、消
費量ノ増加ノ原因ダラウト思フノデアリマ
ス、人口ガ増加ヲ致シ、各人ノ消費量ガ増
加ヲ致シタニモ因ルデアラウガ、尙ホ今日
堪ヘテ來タト云フノハ、全ク肥料ノ非常ナ
ル消費ノ増加デアリマス、ソレデ非常ナ米
穀消費ノ増加ガ、非常ナ肥料ノ消費ノ増加
ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、
今回ノ支那問題ニ對シテモ相當肥料ノ輸入
ニ困難ヲ見テ居リマスカラ、今後來ルベキ
國際間ニ何カノ大問題ガ起キタトシタナラ
バ、肥料ノ輸入ナドト云フモノハ全ク期待

シ得ナイト思フノデアリマス、ソコデ農林省デ斯ウ云フ御調査ヲオヤリニナツタデアラウカト云フコトデアリマス、肥料ガ殆ド輸入ガ絶エタト云フ場合ニハ、收穫ニドレダケノ影響ヲスルカ、米ニ對シテハドレダケノ收穫減少ヲ見ルカ、又今日マデ使ツテ居ツタ肥料ガ半減サレタ際ニハ、ドレダケ米穀ノ收穫ニ影響ヲスルカト云フヤウナ御調査ヲオヤリニナツタコトガオアリニナルカドウカ、若シオアリニナリマシタトシタナラバ、其ノ數量等ヲ御示ヲ願ヒタイ

○小濱政府委員 試驗場デ土質ニ付キマシテ窒素肥料ヲヤライ場合ハドウ、磷酸分ノ肥料ヲヤライ場合ハドウト云フヤウナ「ボツト」試驗ヲ致シテ居ルコトハゴザイマス、併シナガラ全部肥料ヲヤライ場合ニハドウナルカト云フコトニ付テノ調査ハゴザイマセヌ

○山田委員 私ノ考ニ依レバ肥料ガ若シ輸入ガ出來ナカツタ、殆ド使ハナカツタトナツタナラバ、是ハ恐ルベキ收穫上ニ大影響ヲ及ボシテ、少クトモ二割或ハ二割五分ニナルノデハナイカ、若シ肥料ガ半減致シマシテモ、全收穫ノ一割位ハ失フモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、サウ云フコトハ今後アリ

得ルコトガラウト思ツテ居リマス、若シ一年肥料ノ輸入ガ杜絶致シマシタナラバ、持越米ト云フモノハ全ク無クナツテシマフ、斯ウ云フ風ニ見ナケレバナラヌカト思フノデアリマス、是ニ於テ遲延ナガラ此ノ肥料ガ若シナクテモ食糧ニ堪ヘ得ルト云フコトニ、色々ノ方法ガアリマセウガ、兎ニ角土地ノ擴張ト云フモノガ最大ノ急務デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレデ土地ガサウ云フ工合ニドウシテ擴張シ得ルカト云フ疑問モアルノデアリマセウガ、吾ガ東北地方ニ向ヒマシテモ、西部ニ向ヒマシテモ、一時間モ汽車ノ走ラス中ニ、汽車ノ兩方ハ見渡ス限リノ荒蕪地デアリマス、關東内ニ於テモ數千町歩、或ハ數万町歩ノ荒蕪地ガ横ツテ居ルと思フノデアリマスガ、何ガ爲ニ是ガ開墾サレズニ薪炭林ニナツテ居ルカト云フト、地味ガ瘦薄ナル關係デアルト思フノデアリマス、併シナガラ一たび之ニ水ヲ與ヘレバ悉ク美田ニ化シテシマフ、サウ云フコトニナリマシタナラバ、肥料ノ輸入減少等ニ付テ、サウ憂ヘズニ食糧ガ充實サレルデハナイカト思ハレルノデアリマ

スガ、其ノ水ノ問題モ非常ニ困難ナ如クニ考ヘテ居ル人モアリマスガ、昨年ノ關東ノ水害等ニ於テハ、幾十億ト云フ水ヲ唯太平洋上ニ流シテシマツタノデアリマス、アノ昨年ノ水害等ニ唯流シテシマツタ水ヲ、之ヲ山岳地帯ニ貯藏シテ置キマシタナラバ、電氣ノ力モ増セバ、水害モナクナレバ、又灌漑水トナツテ十二分ニ荒蕪地ヲ開墾出來ル、之ヲ東北ニ及ボシ、西南ニ及ボシマシタナラバ、食糧ノ問題ノ解決ハ困難デナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ハ大々的ニ之ニ手ヲ著ケル御考ガアリマセヌカト云フコトヲ御聽キシタイト同時ニ、先達ノ御答辯ノ中ニ種々ナル科目ヲ設ケテ、相當ノコトヲヤツテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ洵ニ貧弱デアリマシテ、今日ノ所デ本年モ其ノ方面ノ經費ハ相當減ツテ居ルヤウデアリマス、又新規ニ計上シタヤウナモノモアルヤウデアリマスケレドモ、兎ニ角總合計致シマシテ、何等ノ増加ヲ致シテ居ナイト云フコトニナツテ居リマス、是等ニ對シテ御調査ヲ御進メ下サレ、又之ヲ本當ニ實地ニヤルト云フヤウナコトニシナカツタナラバ、今後問題ノアル際ノ食糧ノ補充ト云フコトハ覺東ナカラウ、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ御意見ヲ御聽キシタイ

○松村政府委員 色々御話ヲ承リマシタガ、肥料ノ點ニ付キマシテ極端ニ考ヘマスナラバ、サウ云フ御心配モアリマセウケレドモ、將來如何ナル場合ガアリマシテモ、日本ノ水田ヲ無肥料デ耕サネバナラスト云フガ如キ事態ハ、斷ジテ起ラナイモノト私共ハ確信ヲ致シテ居リマス、或ハ加里デアリマストカ、過磷酸デアリマストカ云フヤウナモノハ、是ハ御話ノヤウナ心配ガアルカモ知レマセヌケレドモ、肥料ノ大宗デアリマサル硫酸ニ付キマシテハ、是ハ大體心配ガアリマセヌノミナラズ、政府ハ更ニ出來ルダケ餘計ノ増産ヲシタイト云フ考モ持チ、計畫モ持ツテ居ル譯デアリマスカラ、日本ノ國ガ將來如何様ノ場合ニナリマシテモ、無肥料ノ狀態デ田ヲ作ラネバナラスト云フガ如キ事態ハ、私共ハ想像モ致シテ居リマセヌカラ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シナガラ御話ノ通り各地ノ荒蕪地ヲ開キマシテ、サウシテ是デ食糧ノ問題ヲ解決スルト云フコトハ、是ハ努ムベキコトデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ十分ニ努力ヲ致シタイト思ヒマス、今度ノ豫算ヲ御覽ニナツテ、サウ云フモノガナイカラ貧弱ダト言ハレマスケレドモ、今度ノ豫算ハ今年ノ差當リノ生産確保ノ爲ニヤルノデアリマシテ、開墾等ニ手ヲ著ケルコトハ出來ナイ狀態デアリマスカラ、ソレハ本豫算ニ計上

致シマシタ其ノ以外ノ計畫ハ、次ノ豫算ニ於テ適當ニ考慮ヲ致シタイ、但シハ生産費ガ高ク付キマシテ、農民ガ之ヲ耕シタ爲ニ却テ農業經濟ヲ紊スト云フガ如キ非常ナ耕境ノ上ツタ土地ヲ開墾スルコトハ、是ハ考ヘ物デゴザイマスケレドモ、工事モ安ク付キ生産費モ或ル程度ノモノデアリマスナラバ、政府ト致シマシテハ出來ルダケ御趣旨ノ通り開墾ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○平野委員 農林大臣ニ私ハ本日ノ午前中ニ於キマシテモ、亦本會議ノ席上ニ於キマシテモ、本案ヲ通ジテ流レテ居ル思想ニ低米價ノ思想ガアル、斯ウ申シタノデス

〔委員長退席、古田委員長代理著席〕

之ニ對シテハ午前中モ政務次官カラモ御答辯ガアリ、且ツ大臣モ他ノ席上ニ於テ低米價デハナイノダ、價格ノ公正ヲ圖ルノダ、斯ウ云フ答辯ヲサレテ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ點ニ付テハ農業政策ノ見地ニ立ツテ、ハツキリ當局ノ思想ト認識ヲ確メテ掛ラナイト、本案ニ對シテ吾々ガ贊否ヲ決スル上ニ於ケル所ノ一ツノ重大ナル考ノ其調ニナルノデアリマスカラ、失禮デアリマス、ケレドモ、繰返シ御尋フスルノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス、戰時米穀政策ノ基調ト云フモノハ國民ノ食糧ヲ常

ニ比較的安ク供給シテ、農民ニハ比較的豊富ニ生産セシメテ行ク、斯ウ云フコトガ大體基調ニナツテ居ルト思フノデス、且ツ從來ノ米穀法ニシテモ、或ハ米穀統制法ニシテモ、ソレ等ノ法律ト云フモノガ不満足デアツテ、ソレニ依ツテハドウニモナラナイト云フコトヲ農林大臣ガ告白サレテ居ル趣旨ト云フモノハ、謂ハバ戰時食糧政策ノ見地ニ立ツテ考ヘラレル時ニハ、從來ノ法律デハ駄目デ、茲ニ鞏固ナル配給統制ガ必要ノハ、他ノ物價ヨリモ米價ハ比較的安クシテ國民ノ生活、國民ノ思想ノ上ニ不安ナカラシムルコトガ必要デアアル、爲ニ本案ガ必要デアルト規定サレテ居ル、是ハ一種ノ低米價政策デアアル、私ガ何故之ヲ諄ク御尋スルカト云フト、私ハ米穀政策ハ低米價デモ良イト云フ、之ヲハツキリ認識シタナラバ、遂ニハ其ノ低米價政策ニ副フヤウニ米ノ生産ヲ減少スルト云フコトニ對シテ、本腰デ掛ラナケレバナラス、例ヘバ御話ノ農具ノ問題、或ハ肥料ノ問題ニ付テハ後程又御伺致シマスガ、土地制度ノ改革、斯ウ云フコトニ依ツテ低米價政策ヲ補ツテ行ク所ニ、私ハ我國ノ米穀政策ノ根本精神ガアルト考ヘマスノデ、本案ヲ提案サレテ居ル所ノ精

神ト云フモノハ、今私ガ外貌ヲ申上ゲタヤウニ、食糧ヲ成ルベク安ク供給シテ、戰時ノ米穀政策ニ對應スル爲ニハ、或ル程度農民ニ我慢シテ貰ハナケレバナラス、其ノ代リ農民ニ對シテハ別ノ方策ヲ以テ之ヲ補フノデアアルカラト云フ風ニ御解釋ニナツテ行ケバ、吾々ハ本案ニ對シテ極メテ妥當ナル解釋ガシテ行ケルノデアリマスガ、此ノ考ヘ方ニ付テ農林大臣ノハツキリシタ御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 本案ガ低物價政策デアアルカドウカト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、是ハ度々答辯致シマシタ通り、低米價政策デモアリマセヌケレバ、高物價政策デモナインデアリマス、即チ適正公正ナル米價ヲ維持シタイ、サウシテ圓滑ナル配給ヲ致シタイ、斯ウ云フノデアリマシテ、低米價政策トカ高米價政策トカ云フ部類ニハ屬シナイノデアリマス、併シナガラ今御話ノ如ク國民ノ必需品デアリマスガ故ニ、値段ヲ安クシテ、サウシテ全般ノ人ニ供給スルト云フコトハ望マシイコトデアリマス、同時ニ其ノ安イ値段デ供給シテモ農家ガ十分ニ引合フト云フコトニ致シマスコトハ、是亦望マシイコトデアリマス、即チ低米價、高米價ト云フモノデハナクシテ、農家ノ人々ガ

相當ナ利潤ヲ得テ供給ガ出來、ソレガ又比較的安イ値段デ配給サレルト云フコトハ、是ハ望マシイコトデアリマスガ、本法案ニ於テ然ラバサウ云フ意味ガ含マレテ居ルカト申シマス、本法案ハ只今申シマス通り、低米價政策デモ高米價政策デモナク、適正ナル價格ヲ維持致シテ、而シテ圓滑ナル配給ヲ致シタイ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラスノデアリマス

○平野委員 其ノ精神ハ米穀統制法ニ於テモ同ジコトデアリマシテ、兎ニ角高クナレバ成ルベク之ヲ引下ゲル、安クナレバ之ヲ引上ゲル、是ダケノ考デアルナラバ何モ私ハ配給統制法ヲ業々シク御出シニナラナクテモ、宜イノデハナイカト云フ疑問ガ起リマス、併シナガラ大臣ノ今ノ御答辯ハ、私ガ大體申上ゲタコトニ對シテ或ル程度マデ裏書ヲサレテ居ルヤウニ思フ、何ダカ此ノ低米價政策デアルト云フ答辯ヲスルコトヲ、言葉ノ上デ嫌ツテ居ラレル、ソレハ或ハ低米價政策ト云フ場合ニ於テ、農民ノ方カラ非常ナ反對ガナイ、其ノ意味ニ於テ考慮ヲサレテ居ルノカモ知レヌガ、要スルニ米價ト云フモノガ他ノ物價ヨリモ上ラナイ、米價ノ公定ト云フ其ノ公正ト云フ意味ハ、要スルニ比較的安クト云フ意味ガ含マレテ居ル

以上、私ノ言フ意味ニ於テハ一種ノ低米價政策デア、是ハ只今大臣ガ斯ウ云フコトハ望マシト仰ツシヤツタ、其ノ望マシイコトガ大體ニ於テ私ノ申上ダテ思想ヲ現ハシテ居ルモノト思ヒマシテ、是ハソレ以上聴キマセヌガ、私ノ考ト同ジヤウニ考ヘテ居ラレト思ツテ進メマス、ソコデ本案ハ農民ニ對シテ或ル程度ノ犧牲ヲ強ヒルモノデアルト私ハ言フノデアリマス、ソレハ犧牲ヲ強ヒナイト云フ御議論ハ、公平ナル價格デアルノダカラ強ヒナイト仰ツシヤイマスケレドモ、事實ニ於テ安イモノヲ供給シテ行カウト云フコトニナルノデアルカラ、此ノ米穀配給統制法ト云フ法律ダケデ、農民ヲ助ケテ行クモノデナイト云フコトハ分ツテ居リマス、就テハ私ハ今大臣ノ仰ツシヤツタヤウニ、然ラバ米ノ生産費ト云フモノヲ低下スルト云フコトニ對シテ、當局ハドウ云フ腹案ヲ持ツテ居ラレルカ、是ハ外地ノ米ニ對スル問題トシテモ、將來重要性ヲ帶ビテ來ルノデアリマスガ、内地ノ米ノ生産費ヲ低下スルト云フ此ノ問題カラ見マスルト、他ノ同僚諸君ニ於テモ屢、論ゼラレテ居ル通リニ、肥料ノコトニ付テ農林大臣ガ苦心ヲサレテ居ルコトハ分ツテ居ル、是ハ私モ大イニ農林大臣ノ御苦心ヲ多ト致シマス者ノ一

人デアリマスガ、併シソレハ肥料ヲ安クシテ居ラレト云フ意味デハナイ、肥料ノ配給ヲ圓滿ニスル爲ニ農林當局ノ苦心ハ多大デアルケレドモ、ソレデハ肥料ガ安クナツテ居ルカト云フト安クナツテ居ナイ、高クナツテ居ル、ソコデ私ハ此ノ米價政策ト共ニドウシテモ日本ニハ肥料政策ト云フモノノ根本對策ヲ、此ノ法律ニ於テ立案ヲサレナケレバ、本案ニ對シテ私ハマダ當局ノ誠意ガ十分デアルト申サレヌノデアリマスカラ、肥料政策ニ對シテハ唯現狀ニ於ケル品不足ヲ相當ノ手段ニ依ツテ補フト云フ程度ダケシカ、御考ハナイノデアリマスカ、或ハ他ニ相當ノ御考ヲ持ツテ一ツノ計畫ヲ立テテ居ラレルカ、其ノ點ヲ一ツ承リタイ

○櫻内國務大臣 私ガ申上グルマデモナク肥料ハ有機質ト無機質トノ二ツニ分レテ居リマス、無機質ノ肥料ニ付キマシテハ、硫酸ダケハ辛ウジテ自給ノ關係ガ付カ付カヌカ位ノ程度ニマデ、發達シテ居リマスカレドモ、過燐酸及ビ加里ノ此ノ二ツニ付キマシテハ、ドウシテモマダ輸入ニ俟タナケレバナラヌ現狀デアリマス、隨ヒマシテ日本ノ爲替ノ率ノ問題竝ニ對外ノ市場ノ問題等ニ依リマシテ、此ノ價格ガ動イテ來ルノデアリマス、吾々ハ何トシテモ安イ肥料ヲ農

村ニ供給致シタイト云フコトヲ、衷心カラ思フノデアリマスルケレドモ、只今申シタ通りノ狀態デアリマスカラ、外國カラ買フ物ハ出來得ル限り取纏メテ、安イ市場カラ之ヲ輸入セシムルト云フ方法ヨリ、今ノ所ハ方法ガナイノデアリマス、硫酸ニ付キマシテハ是ハ多數ノ會社ガアリマスケレドモ、今ハ皆統一シテ居リマス、此ノ價格ガ安イ高イト云フコトハ、是ハ見方ニ依ツテデアリマス、私ハ現在ノ硫酸ノ價格ハ必ズシモ安イトハ申シマセヌ、マダ私ハ下ゲル餘地ガヤリ様ニ依ツテハアルカト思ヒマスケレドモ、併シナガラ北支或ハ佛領印度、其ノ他其ノ附近ニ於ケル所ノ値段カラ見マス、少クトモ六割モ七割モ安イ値段デ供給シテ居ルノデアリマス、即チ日本ノ隣國ト言ハレル所ノ土地ニ於ケル硫酸ノ相場カラ見マスレバ、安イ値段デ賣買サレテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シテ今後ノ之ヲ安クスル方法ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、此ノ問題ニ付テハ相當考ヘナケレバナラヌ問題デアリマスケレドモ、只今ノ所ハ兎ニ角其ノ統制サレタル會社ニ向ツテ、出來ルダケ安ク供給サセルヤウニ導イテ行ク以外ニ、方法ハナイト思ヒマス、一歩進ンデ肥料ヲ國營ニスルトカ事實ニスルトカ云フ

途モアリマスケレドモ、ソレモ餘程考慮ヲ致サナケレバ、其ノ效果ヲ擧ゲ得ルヤ否ヤニ付テハ疑問ガアルノデアリマス、是ハ今マダ私カラ之ニ對シテ、斯ウシタラ宜シイト云フ具體案ヲ申上グル機會ニハ至ツテ居リマセヌ、有機質ノ肥料ニ至リマシテハ、所謂自給堆肥、是等ハ勞力ノ關係及ビ家畜ノ關係等カラ致シマシテ、今日非常ニ騰貴ヲ致シテ居リマス、之ヲドウシテ安クスルカト云フコトニ付キマシテハ、深ク研究ヲ要スルノデアリマシテ、今回モ御協賛ヲ願フベク出シタ所ノ所謂「サイロ」ノ施設ノ如キハ、ヤハリ此ノ有機物肥料ヲ安クシタイト云フ考カラ起ツタコトデアリマス、魚肥或ハ豆粕等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウナ關係係一面ハ不漁デアリ、一面ハ滿洲トノ關係、滿洲ノ生産ノ狀況等ニ依リマシテ、意外ナ騰貴ヲ致シテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアリマシテ、之ニ對シテハ何等カノ對策ヲ講ジヨウト考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、差當リマダ適當ナル案ヲ發見シ得ナイノデ、頭ヲ悩マシテ居ルヤウナ譯デアリマス、併シナガラ今後ニ對シマシテ此ノ有機物ノ肥料ニ向ツテ、ドウ云フ風ナ指導ヲシテ行カト云フコトニ對シマシテハ、勿論適當ナル指導ヲ致サナケレバナラヌノデア

リマシテ、常ニ試験場等ニ於テ研究致サセテ居ル譯デアリマス

○平野委員 私ハ從來モ肥料ニ關スル法律案ノ關係ヲ見マスルト、肥料統制法ト云フモノガ出來テ、政府ガ價格ノ上ニ於テ、或ハ配給ノ上ニ於テ、相當統制ヲシヨウト云フコトヲ考ヘタコトガ、肥料製造業者ノ生産ニ對スル所ノ一ツノ反對ト申シマスルカ、嫌氣ヲ生ジマシテ、生産ガ減ツタト云フ事實ヲ知ツテ居ル、此ノ事ハ從來ノ肥料統制法ト云フモノガ私ハ不徹底デアツタと思フノデアリマス、固ヨリ肥料製造會社ガ眞ニ國家ノ見地ニ立ツテ、肥料ヲ製造スルト云フコトデアリマスレバ、サウ云フ統制法如何ニ拘ラズ、實際増産ガ出來テ、又相當ニ安イ肥料ヲ供給スルト云フコトガ出來タ譯デアリマスガ、從來ノ統制法ガ出來テ、官吏ガ肥料製造會社ニ對シテ干涉スルト云フヤウナコトカラ、少クトモ重要肥料ニ關スル限りノ製造工場ト云フモノハ、肥料ニ對シテ生産ヲ怠ツテ居ル、現ニ出來ルダケノ物ヲ造ツテ居ナカツタト云フヤウナ事實モ相當アルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フヤウナ事實ヲ考ヘテ見ル時ニ、少クトモ現在ニ於ケル肥料政策ト云フモノハ——大臣ハ國營トカ專賣ト云フ問題ハ、相當ニ考ノ中

ニハ浮ブノデアルケレドモ、實現ニ付テハマダ相當云々ト云フ御答辯デアツタケレドモ、私ハ肥料ダケハ最早專賣ノ時代ニ入ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、配給機構ハ完備致シテ居リマスルシ、製造會社ト云フモノハ固ヨリ殆ド少數ニ限ラレテ來テ居ルノデアリマシテ、要ハ唯統制法ト云フヤウナ法律デ値段ヲ決メタリ、又單ニ政府ガ監督シテ造レ——ト云フヤウナ、サウ云フ肥料政策デハナクシテ、一箇年ニ於テ必要ナル所ノ肥料ト云フモノニ對シテ、是ダケノ部分ヲ内地ノ是ダケノ會社ニ於テ製造スル、政府ガ製造會社カラ數量ヲ決メテ買上ゲテ、或ル程度ノ利益ヲヤル、又外國ノ輸入ニ仰ガナケレバナライモノハ、豫メ計畫ヲ決メテ之ヲ輸入スル、サウシテ政府ガ買上ゲタモノノ中、若シ農民ノ犧牲ニ於テ安イ所ノ米ヲ配給シナケレバナライト云フ時ニ於テハ、國家ハ肥料ヲ配給スルニ當ツテ、此ノ專賣制度ノ上ニ立ツテ相當國家ガ犧牲ヲ拂ツテ農民ニ安イ肥料ヲ配給セシメルト云フコトハ出來ルと思フ、

〔古田委員長代理退席、委員長著席〕

私ノ信念ヲ以テ致シマスナラバ、要重肥料ト云フモノハ今日農民ニ半減シテヤル、半分ノ値段デ政府ガ賣捌クト云フコトニ對シ

テハ、國家ガ負フ所ノ犧牲ト云フモノハ必ズシモ大ナルモノデハナカラウト思フ、既ニ米穀政策ニ於テ政府ハ其ノ特別會計ニ於テ七億萬圓ト云フ金ヲ計上サレテ居ツタ、或ル時ニ於テハ相當ノ損ヲシテ居ル、サウ云フヤウナ損ヲシテモ何デモ、米價ノ安定ト云フコトヲ期スル爲ニハ、國家ガ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フナラバ、米ノ原料デアル所ノ肥料ト云フモノニ對シテ、政府ハ場合ニ依ツテハ五千萬圓或ハ一億萬圓ト云フヤウナ金ノ犧牲ヲ拂フヤウナコトガアツテモ、天下何人モ之ニ對シテ異存ヲ挾ム者ハナカラウト思フ、要ハ制度ノ問題デアル、國民ノ觀念カラ言ヘバ安イ肥料ヲ農民ニ配給シテ、安イ米ヲ國民ニ買ハセルト云フコトデ、國家ガ犧牲ヲ拂フト云フコトナラバ、何人モ異存ハナイ、ソコニ大臣ガ著眼セラレマシタナラバ、少クトモ肥料製造會社ノ計畫ト云フモノハ、固ヨリ政府ニ於テ手ニ取ルヤウニ分ツテ居ル、又配給機構ト云フモノハ産業組合ヲ通ジ、或ハ肥料商ヲ通ジテ、極メテ系統ト云フモノハ完全ニ出來テ居ル、此ノ肥料ノ專賣ト云フモノヲ、私ハ此ノ米穀配給統制法ト竝シデ施設ヲサレルト云フコトハ、最モ妥當ナル所ノ農業政策デアリ、最モ私ハ公平ナル所ノ國

策デアルト信ズルノデアリマスガ、之ニ對シテ農林大臣ノ御考ヲモウ一遍伺ツテ、肥料專賣斷行ト云フ思想ヲ持つテ貰フコトガ出來ナイカ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻內國務大臣 平野君ノ御意見ニ對シマシテハ敬意ヲ表シマス、併シナガラ今日只今之ヲ實行致スト致シマシテモ、色々ナル觀點カラ見マシテモ、御話ノ如ク單純ニハ參ラヌト思ヒマス、無機質ノ方ハ大體今申シタ通り、硫酸ハ一會社デ殆ド九分九厘ヤツテ居ル、過燐酸ハ先月ノ二十三日ニ統制ヲ致シマシテ、統制會社デ配給シテ居ル、故ニ此ノ三社ヲ政府ガ管理シテ指導シテ行キマスト、殆ド專賣ト同ジ程度位マデノ——專賣ノ程度マデ行カナクテモ、稍、專賣ニ近い程度ノ結果ヲ得ラレト思ヒマス、併シ其ノ他ニ付キマシテハ配合肥料其ノ他ニ付キマシテモ、今漸ク其ノ統制ヲ實行致サウトシテ居ルヤウナ譯デアリマス、可ナリソレニ付キマシテモ苦心ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、況ヤソレト相伴ツテ有機物マデ及バナケレバ、本當ノ肥料國家管理案ニハナリマセヌガ、此ノ點ニ付キマシテハ餘程マダ面倒ナ點ガアルノデアリマス、併シ御趣意ノアル所ハ吾々モ之ヲ諒トスルノ

デアリマシテ、ドウシテモ農民ニ安イ肥料ヲ完全ニ圓滿ニ供給スルコトガ、即チ米穀政策ノ根幹デアル、斯様ナ御趣旨ニハ決シテ異論ナク勿論其ノ通りデアルト思ヒマスノデ、其ノ方向ニ向ツテ進ミタイト思ヒマサガ、今直チニ茲ニ肥料ノ專賣法案ヲ出シテ、皆様ノ御審議ヲ仰グト云フマデニハ立至ツテ居ナイノデアリマス、左様御承知願ヒタイト思ヒマス

トシテハ、米穀政策ト並行シテヤルベキコトガ適當デアル、斯ウ云フ御趣旨ダケ御答辯願ツタコトハ大體諒承致シマス、又事務的ニ肥料專賣案ヲ出スコトガ出來ル、出來ナイカト云フコトニ付テ、答辯ヲ保留サレタコトモ已ムヲ得ナイコトト思ヒマスガ、ドウカ此ノ點ニ付テハ十分具體的ニ研究調査ヲ進メラレンコトヲ希望シマシテ、次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス、次ニ私ノ承ハル問題ハ、増産政策上カラ見タ土地問題デアリマス、是ハ屢、他ノ委員諸君カラモ論ゼラレテ居ツタヤウニ思フノデゴザイマスガ、私ノ率直ナル見解ヲ以テ致シマスルナラバ、米ヲ生産シテ居リマスル所ノ所謂米作農家、此ノ米作農家ノ七割ト云フモノハ、自作兼小作並ニ小作人ガ生産致シテ居リマス、其ノ米ト云フモノハ我國ノ移動米ノ半分デアリマス、其ノ移動米ノ半分ヲ生産シテ居リマス所ノ所謂他人ノ地面ヲ借りテ耕作シテ居ル小作農ノ、今日ノ經濟狀態ト云フモノハ、端的ニ申シマスルナラバ、收穫ノ半分ヲ小作料ニ納メテ居リマス、米穀ノ生産ヲサレテ居リマスル所ノ其ノ生産費ヲ見マシテモ、一番大量ニ殖エテ居ルノハ小作料、其次ニハ肥料デアリマス、米穀政策上此ノ土地制度ト小作料ニ關スル問題ヲ無視シテ

考ヘルコトハ、今日ニ於テハ出來ナイ時勢ニ到達シテ居ルト私ハ思フノデアリマス、自己ノ收穫ノ半分ヲ地代ノ形ニ於テ取ラレテ居ルト云フ此ノ農業制度、而モソレガ農家ノ一部分デアリマスルナラバソレハ已ムヲ得ナイノデアリマスルガ、農家ノ大部分ガ生産物ノ半分ヲ取ラレテ居ルト云フ此ノ農業制度、他ニサウ云フ産業ガアリマセウカ、生産物ノ半分ヲ取ラレテシマツテ、アトノ半分デ自分ノコトヲ賄ツテ居ルト云フノガ現在ノ農業經營、農業機構デアリマス、斯ウ云フ機構ヲ現存ノ儘ニ放置シテ置イテ、果シテ米ノ生産ヲ増加シヨウト云フ議論ガ成立ツデアリマセウカ、私ハ農林大臣ニ敢テ質問致シマスノハ、此ノ我國ノ農業形態、是ガ現狀ノ儘デ宜シイト思ツテ居ラレマスルカ、或ハ之ニ對シテ相當何カ對策ヲ考ヘテ居ラレルカ、其ノ點ヲ一應質シテ置キタイト思ヒマス

ニ之ニ對シテ努力シテ來テ居ルノデアリマス、今御話ノ地主對小作ノ關係ノ小作料ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ可成リ長イ間議論ノアル問題デアリマス、今平野君ノ言ハレル議論モ決シテ私ハ理解ガナイトハ申シマセヌ、併シナガラハ是ハ先祖傳來、個々別々ニ色々ナ因縁ガアリ、色々ナ關係ガアツテ、從來ノヤリ來リヲシテ來テ居ルノデアリマシテ、ソレヲ一朝ニシテ根本的ニ之ヲ變ヘル、ドウ云フ風ニ變ヘルカ、此ノ問題モ餘程考ヘナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、要スルニ努力ヲ用ヒザル所ノ地主階級ガ小作料ヲ多ク取ツテ居ルト云フコトヲ、大聲叱呼シテ之ヲ改革スベシト云フ議論ヲスル人モ、決シテ今日ハ少數デハアリマセヌ、可成リ多數ノ人ガアリマス、併シナガラ今日マデノ成來リ、並ニ現狀カラ推シテ今之ヲドウ云フ風ニ取替ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ十分ニ考究シタ上デナケレバ、行フベキコトデナイノデアリマス、私共トシテハ出來ル限リ之ヲ自作農ニシタイ、サウシテ其ノ爲ニ努力シタイ、農地調整法ハ勿論、年々國家カラモ相當ナ金額ヲ助成シテ、サウシテ多クノ小作農ガ自作農ニナルヤウニ、之ニ對シテ努メテ行クト云フ建前ヲ執ツテ居ル譯デアリマシテ、今此ノ小作問題ヲドウ云フ風ニ致ス

○平野委員 只今ノ御説明デ大體ノ肥料ノ中ニ於ケル——私ハ全部トハ申シマセヌ、所謂重要肥料デス、重要肥料統制法ニ議ッテアル其ノ重要肥料デアリマス、ソレハ無論今議會ニ御出シナサイト云フコトハ、技術的ニ於テ無理デアリマスケレドモ、此ノ重要肥料ダケハ肥料製造會社ノ方デモ、此ノ專賣ニハ反對シナイト思フカラ、極メテ近い將來ニ於テ此ノ專賣ヲ實行サレルト云フコトヲ、大臣ノ御考トシテハ可能性アリト思ハレマスガ、私ハ可能性アリト思フノデアリマスガ、モウ一回御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 趣旨ハ只今申上ゲマシタ通りデアリマス、只今此ノ專賣法案ヲ拵ヘテ出ス出サスト云フヤウナコトニ付キマシテハ、明言ヲ致シ兼ねマス

○平野委員 大體大臣ノ肥料ニ對スル思想

第六類第二十三號 米穀配給統制法案委員會會議錄 第九回 昭和十四年三月十六日

カト云フコトヲ御質問下サイマシテモ、此ノ問題ニ對シテノ自分ノ斷案ガ出來マスマデハ、發表スベキコトデナイノデアリマス、其ノ斷案ガマダ私ノ心ニ出來テ居リマセヌノデ、此ノ問題ニ對シテソレ以上御答ハ出來ナイノデアリマス

○平野委員 大臣ノ只今ノ自作農ニ變更スルコトヲ、一ツノ理想ト考ヘテ居ルト云フコトハ、歷代ノ農林大臣及今日マデノ農林當局ノ農業政策ガ、自作農主義デアツタト云フコトハ分ツテ居リマスガ、モウ一ツ承リタイノハ我國ノ自作農創定ノ趨勢ト云フモノハ、結果カラ見テ餘リ良ク行ツテ居ナイ、此ノ良ク行ツテ居ナイヤウナモノヲ尙ホ理想トシテ描イテ居ルト云フヤウナコトハ、農林當局トシテハ不見識デアル、理想トシテハ宜イト云ツタ所デ、實際ニ出來ナイモノヲ農業政策トシテ考ヘテ居ルト云フコトハ、私ハ承服出來ナイ、農務局長ヨリ最近ニ於ケル我國ノ自作農ト云フコトニ付テ承リタイと思フガ、兎ニ角私共ハ我國ノ自作農創定ト云フモノハ皆ク行ツテ居ナイと思フ、自作農創定組合ニ依ツテ金ヲ借りテ居ルモノデモ困ツテ居ル、不作ノ場合ニ於テハ更ニ入ラナイ、現在滯納モ非常ニ出來テ居ル、又自作農ニナツタ者ハ悦ンデ居

ナイト云フ情勢ニアルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ次ノ議論ヲスル上ニ於テ必要デアリマスカラ、御答辯ヲ得テ置キタイ

○小濱政府委員 自作農創設ノ施設ハ從來カラヤツテ來テ居リマス、ソレガ皆ク行ツテ居ラナイト仰シヤイマスガ、其ノ内容ガ能ク分リマセヌデシタ、皆クイツテ居ルカ、イツテ居ラナイカト云フコトヲ唯結論ダケ申セト仰シヤイマスレバ、私達ハ皆クイツテ居ラナイトハ思ツテ居リマセヌ、政府ノ低利資金ヲ借りマシテ、耕地ヲ自分デ所有スルニ當リマシテ、從來小作料トシテ納メテ居リマシタ金ノ範圍ニ於テ、年賦金ヲ納メテ參リマスレバ、二十四箇年ノ間ニハソレガ自分ノ耕地ニナル、サウ云フコトヲ目安ト致シマシテ、買ヒマス土地ノ價格ヲ左様ニ計算シ、ソレカラ逆算致シマシテ、土地ノ價格ガソレ以上デアル場合ニハ、貸付ヲ致サナイコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ資金ヲ借りマシタ農家ハ、從來ノ小作料ト同額ノモノヲ年賦金トシテ支拂ツテ居リマスノデ、二十四箇年デ償還シテシマヘバ、借金ヲ拂ツテシマツテ、完全ニ耕地ヲ取得スルコトニ相成ル譯デアリマス、其ノ途中ニ於キマシテ、色々災害ナドヲ受ケマシタ場合ニハ、借入金ノ償還ニ付テ困難ヲ感ズル

場合ガゴザイマス、ソレデ耕地ヲ總テ農家ニ無償デ與ヘルト云フ御言葉デゴザイマスガ、農家ニ土地ヲ取得セシメマスノニ、只ヤルト云フコトガナイコトヲ前提トシテ居リマス

場合ニハ、農家ガ土地ヲ取得シ易イヤウナ方法ヲ講ズルコトガ、今日ノ經濟機構ノ下ニ於テハ妥當ナル方策デアルト考ヘマス、自作農トシテ耕地ヲ所有致シマシタ者ガ、其ノ後農家ノ經濟ガ惡クナリマシテ、ソレヲ賣拂ハナケレバナラヌト云フ狀態ニ陷ツテ居ルトハ、私ハ考ヘテ居リマセヌ、金ヲ借りテ或ル計畫ノ下ニヤツテ參リマス、其ノ間ニ其ノ他ノ原因カラ、農家ノ經濟ニ齟齬ヲ來シマシテ、サウ云フ事態ガアルコトハ、私ハ如何ナル施設ニ於テモ附キモノト思フノデアリマシテ、是ガ自作農創設ノ施設其ノモノノ結果ナリトハ、必ズシモ斷ズベキモノデナイト考ヘマス、統計ニ依ツテ見マシテモ、自作耕地ハ年々増加致シテ居リマス、自作農地ハヨク減ルデハナイカト云フヤウニ言ハレマスガ、自作農地ハ年々増加ノ傾向ヲ辿ツテ居ルヤウニ私ハ記憶シテ居リマス

○平野委員 私が聽イタノハ、今土地問題ヲ論ジヨウト思ツテ根本論ヲ聽イテ居ルノデアアル、ソレハ成功シテ居ル者モナイコトハナイ、又失敗シテ居ル者モアルト云フコトデアレバ、同ジコトニナリマス、時間ヲ省略スル爲ニ簡單ニ聽イタノデ、御答辯モ要領ヲ得ナカツタと思ヒマス、私が言フノハ自作農創定主義ニ依ツテ、今大臣ガ説明ヲサレタヤウニ、日本ノ土地問題ガ解決スルノカドウカト云フ點デアアル、或ル部分ニ於テハ自作農デ成功シテ居ル者モアルデセウ、併シ私ノ間ハントスルノハ、自作農主義ニ依ツテ我國ノ土地制度ノ改革ヲ行フト云フコトヲ、大臣ハ理想トシテ織込ンデ居ラレデモ、過去ノ經驗ニ徴スレバ、日本全國ノ農民ノ土地ヲ自作農ノ土地ト化スコトハ出來ナイデハナイカ、恐ラク是ハ不可能デア

ル、況ヤ其ノ中ノ大部分ハ自作農ニナツテ困ツテ、後カラ一食ハレタ者モアル、ソレニ付テハ今ノ農務局長ノ御答辯デモ尙ホ駄目デアアル、隨テ日本ノ土地制度トシテ全部自作農ニスルノダト云フコトニ付テハ、事實ハ一定ノ所ニ於テ行詰ツテ、見込ガナイト解釋ヲスルノデアリマスガ、尙ホ今後何年カ後ニ於テハ、全部日本ノ農民ヲ自作農ニスルコトガ出來ルト云フ案ガアルノカ、全國ノ小作地ヲ全部自作農化スルニハ、是ダケノ具體案ガアルト云フナラバ、ソレヲ承リタイノデアリマス、恐ラク自作農主義

ニ依ツテ將來我國ノ土地制度ノ根本的ナ改革ヲスルコトニ付テハ、今日マデノ所ハ大體ニ於テ成案ガナイト解釋致シマスガ、ソレニ對シテハ如何デアリマスカ、見込ガアルノデアリマスカ

○櫻内國務大臣 自作農制度ガ出來マシテ以來、其ノ發達ガ比較的遅イ、之ニ對シマシテハ種々ナル原因モアラウト思ヒマス、併シナガラ只今申ス通り、今マデノ小作料ヲ納メテ、二十四箇年カ經テバ自分ノモノニナルト云フ意味合ニ於キマシテ、今ノ案ガ立ツテ居ルノデアリマシテ、是ガ旨ク運用サレテ參リマスナラバ、全國ノ總テノ農地ガ直チニ之ニ依ツテ解決サレルトハ申シマセヌケレドモ、徐々ニソレガ進行致スト思ヒマス、併シ現在ノ制度ニ於テ尙ホ不満足ナ點ガアル、是ハ斯ウ云フ風ニスレバモツト遲ブト云フ方法ガナイトハ私モ思ヒマセヌ、是ハ十分研究シテ、其ノ效果ヲ擧グルヤウニ致シタイト思ヒマス、今御話ノ土地問題ヲドウ云フヤウニ御解決ナサラウト云フ御高見ヲ御持チニナルカ私ハ存ジマセヌケレドモ、今日ノ日本ノ狀態ト致シマシテハ、自作農制度ヲ一層發達セシメル、是ガ一番適切ナル方法デアルト斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス

○平野委員 私ハ先程大臣ノ仰シヤツタヤウニ、兎ニ角出來タモノノ半分ヲ納メナケレバナラナイト云フヤウナ制度ガ、他ノ事業ニアリマセウカ、ソレニ肥料代モ差引キ、或ハ他ノ商賣デアレバ企業利益ヲ計算シテ行カナケレバナラス、勞働賃銀モ見ナケレバナラス、農民ニ完全ナ勞働賃銀トカ、企業利得ト云フモノヲ見ル經濟論ガ宜イカ惡イカト云フコトニ付テノ議論ハ今日ハ致シマセヌガ、少クトモ收穫量ヲ半分ダケ納メナケレバナラナイト云フ此ノ制度ヲ改正シナケレバ、私ハ農業生産ハ上ラナイト深ク信ジテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ、大臣ノ仰シヤルヤウニ、自作農家ハ、長ク掛ルカモ知レナイケレドモ、一段ニヤツテ行ケバ全部自作農ニナルノダト言ハレル、只今ノ御答ノヤウニ二十四年間モ掛ツテ自作農ニナル、此ノ經濟ノ變遷ノ激シイ時ニ、豐凶ニ拘ラズ二十四箇年從來ノ小作料ト同ジ金ヲ持つテ行ケバ、自分ノモノニナルト云フ生溫イ、手溫イコトヲ農民ニ對シテヤリ、米穀統制法ヲヤリ、或ハ米價政策ヲヤルト云フダケデハ私ハ不十分ダト思フ、此ノ農業土地制度ニ付テ、根本問題ハ收穫ノ半分ト云フ多クノ小作料ヲ拂ハナケレバナラス、此農業制度ニ對シテ、

可及的速ニ一大方策ヲ國家ガ立テテ、土地制度ノ改革ヲ爲スベキコトハ喫緊ナル急務ト私ハ存ズルノデアリマス、農林大臣ハ此ノ收穫ノ半分ヲ出スト云フ農業經濟ヲ、是ハヤハリ已ムヲ得ヌノダト云フ御考デアリマスカ、可及的速ニ此ノ點ニ付テ相當ナル改正アルベキデアル、私ハ後程其ノ方法ハ申上ゲマスケレドモ、サウ云フ改正ヲ農民ノ爲ニ御考ニナルカドウカ、モウ一回御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 先刻モ申上ゲマシタ通り、小作料ノ問題ハ、土地ニ依リマシテハ先祖傳來ノ成行ニナツテ居リマスシ、人々ニ依ツテ各々關係ガ違フノデアリマスカラ、一概ニ論ズルコトハ出來ヌト思ヒマス、今御話ノ收穫ノ半分取ラレルガ、是ハ非常ニ高イデハナイカ、其ノ高イコトヲオ前ハ認メナイカト云フ御話デアリマスガ、私ハ此ノ問題ニ對シテハ、相當自分ニ案ヲ立テテ、其ノ斷案ガ出來マスマデハ、高イ安イト云フコトニ對シマシテ御答致スコトヲ避ケタイト思ツテ居ルノデアリマス

○平野委員 成案ガナイ間ハ高イ安イト言ハヌト仰シヤイマスガ、ソレハ大臣トシテ當然ノコトト思ヒマス、少クトモ斯ウ云フ現狀デハイケナイト云フコトニ付テハ、私ハ

相當肯定セラレタト思ヒマス、次ニ承リタイノデアリマスガ、自作農主義ニ付テハ只今私ガ申上ゲ、農務局長モ仰シヤツタガ、大體全國ノ農民ヲ自作農ニシテシマフ、ソレガ適當デアルカ、先ヅ是ハ我國ノ農業政策上、又國民全般ヨリ見ナケレバナラス、其ノ他ハ地主ト小作人ノ關係ヲ法律ニ依ツテ律スルト云フ問題デアリマス、之ニ農地法アリ、農地調整法アリ、小作法ガアル、此ノ從來ノ小作法ニ對スル研究ヲ相當サレテ、議會モ相當小作法案ト云フモノヲ御出シナラウトシタコトモアリマス、又最近ニ於キマシテハ有馬農林大臣ニ依ツテ農地調整法ト云フモノガ出來テ、農村ニ於ケル所ノ紛議ヲ或ル程度マデ緩和シ、又土地問題ノ解決ニ資セヨウ、斯ウナツテ居リマスガ、私ハ此ノ農地調整法ト云フ法律ダケヲ以テシテモ、連モ農村ニ於ケル生産ノ増加ト云フコトニ對シテハ不十分デアル、現在農地調整法ガ施行サレテ居リマス地方ノ情勢ヲ見ルト、法律ノ條文ニハ可ナリ色々複雑ニ解釋ガ出來ルモソモアリマスルガ、要ハ其ノ地方ニ於ケル地主ノ勢力ガ強ケレバ小作人ハ依然トシテ高イ、小作人ガ團結シテ小作人ノ勢力ガ強ケレバ小作料ハ下ル、斯ウ云フ現狀デアリマス、農地調整法ト云フモ

ノハ吾々ハ農業立法トシテハ或ル程度マデ、耕作権擁護ノ法律トシテ之ニ對シテ敬意ヲ表シテ居ルノデアリマスケレドモ、現在ノ農村ノ土地問題ニ對シテハ、地主ノ方ノ勢力ガ強ケレバ小作料ハ負ケルコトガ出來ナイ、小作人ノ勢力ガ強クナレバ、現在ノ農地調整法ヲ挾シ小作料ヲ下ゲテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ現状デアリト農林大臣ハ思ハレルノデアルカ、農民ニ對シテ現在非常時デアルカラ生産ヲ増加シロト言ハレルガ、實際地方ノ農村ニ行ケバ、地主ガ強イ所ハ小作料ハ高イ、小作人ガ團結シテ小作料ヲ負ケロト言ヘバ地主ハ負ケテ來ル、斯ウ云ツタコトニ對シテ、私ハ別ニ大臣ヲ詰問シヨウト云フノデハナイ、眞實土地問題ニ對スル何等カノ方向ニ、研究ガソコヘ向ケラレバト思ツテ、質問シテ居ルノデアリマスカラドウカ此ノ點ニ付テ、モウ少シ胸襟ヲ御披キニナツテ、更ニモウ一回御答辯ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 地主ノ強イ所ハ小作料ガ高イ、小作人ガ團結シテヤツテ居ル所ハ小作料ガ安イト云フヤウナ御話デアリマスガソレハ先刻來度々申シマス通り、其ノ地方地方ニ依ツテ自ラ違ツテ居ルノデアリマシテ、一律ニハ申シニクイト思ヒマス、現状

デ善イカ現状デ惡イト思フカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ雙方ノ利益ヲ睨ミ合セマシテ、農民總テガ幸福ニナルヤウニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、若シ此處デ兎角ノ議論ヲ致シ、地主小作ノ間ニ紛擾ヲ醸スヤウナコトガアツテハ相成ラヌ譯デアリマシテ、今日ハ比較的互ニ協調シテイツテ居ル場合デアリマスガ故ニ、私ハ今直チニ之ニ對シテドウ云フ風ナ革新政策ヲ持ツテ向フトカ、斯ウスルトカ云フコトハ申上ゲニクイノデアリマス

○平野委員 モウ少シ具體的ニ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、我國ノ農村ニ最近無施肥農ト申シマシテ、肥料ヲ與ヘルコトノ出來ナイ農家ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマセウ、是ハ配給關係デモ何デモナイ、假ニ配給ガアツテモ肥料ヲ買フコトノ出來ナイ農民ガアリマス、ソレハ大臣ガ簡單ニ御考ニナツテモ分ル、一反二石米ガ穫レテ一石納メル、殘ツタ一石デ色々諸費用ヲ引イテ計算スルナラバ、恐ラク肥料モ買ヘナイト云フコトガ起ルト思ヒマス、而モ不作デアツテモ今日ノ農村ノ契約ト云フモノハ、豊凶ニ拘ラズ小作料ヲ納メル契約デス、若シ小作料ガ納メラレナケレバ大體借用證書ニシテ置クト云フ形式デアルガ、其ノ借

用證書ニハ二割三割利子ガ付ク、結局借金デ首ガ廻ラナクナル、斯ウ云フ農業形態デス、言換ヘマスルナラバ、ソレガ農家人口ノ一割ヤ一割五分デアルト云フ極メテ限ラレタ部分、或ハ限ラレタ地方ノコトデアリマスナラバ、私ハ斯ノ如ク聲ヲ大ニシナイ、荷モ食糧ノ自給ヲ圖リ、農村ニ於ケル所ノ生産ヲ増加シヨウト云フ掛聲ヲ斯ノ如ク大ニシテ居ラレル此ノ時局ニ於テ、農林大臣ガ土地政策ニ對シテ無方針デアル、而モソレガ高イカ安イカト云フコトハ地方ノ環境、地方ノ勢力デ決ルト云フコトナラバ、結局農民ハ勝手ニシロト云フコトニナル、苟モ米價ノ公定シヨウ——今日有ユル物價ニ對シテ委員會ガ出來テ公定シテ居ルナラバ、小作料ダツテドノ程度ガ妥當デアルカ位ノコトハ相當明示サレナケレバナラヌ、唯裁判官ヤ小作官ガ寄ツテ、地主ヤ或ハ農民ノ方へ行ツテ頭ヲ下ゲテ、何トカ之ヲ解決シヨウ、君ガ讓ツテ呉レバ此ノ爭議ガ解決スル、自分ノ縣ニ於テハ是ダケノ解決件數ニナルト云フノデ、何トカシテ呉レヌカト小作官ガ頭ヲ下ゲル、小作官ノ頭ヲ立テ、裁判官ノ頭ヲ立テテ小作問題ノ解決ヲスルト云フコトハ、此ノ戰時下ノ一大不祥事デアル、ソレハ裁判長モ小作官モ相當誠意

ヲ以テ、地主ノ爲ニ小作人ノ爲ニ協調努力シテ居ル、其ノ努力ハ大イニ多トスル、又其ノ努力ニ對シテハ私ハ涙グマシイ場面ヲモ見ルノデアルガ、苟モ一國ノ農林大臣ハ此ノ七割ヲモ占メテ居ル農民ニ對シテ、一方生産ヲ増加シロ増加シロト云フコトヲロニサレルナラバ、土地制度ニ對シテ、或ハ自作農創定主義デ行クナラバ、之ニ根本的ナル大豫算ヲ組ンデ、何億掛ツテモヤル、或ハ小作立法デ行クナラバ曖昧ナ所謂小作調停法ヤ農地調整法案ノヤウナモノデ今日ノ農村ノ關係ヲ律セラレルノデハナク、少クトモ確固タル所ノ土地問題ニ對スル成案ヲ持ツテ居ラナケレバ、私ハ時局柄甚ダ責任アル者ノ態度デハナカラウト信ズルノデ、敢テ質問スルノデアリマスルガ、即チ要約致シマスルナラバ此ノ土地問題ニ對スル現在ノ所謂不正ト云フモノヲ打破シテ、農村ニ於テ唯小作官ヤ裁判官ガ頭ヲ下ゲテ地主ト小作人ニ頼ンデ解決スルト云フヤウナコトデナク、公平ナル小作料ハ奈邊ニアリヤ、又若シ其ノ小作料ニ於テハ地主ハ採算ガ取レナイト云フナラバ、地主ヲ如何ニシテ救済スルカ、斯ウ云フ點ニ付テ今少シクガ林大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 公正ナル小作料ト云フ御

話デアリマスガ、是ハ度々申シマス通り其ノ土地々々ニ依リマシテ自ラ違フノデアリ

マスカラ、私ハ一概ニハ申セヌト思ヒマス、生産増産ヲ農民ニ叫ビナガラ土地制度ニ對シテ何等ノ成案ガナイノハ不都合デハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、此ノ問題ハ昨日ヤ今日起ツク問題デアリマセヌ、御承知ノ通り何十年來研究サレテ居

ル、而シテ總テノ人ガ智慧ヲ絞ツテ、色々研究ノ結果兎ニ角今日ハ農地調整法ノヤウナ法律ガ出來テ、或ル程度是ガ貢獻致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、私ハ此ノ重大ナル時局ニ於テ地主小作兩方面ノ人々ガ相協力シテ、即チ互ニ積年ノ親和ヲ

持續シ、話合ハレテ此ノ料金ヲ御決メニナツテ今日進ンデ行カレテ居ル點ニ於テ、私ハ何等大ナル支障ハナイト思ヒマス、併シ御話ノ如ク生産額ノ半分ヲ取ツテ居ルノハド

ウモ不都合ダト云フ御議論ハ、相當世間ニアル議論デアリマスガ故ニ、此ノ點ニ付テハ多年私共モ研究致シテ居ル一人デアリマス、適當ナル成案ガ出來マシタ場合ニ於テハ、其ノ時ニ御協議ヲ願フト云フヨリ仕方ガナイノデアリマシテ、今日只今高イトカ、安イトカ、ドウ云フ對策ヲ持ツテ居ルカ、持ツテ居ルナラバ直グ出セト仰シヤツテモ、

是ハ只今申上ゲル機會デナイ、斯ウ申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマス

○添田委員長 平野君、此ノ問題ニ付テハ農林大臣トアナタノ意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ナイト思ヒマス、ダカラ之ニ付テノ議論ヲスレバ、中々容易ニ決定セヌト思ヒマスカラ、成ベク次ノ問題ニ移ツテ戴キマス

○平野委員 私ハ外ノコトハ同僚議員カラ聽イテ居リマスカラ、外ノコトニハ餘リ時間ヲ取ラヌ積リデアリマス、併シ土地制度ト本案トノ關係ト云フモノハ、農業政策ノ根幹デスカラ、私モ無暗ニ長キヤル積リデハアリマセヌ、ドウカモウ少シ時間ヲ與ヘテ戴キ

タイ、國家總動員法ノ第十一條ガ發動サルルコトニ付テ、相當全國ノ地主ガ此ノ小作料ノ問題ニ付テ研究ヲ始メテ居リマス、所謂賃賃價格ト小作料ト云フ問題ヲ公平ニ並べ合セマス、國家總動員法第十一條發動ノ場合ニ於テハ、相當理窟ヲ言ヘバ問題ニナルノデアリマス、私ハ今日地主モ經濟上ニ於テ引合ハナイ、ソレハ高米價政策ヲ執

ツテ土地ヲ上ゲ、米價モ上ゲル、斯ウ云フコトデヤツテ來タ政策デアルカラ、一朝ニシテ今日ハ中々地主ガ巧ク行カヌコトハ分ツテ居ル、茲ニ土地制度ニ對シ政府ノ大膽

ナル政策ヲ必要トスルノデアリマスガ、少クトモ大臣ハ只今高イ安イト云フヤウナコトヲ申上ゲラヌト仰シヤツタケレドモ、國家總動員法第十一條發動ノ場合ニ於ケル農村ノ賃賃價格ト、小作料ノ問題ト云フコトハ、相當重要ナコトニナツテ來ルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ感想ヲ持ツテ居ラレマスカ

○櫻内國務大臣 多分配當制限ノ意味ヲ御話ニナツテ居ルノデアルト思ヒマスガ、兎ニ角昔カラ地所ヲ持ツテ居ル者ガ、其ノ地所ガ幾ラデ買ツタモノヤラ、又其ノ土地ヲ幾ラニ見ルヤラ、其ノ基本カラ定メテ行カナケレバナラヌ問題デアリマシテ、是亦一概ニ論ズルコトハ出來ナイト思ヒマス

○平野委員 私ハ是ニ於テ大臣ニ私ノ考ヘテ居ル土地制度ニ對スル改革案ニ付テノ片鱗ノ一端ヲ申上ゲテ、其ノ考ヘ方ノ傾向ニ付テ一ツ大臣ノ所見ヲ承リタイ、私ハ長イ間農村ニ於ケル諸般ノ農民問題ヲ取扱ツテ參リマシタ關係上、私ノ信念トシテハ、日本ノ農業政策ト云フモノハ、土地問題ヲ解決セザル限りハ完全ナル農業政策ナシ、斯

ウ斷ジタイノデアリマス、是ハ世間ノ人ハ比較的的土地問題ト云フモノニ付テ無關心デアッタ、或ハ又土地問題ニ付テ觸レルコト

ヲ嫌ツタリシテ居ル、是ハ昨日吉植君ガ萬遺憾ナク盡シテ居リマスガ、農民ハ正ニ暗闇ノ中ニアル、實際押付ケレバ或ル程度マデ押付ケラレル、眞ニ農民ガ奮起シタ時ヲ考ヘレバ、其ノ時ハソゾロニ粟ヲ立ツテ、一般ノ人ガ眞劍ニ考ヘルケレドモ、日本ノ小作問題ナドハ何トカナラウ、大臣ガ仰シヤルヤウニ長イ間ノコトデ、長イ間心配シ

タ、長イ間心配シテ居ラレルト云フ所ニ私ハ重要性ガアルト思フ、尙ホ是レ以上長イ間土地問題ヲ抛擲シテ、食糧ノ自給ヲ圖リ農村ノ思想ヲ安定シヨウ、地主モ小作人モ仲好ク行ケト言ツテモ、地主ト小作人ガ極端ニ仲ガ惡イノデハナイ、仲ガ惡クナラナケレバナラナイ所ノ經濟關係ト云フモノガ

アルカラ、仲ガ惡クナル、其ノ經濟關係ヲ適當ニ除去シテヤルノガ政府ノ務デアル、言ヒ換ヘレバ其ノ根幹ニ觸レタコトヲシナイデ、唯農村ニ農業報國運動デアルトカ、或ハ農村ニ於ケル所ノ地主小作人ノ親和ヲ圖ツタ所デ、ソレハ完全ナル總親和デハナイ、唯一時ヲ糊塗シタモノデアルカラ、茲ニ

私ハ土地制度ノ根本改革ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ主張スル所以デアル、ソコデ私ノ考ヘテ居ル思想ト致シマシテハ、之ヲ具體的ナ言葉デ現ハシマスルト、耕作地

ノ國有論ト云フモノヲ私ハ考ヘテ居ル、是ハドウ云フコトデアルクト申シマス、地主ト小作人トノ共通ノ惱ミト云フモノヲ、政府ガ仲介シテ解決スベキモノダト私ハ信ズル、私共ハ長イ間農民運動ヲヤツタノデ、何デモ地主ヲイデメテ來タヤウニ言フ人ガ天下ニアリマスガ、ソレハ間違ヒデ、言ヒ換ヘレバ農村ニ警鐘ヲ亂打シテ、農民ガ實際ニ於テ食ヘナイノダ、コンナ經濟關係ニシテ置イテハ、農業ノ生産力ヲ圖レナイ、農民ガ潰レタラ國家ガ潰レルゾ、斯ウ云フ。信念ノ上ニ、相當長イ間警鐘ヲ亂打シテ來タ、地主ノ間ニ於テモ相當反省ヲセラレテ、今日ニ於テハ土地問題ヲ段々地主モ考ヘテ來ルヤウニナツタ、又農民カラ唯法律ノ關係ニ於テ小作料ヲ寄越セ、小作料ヲ高率ニ取ツタ所デ、中々樂ナモノデナイト云フコトヲ、本當ニ思ヒ詰メタ結果、是ハ政府ガ仲介ニナツテ、此ノ土地問題ノ解決ヲシテ、地主モ助カルヤウニ、小作人モ立ツテ行クヤウニシナケレバナラスト云フノガ、今日ノ農村全體ヲ支配スル所ノ大キナ思想デアル、農林大臣ハ苟モ國家ノ力ニ依ツテ地主小作人ヲ共通ニ救ハレテ、農村ガ明ルクナリ、農業生産ガ公明ニ行クヤウニスルト云フ考ダケニ付テハ、此ノ非常時ノ農林大臣ハ絶

對ニ御考ニナラナケレバナラス、ソコデ私ノ考トシテハ、此ノ耕作地ノ國有論ト云フモノヲ提唱致シマスル理由ハソコニアリマス、言ヒ換ヘマスレバ地主ノ地面ヲ、政府ガ土地證券ヲ發行シテ之ヲ買取りマス、サウシテ政府ガ地主ニナル、小作人ハ地主ニ納メテ居ツタ所ノ小作料ヲ政府ニ納メル、サウシテ言ヒ換ヘマスレバ、地主ハ其ノ貰ツタ土地證券ニ對シテ、小作人ガ政府ニ納メタ小作料ノ中、政府カラ利子ヲ貰フ、斯ウ云フ思想デアリマス、此ノ思想ハドウ云フ思想デアルクト申シマス、現在地方ニ依ツテハ地主ガサウ云フ事ヲヤツテ居ル所モアル、固ヨリソレハ惡埒ナル所ノ者ハ、土地會社ヲ作ツテ、辯護士ナドガサウ云フモノノ支配人ニナツテ、小作人カラ小作料ヲ取立テテ居ルモノモアルガ、商法ノ規定ニ依ツテ違反ニナツタモノハ、禁止サレテ成功シナカツタ、ケレドモ地主モ最早今日ハ箇々ノ小作人カラ、辯護士ヲ頼ンダリ致シマシテ裁判沙汰ニシテ、小作料ヲ取立テルト云フコトノ煩ニハ堪エナイ、其ノ收入ヲ少クトモ或ル程度マデ制限ヲサレテモ宜シイカラ、其ノ收入ノ確實性ト云フコトヲ欲スルト云フノガ、今日ノ地主ノ思想デアリマス、又私ハ本會議ノ席上、大臣ニ申上

ダタヤウニ、今日ノ農業生産ト云フモノハ、土地ヲ所有シテ居ルカラ生産ガ増加スルノデナイ、世ニ地主ナクテモオ米ガ糶ルト云フ言葉ガアル、ソレハドウ云フコトカ、昔ハ地主ガ土地ヲ管理シテ居ツタガ、管理シ得ルダケノ立派ナ資格ヲ持ツテ居ツタ、所ガ資本主義制度ガ段々發達スルニ從ツテ、土地ヲ持ツテ居ル人ハ土地ヲ愛スルガ故ニ土地ヲ所有スルノデハナクシテ、土地ヲ營利ノ手段トシテ持ツテ居ル、此ノ地面ヲ持ツテ居レバ幾ラ儲カル、所謂土地ニ對スル所ノ所有觀念ガ營利主義ニナツタ、土地ハ元來營利ノ對象トシテ所有スベキモノデハナイ、土地カラ生産ヲ擧ゲルコトノ爲ニ土地ハ所有サレルベキモノデアアル、耕作サレルベキモノデアツテ、土地ヲ營利ノ對象トシテ所有スルト云フ思想ガ、全日本ノ農村ニ風靡シタト云フコトガ、農村疲弊ノ根幹デアアルト斷言シテモ憚ラナイ、ソコデ斯ウ云フ公共性性質ヲ持ツテ居リマス土地ヲ、全國ノ地主ニ所有セシメテ、營利ノ對象トスル思想ヲ止メル御考ヲ、農林大臣ハ御持チニナツタラドウカ、是ハ三宅君ノ言葉ヲ借りテ言ヘバ、土地ノ國家管理ト云ツテ居リマスガ、固ヨリ私ハ是ガ三宅君ノ國家管理ノ思想トドウナルカト云フコト

ニ付テハ、明確ナル研究ヲ遂ゲテ居リマセヌガ、少クトモサウ云フ思想ヲ以テ見テ居ル、言ヒ換ヘマスレバ土地ヲ單ナル地主ノ所有ニ置カズシテ、之ヲ國家ノ所有ニスル、斯ウ云フ觀念カラ行キマスナラバ、私ハ茲ニ數字ヲ以テ説明致シテ居リマス場合ノヤウニ、例ヘバ一反三圓デ之ヲ買収シテ、三分ノ利子ヲ拂フ、其ノ場合小作料ヲ私ハ收穫ノ四分ノ一ト見テ居リマス、サウ致シマスルト現在ノ全日本ノ耕地ト云フモノハ、私ノ計算ニ依リマス、田ハ三百万町歩ノ耕作地ノ中ノ半分以上デアリマシテ、百七十万町歩以上アル、百七十万町歩ノ地面ヲ一反三百圓デ買ヒマス、五十一億ノ土地證券ニナル、此ノ五十一億ノ三分ノ利子ヲ拂ヒマスナラバ、一億五千三百萬圓ト云フモノガ一年ノ利子デアアル、併シ政府ハ百七十万町歩ノ耕地カラ一反ニ付テ收穫ノ四分ノ一、約五斗ノ收穫ヲ擧ゲルト致シマスナラバ、一年ニ八百五十萬石ト云フ小作料ガ政府ノ懷ロニ入ツテ來ル、其ノ八百五十萬石ト云フ米ヲ假ニ一石三十五圓デ賣拂ヒマスナラバ、二億九千七百五十萬圓ト云フ金ガ政府ノ懷ロニ入ツテ來ル、サウ致シマスナラバ其ノ利子ニ於テ一億四千四百五十萬圓ト云フ利子デアリマシテ、優ニ一億圓以上ノ金ガ政

府ニ殘ルノデアリマス、又第二ノ計算ト致シマシテ一反四百圓ト假定スル、サウシテ小作料ヲ收穫ノ三分ノ一ト假定致シマス、其ノ計算ニ於テハ土地證券ノ發行ハ六十八億圓、利子ガ二億四百万圓、國家ノ收入致シマス所ノ米ガ一千九百九十九萬石デアリマシテ、其ノ金ガ四億一千四百六十五萬圓デ、利子ヲ差引キマシテモ約二億圓近イ所ノ金ガ殘ルノデアリマス、此ノ方法ヲ斷行致シマスレバ、ドウ云フ結果ニナルカト申シマスレバ、私ハ政府ハ相當ニ儲カル、現在小作地カラ上ツテ居ル所ノ地租ト云フモノハ、二千萬圓カ三千万圓ノモノデアリマスカラ、ソレダケノ收入ヲ得レバ國家ノ收入ハ減少シナイ、少クトモ一億圓ナリ二億圓ノ金ハ殘ル、而モ之ヲヤリマスレバ小作爭議ト云フモノハ全然ナクナツテ、何モ自作農創定ト云フヤウナコトニ拘ヘラナクテモ、小作爭議ハ完全ニナクナル、地主ノ方ハ豐凶ニ依ツテ小作料ヲ取ツタリ取ラナカツタリスルト云フ煩雜ガナクナツテ、其ノ利益ト云フモノハ少クトモ安定スル、今日農業生産ト云フコトニ付テハ地主ハ年三分ニ廻レバ結構ダ、之ニ依ツテ安定スル、小作人ハ小作料ガ輕減サレテ、又自己ノ所有地ニ對シテ小作權ト云フモノガ確定スル、今マデハ

何時土地ヲ取ラレルカモ分ラナイト云フ不安ガアル爲ニ、農村ニ於テハ相當生産力ガ減少シテ居ル、併シ國家ノ土地ヲ小作人ガ耕作スルト云フコトニナレバ、小作人ト云フモノモ十分ニ安定スル、而モ私ガ本問題ガ米穀政策ニ不可分デアルト云フ立論ヲスルニ付テハ、重大ナル私ノ發見ガアルノデアルカラ、農林大臣ハ能ク聽イテ貫ヒタイソレハドウ云フ發見カト云フト、政府ガ米ノ生産手段デアアル土地ト云フモノヲ所有シテ、日本一ノ大地主ニナル、一年ニ八百万石カラ一千萬石ノ米ガ政府ノ方ニ入ツテ來ル、今日ノ移動米ノ大半ト云フモノハ、小作米トシテ政府ニ流レ込ムト云フ一ツノ力ヲ握リマスレバ、政府ノ米穀政策ト云フモノノ根幹ガ之ニ依ツテ出來ルノデハナイカ、今マデノヤウニ政府ガ金ヲ持出シテ買フ、或ハ買ツタ米ヲ苦勞シテ賣ルト云フヤウナ、賣買ニ依ツテ米價ヲ調節スルト云フノデハナク、政府ガ小作地カラ一千万石以上モ小作米ト云フモノヲ取ツテ、之ニ依ツテ米價ヲ決定スルト云フ力ヲ持ツナラバ、是位名案ハナイ、今日國內ノ問題トシテ複雑多様ナル所ノ土地制度ト云フモノモ、農林大臣ノ斷ノ一字デ解決スル、是ハ決シテ現在ノ經濟制度ト云フモノヲ破壊スルヤウナ

極端ナ議論デハナイ、今日ノ進歩シテ居ル經濟ノ水準カラ行ケバ、是位ノコトハ革新デモ何デモナイ、唯要ハ難シイ、無理ダト云フコトカラ歷代ノ農林大臣ガ土地政策ニナルト皆之ヲ除ケテシマフ、外ノ問題ニ付テハ議員ノ全部ガ賛成ダカラ之ヲヤル、土地問題ニナルト議員ノ間ニ摩擦ガ起ルト云フヤウナコトデ、ナツトモ是ガ出來ナイ、櫻内農林大臣ハ此ノ點ニ付テ少クトモ大先輩デアアル、此ノ土地問題ニ對スル所ノ解決ト云フモノヲ、力ニ依ツテ一ツヤツテ見ヨウト云フ位ナ決心ヲ以テ、非常時農林大臣ノ覺悟ヲ持タレルコトガ、私ハ櫻内農林大臣ノ當然ノ義務デアルト考ヘルノデアリマスガ、以上私ノ申上ゲタ點ニ付テ、直チニ以テ之ニ贊否ト云フコトヲ仰シヤルコトハ出來マイト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ考ヘ方、斯ウ云フ思想、茲ニ土地問題ノ重大性ガアルト私ハ信ズルノデアリマスガ、農相ノ所見ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 小作地國有論ニ付テ平野君ノ御高見ヲ拜聽致シタノデアリマスガ、是ハ地主對小作ノ關係ヲ解決スル一案トシテ、尊重シテ研究スルダケノ値打ガアル問題ト思ヒマス、併シナガラ直チニ此ノ問題ヲ實行致ス上ニ於キマシテモ、或ハ此ノ利子ガ少シ高イトモ見ラレ安イトモ見ラレル、又地價ガ所ニ依ツテ高イトモ安イトモ見ラレル、御承知ノ如ク地所ニ付キマシテ、從來一反歩ノ十圓ノ所モアレバ三百圓ノ所モアリ、二百圓ノ所モアル、無論賃賃價格其ノ他ヲ斟酌スルノデアリマセウガ、兎ニ角ソレハ大仕掛ナ仕事デアリマス、ソレカラ机ノ上デ算盤ヲ取りマス、之ニ依ツテ直グニ利益ガ得ラレルヤウニモ見ラレマスケレドモ實際ニ於テハ之ニ取扱ノ關係、種種多ナ色々ナ關係ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、平野君ノ御意見ヲ實行致スニ致シマシテモ、是ハ幾多ノ調査ヲ致サナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマス、併シ私ハ平野君ノ御意見ヲ、全然ハ顧ミルノ必要ガナイモノダト云フ譯デハナイノデアリマス、御意見ノアル所ヲ拜聽シテ、將來此ノ問題ヲ解決スル案ヲ作成致シマス所ノ參考ニ致シタイト思ツテ居リマス

○平野委員 此ノ案ニ付テハ是以上ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセス、ソコデ希望ヲ申上ゲマスガ、我國ノ農民行政ニ於テ遲レテ居ルノハ、ヤハリ先程申上ゲタ土地問題デアリマス、農林大臣ハドウカ只今ノ御言明ニモ從ヒマシテ、比較的近イ中ニ、可及的ニ早く農村土地制度改革調査會ヲ御作

リニナル意思ハゴザイマセスカ、私ハ是ハ
洵ニ只今大臣モ色々仰シヤイマシタヤウニ
重大問題デアルト思フ、殊ニ吾々ノヤウナ
農民議員カラモ、斯ウ云フヤウナ具體案マ
デ提ゲテ、相當ニ當局ニ希望スルト云フ所
マデ來テ居ルノデアリマスカラ、問題ハ固
ヨリ單アル一部分ノ問題デアリマセヌ、

言換ヘレバ國家ノ大問題デアリマス、農林
大臣ハ比較的近い中ニ於テ、農村土地制度
改革調査會ヲ御作リニナツテ、本問題ニ對
スル所ノ一ツノ調査研究ヲ遂ゲラレル所ノ
御意思ガナイカ、御答辯ヲ願ヒマス

○櫻内國務大臣 斯ウ云フ問題ニ付キマシ
テハ、當局トシテ兎ニ角是レノ問題ニ
對シテハ、之ヲ研究スレバ大凡見透シガ付
ク、サウシテ是レノ問題ニ對シテ朝野
ノ權威ノアル方々ノ意見ヲ聽ク、斯ウ云フ
ヤウナ見透シノ付キマシタ時ニ、多ク委員
會ヲ開イテ居ルノデアリマス、併シサウ云
フコトニ關セズ、唯斯ノ如キ問題ニ對シテ
意見ヲ御持チニナツテ居ル方々ノ御集リヲ
願ツテ、其ノ意見ヲ聽クコトモアルノデア
リマス、隨ヒマシテ今私ガ土地問題ニ關ス
ル調査委員會ヲ設ケルトカドウスルトカ云
フナヤウナコトハ、今少シ實際ニ當ツテ
研究ヲ致シタ後デナケレバ、之ヲ明言致シ

兼ネマスルケレドモ、少クトモ本問題ニ對
シマシテハ、十分ニ研究ヲスルト云フコト
ダケハ申上ゲテ置キマス

○平野委員 其ノ次ノ問題ハ、簡單ニ一寸
商工省ニ聽キタイノデアリマスガ、ソレハ
農具デアリマス、是ハ大體殆ド盡キテ居ル
ヤウニ思フノデアリマスガ、最近ノ農具ニ
對スル傾向ヲ見マス、農具價格ノ決定ガ非
常ニ紛糾ヲシテ居リマシテ、現在ノ商工省
ニ於テ御決定ニナツテ居ル所ノ農器具ノ價
格等ニ依リマス、農器具業者ガモウ農具
ヲ造ラスヤウニナツテ居ル、具體的ニ申シ
マス、製繩機或ハ脱穀機、繩仕上機等ニ於
テハ、モウ業者ハ既ニ之ヲ造ラナイト云フ
ノデ、大體ニ於テ此ノ生産ヲ中止スル、斯ウ
云フ傾向ニアルト見テ居ルデアリマスガ、
斯ウ云フコトハ實際問題カラ行キマス、
現在脱穀機ガ要ル譯デハナイ、現在製繩機
ガ要ル譯デハナイト云フノデ、農村ノ方ニ
ハ影響ガナイカモ知レマセヌケレドモ、實
際ニ於テハ問題ニナツテ居ルト思ヒマス、
現ニ私ガ聞イテ居リマス新潟縣ノ或ル地方
ニ於テハ、「ゴムローラー」ヲ農家ガ買ヒニ
行ツタ所ガ、實際ニ於テソコニナカツタ、
商賣人ノ方ニ於テハナイカラナイと言ツタ
所ガ、農民ガ二階マデ上ツテ行ツテ、實際

ナイカドウカト云フコトヲ確メテ歸ツタト
云フ事實マデアル、是等ノ事實ヲ見マシテ
モ、如何ニ農具ノ不足ト云フコトガ、相當
農民ノ間ニ深刻ニナリツツアルカト云フコ
トガ分ルト思フノデアリマスガ、今日ノ情
勢ニ於テ農器具對策トシテ、農林省、商工
省ガ萬遺算ナイ所ノ對策ヲ立テテ居ラレル
カ、今申上ゲタヤウナ具體的ノ事例ニ付テ、
相當危險ガアルト思フノデアリマスガ、御
答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

○新倉政府委員 農器具ノ價格ニ付キマシ
テハ、大體農器具ノ生産者、農器具ヲ需要
セラレル方面、其ノ他ノ關係方面デ檢討致
シマシテ、一應決メテ居リマスガ、此ノ價
格ガ今御話ニナリマスヤウニ、製造家ニ於
テ非常ニ引合ハナイ價格デ、其ノ爲ニ生産
ガ減退スル虞ガアリハセスカト云フ點ニ付
キマシテハ、實ハ私モ多少方々カラ聽カサ
レテ居リマス、サウ云フコトニ相成リマシ
テハ、非常ニ重大ナ結果ヲ來タスト思ヒマ
シテ、目下研究ヲ進メテ居リマス、左様御
承知ヲ願ヒマス

○平野委員 一寸農林大臣ニ伺ヒマスガ、
農器具ノ問題モ段々ニ重大ナノデスガ、
是ハ他ノ同僚諸君カラモ話モアツタヤウ
ニ、相當農器具界ハ現在革命ノ時代デス、

言換ヘマスナラバ、從來ノ農器具ト云フモ
ノハ實ニ千差萬別デアツテ、農民ニ之ヲ賣
付ケルニハ、廣告ヲ以テ相當賣ツテ居リマ
ス、又農林省ニ於テハ大日本農器具協會ト
云フモノガアツテ、「マーク」ナドヲ貼ツテ
ヤラシテ居リマスガ、農民カラ言ヒマス
洵ニ煩雜デアアル、一體脱穀器ハ何處ノ脱穀
器ガ一番良イノカ、又護謄「ローラー」ハ何
處ノ製品ガ一番良イノカ、或ハ製繩器ハ何處
ノ製品ガ一番良イノカト云フヤウナ問題ニ付
テハ、モウ少シ農林省ガ其ノ農器具ノ種類
ニ付テ監督ヲスル必要ガアルト同時ニ又殊
ニ鐵ノ配給ガ相當統制サレテ居ル時ニ、無
駄ナモノヲ作ルコトハイケンイカラ、成ベ
ク優良ナモノヲ作ツテ、農器具對策ヲ立テ
ルト云フコトハ、是ハ又増産計畫ト不可分
ノモノデアリマスガ、ドウモ從來ノ農林省
ノ態度ヲ見マス、マダ不徹底デ案ガナイ
ヤウデアリマス、噴霧器ナラ噴霧器ダケノ
問題ヲヤツテ居ル、「ローラー」ナラ「ロー
ラー」ノ問題ダケヲヤツテ居ル、農器具全
般ニ對スル計畫ト云フモノガナイ、先ニモ
私ガ申上ゲタヤウニ、米ヲ作ルト言ツテモ
一ツヤ二ツノ機械デハ出來ナイ、一ツノ系
統的ナ機械ト云フモノガ要ル、斯ウ云フコ
トノ御調ガナイヤウデアリマスガ、農林省

ニハ相當農器具ニ對スル技術官ガ居ル筈デアリマスカラ、名付ケテ申シマス、農器具ノ國家管理ト申シマス、農器具國策——對策ト申シマス、今少シ計畫的ノ見地ニ立ツテ、農器具ノ對策ト云フモノヲ御立デニナラナケレバ相成ナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ對スル大臣ノ御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ問題ハ詳細ニ互ル問題デアリマスカラ、政府委員カラ答辯致シマス

○小濱政府委員 御承知ノ通り日本デ農器具ヲ使ヒマスコトハ、段々農業ノ發達ニ伴ヒマシテ、勞力ヲ如何ニ「セーブ」スルカト云フ方面カラ農器具ガ段々入ツテ参リマス、隨テ農器具ガ漸次發達シテ参ルノデアリマシテ、製造業者ノ方ニ於キマシテモ、亦使ヒマス農民ノ方ニ於キマシテモ、此ノ點ハ斯ウ變ヘタ方宜イト云フヤウナ、色々ナ經過ヲ辿ツテ發達致シテ居リマスノデ、農器具ハ斯ノ如キ種類ノモノガ宜シイト云フコトヲ、一律ニ決メ兼ねルト云フヤウナ狀態デゴザイマス、唯色々ニ賣ラレテ居リマスマノノ中デ、如何ハシイト思ハレルモノハ成ベク農家ガ之ヲ買ハヌヤウニト云フノデ、農器具業者ノ製造致シマスモノノ中デ、

農器具ノ品評會ヲ開會致シマシテ、推奨ニ値スルモノニ付テハ之ヲ推奨スルト云フ風ナコトヲヤツテ参ツテ居ツタヤウナ狀態デゴザイマスカラ、其ノ點ハ宜シク一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平野委員 此ノ際委員長ニ御願申上デマシガ、昨日モ本委員會ニ於テ、臨時物資調整局ヲ内閣ノ直屬トスルカト云フ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ企畫院總裁ハ答ヘラレナイト云フノデ、總理大臣ノ答辯ヲ要求シ——是ハ西川君モ同様ニ要求シテ居ラレマスガ、適當ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスガ……

○添田委員長 昨日ノ御話ハ、總理大臣ト御相談ノ上デ答辯シテ貰ヒタイト云フ風ニ聽イタノデスガ……

○平野委員 ソレハドチラデモ宜シイ、總理大臣ガ直接見エテモ宜シイシ、企畫院總裁ガ總理大臣ト相談ノ上デモ宜シイノデスガ……

○添田委員長 其ノ點私カラ御傳ヘ致シマセウ

○平野委員 ソレデハ次ニ農林大臣ニ此ノ法案ノ内容ニ付テ、他ノ同僚諸君ノ御質問ニナラナカツタ問題ヲ二三承リタイト思フノデアリマス、本案ノ一番重要ナ部分ハ——

日本米穀會社ノ内容ニ付テ相當數字ノ御質問ガアリマシタガ、此ノ執行機關、言ヒ換ヘマスレバ會社ノ重役、是ハドウセ半官半民ノ會社ニナルノデアリマスガ、此ノ重役ハドウ云フヤウニシテ御決メニナルカ、其ノ點ヲ出來ルダケ詳細ニ御考ヲ御發表願ヒタイト思ヒマス、此ノ米穀會社ト云フモノニ付テハ大體輪廓ハ分ツタノデアリマスガ、一體ドウ云フヤウナ方法ニ依ツテ、此ノ會社ノ重役ヲ御決メニナルカ、之ヲ一ツ御聽キシタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 理事長ト副理事長ハ政府ニ於テ任命スル考デアリマス、政府ニ於ケル任命ハ、申スマデモナク農林、商工、大藏等ニ於テ協議シテ、相當識見アリ、手腕アル人ヲ任命致シタイト思ツテ居リマス、他ノ重役ハ會社ニ於テ選舉致シテ参リマシタノヲ政府ニ申請ヲサセマシテ、サウシテ之ヲ適當ナリト認メタ場合ニ於テ認可致スコトニナツテ居リマス

○平野委員 モウ少シ具體的ニ承リマスガ、理事長ト副理事長ト云フモノハ、生産者側、消費者側ト云フヤウナ意味ニ於テ考ヘラレマス、或ハサウ云フ生産者側、消費者側ト云フ意味ニ於テハ考ヘラレナイ、純粹無垢ノ、ドツチデモナイト云フヤウナ者ヲ選バ

レルヤウナコトニナリマス、理事長ハ生産者側トカ、副理事長ハ消費者側ト云フ風ニヤレルカ、サウ云フ點モ實ハ心配ナノデアリマスカラ、其ノ點ヲ一ツ御聽キシタイ

○櫻内國務大臣 生産者側、消費者側、或ハ第三者ト云フコトハ、總テ限局サレテ居リマセヌ、ドノ方面カラデモ適材適所ノ人ヲ任命シ得ルノデアリマシテ、各省ノ間ニ協議シテ任命スルコトト相成ルト思ヒマス

○平野委員 其ノ適材適所ト云フコトハ、ドウ云フコトヲ基準トシテ適材適所ト判斷サレマスカ

○櫻内國務大臣 ソレハ見方デアリマシテ、此ノ會社ヲ經營シテ行キマスノニ、ソレニ適當ナル才幹ガアルカナイカト云フコトハ、ソレハ自ラ見方ニ依ツテ考ガ違フノデアリマシテ、即チ協議ノ上此ノ人ナラバ適當ナリト、斯ウ思フ人ヲ推薦致スコトト相成ルノデアリマス

○平野委員 ドウモハツキリシマセヌガ、大臣ハ此ノ點ヲ割合ニ簡單ニ御考ニナツテ居ラレル、實際問題ハサウ云フコトニアル、從來ノ半官半民ノ會社デ適當ト云フノハ、所謂練達堪能ナ士ガナイノデ、好イ頃加減ニ持ツテ行ク、ソシテ好イ頃加減ニ持ツテ行ツテ出來損ナツタ場合ニハ、其ノ人ハ何

處カへ行ツテシマフト云フ、サウ云フコトハ怪シカラスト思フ、マサカ櫻内農林大臣ハ此ノ重要法案ヲサウ簡單ニハ考ヘテ居ラレスト思フガ、事實ハサウ云フ點ニ付テ、斯ウ云フ委員會デ相當安心ヲ與ヘラレルトガ、答辯者トシテ必要ナコトデアルト思ヒマスノデ執拗ニ聽クノデアリマス、ソレデ此ノ會社ノ理事、重役ト申シマスガ、規約ニ依リマスト理事デスガ、ヤハリ是ハ消費者、生産者ト云フコトガ勢ヒ問題ニナツテ來ル、其ノ時ニ具體的ニ申シマス、生産者代表ト云フモノモ、當然此ノ理事ニ加ヘラレコトニナラウト思ヒマスガ、無論生産者代表ト云フコトニ付テモ、之ヲ具體的ニ申シマスト相當複雑ニナリマスガ、大體考ヘテ見テ、生産者代表ト考ヘラルル人が當然此ノ理事ニナレルト、吾々ハ信ジテ、居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ間違ヒゴザイマセスカ

○櫻内國務大臣 ソレハ生産者側ノ代表ノ方ガ、其ノ理事ノ候補者トシテ政府ニ推薦サレテ、其ノ人が適當ナリト認メラレマスレバ政府ハ認可ヲ與ヘルノデアリマス

○平野委員 ドウモ此ノ點ノ答辯ハ、甚ダ飽氣ナク答辯ヲサレテ居リマスガ、別ニ決シテ言質ヲ取ラウナドト思ツテ言ツテ居ル

ノデハナイノデ、要ハ此ノ會社ガ出來テモ會社ノ運用ト云フコトニ相當重點ガアルノデ、私ハ實際此ノ法案ト云フモノハ、ドウセ法文其ノモノハ大シタコトハナイト思フ、複雑ナ細カイ所ヲ突込メバ幾ラモアリマスケレドモ、問題ハ此ノ會社ノ運用ガ巧ク行クカドウカト云フコトニ、本案ニ對スル所ノ生産者ノ生命モ、消費者ノ生命モアルト云フコトニナル、又價格ノ問題ハ米穀統制法デ決メラレルト言ハレルケレドモ、實際ハ會社ノ理事トカ幹部ト云フモノガ、相當ニ價格ノ決定ニ重大ナ關係ヲ持つト云フコトハ、當然ナノデアリマスカラ、今少シハツキリ——大體生産者側モ満足ヲシ得ルヤウナ人選デアルト、私ハ解釋ヲシタイノデアリマスカラ、此ノ問題ハサウ云フ言葉デ、御答辯ガ出來ナイトスレバ、大體サウ云フ趣意ニナルノデアルト云フ安心シ得ルヤウナ答辯ガ戴イテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 度々申シマス通り、此ノ理事長副理事長ヲ選任致シマスニ付キマシテモ、私ダケノ專斷デ決メル譯デハナイノデアリマシテ、即チ私ガ假ニ農林省トシテ生産者側ノ意見ヲ持つテ居リマスレバ、商工省ハ消費者側ノ意見ガアル、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、其處ニ大藏大臣ナド

ノ關係モアリマスノデ、皆協議シテ此ノ人ナラバ適當ニ此ノ經營ガ出來ル、斯ウ云フコトニ決定シマシタ時ニ、初メテ任命ヲ致スノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ私ハ御心配ノヤウナコトハナイト思フノデアリマス、勿論平野君ノ仰セノ通り、何レノコトデモ運營ノ局ニ當ル人ノ如何ニ依ツテ決リマス、私ハ平素カラ先ヅ如何ナルコトデモ第一ガ人デアルト云フ考ヲ持つテ居リマス、其ノ人選ニ付キマシテハ十分ニ注意致シタイト思ヒマス、ソレ以外ニドウモ今日、誰ヲ出シテ、ドウ云フ方面カラドウ云フ風ニスルカト云フ風ニ、各團體別ニドウトカスウトカ云フコトヲ、今申上ゲルヤウナ所マデ相談ヲ致シテアリマセヌノデ、唯吾々ガ誠心誠意寄ツテ、理事長、副理事長ニ付キマシテハ公平ニ選任致シタイ、其ノ他ノ理事ニ付キマシテハ會社ノ方ノ申請ニ依リマシテ、其ノ適否ヲ調べテ、適當ナルモノト見レバ認可ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニ御承知願ヒタイ

○平野委員 次ニハ、會社ノ決議ニ依ツテ市場員ニ對スル制裁ガ出來ルヤウニナツテ居ル、ソコデヤハリ此ノ理事者ノ問題ガ先程申上ゲタヤウニ相當重大ニナルノデスガ、此ノ制裁ト云フモノヲ會社ニ任セルト云フ

コトハ、先程關聯シタヤウニ、會社ノ理事ト云フモノニ對シテ全幅ノ信賴ガ出來ルナラバ、任カシテモ宜イト云フヤウニナルノデスガ、若シサウデナイト云フコトニナルト、是ハ非常ニ重大問題ニナツテ、政府ノ力デ除名スルト云フコトニナツテ居ルケレドモ、一面業務ヲ停止スルト云フヤウナコトハ、會社デ出來ルト云フヤウナコトニナツテ居リマス關係上、問題ノ重點ハ本法ノ運用ノ中心ガ、斯ウ云フ所ニ移ツテ來ルト思フノデ、此ノ制裁ノ規定ニ付テ、只今大臣ガ御答辯ニナツタヤウナ執行機關ノ御選任者ニ於テ、安心ガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ、尙ホ一ツ御答辯ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 市場ノ規定ニ付キマシテハ、豫メ認可ヲサセマスノデアリマスカラシテ、御話ノヤウナコトノ御心配ハナイト思ヒマス

○平野委員 其ノ點ニ付テハ是非相當ナル考慮ヲ拂ハレンコトヲ、特ニ農林大臣ニ希望ヲシテ置キマス、其ノ次ハ、本案ハ農林商工ノ共管ニナル問題ガ非常ニ多イ、共管ト云フノハ既ニ相當農林省ト商工省トノ間ニ於テ、問題ヲ起シテ來テ居ルノデスガ、唯漠然ト共管ト云フヤウナコトヲ決メテ置カレテモ不安心ナノデスガ、字句ハドウデ

モ宜シイガ、同ジ共管デモ農林省ノ方ガ先ニ原案ヲ作ツテ、商工省ニ示シテ行クト云フヤウナ事務的ナ意味ニ於テハ、農林省ノ方ガ主管デアルト、斯ウ云フヤウニシテ貴ヒタイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ如何デスカ

○櫻内國務大臣 此ノ中ノ特別ナルモノノ外ハ共管ニナリマス、併シナガラ無論發案ハ農林當局カラ出シテ、協議シタ上デ決定ヲ致スコトニナルノデアリマス

○平野委員 此ノ點モ一ツ實際問題トシテ、農林商工ノ共管デアツテ、兩方トモ意見ガ巧ク合ハナイ場合ニ於ケル從來ノヤウナ弊害ノナイヤウニ、特ニ一ツ農林大臣ニ希望ヲシテ置クノデアリマス、尙ホ私ハ臺灣朝鮮ニ關スル農業政策ノ問題ニ付テ、若干承リタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、只今質問者ハマダ非常ニアルト云フ御話デアリマスノデ、一應私ハ此ノ邊デ質疑ヲ中途ニシテ置キマシテ、尙ホ委員長ニ御願致シマスルガ、最後ニ時間ガアリマスルナラ、モウ少シ臺灣朝鮮ノ問題ニ付テノ質問ノ機會ヲ御許シ願ヒタイ、ソレヲ希望シテ一旦中止シテ置キマス

○添田委員長 村松君

○村松委員 私ハ二三點御尋致シタイト存

ジテ居リマシタガ、時間ノ關係モアルヤウデアリマスノデ、唯一點ダケ御尋ヲシタイト存ジマス、戰時米穀政策ノ重點ハ配給ヨリモ生産ニアリト考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ヲ重大ニ存ジテ居リナガラ其ノ點ノ質疑ヲ致シマセヌデ、直接本法案ノ内容ニ關シテ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、曩ニ私ハ豫算總會ニ於テ此ノ問題ニ付テ御尋ヲ致シマシタ際ニ、本會社法案ノ運用ニ依ツテ出來上リマスル米穀ノ價格構成ガ、相當ニ重視セラレナケレバナラスト云フコトヲ申上ゲデアツタト思フノデアリマス、ソコデドウ云フ點カラ左様ナ考ヘ方ガ出來ルカト申シマス、一ツ是カラ色々展開ヲシテ御聽キ致シタイト思フ、ソコデ其ノ考ヘ方ヲ明瞭ニ致シマス爲ニ、一應ノ私ノ意見ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス、私ガ考ヘマスルノニハ、此ノ會社ニ依ル所ノ市場ノ操作ニ依リマシテ、全ク自由ナ任意的ナ價格ヲ構成スルコトガ出來ルノダ、左様ナ價格形成ガ出來ルノダト云フ御考、有ユル條件ヲ考ヘテ見マシテ左様ニ自由ニ出來ルノダト云フ御考ハ、恐ラク農林省ニ於テハ持ツテ居ラレナイト考ヘルノデアリマス、若シ米價ガ全ク自由任意ナ點ニ釘付ケスルコトガ出來ルト御考ニナ

ルナラバ、ソレハ私ハ大ナル誤デアルト思フ、簡單ニ申シマシテモ、出廻リノ時期モアレバ、或ハ端境ノ時期モアル、豐凶、又農民ノ資力ノ問題、物價其ノ他ノ經濟事情、斯ウ云フヤウナコトガ色々重ツテ來ルノデアリマスノデ、本會社ノ市場ニ依ツテダケデ、ソレデモ自由ノ價格ガ出來上ルノダト御思ヒニナルコトハ私ハナイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ關シテ先ヅ一應承リタイト思ヒマスノハ、此ノ法案ガ成立致シマス、政府ノ力ガ極メテ強大ナモノニナルノデアツテ、其ノ強大ナ力ヲ以テ、或ル政府ノ豫想スル價格ヲ市場ニ押付ケヨウトスルヤウナコトガアルト致シマス、是ハ飛シデモナイ不測ノ禍ガ起ルト云フコトヲ十分ニ御考ニナラナケレバナラスト問題ダト思フノデアリマス、ソコデ私ハ分リ切ツタヤウナ話デアリマスガ、政府ガ此ノ市場ニ依ツテドウ云フ價格ヲ形成シ得ルト御見込ニナツテ居ルノデアルカ、之ヲ逆ニ申シマス、トシテ米穀事情ノ下ニ於テモ、此ノ會社ニ依リマシテ政府ノ希望スルガ如キ價格ガ出來上ルノダ、斯ウ御考ニナツテ居ルカドウカ、之ヲ先ヅ最初ニ御尋シテ置イテ本論ニ入ツテ參リタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 村松君ノ御質疑ノ點ハ洵ニ重要ナ點デアルト思ヒマス、如何ナル場合ニ於テモ政府ガ天降リノニ米價ノ最高最低ヲ決メテ、其ノ範圍ニ於テ總テノ取引ヲ強要スルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ御趣旨ダラウト思ヒマス、私ハ斯ウ思ヒマス、經濟上ノ原理ト申シマス、大勢ト申シマス、是ハ或ル程度ハ人力ヲ以テ左右致サレマスケレドモ、之ヲ一部ノ政府ノ力、官吏ノ力ニ依ツテ左右致スコトハ到底不可能デアルト思ヒマス、ソコニ於テ此ノ米價ノ問題ヲ決定致シマスノニハ、ドウシテモ公正ナル立場ニ於テ、此ノ値段ガ生産者ニ取ツテモ不利益デナイ、又消費者ニ取ツテモ不利益デナイ、兩方面カラ見テ是ガ適正ノ價格ダト云フ價格ガ、茲ニ政府ガ指導シテ行クニ非ザレバ、到底ソレハ永續ノ致シマセヌケレバ、其ノ價格ガ安定致サナイト思ヒマス、唯政府ノ指示ニ依リ、指導ニ依リ、或ハ種々ナル特異的行爲ニ依ツテ不公正ナル價格ガ茲ニ生レタ時ニ、之ヲ公正ニ直スト云フ事柄ハ私ハ本法ノ發動ニ依ツテ爲シ得ルト思フノデアリマス、故ニ此ノ第七條ニ於ケル所ノ最高最低ノ價格ニ付キマシテハ、申スマデモナク米穀統制法第二條ニ依ツテ決定サレルト思ヒマスガ、

此ノ統制法ニ依ル價格ニ付キマシテハ、從來ニ於テモ各方面ノ權威者ガ出ラレテ種々研究セラレテ居ルノデアリマスガ、更ニ一層此ノ問題ニ對シテ慎重ヲ期シテ、苟モ間違ツタ最高最低ヲ決メナイヤウニ致サナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス

○村松委員 時間ガナイノデ、餘リ極端ノ例ヲ舉ゲテ申上ゲマシタガ、其ノ御答ニ依リマシテモ、私或ル一ツノ考ガ浮シダノデアリマス、只今御答ノ趣旨ヲ要約致シマス、御言葉ノ中ニモ、或ル程度以上ノ經濟事情ノ變化ガ起レバ人力デハ是ハ到底出來ナイト云フ御話モアツタノデアリマスガ、ソレヲ更ニ一般ノ場合ニ當嵌メテ直シテ考ヘテ見マス、要スルニ本市場ノ價格形成ト云フモノハ、普通一般ノ場合ダケガ其ノ價格ヲ公正ニ形成シ得ルノデアツテ、普通以外ノ米穀事情ガ起ツタ場合ニハ是デハ到底出來ナイノダト云フ風ナ趣旨ニモ聽カレルノデアリマス、更ニ具體的ニ申シマス、最高最低ノ米價ノ決定ト云フモノハ家計費及ビ生産費ニ依ツテ決定セラレマスガ、價格ト云フモノハ需要供給ニ依ツテ決定セラレルノデアツテ、アノ米穀統制法ニ依ル所ノ最高最低ノ公定値段ト云フモノト、需要供給ト云フモノハ、全然別個ノ動キヲ爲シテ居ル、是ハ

全國一般ニ言ツテモサウナリマスシ、又局部的ノ市場地區内ニ於テモ、常ニ需要供給ノ變動ガ、最高最低ヲ決定スル標準ト無關係ニ動イテ居ルト云フコトハ是ハ御承知ノ通りデアルト思ヒマス、サウ云フコトヲ考ヘテ參リマス、結局最高最低ノ公定米價ハ決定シタ、是ハ或ル方面カラ見レバ公正デアツタ、併シナガラ需要供給ノ關係カラ言フト時ニ最高米價ヲ突破シ、或ハ最低米價ヲ下ル場合ガアリ得ル、其ノ場合ニ於テ此ノ市場ノ操作ニ於テ尙且ツ其ノ最高最低ノ中ニ之ヲ押込メルコトガ出來ルカドウカ、是ガ可ナリ重要ナ問題ダト思フノデアリマス、モウ一度ココヲ繰返シテ申シマス、最高最低ト云フモノノ値段ヲ決定致シマス標準ト、需要供給ト云フヤウナ關係カラ動く値段ト云フモノガ違フノデスガ、此ノ違フ場合ニ於テ、他ノ標準ニ依ツテ決定セラレタ範圍内ニ、需要供給ノ關係ヲ離レテ、其ノ範圍内ニ價格ガ決定スルノダ、斯ウ云フヤウナコトニ聞エルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニノミ本市場ニ於テノ價格操作ガ出來上ルノダ、其ノ他極端ナ場合ニ於テハ此ノ市場ニ於テノ價格操作ハ出來ナイノダ、斯ウ云フ風ニ聞カレルノデアリマスガ、御意見ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 私ノ申上ゲタ言葉ガ足ラヌカトモ思ヒマスガ、私ノ申上ゲタノハ、勿論需要供給ノ關係ニ於テ物價ハ定マルノデアリマス、併シナガラ日本ノ全體ノ總體のカラ見て需要ニ應ズルダケノ品物ガアツテモ、一部ニ偏在シテ居ルガ爲ニ、各地方ニ於テ需要ヲ滿スコトノ出來ナイト云フヤウナ場合ガアル爲ニ、一部のノ相場ノ變動ガアツテハナラス、同時ニ之ヲ圓滑ニ配給ヲシナケレバナラナイ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、若シ今ノ御話ノ最低ノ場合ニ於テ、最低ヲ潜ルト云フ場合ガ來タ時ニ於テ、ドウ云フ働ヲ爲スノカト云フ點ニ付キマシテハ、申スマデモナク自治管理法案ノ發動ヲ見マシテ、次イデ米穀統制法ノ發動ニ依ツテ政府ガソレヲ買上ゲレバ、其ノ價格ハ維持スルト考ヘマス、最高ノ場合ニ於テドウナルカ、是ガ一番難カシイ問題ダト思ヒマス、最高ノ値段ガ適正ニ決メラレテアル場合ト致シマスナラバ、最高ノ價格ヲ突破致ス場合ガ、即チ需給關係ヲモ考ヘラレ、生産費ヲモ考ヘラレ、或ハ有ユル方面ノコトガ考ヘラレテ、其ノ決定セラレタル最高價格ガ適正デアリマスナラバ、其ノ最高價格以上ニナツタ場合ニ於キマシテハ、所謂公定相場ノ發動ト云フモノ

ガ當然私ハ起ツテ來ルト思ヒマス、隨テ是ハ其ノ公定相場ニ依ツテ抑ヘ得ラレルト思ツテ居リマス、併シナガラ若シ需給關係其ノ他ノ關係上、ソレデハ最高ヲ抑ヘ得ベキモノデハナイト云フヤウナ異常ナル變化ガ起リマシタ場合ニ於テハ、所謂米穀法第二條ニ於ケル異常ナル變化ノアル場合トシテ、ソコデ更ニ統制委員會ノ議ニ依ツテ、最高値段ヲ上ゲルト云フヤウナコトモ出來得ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ操作ハ、本法ノ規則ニ依ル働キハ公正ナル價格ニ依ツテ圓滑ナル配給ヲスル、此ノ點ニ付キマシテハ遺憾ナキ活動ガ出來ルト思ツテ居ルノデアリマス

○村松委員 只今ノ御答辯ニ於テ二ツノコトヲ諒承スルト共ニ、一ツノコトニ疑問ヲ懷イテ居リマス、諒承致シマシタ點ハ、要スルニ一部分ノ相場ノ變動ト云フモノハ、之ニ依ツテ十分公正價格ヲ實現スルコトガ出來ルノデアルト云フコトハ、私ソレハ分リマス、ソレカラモウ一ツ諒承致シマシタ點ハ、要スルニ最高最低ト云フモノヲ突破スル、或ハ之ヲ上下ニ突破スル場合ニ於テハ、本法ノ發動ニ依ツテ出來ルノデヤナイ、米穀統制法或ハ其ノ前ニ米穀自治管理案ニ依ツテ價格ノ操作ヲスルノデアルト云フコトニナルト思

フノデアリマス、サウナツテ参リマスト疑問ガ起ツテ來ルノハ、此ノ會社案ニ依リマシテ價格ノ操作ヲ爲シ得ル範圍ト云フノハ、要スルニ最高値段ガ適正デアアルカ、或ハ最低値段ガ適正デアルト云フ場合ニ、其ノ範圍内ニ於テダケ局部的、地方的ノ米穀ノ偏在ヲ是正スルト云フダケニナルノデハナイカト云フ點ヲ、只今大臣ノ御答ノ中カラ私特ニ感ズルノデアリマスガ、茲ニ一ツノ大キイ問題ガアルノデアリマス、前ニモ申シタノデアリマスガ、最高最低値段ノ公定ト云フモノハ、是ハ需給關係トハ無關係ナノデアリマス、最低ハ御承知ノヤウニ生産費ト物價其ノ他ノ經濟事情、最高ハ家計費ト物價其ノ他ノ經濟事情、需給關係トハ無關係デアアル、此ノ需給關係ニ依ツテ決定セラレルト仰セニナリマシタ大臣ノ御考、之ニ依ツテ價格ノ變動ヲスル、價格ノ變動ハ需給關係ニ依ツテ變動スル、コチラ決定メタ最高最低ト云フノハ、需給關係トハ無關係ニ決定スル、或ル意味ニ於テハ是ハ正シイ、正シイノデスケレドモ無關係ナシテアル、價格ノ變動ハ需給關係デ起リ、コチラ他ノ方面ニ於テ其ノ範圍ニ押付ケヨウトスル、茲ニ價格ノ變動ト最高最低トノ値段ノ決定ト云フモノニ何ノ繋ガリガアルカ、此

ノ繋ガリヲ何處ニ發見スルカ、其ノ繋ガリガアツテ初メテ需給關係ニ依ル所ノ價格ノ變動ヲ、此ノ會社ニ依ツテ抑ヘ付ケルコトガ出來ルノデアリマス、サウデナイ場合ニハ、此ノ會社案ニ依ツテ出來得ルモノデヤナクテ、統制法其ノ他色々ナモノニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、ソコデ此ノ會社市場ニ依ツテ出來上ル價格ト云フモノハ、極メテ平々凡々ナ米穀事情ノ下ニ於テノミ適正ナル價格ガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ疑ヲ持ツノデアリマサルガ、御意見ヲ拜聽致シタイ

○櫻内國務大臣 需給關係一本槍デ價格ガ生レルト云フ意味デハナイノデアリマス、ソコニ少シク相違ガアリマス、要シマスルノニ此ノ市場ニ於テ取引シマスノハ、統制法第二條ニ依ツテ決定致サレタル所ノ最高最低ノ範圍内ニ於テ賣買ヲサセルノデアリマシテ、其ノ以上ニハ一步モ出ナイ譯デアリマス、若シ即チ周圍ノ情勢ガ違ツテ、統制法ノ第二條ノ最高ト云フモノガ變化サレ訂正サレ、或ハ最低ト云フモノガ訂正サレレバ、ソレハ別問題デアリマスケレドモ、然ラザル限りハ此ノ市場内ニ於ケル所ノ取引ハ、其ノ最高ト最低トノ範圍内ニ於テ限局サレテ、需給調節ノ關係ヲ離レテ是ハ取引ガサ

レノデアリマス、今御話ノヤウニ周圍ノ情勢ガ變ツタ場合ニ於テハ、無論統制法ト云フモノノ第二條ハ變ツテ來ルノデアリマセウ、然ラザル限りハ是ハ其ノ範圍内ニ於テ取引ノ強制力ガアルノデアリマシテ、市場外ニ於テハ兎ニ角ト致シマシテ、市場及ビ市場員ノ取扱フモノハ、ソコニ必ズ限定サレテ取引ヲサレルト云フ所ニ本法ノ強制力ガアルト云ヒマスカ、拘束力ガアルノデアリマス、需要ト所謂統制法ノ決定價格トハ違フデハナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、先刻申ス通り、最低ノ場合ニ於テハ政府ハ自治管理法ノ發動ニ依ツテ尙ホ行カヌ場合ニ於テハ、無制限ニ買ヒ得ル、之ニ依ツテ兎ニ角強制力ガアルト思ヒマス

〔委員長退席、長野委員長代理著席〕

上ノ方ニナレバ政府ノ所有米ヲ兎ニ角全部賣出スノデアリマスカラ、是亦相當ナ効力ガアルト思ヒマス、殊ニ此ノ問題ヲ決定致シマスニ當リマシテハ、要スルニ米穀ノ内外地ヲ通ジテノ需給關係ト云フモノガ考慮ニ入ラレテ、相當參酌セラレル餘地ガアルノデアリマスカラ、是亦私ハ含シデ、最高最低ヲ決メル場合ニ於テモ、農林大臣ガ裁定スル時ニ相當ソレヲ考慮ニ入レテ決定ガ出來ル、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス

○村松委員 私ハ斯様ニ諒承致シタノデアリマスガ、間違ツテ居ルナラバ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ本會社ノ市場ニ依ツテ政府ノ求メテ居ル適正價格ト云フモノハ、最高最低ノ間ニ於テ決定セラレベキ米穀事情ノ下ニ於テ、其ノ價格ノ動キヲ調整シテ行クト云フヤウニシカ私ドウシテモ分ラヌノデアリマス、左様ニ私大臣ノ御答ヲ諒承致シタノデアリマス、ソレ以外ノ事情ノ時ハ此ノ會社ノ市場ノ運用ニ依ルノデヤナクテ、別ナ法規ノ發動ニ依ルノダ、斯様ニ諒解ヲシテ宜シイカドウカラ御同致シタイノデアリマスガ、ソレヲナゼ私ガ申上ゲルカト言フト、此ノ統制法案理由書ニ依リマス「平時戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミテ云々」戰時ノ狀態、例ヘバ之ヲ戰争ト云フ意味ニ解釋シテモ宜シイノデアツテ、又左様ナ意味デ御書キニナツテ居ルト思ヒマスガ、需給狀態ノ極メテ激變ノアル場合ヲ豫想シテ、尙且ツ適正ナル價格ガ圖レルノダト云フ提案ノ理由ニナツテ居リマスガ、只今ノ御説明ノヤウニ、需給關係ノ餘リ大シタ變動ノナイ場合ニミ、是ガ適用サレル、或ハ左様ナ時ニノミ效果ヲ發揮スルト云フノデアツテ見マス、此ノ提案ノ理由書ト、此ノ會社ニ依ツテ出

第六類第二十三號 米穀配給統制法案委員會會議錄 第九回 昭和十四年三月十六日

二九

來上リマスル價格ト云フモノトノ間ニハ、非常ナ開キガ出テ來ルノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスカラ、特ニ御尋ヲ致シタ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 村松君ノ御考ニナル點ハ、サウ云フ風ナ御疑ヲ御持チニナルコトモ御尤ト思ヒマスケレドモ、米穀ノ生産ガ國民ノ需要ニ充ツルダケノ數量ニ足ラヌ場合ハドウナルカ、斯ウ考ヘテ見マス

〔長野委員長代理退席、委員長著席〕

是ハ國ノ政策トシテ、米ニ代フルニ他ノ食糧ヲ以テスルカ、或ハ米ヲ外國カラ輸入スルカ、何等カノ手段ヲ講ジナケレバナリマセヌ、是ハ何トシテモ生活必需品デアリマスカラ、適當ナ處置ヲ執ラナケレバナラスノデアリマスガ、只今申上ゲマス通り、此ノ市場ニ最高最低ノ範圍内ニ於テ取引ヲセシメルト云フコトハ、米價ノ安定ト云フコトヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス、米價ノ安定ト云フコトヲ目標ト致シ、其ノ安定ヲスル方法ハドウ云フ方法ニ依ツテ決定スルカト云フト、米穀統制法ノ第二條ニ依ツテ決定サレノデアリマス、此ノ決定ノ如何ハ、只今申ス通り異常ナル變化ノアツタ時ニハ適當ニ變改ハ出來ルノデアリマシテ、大體ニ於テ一年一回決メラレノデアリマ

ス、而シテ今ノ御話ハ唯是ハ其ノ範圍内ニ於テノミ行ハレテ、平々凡々タル狀態ニアリハシナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、私が申上ゲマス所ノ現在ノ日本ノ實情カラ言フト、需給關係ハ平衡ガ取レテ居リマスガ故ニ、左程ニ價格ノ激動ノアリ得ル筈ハナイノデアリマス、唯米穀ノ偏在若クハ配給ノ不圓滑、或ハ思惑買、或ハ前途ノ高イノヲ見越シテ仕舞ヒ込ムト云フヤウナコトサヘナケレバ、是ハ圓滑ニ配給ガ出來ルノデアリマス、故ニ此ノ配給ヲ完全ニ致シマスガ爲ニハ、極端ナル場合ニ於キマシテハ、農家ニ對シマシテモ其ノ食糧以外ノ品物ニ對シテ出荷命令ヲ出シ得ル規定ニナツテ居ルノデアリマシテ、今日ノ如キ時局ニ際シマシテ米穀ヲ全國ニ普遍的ニ分布スルト云フ働ハ、十分ニ致スト思ヒマス、ソレニ付テ平生カラ統制シテ行ク關係上、米穀業者ヲ許可制度ニシテ、平素カラ監督致スコトニ致シタノデアリマス、價格ノ問題ニ對シテハ、今申上ゲマス通り米穀統制法ト本法トハ相關聯シテ居ルモノデアリマシテ、本法案ガ通過シタ曉ニ於テ、此ノ市場ニ於テハ第七條ノ範圍外ノ價格ニ於テノ取引ハ、絶對的ニ許サヌ譯ニナルノデアリマス

○村松委員 私ノ了解致シマス點ト、只今ノ御答辯トハ結局同ジコトノヤウニ私ハ考ヘマス、ソレハ私がケノ考トシマシテ、本論ニ入りタイト思ヒマス、政府ハ今日ノ米穀取引所ガ衰微シテ來テ居ル事實ヲ御認ニナツテ居ル、ソコデ私ハ、政府ハ一體此ノ衰微ノ原因ヲ何處ニアルト御考ニナツテ居ルカト云フ點ヲ、御伺致シタイト思フノデアリマス、私モ色々其ノ原因ヲ考ヘテ見マスルト、アルト思フノデアリマスガ、政府ニ於カレテハ勿論御分リノコトト思ヒマスノデ、其ノ項目ダケデモ宜シイノデアリマスカラ、ソレニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 米穀取引所ノ商ヒ高ガ漸減ヲ致シテ來マシタ事由ハ、是ハ澤山アルデアラウト思マスガ、一番重要ナル點ハ、所謂米穀統制法ニ依ル最高最低價格ガ決メラレマシタ結果、其ノ値幅ガ狭イノデ、投機思惑ヲスル範圍ガ減少致シテ、其ノ結果トモ、一ツノ原因デアラウト思ヒマス、ソレカラ米穀ノ出廻關係ガ從來トハ變ツテ參ツタヤウデアリマス、即チ生産地カラ直接ニドン／＼消費者ノ團體ノ方ニ廻ッテ行ツタリ、或ハアツチコツチノ工場デ購買組合ナ

ドト云フモノガ出來マシテ、ソレガ買受ケタリ、サウ云フヤウナ關係デ實米ノ受渡勘定ノ減少シタコトモ、一ツデアラウト思ヒマス、サウ云フ事柄ガ原因致シマシテ、從來種々ナル投機ノ觀念カラ繁昌シテ居ツタ所ハ總テソレガ衰微致シ、又實米ノ取引關係モ市場ヲ經由シナクテモ其ノ方ガ便利ダト云フ風ナコトガ起ツテ來タト思ヒマス、又各地ノ所謂配給關係ガ色々流レガ變ツテ來タコトモ原因シテ居リマスルカト、斯様ニ思ツテ居リマス

○村松委員 詳細ナル御説明ニ感謝致シマス、要スルニ米穀統制法ノ施行ノ結果ガ第一デ、ソレカラ配給機構ノ變化ヲシテ居ルコト、此ノ二ツノモノガ主ナル原因デアルヤウニ承ツタノデアリマス、私モ實ハ左様ニ思ツテ居リマス、唯米穀統制法ノ施行ニ依ツテ影響ヲ受ケタト云フコトニ付テハ、是ハ勿論同感デアリマスガ、ソレナラバ米穀統制法ニ依ツテ決定セラレタル値段ガドウ云フ意味ニ於テ取引所ヲ衰頹セシムルニ至ツタノデアルカ、是ガ根本ノ問題ニナルノデアリマス、農林大臣ハ其ノ理由ノ一ツトシテ、ソレハ價值幅ガ縮小シタカラダト御考ニナラレタノデアリマス、私ハサウデハナイト思フ、若シ農林大臣ノ言ハレる價值幅

ガ縮小シタカラダト云フ説ガ支持セラレマ
スト、本會社ノ市場ノ衰微モ當然認メラレ
ナケレバナラヌコトニナルデアリマス、
新シク作ラレマス所ノ會社ノ市場、是モ共
ニ支持出來ナイデアリマス、ソコニ非常
ニ大キイ問題ガ起リハシナイカト私ハ思フ
ノデアリマス、ソコデ私モ統制法ノ影響ニ
依ルモノデアルト云フコトハ同感致シテ居
リマスガ、私ハ單ニ値幅ノ縮小ダト云フ風
ニハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ統計ヲ見レバ
分ルノデアリマス、八圓何十錢トカ云フ此
ノ統制法施行以前ノ値幅ノアリマシタ時ニ
衰微シナカツタ、清算取引所ニシマシテモ、
或ハ正米取引所ニ致シマシテモ、統制法施
行後、ヤハリ八圓何十錢ト云フ値幅ノ時
ニ、何ノ爲ニ取引量ガ半減スルノデアルカ
ト云フコトハ、是ハ餘程考ヘテ戴カナケレ
バナラスノデアリマス、私ガ、統制法ノ影
響デアルト、ソレガ而モ公定價格ニ影響サ
レタモノデアルト考ヘマスノハ、一ツハ茲
ニ在リマス、即チ値幅ノ縮小デハナクシ
テ、此ノ最高、最低ノ決定ト云フモノト需
給ノ關係ト云フモノ——先程大臣ハ需給ノ
關係モ此ノ價格決定ニ考ヘルノダ、斟酌ス
ルノダト仰セニナリマシタケレドモ、ソレ
ハマア政治的ニ斟酌ヲナサルノハ或ハア

ルカモ知レマセヌガ、法文ノ上デハ左様ニ
ナツテ居リマセヌガ、ソレハ姑ク別トシテ、
其ノ間ニ相一致セザルモノガアルデアリ
マス爲ニ、隨テ最高ト最低ヲ決メマシテモ、
若シ需給ノ關係其ノ他ニ於テ最高ノ方ニ價
格ガ落著カナケレバナラヌヤウナ關係ニ在
リマス時ハ、何時デモ價格ハ最高ニ釘付ケ
ニナルデアリマス、ソレカラ又米穀統制
法ヲ施行サレマシタアノ當初ノヤウニ、全
國ノ需給關係ガ最低ニ落著カナケレバナラ
ヌヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ何時デ
モ最低ニ釘付ケニナルデアリマス、サウ
シテ若シ此ノ最低ト最高ノ中間ニ浮動スル
ヤウナ米穀事情ノ時ニハ、是ハ最低ト最高
ノ値幅ガ非常ニ狭イデアリマス、サウ云
フ關係ニ在ルノデアリマスノデ、隨テ單ニ
値幅ガ廣イ狭イト云フヤウナコトデハナイ
ノデアツテ、全體ノ米穀事情ガ或ル一定ノ
米穀事情ニナツテ居リマス、或ハ最高ニ
釘付ヲセラレ、或ハ最低ニ釘付ヲセラレ
テ、ソレノ變化ト云フモノガ極メテ少イト
云フ所ニ、ソコニ問題ガアルデアリマス、
今私ガ投機者ノ心理ヲ茲ニ申上ゲマスコト
ハ、或ハ僭越デアルカモ知レマセヌガ、今
回ノモノデモ二箇月位ノ限月デハナイトシ
マシテモ、兎ニ角延ガ許サレテ居ル、今マ

デハ三箇月ナリ、六箇月ナリ許サレテ居ル
ト云フ場合ニ、一體投機者ノ心理ハ何處ヲ
狙ツテ價格ヲ決メルデアルカ、是ハ決シ
テ三箇月後、或ハ一年後ト云ツタヤウナ遠
イ將來ノ米穀事情ノ變化ヲ狙ツテ行クノデ
ハナクテ、人間ノ能力ニハ限リガ有ルノデ
アリマスカラ、多クハ二三週間ノ短期間ノ
經濟事情其ノ他ノ變化ヲ狙ツテ投機ヲスル
ト云フノガ通例デアアル、是ハ日本ニ於テハ
サウ云フ調査ガ有ルカ無イカ分リマセヌ
ガ、亞米利加ナシカニハ左様ナ調査ガアル
ト聞イテ居リマス、サウナツテ參リマス、
全體ノ米穀事情ガ最高ナラ最高、最低ナラ
最低ニクツ付イテシマツテ、現ニ是ハ今回
ノ深川ノ中米ノ相場ニシマシテモ、最高三
十五圓二十錢ト云フノガ、モウ二箇月モ續
イテ居ル、其ノ前ニハ三十五圓十錢ガヤハ
リ二箇月モ續イテ居ル、一箇月以内或ハ二
三週間ノ間ニ於テ浮動ガナイト云フ所ニ、
米穀統制法ノ影響ハ同ジデアリマスケレド
モ、ソコニ問題ガアル、斯ウ云フ風ニ私ハ
考ヘテ居ル、隨テ値幅ヲ將來ニ於テ非常ニ
幅ヲ付ケラレルト云フコトガアルカモ知レ
ズ、或ハ却テ値幅ヲ縮小サレル御意思ガア
ルカモ知レマセヌガ、唯ソレダケデ米穀事
情ガ衰微シタノデハナイデアリマシテ、

ソコニ要點ガアル、サウ考ヘテ參リマス、
今後ノ戰時米價政策ト云フモノハ、曩ニ決
定セラレタル最高公定價格ハ、一般物價抑
制政策ニ順應スル爲ニ、其ノ最高値段ヲ物
價其ノ他ニ比ベテ見マスルト割安ノ所ニ
決定ヲシテ居ル、此ノ狀況ハ物價騰貴ヲ惧
レマス戰時體制ノ下ニ於テハ、相當永ク續
クモノト考ヘナケレバナラスノデアリマス、
左様ニ永ク續イテ行クト云フコトニナル
ト、ヤハリ此ノ一般ノ米價ト云フモノハ此
ノ最高價格ニ近イ所ニ釘付ケニセラレタ
儘、或ハ一年或ハ二年續イテ行クト云フ
コトヲ豫想シナケレバナラスノデアリマス、
サウ豫想セラレテ參リマスナラバ、假ニ本
法案ハ、絕對ニ投機ヲ禁ズルナラバ兎モ角
トシテ、或ル程度マデハ投機ヲ許シテ居ル、
サウシテ其ノ投機ヲ許シテ居ルコトニ依ツ
テ、會社ノ經費モ支辨シテ行カウト云フコ
トニナリマスナラバ、恐ラク他ノ米穀取引
所ガ衰微シタト同ジ理由ニ依ツテ、此ノ會
社ノ經營サヘモ出來ナイヤウナコトガアル
ノデハナイカ、若シソレガアツタトシタナ
ラバドウ云フ結果ニナルカ、私ハ米價政策
上由々シキ問題ガ起ルト云フコトヲ考ヘマ
スルガ故ニ、此ノ米穀統制法ニ依ル所ノ最
高、最低ノ價格ノ公定ニ於テサヘモ、而シ

テ米價ノ動キガ私ノ申上ゲマシタウヤニ、最高ナラ最高、最低ナラ最低ニ釘付ケニセラレテ行クト云フコトヲ豫想シマシテ、尙且ツ此ノ會社市場ガ繁榮スルカドウカ、衰微シナイデ行ケルモノカドウカト云フコトニ付テノ御意見ヲ拜聴致シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 値幅ノ問題ニ付キマシテ村松君カラ御意見ヲ拜聴シマシタガ、私ノ申ス値幅ト云フ言葉ノ中ニハ、今言ハレルヤウナ意味ガ入ツテ居ルノデアリマス、即チ御話ノ通りナ意味ガ實ハ私共含シテ居ル積リデアリマス、詰リ今日ノヤウナ時代ニ於キマシテハ、恐ラク最高價格ノ所ニ釘付ケニナツテ行クデアリマセウ、殆ド動搖シナイト言ツテモ宜シイ、又米ノ非常ナ豐作ノ時ニ當ツテハ、最低ノ價格ノ所ニ御話ノ通り釘付ケニナルノデアリマス、要シマスルノニ、此ノ投機ヲヤル投機ノ觀念ノ對象トナル値幅ト云フモノガ、制限サレルコトニナルノデアリマシテ、ソレガ投機取引ト云フモノガ減少致シタ結果ダト思ヒマス、昨年ノ實績ヲ見マシテモ、一昨年ハ八千九百万石取引シタノガ昨年ハ四千二百万石ニ減ジテ居リマス、恐ラクサウ云フ事柄モ含ンデ居ルダラウト思ヒマス、其ノ點ハ私御說ノ通りダト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ市

場ガ投機的ニ取扱ハレルト云フコトヲ目論ンデ居リマスナラバ、村松君ノ御說ノ通り、此ノ會社ハ成立ツテ行カスト思ヒマス、又本來ノ働キヲ致サナイト思ヒマス、併シ此ノ會社ハ今ノ投機取引ト云フモノハ、出來ルナラバ絕對ニ禁止ヲ致シタイ、實物取引デ實際ノ現物ヲ取扱ツテ行クト云フコトヲ本來ノ趣旨ト致シテ居リマス、即チ實物取引ト、未著物取引ト、延取引ガアリマシテ、是ガ稍、今御話ノ從來ノ清算取引ニ似テ居リマスケレドモ、度々申上ゲマス通り、是ハ從來ノ如ク買ツタ賣ツタと言ツテ一本建デ商ヒノ出來ルモノデハナクシテ、例ヘバ宮城縣ノ何等米ヲ何石取引スルト云フ銘柄別ガ、若クハ是ト組合セタル所ノ銘柄組合セノ取引デアリマシテ、從來ノ如ク一本ノ標準ノ米デ幾ラノト言ツテ商ヒラスルノデアリマスガ故ニ、其ノ點ハ全然相違致シテ居ルノデアリマス、況ヤ賣買ニ致シマシテモ、中間ニ於テ轉賣買戻ヲ許シテ居リマセヌ、隨ツテ其ノ間ニ於テ自由ニ操作ヲシテ其ノ差金ヲ受取ツテ、所謂投機的行爲ハ出來ナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、故ニ假ニ此ノ延取引ト云フモノガ投機ヲ目的トシタ取引ヲ豫想シテ居リマスナラバ、是ハモウ根本カラ延取引ノ收支豫算ト云フモノハ、間違ツテ

來ルダラウト思フ、唯實際ノ實米ハ受渡シスルケレドモ、其ノ品物ノ來ルノニ十五日ノ未著物取引デハ間ニ合ハヌ、アチコチ集メナケレバナラヌカラ、是ハ二箇月要スル、一箇月半要スル、斯ウ云フ品物ノ取引ヲ見テ居ルノデアリマシテ、其ノ間ニ於テ假ニ千石買ツタ、ソレヲ品物ノ著クマデニアチコチノ店ヘ百石、五十石賣ツテ、千石ノ品物ヲ受取ルトキハ、直グ秋葉原ナリ或ハ新宿ノ驛ナリ、其ノ他池袋ナリ、斯ウ云フ所カラ自由自在ニ各方面ニ其ノ品物ヲ配達スルト云フヤウナ順序ニ致スノデアリマスガ故ニ、私ハ此ノ延取引ト云フモノモ、決シテ少數ノモノデハナイト思フノデアリマス、故ニ從來八千万石、一億万石、或ハ四千何百万石ト云ツテ取引サレタ清算取引ト、從來ノ延取引ト云フモノモ、亦ヤハリ明瞭デハアリマセヌガ、此ノ方ノ數字ハ千數百万石ニハ上ツテ居ルト思ヒマス、斯ウ云フノヲ摺混ゼテ、サウシテ今回ノ豫算ニ見積ツテ居リマスノハ、僅ニ千三百万石ヲ見積ツテ居ルダケデアリマス、是ガ其ノ間ニ於テ多少轉々致スノデアリマスガ故ニ、洵ニ其ノ數量ハ少イモノデアリマシテ、其ノ位ノ取引ハ出來得ルデハナラウカト、斯様ニ豫想致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○松村政府委員 統制法ノ從來ノ取引所ニ及ボス影響、其ノ意味ニ關シテ大臣ノ御答ト私ノ意見トハ一致シマシタ、然ルニ本市場ハ投機ヲ目的トスルノデハナイノデアル、隨テ投機ヲセザル場合ニハ此ノ會社ノ經營ガ出來ルノダ、斯ウ云フ御考ヲ一ツ伺ツタ、今一ツハ此ノ會社ニ於テ取扱フ數量ハ左程大シタモノデハナイノダ、斯ウ云フコトヲ伺ツタ、其ノ間ニ何カ矛盾ヲスルコトガナイダラウカ、矛盾スルト云フ其ノ條件ハ、恐ラク適正ナ價格ノ構成ト云フ所ニ於テ矛盾ヲ來スノデナイカト存ジマス、ソレハ後ニ私詳シク申シマスガ、投機ヲ行フノデナケレバ此ノ會社ノ經營ハ米穀統制法ノ影響アルニ拘ラス成立ヲスルノダト云フ御考ハ、一ツノ希望デアルト思フノデアリマス、眞ニ投機ヲ抑制致シマスルノデアリ、而シテ此ノ米穀統制法ノ影響ヲ無視シ、或ハ之ヲ克服シテ、此ノ會社ガ一定ノ利潤ヲ擧ゲテ行クト云フコトニ若シ御考ニナルトスルナラバ、ソレハ投機ノ抑制ト云フコトト、營利會社ノ成立ト云フコトトハ矛盾ヲ致シテ參リマス、從來ノ投機業者ガ此ノ中ニ入ツテ卒然トシテ一夜ニ性格ヲ變ヘルト云フコトモ、是モドウカト考ヘルノデアリマシテ、御希望ノヤウニ投機ヲ抑制スレバ此ノ會社ハ統制法ノ影

響如何ニ拘ラズ成立スルト云フ御考ヲ、一應尊重致シテ置キマシテモ、尙且只今ノ投機性ヲ本當ニ防ギ得ルカドウカト云フ根本ノ問題ガ殘ルノデアリマスルカラ、ソレニ對スル御意見ヲ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 延取引ガ極ク少イモノダト申上ゲマシタノハ、從來ノ清算取引ニ比較シテ極メテ數量ガ少イト申上ゲタノデアリマス、殊ニ清算取引「プラス」延取引ト、此ノ二ツノモノガ從來取扱ツテ居ツタ數量ニ比較シテ、今回豫想シテ居ルモノハ今申上ゲマス通り極メテ少イモノデアルト申上ゲタノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り縣外移出ト言ハレル米ノ數量ハ、内地ニ於テ出廻ツテ居リマスノ販賣米ガ三千五百万石位ニナツテ居リマス、サウシテ其ノ稍、半分ト見テ居ルヤウナ譯デアリマスガ、其ノ半分ガ兎ニ角移動致スノデアリマシテ、直グ最初カラ一人ノ手カラ一人ノ手ニ移ルモノデハナイノデアリマスガ故ニ、隨テ其ノ取引ノ石數ハ未著物取引デアツタモノガ、實物取引ノ中ニモ入リマスシ、又延取引デアツタモノガ、實物取引ノ方ニモ入ツテ來ルト云フヤウナ關係ガアルノデアリマス、ソコハヤハリ重複シテ參リマスガ、兎ニモ角ニモ從來投機取引ガ中心トナツテ居

リマシテ、投機取引ニ依ツテ、米穀ノ價格ガ或ル調整ノ作用ヲ致シテ居リマシタノヲ、此ノ度ハ全然實需ノ動キニ依ツテ價格ノ公正ヲ得タイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○村松委員 私ノ御尋ノ趣旨ト大臣ノ御答ハ全然相違致シテ居リマスガ、私ハ時間ガアリマセスカラ、其ノ點ハ其ノ儘ニシテ進ミマスガ、唯實需ヲ中心トスルコトガ原則デアルト云フ場合ニ於テモ、ヤハリ同ジヤウニ實需ヲ中心トスル正米市場ノ衰微ナリ、或ハ閉鎖ナリ、斯ウ云フコト考ヘ合セテ見マスト、唯單ニ是ハ實米ナンドト云フダケデハ、到底他ノ正米市場ハ沒落シ、此ノ會社ノ市場ガ立派ニヤツテ行ケルト云フコトニハナラナイノデアリマスカラ、是ハ私唯駄目ヲ押ス、念ヲ押スト云フ程度ニ御聽取ヲ願ツテ宜シイノデアリマス、ソコデ問題ハ第二ノ所ニ移リマスガ、正米市場或ハ清算市場ガ衰微致シテ居ル原因ノ一ツトシテ、大臣ハ配給機構ノ變化ヲ舉ゲラレテ居リマス、此ノ配給機構ノ變化ト云フモノガ、全ク取引所ヲ衰微セシメタコトハ私同感デアリマス、ソコデ配給機構ノ變化ガ此ノ市場ヲ衰微セシメタノデアルガ、同ジ其ノ變化ガアリマシテモ、尙且ツ本市場ガ繁

昌ヲ續ケテ行クコトガ出來ルカドウカ、及ビ其ノ配給機構ノ變化ハ、只今ノ變化ノ傾向ト同ジモノガ益、強メラレテ行クコトヲ私共ハ見ルノデアリマス、其ノ際ニ於テモ尙且ツ本統制案ニ依ル市場ガ衰微セズニ繁昌ヲ續ケテ行クコトガ出來ルカドウカ、此ノ點一ツ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 第一點ノ取引所ノ取扱ノ衰微ニ對シマシテハ先刻申上ゲマシタ通りデアリマスガ、正米市場ノ實物ノ取引ト云フモノハサウ大シテ減ツテ居ナイノデアリマス、少シハ減ツテ居リマスケレドモ、大シテ減ツテ居リマセス、即チ數字ニ付テ申上ゲマスレバ、昭和九年ガ八百八十三万、昭和十年ガ八百八十八万、昭和十一年ガ八百二十八万、昭和十二年ガ七百八十七万、昨年ガ少シ減リマシテ七百四十万ト云フ數字デアリマス、他ノ清算取引ノ如ク一億万石ノモノガ四千万石ニ減ツテ居ルト云フ風ナ減リ方ハ致シテ居リマセス、是ハ正米市場ノ現況デアリマス、此ノ正米市場ノ取引ハ今回此ノ方ニ全然移ツテ來ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ市場ガ中心トナルト思ヒマスコトハ、此ノ市場ニ依ツテ價格ガ公定サレテ各方面カラ市場員ノ主ナ者ガ入ツテ居リ

マスカラ、此處ノ市場ヘ參リマスレバ何時デモ商ヒガ出來ルト云フヤウニナリマス同時ニ、今マデハ斯ウ云フ弊風ガアツタヤウニ思ヒマス、市場ニ於テハ或ル數量ダケ商ヒラシテ、アトハ市場外ニ於テ勝手ニ商ヒラシテ居ツタ、斯ウ云フ點ガアツタト思フノデアリマス、併シ今回ハ市場員ハ若シ市場外ニ於テ取引ヲ致シマシテモ市場員間ノ取引ハ必ズ付ケ届ヲ致サセタイト思ヒマス、ソレカラ從來ト異リマシテ、ヤハリ此ノ市場員ニ對スル所ノ便益ノ點モ相當起ツテ來ルト私ハ思ヒマス、即チ是ガ全國的ニ統制サレマス結果ハ配給統制上種々茲ニ整理サレル所ガアルノデアリマシテ、少カラザル利便ガ起ルト思ヒマス、又荷受其ノ他ノ關係ニ於キマシテモ、特ニ便宜ヲ圖ルコトニナツテ居リマスカラ、此ノ點ニ於キマシテモ從來トハ大イニソコニ利便ノ關係ノ差ガアリマスカラ、大體ニ於テ現在計畫サレテ居ルヤウナ取扱數量ニハナルデハナカラウカ、斯様ニ思ツテ居ル譯デアリマス

○村松委員 配給機構ノ變化アルニ拘ラズ從前ノ取引所ハ清算ニ於テハ極メテ衰微ヲシ、實需ヲ取扱ヒマスル正米市場ハ其ノ取扱數量ヲ減ジツツアル、ニモ拘ラズ多少ノ便宜ヲ與ヘ得ルノデアルカラ、是ハ從來ノ

正米市場ノ數倍ニナリマスルカ、ソコノ計算ハ分リマセヌガ、相當多數ノモノヲ取扱ヒ得ルノダト云フ御意見ノヤウデアリマス、要スルニ其ノ御意見ハ、此ノ會社案ニ依ル市場ハ事務的ノ便宜ヲ與ヘ得ルノデアアルカシテ、ソレデ衰微スルヤウナコトナシニ立派ニヤツテ行ケルノダト云フ御意見ニナルト思フノデアリマス、私ノ申シテ居リマスノハ、配給機構ノ變化ト云フコトハ是ハ大勢デアリマス、其ノ大勢ノ進ム所從來ノ市場ガ衰微ヲ致スノデアリマスノデ、多少ノ事務的ノ便宜其ノ他ニ依ツテ其ノ大勢ヲ阻止スルコトハ出來ナイノデハナイカト思フソデアリマシテ、サウ云フ點ナドヲ色々考ヘテ參リマスト、是ハ現在ノ配給機構ガドウ云フ風ニ變化ヲシ、又將來ドウ變化ヲシテ行クカ、其ノ配給機構ノ變化ハ現在ノ配給ノ理想カラ言ツテ果シテドウ云フ程度マデ考ヘテ宜シイカト云フ根本問題ヲ提供シテ參ルノデアリマス、ソコデ私ハ唯一ツノ例ヲ茲ニ申上ゲテ御參考ニ致シタイト思ヒマスガ、最近ノ配給ノ方法ハ「レール」渡又ハ著驛中心ノ取引ト稱セラレモノガアルノデアリマス、是ハ恐ラク本案ニ於テノ未著物ト似タヤウナモノダト思ヒマス、多少ハ違ヒガアリマスルガ、稍、其ノ精神ニ於テ

ハ似テ居ル、是ハナゼ起ツタカト考ヘテ參リマスト、検査制度ガ非常ニ進歩シタノデ見本ノ賣買ト云フ必要ガナクナツタコトガ一つノ理由デアリマス、仲介人或ハ外交員ノ使用ヲ致スコトニ依ツテ小賣商ニ對シテ直接ノ取引ヲシテ居ル、小賣商モ居ナガラニシテ取引ガ出來ルト云フ極メテ便宜ナル狀態ニアルノデアリマス、具體的市場ノ配給費ヲ何トカシテ節約シナケレバナラスト云フコトハ、是ハ米穀統制法ノ施行以來米ノ統制ガ行ハルルニ從ヒマシテ、此ノ配給機關ハソコニ非常ナ注意ヲ拂ツテ努力ヲ致シテ來タ、斯ウ云フ大キナル原因ガアリマズレバコソ、斯ウ云フ「レール」渡ト云ツタヤウナ配給ノ方法ガ生レテ來タ、是ハ單ナル市場ノ事務的ノ取扱ヲ便宜ニシタト云フダケデ、之ヲ防グコトハ出來ナイノデアリマス、唯之ヲ防グナラバ只今大臣ノ言ハレタヤウニ市場員ノ取引ト云フモノハ是ハ何デモカンデモ届ケサセルンダ、届ケサセテサウシテ其處カラ手数料ヲ取ルヤウニスルノダ、ガカラシテ是ハ必ズ此方ヘ來ルノダ、否デモ應デモ來ルンダト云フナラバ是ハ又別ノ問題デアリマス、私ハ經濟ノ事情ノ變化、或ハ交通ノ變化、運送關係ノ變化ト云フヤウナモノニ依ツテ、自然ニ合理的ニ配

給費ヲ節減シナガラ進シデ參リマスル斯様な配給制度ト云フモノガ、斯ウ云フ變化ガアレバコソ初メテ從來ノ市場ガ廢レテ來テ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ色々考ヘテ來ルト、私ハ單ナル事務的ノ便宜ヲ與ヘルノダト云フダケノコトヲ以テ、本市場ノミガ榮エテ從來ノモノハ此ノ配給機構ニ依ツテ潰レルノダ、斯ウ云フコトヲ考ヘルコトハ、是ハドウカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ點ニ關シマスル御意見モ、一つ簡單ニ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 今村松君ノ御話ニナツテ居ル配給ノ狀態ハ、殆ド今全部ガサウ云フ風ニナツテ居リマス、即チ船デアレバ船ノ水揚取引、汽車デアレバ汽車ノ「レール」渡、斯ウ云フ風ニ取引ヲ致シテ居リマス、唯此ノ市場ニ參ツテ取引ヲ致シマス、詰リ何日何時何處ノ驛ニ著ク米ヲ誰某買ツテ呉レナイカ、ソレナラ幾ラ買ハウ、斯ウ云フ話ガ其ノ市場ニ來ルト賣手モ買手モ皆分ツテ居リマスカラ、ソコデ話ガ直グ付ク、話ガ付ケバ直グ傳票ヘ記ケテ證據金ヲ附ケテ出シサヘスレバ、ソレニ對シテ米穀會社ガ責任ヲ以テ配給ノ取引ノ確保ヲ致スコトニナルノデアリマスカラ、詰リ配給ヲスル狀態ハ從來ト少シモ變ラズシテ取引ヲ致シマ

ス、唯何石何處渡デ賣ルト云フコトダケヲ市場ヘ出テ致スノデアリマスカラ——或ハ市場デ致サナクテモ電話ヲ以テ致シマシテモ、ソレハ差支ナイノデアリマスカラ、極メテハ簡便ニ行ク譯デアリマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付テハ私少シモ現狀トハ變ラズ、寧ロ現狀ヨリハ一步進シデ殆ド全部ノ人、各方面ノ市場員ヲ網羅スル關係上、賣レロモ多クナレバ買ヒロモ多クナル、斯ウ云フ關係ナノデアリマシテ、ソレニ依ツテ少シモ變化ガナイト思ヒマス、今ノ御話ノヤウナ配給機構ノ點ニ付キマシテハ、少シモ變化ガナイト、斯ウ申上ゲルヨリ外ナイノデアリマス

○松村委員 新配給機構ガ其ノ儘變化ガナイト云フノデ、ソレデ私ガ此ノ市場ヲ何デ通シテ行クノカ、ソレヲ不思議ニ思フノデアリマス、斯様な配給機構ニマデ變化ガシタレバコソ、從來ノ市場ガ衰微シタノデアリマス、其ノ配給機構ガ全然變化ヲシテ行カナケレバ、ドウシテ新シイ市場ガ繁昌ヲスルノデアアルカト云フ點ガ私分ラヌノデアリマス、私ガ配給機構ニ關シテ將來一ツノ變化、或ハ其ノ變化ヲ益、強化シテ行クデアラウト申シマシタ意味ハ、是ハ多少大臣ニ於テ誤解モアラレルト思ヒマスケレドモ、時間モアリマ

セヌカラ辯明致シマセヌ、兎ニ角此ノ配給機構ガ出來タレバコソ、從來ハ衰微シタノダ、其ノ同ジ設備デ行クナラバ、今度ノ市場ガドウシテ一體從來ヨリモ繁昌シテ行クカト云フ點ニ私ハ疑問ガアルノデアリマス、ソコデ私ハ時間ノ節約ノ必要モアリマスノデ、私ノ考ヘテ居ルコトヲ一ツ申上ゲテ見タイト思フ、從來ノ市場ニ對スル關係ハ斯ウ云フ風ニ發展シテ來テ居ルト思フ、先ヅ地域的ニ近イモノノ集リカラ、市場ガ發達ヲ致シテ來ルノデアリマスガ、其ノ市場ノ發達ト云フモノガ、此ノ次ニ至ツテハ今度ハ仲介人ヲ介在セシメルコトニ依ツテ、市場ヲ排斥シヨウト云フ空氣ガ段々強クナツテ、今度ハ仲介人モ排斥シテ行クノダ、其ノ仲介人ヲ排斥シテ行ツテ直接ニ消費地ノ問屋ニ結付クヤウナ方法ヲ執ル、今度ハソレモ排斥シテ生産者ト消費者ガ直接ニ結付クト云フコトニ發達シテ來ルノダ、ソレハ市場ヲ置イテアツテモ、置イテナクテモ配給機構ノ變化ト云フコトハ、サウ云フ順序ヲ踏ンデ來ルノダト私ハ考ヘテ居ル、此ノ考ヘ方ハ恐ラク大臣モ御同意ニナルト思フ、隨テサウ云フ變化ヲ遂ゲテ行クト云フ一ツノ經濟的、歴史ノ必然性ト云フ言葉デモ申シマスルナラバ、サウ云フ方向ニ行クト云

フコトハ今日ノ經濟ヲ多少デモ知ツテ居ル人ハ、私ハ常識デハナイカト思フ、ソコデ私ハ今數字ヲ一ツ擧ゲテ見タイト思ヒマスガ、消費地ノ問屋ニ直接ノ賣買又ハ委託スルコトハ、是ハ大部分デアルガ、其ノ中青森トカ茨城、新潟、石川、福井、滋賀、岡山、香川、大分色々アリマスガ、是ハモウ殆ド七〇%カラ一〇〇%今ノヤウナ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ是ハ米取引全體トシテ見ルト、サウ云フ取扱ヲ致シテ居ルモノハ六七%ヲ占メテ居ル、委託ノモノニ至リマシテハ段々ニ少クナツテ居リマシテ、今申上ゲマシタモノノ中ノ約十分ノ一位ガ委託ニ過ギナイノデアリマシテ、サウシテ其ノ次ノ段階ニアルト思ハレマス所ノ消費地ノ問屋ト問ニ仲介人ヲ介在セシメル販賣ト云フモノハ、全體ノ僅カ二三%ニ當ツテ居ルノデアリマス、又消費地ノ正米業者又ハ大量ノ消費者ヘ直接ニ接續スル場合ノ割合ハ、是ハ僅ニ全體ノ十分ノ一ニ過ギヌデアリマシテ、其ノ著例トシテ、千葉トカ山口トカ云フヤウナ所ハ三〇%以上是ガアルノデアリマス、是ハ斯様ニ一方ガ六十何%デアリ一方ガ三十何%デアルト云フコトハ斯ウ云フ順序デ益々變更シツツ來テ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ新シイ配給

機構ニモ今入リツツアルノデアツテ、此ノ取引ニ於キマシテハ是ハ市場ヲ通ラナイノデアリマス、市場ヲ通ラザル所ノモノガ段々ト發達ヲシテ來ル、而モ又仲介人サヘモ之ヲ排斥シテ行ク傾向ガアルノデアリマスカラシテ、何ノ爲ニ一體市場ガ必要ナノデアルカ、市場ヲ通サナケレバ一體商賣ガ出來ヌノデアルカ、取引ガ出來ヌノデアルカ、公正ナル價格ガ出來ナイノデアルカドウカト云フコトニ對シテ私ハ非常ナル疑ヲ抱カザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ後ニ公正ナル價格問題ニ關シテ意見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、左様ナ狀態ノ場合ニ於テ從來ハ此ノ機構ノ變化ノ爲ニ取引所ハ衰微シタノダ、今度ノ場合ハ事務的ノ便宜ヲ與ヘルノダカラ衰微シナイデアラウト云フノデスケレドモ、事務的ノ便宜ト云フコトト、此ノ配給機構ノ單純化ト申シマセウカ、此ノ大勢ト云フモノガ、一方ハ事務的便宜デ抑ヘル、一方ハ大勢ノ向フ所ニ依ツテ、逆ニ事務的便宜ナドトハ無關心ニ市場ヲ衰微セシムルモノデアルトスナラバ、本法案ニ依ル市場ト云フモノハ一體何處ヲ狙ツテ居ルノデアルカ、其ノ點ニ關シテ疑問ヲ抱カザルヲ得ナイノデアリマス、隨ヒマシテ私先程大臣ノ御話ヲ承ツテ居リマシ

テ、新配給機構ト云フモノガ壓倒的ニナツテ來テ居ル事實ヲ認メルト共ニ、其ノ壓倒的ナル新配給機構ト云フモノト、本法ニ於ケル市場トノ關係、之ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 村松君ノ御意見ハ今配給機構ガ非常ニ進歩スル、ソレカラ消費者ト生産者ガ直接ニ取引ヲスルヤウニナルナラバ、何ノ必要ガアツテ市場ヲ經由スルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスガ、私ハサウハ考ヘナイノデアリマス、ドウシテモ個人個人ガ產地ニ向ツテノ交渉ヲシ或ハ折衝ヲスルト云フニハ相當電話モ架ケナケレバナラヌシ、人モ出サナケレバナラヌト云フコトニナリマスガ、市場デ電話一本デ間ニ合ヒサヘスレバ、是ハ市場ヲ經由シタ方ガ宜イノデアリマス、現在ノ機構ノ中ニハ可ナリ廢スベキモノガアラウト思ヒマス、一依ニ付テ一錢取ルトカ五厘取ルトカ云フモノガアリマスガ、サウ云フモノハ場合々々ニ依ツテ廢サレルノデアリマス、兎ニ角電話デモ宜シイ、本人ガ市場ニ行ツテモ宜シイ、サウシテ何處々々ノ米ヲ買ヒタイ、或ハソレヲ賣ラウト云フノデ出合ヒガソコニ出來ルノデアリマス、隨テアチコチ仙臺ヘ聞合ハストカ、或ハ茨城ヘ聞合ハストカ、

サウ云フヤウナ手續ヲ取ラスデモ市場へ來レバ、直グ出合ヒガ出來ルノデアリマシテ、市場ヲ利用スルコトガ便利デアリ、效果ガアルコトハモウ間違ヒノナイコトデアルト思フノデアリマス、現在ノ機構ニ於テハ大シテ減ラヌニシテモ少シハ減ツテ居ルデハナイカト云フ御話ガアリマスガ、此ノ正米市場ノ關係ハ今御話ノヤウナ經濟機構トナリマシタ關係上、東京デモ二ツニ分レテ居リマス、ソレガ殆ド全國的ニ一ツニ統制サレタ市場ガアツテ、其ノ市場ニ行ケバ全國的ニ大抵連絡ガ取レテ米ヲ賣ラウト思ヘバ直グ賣レルシ、買ハウト思ヘバ直グ買ヘル、サウ致シマスレバ其ノ間ニ於キマスル費用ハ非常ニ輕減セラレルノデアリマシテ、私ハ是ガ出來上ガツタ後ニ於テハ從來トハ異ツテ相當取引ガ出來ルト思ヒマス、殊ニ此ノ會社ト致シマシテハ、若シ臺灣米ノ移出管理ガ爲サレバ臺灣米ハ此ノ會社ニ依ツテ統制サレ、或ハ政府米ノ買換ヘモ此ノ會社ニ依ツテ行ハレル、或ハ又販賣組合ノ米モ此ノ市場ニ出テ來ル斯ウ云フ風ナ狀態ニナルト致シマスレバ、商業組合ノ人ニシテモ、其ノ他ノ商人ニシテモ、アチコチノ店ヘ行ツテ米ガ幾ラカアリマセスカ、幾ラデ賣買シヨウデハアリマセスカト言ツテ争フ

ヨリモ、市場へ來テ話合ヒラスレバ極ク簡單ニ出來ルノデアリマス、殊ニ事務的ト言ヘバ事務的デアリマスケレドモ、從來可ナリ金融上ニ因ツテ居ツタ商人モ、直グニ荷受ナドガ此ノ會社ニ依ツテ出來ルト云フコトニナリマスレバ、是モ非常ニ便利デアリマス、隨テ從來ノ配給機構ト云フモノハ此ノ會社ガ出來マスレバ、私ハ非常ニ進歩發達ヲスルと思ツテ居リマス、今はガドウ云フ風ニ發達シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、私申上ゲルコトヲ避ケマスケレドモ、相當ニハ改良サレルモノト思ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ市場ニ於テ從來取扱ツテ居ツタ數量ノ三分ノ一ヤ四分ノ一ノ取扱ガナイトハ、決シテ信ジナイ者デアリマス

○村松委員 新市場ハ電話一本ニ依ツテモ取引ガ出來テ、極メテ簡單デアルト云フノデアリマスガ、其ノ點ハサウデアリマス、唯舊來ノ市場モ同様デアツタノデアリマス、新配給機構モ左様ナノデアリマス、其ノ間何レモ私ハ差別ガナイと思フノデアリマス、問題ハ、新配給機構ト云フモノノ行ク途ハ、中間機關ノ排除ニアルノデアリマス、別ノ言葉デ言フト、配給機構ノ單純化ニアルノデアリマス、新市場、電話一本云々ト云フコト以上ニ、現在向ツテ居ル方向ガ、是ガ配給機

構ノ單純化ニ向ツテ居ルナラバ之ヲ助長セラレテ、同ジヤウニ電話一本デ取引ヲサセルノダト云フ方向ニ米穀ノ配給統制ヲ進メラレル方ガ、寧ロ現代ニ合フノデアアルマイカト云フコトヲ私ハ特ニ考ヘル次第デアリマシテ、是ハ委員長ノ御許ヲ得マシテ後ニ私ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、只今本會議カラ呼びニ參ツテ居リマシテ、私討論ニ立ツコトニナツテ居リマスカラ、時間ガアリマセヌノデ、此ノ點ニ關シテ保留ヲ致シマシテ、暫クノ間休マセテ戴キタイト思ヒマス

○添田委員長 馬岡君、アナタノ御要求ノ企畫院總裁ハ今呼びニ參ツテ居リマスカラ、農林大臣ニ對スル御質問ヲ初メニシテ下サイ

○馬岡委員 ソレデハ取敢ズ、今日マデ皆サンガ御尋下サイマシタノデ、殆ド質問スベキ個所ガナイヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、極ク簡單ニ法文ノ解釋ニ付テ當局ニ御尋シタイト思ヒマス、第一ニ、第一條ノ地域ト第五條ノ勅令ニ依ル地區トハ同一ノモノデナイト考ヘテ居リマスガ、左様考ヘテ宜イノデアリマスカ

○周東政府委員 第一條ノ地區ハ許可制度ヲ布キマス地區デアリマス、第五條ノ方ハ

米穀市場ヲ置キマシタ場合ニ於ケル市場ノ地區ト云フ關係デゴザイマシテ、違ヒマス

○馬岡委員 左様致シマス、實質ニ於テハ第一條ノ許可ヲ受ケル地域ノ方ハ廣クナル場合ガアルカ分ラヌト解釋シテ置イテ宜シウゴザイマスカ

○周東政府委員 其ノ通りデゴザイマス

○馬岡委員 其ノ次ニ、是ハ或ハ立法ノ性質上農林大臣ニ御答ヲ煩サナケレバナラナイカモ知レマセヌガ、一寸考ヘマス、第四條ニ於ケル非常命令ガアルナラバ、第十九條及ビ第三十五條ガナクテモ宜イコトニナリハシマセヌカ、此ノ法ノ意味カラ考ヘマス、第四條ニ於テハ有ルモノヲ取締ラレルコトニナルノデアリマスカラ、一種ノ非常命令ト見得ラレルト思フノデアリマス、サウシテ見ルナラバ、之ニ皆ガ包含サレテ居ルノデアリマス、第十九條及ビ第三十五條ト云フモノガ同一ノ用途ニ於テノ法文デアアルヤウニ思ハレマスガ、第四條デ全部ガ包含サレルコトニナラナイノデアリマスカ

○周東政府委員 第三十五條ハ日本米穀會社ニ對シテ命令致シマス場合デゴザイマスノデ、四條ノ範圍外デアリマス、御話ノヤウニ第十九條ノモノハ市場員ニ對スル命令

デアリマス、其ノ市場員ニ付キマシテハ、大部分ハ米穀ノ取扱ヲ爲ス者デアリマスカラ、此ノ點ハ或ハ一二重複スル場合ガアルカトモ考ヘマスケレドモ、命令ヲ爲シマス場合ニ於テハ、先ヅ市場員ニ對シテ其ノ命令ヲ爲シ、更ニ必要ナ場合ニ於テハ市場員タラザル者ニマデ廣ク及ブト云フコトノ意味合ニ於テ、別箇ニ規定シタニ過ギマセヌ

○馬岡委員 其ノ意味ハ能ク分ツテ居ルノデアリマス、併シ第四條ニ於テ會社モ加ヘテ置ケバ、必要ナモノダケハ其ノ時其ノ時ニ命令シ得ルノデアリマスカラ、第四條ダケニ米穀會社ノ名前ヲ列ネテ置ケバ、ソレデ片ガ著クヤウニ思ハレルノデアリマス、故ラニ第十九條、第三十五條ニ舉ゲル必要ガナイヤウニ思ハレルノデ御尋シタノデアリマス、徒ニ法文ヲ殖ヤスノミガ能デモナカラウト思ヒマスノデ……

○添田委員長 一寸馬岡君、企畫院總裁が見エマシタカラ、御急ギノヤウデスカラ、企畫院總裁ニ對スル質問ヲ先ニ御願致シマス

○馬岡委員 ソレデハ企畫院總裁ニ一寸御尋シタイノデアリマス、外デモナイ、綿製品ノ配給ニ關スル問題デアリマス、綿製品ノ配給ニ關シマシテハ、農山漁村及ビ工場、

鑛山労働者ニ對シテハ純綿布ヲ御配給願ヒ得タノデアリマス、然ルニ、仄カニ聞キマスルト「ストック」ニナツテ居ルモノダケハ配給スルガ、今後ハモウ農山漁村及ビ工場、鑛山用ノ特殊ノ純綿品ハ作ラナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ承ルノデアリマスガ、或ハ農山漁村及ビ工場、鑛山ニ必要ナ分ダケハ將來モ純綿品ヲ作ツテ御配布ヲ願ヒ得ルノデアリマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○青木政府委員 新シイ物資動員計畫ハマダ正式ニ決ツテ居ラナイノデアリマスガ、大體ノ情勢ハ物資統制ガ今マデヨリ一段ト強化サレルコトニナルノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ今御述べノ如キ國民ノ實生活ニドウシテモ無ケレバナラスト云フヤウナ物ニ付キマシテハ、今後モ出來ルダケノ工面ヲ致シマシテ、サウ云フ方面ノ需要ニ充テタイト云フ考ヲ以テ折角研究ヲシテ居リマス

○馬岡委員 大體諒承致シマシタ、併シ物資動員計畫ノ上カラ或ル場合ニ於テハソレヲ爲シ得ラレヌ場合ガアルカノヤウニモ承レルノデアリマス、併シ物ノ經濟ノ上カラ考ヘマスカ、一時ニ純綿品ヲ與ヘテ戴キ得ルナラバ之ヲ二年ナリ三年ナリニ使ヒ

得ラレルモノガ、却テ混織サレタ物ヲ與ヘラレル爲ニ、結局純綿其ノモノヲ使フ量ガ多クナリハセスカ、國家ノ物ノ經濟ノ上カラ却テ悪クナイカ、是ハ實際田ノ中デ働ク農民ト致シマシテハ、今度配給サレタアノ純綿品デハ殆ド間ニ合ハナイノデアリマス、併シ國寶ノ如クアレヲ取合ヒシテ居ルノデアリマス、今日寒イ時ニ浴衣地ヲ配給サレマシテモ仕方ガナイ、是デナケレバモウ得ラレナイトスレバト云フノデ、ヤハリアレハ取合ヒニナル、而モ需要者三人ニ對シテ一反位シカ渡ラナイト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマスノデ、非常ニ其ノ必要ヲ感ジテ居リマス、之ヲ配給シマスニ付キマシテハ隨分當事者ハ苦心ヲシ、眞ニ要ル者ノミニ配給シテ一時ヲ忍ンデ居リマス、併シ是ハ何時マデモ堪ヘ得ラレルモノデハナイノデアリマス、直グニ此ノ不足ガ起ツテ來ルノデアリマス、今日配給ヲ受ケ得ラレマセヌ者ハ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、此ノ時ニ於テ、浴用「タオル」ノ如キハ、全國ヲ通ジテ純綿品ヲ配給サレト云フヤウナコトヲ聞キ及ビマス、併シ農村、工場、鑛山等ニ對シテ今在ル分ヲ配給シテシマツタナラバ、將來ハ企畫院ニ於テモ御計畫ガナイト云フコトモ承リマスノデ、物ノ經濟ノ

上カラ何トカ是ダケハ特ニ御心配ニナツテ——贅澤ニ頂戴シタイト申スノデハナイ、必要ナダケハ御配給願ヒタイ、此ノ點ニ付テ特ニ御考慮ヲ煩ハシタイト御願スルノデアリマス——引續イテ前ノ御尋ヲ致シマス、先程ノ御答ニ依リマシテ、第十九條、第三十五條ノ必要論ハ別ト致シマシテ、第四條ニ依ルト非常命令トシテ或ル場合ニハ貯藏シテ居ル物モ配給統制上政府ガ之ヲ供出スルコトヲ命ジ得ラレルノデアリマス、併シ其ノ場合ニ於ケル價格トカ、條件トカ云フモノハ何等規定サレナイ、此ノ非常命令ヲ發表サレマス時ニハ、市場取引ヲ標準ニシテナサレルノデアリマスカ、或ハ其ノ時其ノ時ニ依リ御決メニナルノデアリマスカ、此ノ點ヲ承リタイ

○周東政府委員 市場ニ於キマスル公定價格ニ依ツテ行キタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員 其ノ次ニ第五條デ承リタイ、第五條第二項ニ依リマス「米穀市場ニ類似ノ施設ヲ爲シ又ハ其ノ施設ニ依リ取引ヲ爲スコトヲ得ズ」ト禁止サレテアルノデアリマス、現在此ノ類似市場ト見做サレルベキモノガアルノデアリマスカ、若シアリトスルナラバ、其ノ御處分ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、承リタイ

○周東政府委員 大體今ノ所ニ於キマシテハ現在ノ正米市場ト清算取引所等ノ外ハ、特別ナ類似ノ市場ト云フモノハ無いヤウニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 私共ガ聞キ及ブ所ニ依リマスト、現在之ニ類似シタ、正米市場デナイモノガ往々ニシテアルヤウニ聞キ及ブノデアリマス、ソレガ爲ニ御尋シタノデアリマス、

現在神奈川縣ニ三箇所類似シタモノガアルト云フコトヲ聞キ及ンデ居ルノデアリマシマス、是等ハ如何ニ御處分ナサルモノデアアルカ、此ノ條文ノ上カラ解釋シマスト疑義ガ起リマスノデ、御尋スルノデアリマス

○周東政府委員 此ノ點ハ商工當局トモ能ク連絡シテ調べテ居ルノデアリマスガ、只今ノ所先程申上ゲマシタヤウニ現在ノ正米市場、取引所以外ニ於キマシテハ大體無いト云フコトニ考ヘテ居リマス、唯今ノ御話

ノヤウナ點ニ付キマシテ、若シモサウ云フモノガアリマス場合ニ於キマシテハ、實際ノ場合ニ能ク事情ヲ調査致シマシテ處置致シタイト思ヒマス

○馬岡委員 其ノ次ニ、第六條ノ但書ノ「但シ履行期ニ於ケル決濟ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」ト規定サレテ居ルノデアリマス、又參考案トシテ配

付致サレマシタ勅令事項ヲ拜見シテ見マス

ト、未著物及ビ延取引ハ「此ノ限ニ在ラズ」ニ合マレルヤウニ思フノデアリマス、左様ニ致シマスト未著物及ビ延物デアリマス、

決濟期ニ於テ現金ヲ以テ買方ト賣方トガ差金決濟ヲ爲シ得ルモノデアアルカ、現金ハ授受シナクテモ濟ムト解釋シテ宜イノデアリマス

○周東政府委員 御話ノ未著物取引ニ於キマシテハ、最初ノ賣方及ビ最後ノ買方ハ必ズ現金ノ授受及ビ代金ノ授受ヲ致サナケレバナラス、併シ中間ノモノニ付キマシテ差金決濟ヲ認ムル、延ニ付キマシテハ受渡期日ヲ以テ差金ノ決濟ヲ認メル、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス

○馬岡委員 其ノ御答辯ニ依リマス、第六條第一項ノ但書ハ、勅令事項ニ依ルト未著物取引及ビ延取引ニ限定サレルヤウニ思フ、一番最後ノ履行期デスカラ決濟期デア

ラウト思ヒマスガ、最後ノ決濟期ニ於テハ、未著物ハ現物デナケレバナラス、サウ致シマス、此ノ第六條ノ命令事項ガ變ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ……

○周東政府委員 ソレハ變ツテ居リマセス、受渡期日ニ於キマシテ差金決濟ヲ認メマシガ、未著物取引ニ於テ認メル場合ト、延取

引ニ於テ認メル場合ト、ヤハリソコニ多少ノ區別ガアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマシテ、共ニ受渡期日ニ於テノミ差金決濟ヲ認メルト云フ譯デアリマス

○馬岡委員 其ノ次ニ米穀會社ノ證據金ハドレ位ニ御決メニナル御積リデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ米穀會社ノ設ケマス市場毎ニヤハリ違ツテ參ルト思ヒマスガ、現在行ハレテ居リマス證據金ヨリモ出來ルダケ安ク之ヲ決メタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員 第九條ノ第六號ニアリマス「營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者又ハ禁治產者」云々トアリマスガ、是ハドノ程度ノ年齢トカ云フ基準ガアルノデスカ

○周東政府委員 是ハ大體成年行爲能力者ニ對シマシテ特定ノ場合ニ行爲能力ヲ與ヘマス民法ノ規定ト同様ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 其ノ次ニ御尋シタイノハ、第十二條ノ身元保證金デアリマス、是モ先程ノ證據金ト一緒デ、現行ノ取引所ニ行ハレテ居ルモノヲ標準ニサレルノデアリマスカ、又ソレ以上ニサレルノデアリマスカ

○周東政府委員 是モ現行ノモノヲ標準ト致シマスガ、出來ルダケ安ク定メタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員 次ニ第二十三條ニ付テ御尋シタイ、此ノ規定ニ依リマス、中途ニ於テ外國人ノ役員ガ出來タリ、又其ノ所有スル株ガ過半数ニナツタリ、議決權數ガ過半数ニナツタ場合ニハ如何ニ御處置ナサルノデアリマスカ、御尋シタイ

○周東政府委員 大體此ノ株式會社ノ株式ニ付キマシテハ外國人等ニハ持タセナイ積リデ居リマス、途中讓渡等ノ方法ニ依リマシテ過半数ノ持株ガ外國人ニ渡ルト云フヤウナ場合ハ、大體起ラナイカト思ヒマス、

ナゼカト云フト政府ニ於キマシテ既ニ半數持ツテ居リマスノデ、半數以上外國人ニ渡ルト云フヤウナ場合ハナイカト思ヒマス

○馬岡委員 一寸私ノ言葉ガ足りナカツタノデ御間違ヒニナツタカモ知レマセスガ、帝國法人デアツテ社員、株主及ビ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、又ハ資本ノ半額以上若クハ議決權ノ半數以上外國人ガ持ツテ

居ルモノハ株ガ持テナイノデアリマス、併シ今ハ過半数以下デ株ヲ持ツテ居ルカ、中途ニ於テ其ノ法人ハ過半数以上デ株ヲ持ツタト云フコトガアリ得ルカモ知レナイ、ソレデ御尋スルノデアリマス

○周東政府委員 是ハ實際ノ場合ニ於テ處置ヲ致サナクテハナラナイト思ヒマスガ、

斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、實際ノ問題トシテ持ツコトヲ得ル方面ニ讓渡サセルヤウナ、或ハ買取ルト云フヤウナ方法ニ依リマシテ處置シテ行キタイト思ヒマス

○石坂委員 關聯事項デ一寸、只今ノ問題ニ付テ局長ニ御尋致シマス、是ハ何レ定款ガ出來ルダラウト思ヒマスケレドモ、外國人ニハ讓渡出來ナイ、讓渡禁止ノコトヲ定款等ニ書カレルヤウナ御意思ハアリマセヌデセウカ、サウスレバ外國人ニハイケナイト云フコトニナルノデスガ……

○周東政府委員 今ノ御話ハ株主トナツテ居ツタ帝國法人、其ノ中ノ株主ノ問題デゴザイマス、デスカラ其ノ點ハ先程申上ゲタヤウニ事實問題トシテ處置シテ行クヨリ仕方ガナイト思ヒマス

○馬岡委員 次ニ二十六條デスガ、此ノ條文ヲ表面的ニ解釋シマス、理事長及副理事長ガ缺ケタ場合ニ、理事ガ理事長ノ職務權限ヲ代行スルコトガ出來ナイヤウニ思ハレマス、其ノ場合ニ臨時ニ監督官デモ政府ガ置カレルナラバ、監督官ヲ置カレルト云フ規定ガナイト、ソコデ中絶スルヤウナ形ニ見エルノデスガ、サウナラナイノデスカ

○周東政府委員 是ハ第四項ノ規定ニ依リマシテ、普通ノ場合ニ於キマシテハ理事ガ

補佐シテ行ク譯デアリマスガ、特ニ副理事長ト理事長ガ同時ニ缺ケタヤウナ場合ハ餘リ豫想シテナカツタノデスガ、サウ云フ場合ニハ特ニ政府ガ監督權ノ發動デ、理事ヲ任命シテモ宜カラウカト思ヒマス、代表シテ業務ヲ執行致シマス理事ヲ特ニ其ノ場合ニ命ジタイト思ヒマス

○馬岡委員 大體分リマシタ、其ノ次ハ第三十條デスガ、之ニ依リマスルト三十條ノ第二項ニ於キマシテ、「日本米穀株式會社ノ役員又ハ使用人ハ市場員トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他市場員ノ業務ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得ズ」トアルノ

デアリマスガ、茲ニ資金ノ供與ト云フコトニ付テ色々ノ疑問ガ起リマスガ、資金ノ供與デナク、貸借關係ハ之ヲ許サレルノカドウカ、斯ウ云フコトガ疑問ニナルノデスガ、一寸當局ノ御回答ヲ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 此ノ規定ハ本會社ノ國策的使命ヲ完全ニ果サセマス爲ニ、役員トカ使用人ニ付キマシテ、市場員トノ間ニ因縁關係ヲ起サセズニ行キタイ、其ノ因縁關係ノ起リマス所カラ生ズル色々不正ナコトノ起ルコトヲ防止スル目的デアリマスルノデ、勿論例ヘバ御話ニナツタヤウナ資金ノ貸與ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、

特別ナ場合ヲ除キマシテハ出來ルダケ之ヲ避ケテ行カセタイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 次ニ御尋致シマスルノハ、此ノ米穀市場ノ外ノ取引ニ於キマシテハ本法ノ第七條ガ適用サレマスカ、適用サレヌノデアリマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

○周東政府委員 法律的ニ申シマスレバ、直接ニハ是ハ適用ハ致サレナイ譯デアリマス、併シ實際ノ市場ニ於テ定メラレタ價格ト云フモノガ「リード」致シマシテ、市場外ノ取引ト云フモノヲ自然的ニ導クコトニナルト思ヒマス

○馬岡委員 御說御尤デアリマスルガ、先程來村松君モ仰セニナリマシタガ、或時ニ於テハ其ノ需給ノ關係上、是ハ最高最低價格以外ニ物價ノ價格ガ現レル場合ガアリマシテ、法ヲ發動スル程ノヒドイ問題デナクテモ、生産者ガ賣惜ヲスルカ、何トカ云フ場合ニハ市場外ノ取引デハ價格異動ガ行ハレテ來ルカモ知レナイ、其ノ場合ニハ認メルヤウニ此ノ法律デハ見ラレルガ、左様ニ解釋シテ宜イカ、御尋シマス

○周東政府委員 極端ナ弊害ガ起リマセヌ限り、御話ノ通りダト思ヒマス、併シナガラ此ノ第七條ヲ設ケマシテ、同時ニ此ノ市

場ニ於ケル米ノ値上リト云フモノヲ出來ルダケナクサセタイ、市場員ニ於キマシテハ市場外ニ於ケル取引ヲ原則トシテ認メナイト云フ行キ方ニ大體ナツテ居リマスノデ、大體ハ市場ノ公定價格ニ依ツテ外ノモノヲ引張ツテ行クコトガ出來ルト思ヒマス、今御話ノヤウナ場合ガ起リ、ソレガ非常ニ配給ノ統制上、或ハ價格ノ適正ナル公定ト云フコトニ弊害ガ起リマス場合ガ出テ參リマスレバ、第七條ノ發動ニナル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○馬岡委員 ソコデ御尋致スノデアリマスガ、第七條ニ依リマスルト、最高價格以上ノ取引ハ絕對ニナイコトニナルノデアリマスガ、左様ニ致シマス、先日來色々ト皆サンカラ御話ニナリマシタ通り、農民ハ肥料モ高く、生産費ノ高イモノヲ以テ米ヲ作りナガラ、常ニ米ヲ安く決メラレテ居ツテ困ルト云フ見方モアルノデアリマス、又此ノ頃米其ノモノガ大麥、若クハ小麥其ノ他ノ雜穀ト價格ヲ比較致シマスルト、今日ノ如ク小麥、大麥、裸麥ガ米ト接近シタ時代ハ少ナカラウト思ハレマス、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルト、結局農民ハ安イ米ヲ賣ラナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマス、併シ此ノ法律ガ臨時立法デアリ、臨時措置法デアラナラバ

兎毛角、是ハ恆久的ノ米穀策トシテ制定サ
レルノデスカラ、結論トシテハ米ハ最高價
格以上ニ賣レナイ、釘付ケニサレタモノデア
ルト云フコトニ到達スルノデアリマス、茲
デ米ノ最高價格、最低價格ガ問題ニナツテ
來ルノデハナカラウカト思ハレマス、然ル
ニ米ノ最高價格、最低價格ハ米穀統制法ニ
依ツテ率勢米價——標準ニ依ツテ規定サレ
テ居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘマスルト、
今後農林大臣ノ御裁定ニ依ツテ米穀ノ最
低、最高價格ノ斟酌率ヲ決メラレル時ニ、
非常ニ農民ノ爲ニ御考慮ヲ煩ハサナケレバ
ナラナイ問題ガ起ツテ來ルノデハナイカ、

考ヘルベキ問題ガ起ツテ來ヤシナイカ、斯
ク云フ心配ヲスルノデアリマス、此ノ時ニ
於キマシテ今後米穀統制法ヲ改善サレルト
スルナラバ、價格ノ措置ニ對シテハ農林大
臣ニ餘程農民ノ爲ニ御考慮ヲ煩ハシタイ、
適正ナル米價ヲ御決メテ願フノデアリマス
ガ、非常時ノ今ハ兎毛角、永久ニハ農林大
臣ノ御裁定ニ非常ニ御心配ヲ煩ハサナケレ
バ、農民ガ生キテ行ケナイコトニナルノデ
ハアルマイカト、非常ニ心配致スノデアリ
マス、其ノ點ニ付テ農林大臣ノ御考ヲ承リ
タイノデアリマス

風ニ、非常ニ生産費ニ於テ騰貴致シテ居ル
ノデアリマシテ、昨年ノ例其ノ儘ノ最高米
價ニ依ツテ我慢シテ戴クト云フコトハ、可ナ
リ農民ニ對シテ御氣ノ毒ト考ヘマスガ、併
シ是ハ御承知ノ通り消費者階級ノ堪ヘ得ル
値段ト云フコトモ、參酌セラレテ居ルノデ
アリマシテ、今日直チニ此ノ問題ヲ特殊ナ
事態ノ關係トシテ、只今動カスト云フ考ハ
ゴザイマセヌケレドモ、是ハ急激ナ變化ノ
アツタ場合ニハ無論動カスベキモノデアリ
マス、ト同時ニ今後其ノ最高最低ヲ決メマ
ス場合ニハ、本法案ガ通過致シマシタナラ
バ、非常ナ問題ガソコニ起ツテ來ルノデア
リマスガ故ニ、農林大臣ハ固ヨリ、各米穀統
制委員ノ方々モ此ノ點ニ付テハ深キ注意ヲ
サレルコトト固ク信ズルノデアリマス、私
モ其ノ點ニ付キマシテハ十分ナル注意ヲ拂
フ考デアリマス

ニ角取引ガ出來タノデアリマス、併シ御答
辯ニ依リマス、今後ハ最高價格ノ取引ガ
出來得ナイノデアリマス、又消費者階級ノ
コトモ考ヘル必要ガアルノデアリマス、併
シ消費者階級ノコトヲ考ヘルト致シマシテ、
茲ニ特ニ御考ヲ煩ハシタイノハ、現在ノ家
計費ニ對スル米ノ比率、是ハ如何ニ接近シ
テ居ルカ、離レテ居ルカ、以前ノ如キ平和
時代ニ於ケル家計費中ノ米價ノ對比ト、今
日ノ家計費中ノ米價ノ對比ハ左程ニ變ツテ
居ナイ、米ト云フモノガ一家ノ生計ニ大ナ
ル支障ヲ來サナイ數字ニナツテ居リハシナ
イカ、之ヲ特ニ御考ヲ煩ハシタイ、之ニ對
シテハ詳細ナ數字ヲ持ツテ居リマスガ、時
間ガアリマセヌカラ、唯當局ニ御一考ヲ願
ツテ置キマス、是ハ農民ガ苦シイ立場ニ於
テ決メラレテ居ルト云フコトガ、申シ得ラ
レヨウト思フ、併シ此ノ問題ハ特ニ今農林
大臣ノ考慮ヲスルト云フ御言葉ヲ頂戴致シ
マシテ、農民ハマア辛抱シナケレバナルマ
イト考ヘマスガ、重ネテ是レダケヲ御願申
シテ置キマス、次ニ今度朝鮮總督府ニ於テ
御計畫ニナツテ居リマス朝鮮ノ米穀市場ノ
計畫案ヲ拜見シマス、第六ニ「米穀市場ニ
於ケル賣買取引ノ價格ハ原則トシテ毎朝
鮮總督府ノ指定スル價格ノ範圍内ニ之ヲ制

茲ニ此ノ法案ガ通過致スト致シマスルナラ
バ、永久ニ農民ハ此ノ法律ニ依ツテ安イ米
ヲ賣ルコトニナリマス、如何ナル場合ト雖
モ此ノ最高價格ヲ上ダタ相場ハ取引出來ナ
イコトニナルノデアリマス、サウシテ他ノ
物價ノ方ハ臨時措置法ニ屬スルモノガ多イ
ノデアリマスガ、獨リ米ダケハ茲デ恆久的
ノ法律トシテ現レテ來タノデアリマス、此
ノ點ニ於テ農民ノ受クル苦痛ハ、此ノ事變
下ニアリマシテハ、如何ナル苦痛モ甘受シ
テ受ケナケレバナリマス、併シ此ノ事
變カラ離レテモ此ノ苦痛ヲ受ケナケレバナ
ラナイトスルナラバ、茲ニ農民トシテ餘程

○櫻内國務大臣 洵ニ御尤ナル御尋デアリ
マス、現在ノ最高價格ノ決メ方竝ニ最低價
格ノ決メ方ハ——御承知ノ通り昨年暮ニ決
メラレタノデ、私ハ關與シテ居リマセヌガ、
併シ要スルニ生産費ト物價指數、所謂物價
參酌値ト云フモノヲ睨ミ合ハシテ、ソレニ
農林大臣ノ裁量ト云フモノガ加ハツテ出來
テ居ルト承知致シテ居リマス、併シ今御話
ノ如ク頭ヲソレニ依ツテ抑ヘラレルト云フバ
カリデナク、下モヤハリ抑ヘラレテ居ルノデ
アリマシテ、下ノ場合ニ於キマシテモ亦十
分考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、併
シ今日ノ現狀ニ於キマシテハ、農村トシマ
シテハ肥料ガ上ル、或ハ農具ガ上ルト云フ

○馬岡委員 御説明ヲ承リマシテ稍、諄解
ヲ得タノデアリマスガ、併シ今大臣ノ御言
葉ノ中ニ、最低ノ場合モアルト云フコトヲ
御話ニナツタ、米穀統制法ニ依ツテ最低ノ
場合ハ無制限ニ國家ニ買入レテ戴ケルノデ
アリマス、又最高ノ場合ニハ或ル程度政府
ノ持米ヲ賣出シテ、調節ガ出來ルノデアリ
マセウガ、價格以上ノ取引デアツテモ、兎

ニ角取引ガ出來タノデアリマス、併シ御答
辯ニ依リマス、今後ハ最高價格ノ取引ガ
出來得ナイノデアリマス、又消費者階級ノ
コトモ考ヘル必要ガアルノデアリマス、併
シ消費者階級ノコトヲ考ヘルト致シマシテ、
茲ニ特ニ御考ヲ煩ハシタイノハ、現在ノ家
計費ニ對スル米ノ比率、是ハ如何ニ接近シ
テ居ルカ、離レテ居ルカ、以前ノ如キ平和
時代ニ於ケル家計費中ノ米價ノ對比ト、今
日ノ家計費中ノ米價ノ對比ハ左程ニ變ツテ
居ナイ、米ト云フモノガ一家ノ生計ニ大ナ
ル支障ヲ來サナイ數字ニナツテ居リハシナ
イカ、之ヲ特ニ御考ヲ煩ハシタイ、之ニ對
シテハ詳細ナ數字ヲ持ツテ居リマスガ、時
間ガアリマセヌカラ、唯當局ニ御一考ヲ願
ツテ置キマス、是ハ農民ガ苦シイ立場ニ於
テ決メラレテ居ルト云フコトガ、申シ得ラ
レヨウト思フ、併シ此ノ問題ハ特ニ今農林
大臣ノ考慮ヲスルト云フ御言葉ヲ頂戴致シ
マシテ、農民ハマア辛抱シナケレバナルマ
イト考ヘマスガ、重ネテ是レダケヲ御願申
シテ置キマス、次ニ今度朝鮮總督府ニ於テ
御計畫ニナツテ居リマス朝鮮ノ米穀市場ノ
計畫案ヲ拜見シマス、第六ニ「米穀市場ニ
於ケル賣買取引ノ價格ハ原則トシテ毎朝
鮮總督府ノ指定スル價格ノ範圍内ニ之ヲ制

限スルコトアリマスガ、朝鮮總督府ノ指定スル價格ト云フノハ、何カ據リ所ガアルデセウカ、之ヲ承リタイノデアリマス、朝鮮總督府ノ方ガ御出デニナラスト御分リニナリマセヌカ

○周東政府委員 今呼ビニ行ツテ居リマスニ先日來此ノ法律ト同時ニ國營検査ヲシナケレバナラヌデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ色々ノ御尋ガアツタノデアリマス、其ノ時ニ政務次官カラノ御答辯デアツタカノヤウニ思ハレマスガ、近キ將來ニ於テ考ヘルト云フ御話ガアツタノデアリマス、ソレデ大體ハ盡キテ居ルノデアリマスガ、當局ハ此ノ法案ヲ出スナラバ、市場取引ノ適正ヲ期スル爲ニ、圓滑ヲ期スル爲ニ國營検査ガ必要デアルト御認メニナツテ居ルカ、間ニ合ハナカツタノデ出サナイト云フ御意見デアリマスガ、此ノ點ダケ承ツテ置キタイノデアリマス

○周東政府委員 米穀ノ國營検査ニ付キマシテハ、出來ルダケ早く之ヲ實現スルコトノ必要ハ認メテ居ルノデアリマス、是ハ財政上ノ關係モゴザイマスノデ、今年ノ間ニハ合ハナカツタノデアリマス

○馬岡委員 左様致シマス國營検査ト云フモノハ、米穀配給統制法ノ上カラ、又米穀會社案ノ上カラ、尙更必要ダト御考ニナルノデアリマス

○周東政府委員 本法ノ施行ニ依リマシテ米穀ノ配給ヲ統制致シマスニ關聯致シマシテモ、若シ國營検査ガ出來テ居リマスレバ、此ノ效果ハヨリ擧ゲ得ルコトデアラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 私ハ此ノ法案ヲ出スナラバ、國營検査ト竝ンデシナケレバ跛行的デアルト解釋スルノデアリマス、御答ニ喰ヒ違ヒガアルト思ヒマスガ、ソレハ先ヅ是ダケニシテ、次ニ進ミタイト思ヒマス、次ニ御尋シタイノハ、此ノ法律ヲ運用シマスニハ、ドウシテモ集荷ト云フモノヲ御考ニナラズニ配給ハ出來ヌヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレニ對シテハ第四條ノ命令事項ガアリマス、是ハ絕對權デアリマス、集荷ト云フ方面ガ先ニナルノデアリマスガ、ソレガナイヤウニ思ハレルノデアリマス、之ニ對スル缺陷ハドウ云フ風ニシテ此ノ會社ノ運用上行ハレテ行クカ、常ニ第四條ノ命令デ爲サルノデアアルカ、サモナイ時ニハ先程モ色々議論サレテ居リマシタガ、市場ヲ利用シナイト云フ者ガ出來タ場合ハ、結局市場ハドウシテ行クカ、斯ウ云フコトニナルノデア

リマス、集荷ト配給ト相俟ツテ此ノ會社ノ運用ガ出來ルト思ハレマスノニ、集荷ニ關係スルモノガ拔ケテ居ルヤウニ思ハレマス、此ノ點ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤ダト思ヒマスガ、差當リハ各地方ニ於ケル相當數量米穀ヲ取扱ツテ居ル者ニ、市場員ニナツテ戴キマシテ、是等ヲ通ジテ米ノ主流ヲ市場ニ出サセルト云フコトデ行キタイト思ツテ居リマス、其ノ上尙ホ實際問題ニ關シテ集荷關係ニ窮屈ダト云フ問題ガ起リマスレバ、自ラ別ニ考慮ノ仕様ガアルカト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 ソレデハ米穀會社ノ内容ニ入ツテ御尋ヲ致シタ方ガ早イカモ分リマセヌカラ、内容ニ入ツテ御尋致シタイト思ヒマス、先日來カラノ當局ノ言明ニ依リマスルト、市場ニ於テ扱フ臺灣米ハ石四厘デアル、又未著物及ビ延取引ノモノハ八厘デアル、然ルニ蓬萊米ハ石十五錢デアル、又政府米ハ石十九錢五厘、斯ウ云フ風ナ手數料ノ發表ガアツタノデアリマス、是ハ蓬萊米ト政府米ハ何カ取扱フ上ニ於テ特ニ各經費ガ餘計掛ル爲ニ高イノデアリマスガ、又何カ他ニ理由ガアツテ高イノデアリマスガ承リタ

イ

○周東政府委員 ソレハ臺灣米ノ取扱ニ付キマシテモ大體之ヲ扱ヒマスル上ニ於キマシテ月別平均的ニ之ヲ内地ニ持ツテ參リマシテ賣捌ク必要ガアリマス、ソレニ付キマシテ其ノ配給ヲ圓滑ニ致シマスル爲ニ、先ヅ差當ツテ臺灣ニ於キマシテハ基隆、高雄等ニ持ツテ來ルノデ、倉庫或ハ宿舍ヲ建テル必要ガゴザイマス、ソレカラ臺灣米關係ニ付キマシテ之ニ關聯シテ相當人モ必要デアリマス、ソレカラ賣却ニ關聯致シマシテ營業費ガ必要デアリマス、是等ノ點ヲ總體的ニ考ヘテ見マスト、經常ノ支出ト致シマシテ約三十二三萬圓ノ經費ヲ要スル譯デアリマス、ソレニ對シマシテ一石十五錢ノ手數料ハサウ、高イモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ政府ノ委託ヲ受ケテ米ノ買入賣却ヲ致シマス場合ニ於キマシテモ、是ハヤハリ之ニ關聯致シマシテ經費ヲ必要トスルノデアリマス、是ハ現在ニ於キマシテモ米ノ買入ヲ致サセマスル場合ニ於テ、ヤハリ二十日位ノ平均ニ致シマシテ政府ニ受渡ヲ致シマスマデニ買ツテ持ツテ居ラナケレバナラスト云フヤウナコトモアリマス、ソレ等ニ關スル經費トカ其ノ間ノ金利トカ、又受渡ニ關シマシテ色々ノ經費ヲ

要シマス、ソレニ可ナリノ危険、負擔ヲ負ハセテ居ル譯デアリマス、是等ニ關シマスル經費ハ實際ニ必要デアリマスルシ、ソコニ多少ノ口錢等ヲ加ヘテ見テヤル必要ガアリマスルノデ石當リ千分ノ六ノ手數料ハサウ高イモノデアルトハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス

○馬岡委員 サウ致シマス、臺灣米ニ對シテハ三十數萬圓ノ經費ヲ要スル、斯ウ云フ御話デアリマス、又臺灣地内ニ倉庫ナリ其ノ他ノ設備ヲ持タナケレバナラスト云フ御話デアリマス、臺灣米ハ臺灣總督府ガ御管理ニナツテソレヲ内地ニ移出ナサルノデア

ルカラ、臺灣總督府自身デソレヲオヤリニナラナイノデアリマス、其ノ點ハ三十數萬圓ニ關スル内譯ガ分ツテ居リマスルナラバ、モウ一度念ノ爲ニ承リタイト思フノデアリマス

又政府ノ取扱米ガ如何ニ二週間ノ日子ヲ要シマシテモ臺灣カラ持ツテ來ル米ガ一切ノ手數料ヲ見テ十五錢デアルトスルノニ、政府ノ買入ニハ二週間、ソレカラ經費ガ掛ルト云ツテ十九錢五厘ニシテ居ルノハ馬鹿ニ政府米ガ高ク付クヤウニ思ハレルノデアリマス、是ハ内容ヲ拜見スルト實際サウ云フコトニナルノデアリマセウガ、吾々素人カラ考ヘ

ルト何ダカ配當保證ヲスル爲ニ、是デ配當保證ヲナサツテ居ルモノノヤウニモ見エラナイデアリマス、其ノ内容ヲ承ツテカラ御尋致シタイトハ思ヒマスルガ、序ニ米穀取扱業務費ノ内譯ヲ拜見致シマスルト百五萬三千圓ト云フ金ガ收入ノ方ニ入ラレテ居ルヤウデアリマス、是ハ相當ノ金利ヲ御取リニナルト思ハレマスガ、是ハドレ位ノ米ヲ御取扱ニナリ、又米ニ對スル金利デモドレ位御取リニナルカ、是モ御分リニナツタナラバ一寸御示シテ願ヒタイ

○周東政府委員 臺灣米ノ問題デゴザイマ

スガ、是ハ基隆高雄ニ於テコチラノ會社ガ受取りマシテソレ以後ハ全部會社ノ負擔ニナツテ居リマス、ソレカラ臺灣ノ方ノ臺灣米ニ關スル經費ノ内譯デゴザイマスガ、大マカナ所デゴザイマスケレドモ大體營業費ト致シマシテハ二十六萬七千餘圓倉庫等建テマシタモノニ對スル償却費ヲ三萬二千圓位見テ居リマス、ソレカラ内地ニ於ケル政府ノ買上賣却ニ關スル手數料ノ御質問デゴザイマスガ、是ハ大體政府ガ民間カラ米ヲ買上ゲマス場合ニ於キマシテモ、大體三十日若クハ四十日位ノ受渡期間デ米ノ買上ヲ致シテ居ル譯デアリマス、其ノ間ニ民間デハ買集メマシテ順次政府ニ納メテ參ルト

云フヤウナ形ニナツテ居リマス、此ノ場合ニ大體平均致シマシテ二十日位ノ受渡期間ガアルト致シマス、會社ニ命ジテ致シマシタ時ニハ會社ハ其ノ間金利ヲ拂ツテ居ラナケレバナラス、又其ノ二十日間ニ於テ倉敷料ヲ拂ツテ保管シテ置カナケレバナラス、又買上ゲマスニ付キマシテ、是ハ買上

グタ依ニ對シテ大體百分ノ五位ヲヤルコトニナツテ居リマスガ、ソレノ看貫ヲシ或ハ舛廻シ等ノ仕事ヲシナケレバナラス、是等ニ對スル受渡費用ト云フモノガ要ル譯デア

リマス、ソレカラ時ニ中ニ惡イ米ノ入ツテ居ルト云フコトガアリマスノデ、是等ニ對スル危險負擔ト云フモノヲ見テ居リマス、其ノ他口錢ト云フモノモ見マスト大體買上ノ場合一石ニ二十五六錢掛カル譯デアリマス、ソレヲ賣ノ場合ト平均致シマシテ大體安ク十九錢五厘ト云フヤウニシテ居ル譯デアリマス

○馬岡委員 大體諒承致シタノデアリマスルガ、左様致シマスルト米穀會社ガ政府米ヲ買入レマス時ニハ解俵ヤ舛廻シハ一切米穀會社デヤツテ貰ヘルノデスカ

○馬岡委員 在來政府ガ買上米ニ對シテハ是ハ生産者ガ負擔シテ居ツタノデアリマスサウ云フ場合ニハ今度此ノ會社ニ負擔シテ貰ヘルトスルト生産者ハソレダケ助カルコトニナルノデスカ、左様ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○周東政府委員 從來ニ於キマシテモ是ハ商人トシテ負擔シテ居ル譯デアリマス、御話ノヤウニ生産者團體カラ買入レマス場合ニハ生産者團體ガ負擔シテ居ル譯デアリマ

ス

○馬岡委員 分リマシタ、ソレカラ其ノ次ニ米穀取扱業務費ノ諸掛リナドノ立替百五萬三千圓ノ内容ニ付キマシテ、分ル範圍ニ於テ、金利トカ若クハ立替金額ト云フヤウナモノガ分リマシタラ、一寸御知セテ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ内地米、朝鮮米、臺灣米等ニ付テ多少違ツテ居リマス、各別ニ出スノヲ平均致シタノデアリマスカラ、其ノ點御承知ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、先ヅ内地米ニ付キマシテハ一石ニ於テ之ヲ三十二圓六十五錢ニ見積ツタ石ノ値ニ付キマシテ、日歩一錢二厘、十日ノ金利ガ三錢九厘、ソレカラソレニ對シマシテ運賃諸掛リガ合計八十五錢五厘ノ五分ノ手數料、四

錢三厘ト云フヤウナモノヲ合計致シマシテ約八錢二厘ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ朝鮮米ニ付キマシテハ、同様ナ關係ニ於キマシテ、一石ニ付テ實際十六錢位掛ツテ居ルノデアリマス、臺灣米ニ付キマシテハ、同様ナ關係ニ於キマシテ十九錢五厘位掛ツテ居リマス、之ヲ實際ノ取扱ヲ致シマスル各數量ニ加重平均致シマシテ出シテ見マスルト、大體十四錢近クニナルノデアリマスガ、之ヲ出來ルダケ安ク致シマスルト云フ關係ニ於キマシテ、九錢ト云フ風ニ致シタ譯デアリマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、出來ルダケ荷送人或ハ買受人等ニ對シマシテ冗費ヲ省カセルト云フ意味合ニ於キマシテ、取纏メテ色々ソレ等ノ世話ヲ致シ、其ノ立替スルト云フコトニ依ツテ冗費ノ節約ヲ致シ、サウシテ其ノ一部ヲ會社ニ戴ク、斯ウ云フ計畫ニナツテ居ル譯デアリマス

○添田委員長 馬岡君一寸、先刻御要求ノ朝鮮ノ農林局長ガ見エテ居リマス

○馬岡委員 ソレデハ、朝鮮總督府ニ於テ朝鮮米穀市場株式會社ノ要綱令ヲ拜見シタノデス、其ノ第六ニ「米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ價格ハ原則トシテ毎々朝鮮總督ノ指定スル價格ノ範圍内ニ之ヲ制限スル

コト」トアル譯デアリマスガ此ノ指定スル價格ト申シマスルノハ、何ヲ基準ニシテ御指定ニナルノ力承リタイ

○湯村説明員 御答申上ゲマス、是ハ内地ノ會社ニ於キマスルト全ク同一精神ニ依リマシテ、内地ノ最高最低價格ニ大體準據ヲ致シテ之ヲ決メタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○西川委員 一寸關聯シテ、...是ハ私初メニ御問ヒシマシタ時ニモ關係ガアツタノデ實ハ之ニ對スル御答辯ガ其ノ際アルコトヲ期待シタノデアリマスガ、其ノ當時ニハ斯ウ云フヤウナ問題ニ付テハ考ヘラレナイト云フコトヲ答ヘラレマシタ、只今漸ク明ニナリマシタノデ、更ニ其ノ内容ヲ御知セヲ願ヒタイ、サウ致シマスルト、大體朝鮮ニ於キマシテモ現在ノ米穀統制法施行令第二條ニ定メテ居リマスルヤウナ方式ニ依ツテ、此ノ最低最高ノ價格ヲ決メラレル御用意ガアルノデアリマスカ

○湯村説明員 是ハ御承知ノ通り統制法其ノモノガ朝鮮ニハ適用ニ相成ツテ居ラナイノデアリマス、併シ内外地全ク一貫ノ趣旨ノ下ニ行カナケレバナラスト云フコトハ、當然ナノデゴザイマス、大體内地デ御決メニナリマスル所ノ最高最低價格ト云フモノ

ヲ基準ト致シマシテ、ソレニ依ツテ朝鮮ノ最高最低價格ト云フモノヲ決メマシテ、サウシテ其ノ範圍内ニ於テ取引ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○西川委員 サウ致シマスルト、内地デ行ウテ居リマスルヤウナ公定價格決定ノ方程式ヲ、朝鮮ノ實數ニ基イテ米穀統制法施行令ニ規定致シテ居リマスヤウナ方程式ヲ以テ、最低價格最高價格ヲ御定メニナルノデアリマスカ、ソレトモ現實ノ内地市場ニ於ケル朝鮮米ノ時價カラ逆算ヲシテ、運賃諸掛リ等ヲ差引イタモノヲ以テ朝鮮ノ公定價格トサレルノデアリマスカ

○湯村政府委員 是ハマダ朝鮮總督府ダケデ決メルト云フコトハ如何カと思フノデアリマス、御承知ノ通り將來ハ内地市場ニ於キマシテモ、朝鮮米ノ公定價格ト云フモノガ直接或ハ間接ニ御決マリニナルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ農林當局ト其ノ間ニ十分ナ御協議ヲ申上ゲテ、サウシテ其ノ最高最低價格ヲ決メナケレバナラスト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 是ハ本案ニ關聯シマシテ非常ニ重大ナ點デアリマス、私ハ内地米ニ於キマシテモ各銘柄別ニ公定價格ガ違ツテ居ルノデアリマスカラ、當然朝鮮米ニ於キマシ

テモ各銘柄別ニ公定價格ハ違ツテ來ナクテハナラヌ、然ルニ實際ト致シマシテハ、内地市場ニ於ケル朝鮮米ノ各銘柄別ノ市場價格ヨリ運賃諸掛リ等ヲ控除致シマシテ、詰リ逆算シテ朝鮮市場ニ於ケル公定價格ヲ定メルト云フヤウナコトハ、技術上出來ナイト思フ、サウスルトドウシテモ朝鮮ニ於キマシテハ、朝鮮ニ於ケル實數ヲ資料ト致サレマシテ、米穀統制法施行令ノ定メテ居リマスルヤウナ方程式ニ基イテ、最低價格ト最高價格ヲ御決メニナラナクテハ決リヤウハナイト思フ、サウシマスルト内地ノ經濟事情ト朝鮮ノ經濟事情トハ違ヒマスカラ、内地ノ市場ニ於ケル朝鮮米ノ市場價格ヨリモ朝鮮ニ於ケル公定價格ハ低クアルベキ筋合

ノモノダ、是ハ朝鮮ニ於ケル經濟事情ヨリサウナツテ來ル、サウスルト朝鮮ニ於ケル朝鮮米ノ市價ト、内地ニ於ケル朝鮮米ノ市價トノ間ニ差額ガ生ジテ來マスカラ、其ノ差額ハ移出商ノ利得ニナルノデアアルカ、或ハ此ノ差額ヲ合理的ニ處置致シマスル方策ハ、臺灣米ノ管理制度等ニ於テ執ラレタヤウナ方策ヲ御執リニナルカ、是ハ好ムト好マザルトニ拘ラズ、斯ウ云フコトニナツテ來レバ、ドウシテモ臺灣米ノ管理ノヤウナ制度ガ必要トナツテ來ルト私ハ考ヘル、詰リ朝鮮ガ自由

放任主義ノ建前デ來ラレタ時ニハ、今マデ
通りデ宜カッタノデアリマスケレドモ、内
外地ヲ通ジテ米價ノ管理ヲスルコトニナリ
マス、ドウシテモ朝鮮ニ於キマシテモ臺灣
ノヤウナ制度ガ行ハレナカッタナラバ、其
ノ内地ニ於ケル市價ト朝鮮ニ於ケル公定價
格トノ間ノ轄ト云フモノガ何處ニ歸屬スベ
キモノカト云フコトガ、大キナ問題ニナツテ
來ル、私共ハ時日ガアリマスレバ、此ノ問
題ニ付キマシテ、ハツキリシタ御答辯ヲ得
ルマデ本案ニ對スル協賛ハ出來ナイノデ
ス、實際ニハ非常ナ問題デス、朝鮮米ノ移
出商トノ關係、又其ノ朝鮮カラ來マス米穀
ヲ此ノ會社ニ渡シテ取扱フサセラルルノデ
アルガ、其ノ場合ニハドノ程度マデ此ノ會
社ガ利得スベキモノデアルカ、是ガ定マツ
テ來マセスト——臺灣米ノ二倍位ノ數量ガ
入ツテ來ルノデアリマスカラ、是ガ分ラナ
クテハ、此ノ案ニ對シテ吾々ハ協賛スルコト
ガ出來ナイ、併シナガラ本案ノ成立ヲ一日モ
早ク希望致シマスルガ故ニ、吾々ハ讓歩ノ
上ニモ讓歩致シマシテ、其ノ點ニ付キマシ
テハ吾々ハ追詰メハシナイノデアリマス
ケレドモ、誠意ヲ以テ、其ノ内容ニ付テハ、方
針ダケハハツキリト御明示ニナラナケレバ、
此ノ審議ヲ進メルコトハ餘程困難ダト思ヒ

マス、大體ノ原則ダケハ——其ノ間當然可
ナリ大キナ利轄ヲ生ジテ來ル、其ノ利轄ハ
何處ニ歸屬スルノデアルカ、其ノ點ニ對ス
ル大方針ダケハ、是ハ政府委員カラ御答辯
ヲ願ツテ置ク、大體ニハ拓務大臣カラ御答
辯ヲ願ハナクテハナラヌ問題デアアルガ、臺
灣ト朝鮮ニ對スル方針ガ違ツテ來ルト云フ
コトハ、拓務行政ノ上ニ於テ許スベキコト
デハナイ、是ハ餘程重大ナ點デアリマス、
然ルベク御取計ヒヲ願ヒタイ
○添田委員長 平野君、何カ關聯シテ御尋
ガアリマスカ
○平野委員 今ノ西川君ノ聽カレタコトニ
ヤハリ關聯シテ來ルノデスガ、朝鮮ノ米穀
政策ト云フモノハ、實際ノ米ヲ生産シテ居
ル農家ト、米ヲ商品トシテ扱ツテ居ル人ト
ノ間ニハ、相當相反スルモノガアルノデス
ガ、朝鮮總督府ハ此ノ問題ニ付テ大體ドウ
云フ御考ヲ持ツテ居ラルルカ、ソレヲ先ヅ
聽キタイ、ソレダケデ御分リニナラナケレ
バ説明シマス
○湯村説明員 モウ少シ御尋ノ趣旨ヲ詳シ
ク御聽カセヲ願ヒマス
○平野委員 米ヲ商品トシテ扱ツテ居ル者
ト申シマスノハ、朝鮮ノ増産計畫カラ土地
ヲ段々ニ買ツテ、所謂朝鮮人ヲ使ツテ米ヲ

商品トシテヤレバ儲カルダラウト云フ考カ
ラ、朝鮮ニ土地ヲ持ツタ人デアリマス、ソ
レカラ實際ノ耕作者ト云フ者ハ、サウ云フ
場合ニ、兎ニ角勞力ガ餘ツテ居ルカラト云
フノデ、其ノ土地ニ依存シテ米ヲ作ツタ人
間デアアル、言換ヘレバ米ヲ作ツテ居ル人間
ハ米ノ高イ安イト云フコトデナク、唯米ヲ
作ツテ居ルト云フダケノ一ツノ機關ノヤウ
ナモノデアアル、隨テ朝鮮總督府ガ農業政策
ヲ考ヘルトキニ、米ヲ商品化スルノヲ基準
トシテ米穀政策ヲ考ヘルカ、米ヲ作ツテ居
ル生産者ヲ中心トシテ米穀政策ヲ考ヘルノ
カト云フコトガ重大問題デアアル、是モ相當
深く考ヘテ居ラルルノカ、或ハ斯ウ云フコ
トハ無關心デ唯ヤツテ居ラルルカ、之ヲ聽
キタイ
○湯村説明員 御話ノヤウナ場合モ絶對ニ
ナイトハ申上ゲラナイト思フノデアリマ
ス、併シ大體ニ於キマシテ、朝鮮ノ現狀ハ
總人口ノ約八割ニ近イモノガ農民デアリマ
ス、又其ノ農民ノ中ニ於キマシテモ、大小
ハ無論アリ、多少ノ差ハアルノデアリマス
ルガ、何レモ農民ト致シテハ米ヲ賣ツテ農
家ノ他ノ經濟ヲ補ツテ行クト云フヤウナコ
トガ、今日實際ノ常態デアリマス、其ノ意
味ニ於キマシテ朝鮮ノ農家ノ米ニ關スル關

心、又重要性ト云フモノガ、極メテ多イト
申上ゲテ宜カラウト存ジマス、隨ヒマシテ
總督府ト致シマシテハ、十分生産者ノ立場
ヲ考慮致シテ、サウシテ有ユル米穀政策ヲ
今日實行致シテ居ルヤウナ次第デアリマス
○平野委員 具體的ニモウ少シ御聽致シマ
スルト、ヤハリ朝鮮モ非常ニ小作料ガ高イ、
小作料ヲ納メテ肥料代ヲ拂フト云フコトニ
ナルト、ヤハリ残りガナイ、隨テ其ノ見地
カラ言フト、單ナル高米價政策ト云フモノ
ハ朝鮮ノ生産者ヲ潤ホスモノデハナイト云
フ議論ニナル、故ニ今日ノ朝鮮米ハドウカト
言フト、之ヲ支配シテ居ル者ハ、内地或ハ
朝鮮人ノ中ニ於ケル土地所有者トシテ厖太
ナル資力ヲ持ツテ居ル者デアアル、其ノ力ニ
依ツテ朝鮮ノ米穀政策ト云フモノガ單ニ動
イテ居ルト云フコトデアリマスナラバ、ソ
レハ朝鮮ノ農業政策トシテ相當ノ考慮ヲ拂
ハナケレバナラヌト云フコトニナルノデア
ルガ、此ノ點ハ朝鮮總督府トシテハ、既ニ
農地令等モ御出シナツテ相當御研究ニナ
ツテ居ルコトナノデアアルガ、今日ハ米穀政
策ノ轉換期ニ當ツテ、是等ノ農業形態、言
換ヘマスナラバ、朝鮮ニ於ケル土地制度、
斯ウ云ツタヤウナモノニマデ觸レテ相當ナ
ル研究ヲ遂ゲラレツツアルカドウカト云フ

コトヲ伺ツテ置キタイ

○湯村説明員 此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問題デアリマスルガ、只今御尋ニナリマシタヤウナコトニ付キマシテハ、特ニ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ方策ニ付キマシテハ、未ダ發表申上ゲルヤウナ時期ニ達シテ居ラナイノデアリマス、朝鮮ノ生産者ヲ米穀問題ト絡ミマシテ今日ノ状態ヨリ一層優良ナル状態ニ轉化セシメルト云フコトニ付キマシテハ、今日關係當局ニ於テ十分研究致シテ居ルノデアリマス

○平野委員 此ノ問題ハ特ニ一ツ拓務大臣及ビ朝鮮總督、政務總監等ニ局長サンカラ能ク御話ヲ願ツテ、此ノ米穀政策ノ根本ヲ御立テニナル時ニ、後ニナツテ色々ナコトヲヤツテモ間ニ合ハナイ、ソレデスカラ此ノ際ニ朝鮮ニ於ケル農業形態、朝鮮ノ土地問題ト云フコトニ付テ十分ナル考慮ヲ拂ハレタイト云フコトヲ御傳ヘ願ヒタイ、ドウゾ宜シク

○村松委員 委員長

○添田委員長 村松君、關聯質問デスカ

○村松委員 事務的ニ一言伺ヒタイノデスカ

○添田委員長 村松君

○村松委員 先程ノ西川君ノ御尋ハ非常ニ

重大ダト思ツテ居リマス、其ノ問題ハモウ

一ツノ場合ヲ産ムノデアリマス、ト云フノハ要スルニ朝鮮ヨリ内地ヘ米ガ如何ナル徑路ヲ取ツテ來ルカト云フ問題デアリマス、米穀會社カラ米穀會社ニ來ルノデアルカ、或ハ又其ノ他ノ方法ヲ來ルノデアルカ、其ノ徑路如何ニ依リマシテハ、其ノ差額ハ何處ニ歸屬スルカト云フ問題ヲ相當深刻ナラシムル場合モアルノデアリマス、只今如何ナル徑路ヲ以テヤツテ行クカト云フコトニ付テ一ツ大體ノコトヲ御話願ヒタイ

○湯村説明員 此ノ問題ニ付キマシテハ御説ノ通り内地ノ米穀會社ノ運用ニ極メテ重大ナ關係ヲ持ツダラウト思フノデアリマス、就キマシテハ先般來大體ノ心持ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、尙ホ一層密接ナル連絡ヲ取リマシテ、内地ノ米穀會社ノ完全ナ機能ヲ發揮スルヤウナ方法ヲ考ヘタイ、詰リ朝鮮ノ移出者自體ニ對シテモ、或ル一定ノ調整ヲ加ヘマス、又其ノ内地ノ仕向ケ先ニ付キマシテモ、内地ノ米穀會社トノ關係モ十分密接ナル方法ヲ取ルト云フコトヲ發見致シタイト思ツテ居リマス、其ノ趣旨ノ下ニ只今農林省ト御協議致シテ居ルノデアリマス、此ノ間ニ少シモ間隙ノナイト云フコトニヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ

ス

○村松委員 具體的ニ一ツ御尋シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、要スルニ此ノ内地ノ米穀會社ニ委託ヲスル方法ヲ執ルカドウカ、ソレニ關聯シテ色々方法ガアルト思ヒマスガ、モウ少シ具體的ニ御話ヲ願ヒタイ

○湯村説明員 只今ノ所デハ會社ト會社間ニ委託ヲスル、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ラナイ、會社ノ市場員、ソレカラ朝鮮ノ移出者、斯ウ云フ者ト直接ニ結付ケル方法ヲ考ヘマスレバ、結局出テ參リマスル大部分ハ内地ノ市場ヲ經由シナケレバ、實際ニ於テ内地ノ消化ガ出來ナイコトニナルノデアリマス、却テ場合ニ依リマスレバ市場ト、會社ト會社ト取引ヲ致スト云フコトニナルノデアリマス、ソコニ却テ中間ノ機關ガ一ツ殖エテ參リマスト云フヤウナ結果ニモナリマス、又ソコニ色々ナ問題ガ出テ參リマス、サウ云フ意味合ニ於テ寧ロ内地ノ會社ヲ利用シナケレバ實際ニ消化ガ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員 元ニ遡リマシテ日本米穀會社案ニ付テ御尋致シタイト思ヒマス、朝鮮米ノ問題ハ皆サンノ御話ガアリマシタノデ何レ後カラ報告ガアルト思ヒマスカラ、其ノ後ニ於テ御尋致シマス、今米穀局長ノ話ニ

ハ米穀取扱業務費ノ收入ノ中ニ、朝鮮米ノ

取扱ヲスル經費ガアルカノヤウニ御答ニナツタノデアリマス、然ルニ今度ハ市場收入ニ於テ朝鮮米ニハナイノデアリマス、又臺灣カラ内地ヘ持ツテ來ルトスレバ、相當ノ運賃ガ掛ルヤウニモ思ハレルノデアリマス、又之ニ對スル先程來ノ政府米ニ對スル收入デハ金利モ要ル、色々ナモノガ要ルカラ、十九錢五厘要ルノダト云フ御話デアリマス、然ルニ支出ノ方ヲ承ツテ見マス、報酬ノ中ニモ、給與ノ中ニモ營業費ノ中ニモ、是等ノモノガ含マレテ居ラナイカノヤウニ見受ケラレルノデアリマス、收入ガアツテ支出ノナイ筈ハナイト思ヒマスノデ、内容ニナリマスガ、承リタイ

○周東政府委員 是ハ大體營業費ノ中ニ含メテ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ關聯致シマシテ色々ナ夫ヲ使フ費用、或ハ通信費、消耗品費、旅費等ハ大體營業費ノ中ニ含メテ居ル譯デアリマス

○馬岡委員 然ラバ臺灣カラ四百七十萬石ノ米ヲ持ツテ來マスノニ、ドレ位運賃ガ要ルノデアリマスカ

○周東政府委員 先程申上ゲマシタノハ少シ言葉ガ足ラナカツタカト思ヒマスガ、先程ノ米穀取扱業務收入ノ關係ニ於キマシテ

ハ、臺灣米ノ全部ヲ考ヘテ居ラナイノデア
リマシテ、其ノ一部ニ付キマシテ内地ニ入
リマシテ再移出ト申シマスカ

〔委員長退席、長野委員長代理退席〕

内地間ニ於ケル各府縣内ノ移動等ノ場合ニ
於キマシテ、其ノ荷受人或ハ買受人等ノ爲
ニ爲替ノ立替ヲシ、或ハ其ノ場合ニ於ケル
運賃、或ハ諸荷役ヲ取纏メテ世話ヲシテ、
其ノ冗費ヲ省イテ、一部ヲ收納スルト云フ
關係ニナツテ居ルノデアリマス、臺灣ノ方
ノ大口ハ別デゴザイマス

○馬岡委員 サウスルト基隆ト高雄ニ倉庫
ヲ御持チニナツテ臺灣米ヲ積ム、ソレヲ内
地ニ持ツテ來ナイノデスカ、臺灣カラ内地
ニ持ツテ來ルトスレバ、其ノ運賃ハ何處カ
ヲ出ルノカ、運賃ノ關係ダケガ分ラナクナ
ツテ來ルノデスカ

○周東政府委員 運賃ニ關シマシテハ總督
府ノ方デ直接持ツト云フコトニナツテ居リ
マス

○馬岡委員 サウスルト臺灣ノ米ヲ置イテ
オクノハ、臺灣總督府ノ倉庫デナクシテ、
日本米穀會社ノ倉庫デアル、サウシテ持ツ
テ來ル運賃ハ臺灣總督府ガ持ツノダ、サウ
スルト責任者ガ臺灣總督府ナラバ、臺灣總
督府ガ倉庫ヲ建テナケレバナラヌコトニナ

リハシマセヌカ

〔委員長退席、長野委員長代理退席〕

其ノ間一寸分ラナイ、又モウ一ツハ、先程
ノ市場收入ノ中ニ朝鮮米ノ御話ガナカツタ、
然ルニ取扱業務費ノ方ニハ朝鮮米ガ是ダケ
掛ル、平均シテ九錢ダト云フ御話モアツタ、
ソレデ朝鮮米ノ御取扱ハドレ位取扱フ豫算
ニナツテ居リマスカ、ソレモ伺ヒタイ

○周東政府委員 此ノ點ハ御話ノヤウニ御
考ニナルカモ知レマセヌガ、臺灣ニ於キマ
シテ船積其ノ他ヲ致シマスル僅カナ期間、
向フデ云ヘバ基隆、高雄デ會社ノ手ニ渡ル
ノデアリマスカラ、船積ヲ致シマス期間内
保管ヲ致シ、其ノ間色々世話ヲスルト云フ
ヤウナ關係ハ會社デ致シマシマス、唯
其ノ場合ニ船ニ積ミマス運賃ノ關係ニ付キ
マシテハ、是ハ色々臺灣總督府ニ於キマシ
テモ從來カラノ指定港ノ關係モアリマスノ
デ、其ノ運送ノ關係ニ付キマシテハ、或ハ
向フデ直接取扱ヲ致スト云フ場合ヲ申シタ
譯デアリマス、アトノ荷扱費ノ問題ニ付キ
マシテハ、會社デ朝鮮等ニ於ケル產米ヲ内
地ノ買受人ガ買ヒマシタ場合ニ、ソレニ關
シマシテ會社ガ色々費用トカ、或ハ運
賃關係ニ付キマシテ世話ヲシ、或ハ買受人
ガ到着シタ後ニ於キマシテ代金ノ決済等ニ

關シマシテ爲替ノ立替ヲスルト云フヤウナ
世話ヲ綜合的ニ致シマシテ、ソレニ依ツテ
出來ルダケ經費ノ節約ヲ圖リツツ一部ヲ收
納スル、斯ウ云フコトノ收入デアリマシテ、
其ノ點ハ御諒承願ヒマス

○馬岡委員 諄イヤウデアリマスケレド
モ、左様ニナリマス、米穀會社ハ朝鮮ノ
米ノ荷役トカ舂トカ運賃トカノ世話ヲ燒ク
ト云フ御話デアリマス、御尤デアリマス、
サウスルト其ノ米ハ内地ニ持ツテ來マシテ
米穀市場ニ掛ケナイデ、市場外デ全部處分
スルノデスカ、米穀會社ガ世話ヲ燒クダケ
デ、市場ニ掛ケナイノデスカ

○周東政府委員 ソレハ主トシテ市場員タ
ル米穀取扱業者ノ爲ニ世話ヲスル譯デアリ
マスカラ、其ノ市場員ガ買ヒマシタ米ハ、
其ノ中ニ於ケル内地ノ販賣ニ付キマシテハ
市場ヲ經由スル譯デアリマス

○馬岡委員 左様致シマスルト前ニ承リマ
シタ實物取引、未著取引ノ石數ノ中ニハ朝
鮮米ガ含マレテ居リマス、臺灣米ハ別ニ
舉ゲラレテ居リマスガ、朝鮮米ハ別ニ舉ゲ
ラレテ居ラナイノデ、重ネテ疑問ガ起ツテ
來タノデアリマス

○周東政府委員 ソレハ當然含ンデ居ルノ
デアリマシテ、現物取引トシテ大體考ヘテ

居リマスル數量ヲ簡單ニ申上ゲマス、目
安ハ先ツ内地米ニ於キマシテハ六大都市所
在地ノ附近ニ入ル内地米ノ移入高ノ半分位
ヲ見積ツテ居リマス、其ノ他ノ道府縣產米
高ニ付キマシテハ、六大都市所在地附近ニ
入ルモノヲ除キマシテ、其ノ殘高ノ二割位
ヲ見テ居リマス、ソレカラ朝鮮米ニ付キマ
シテハ其ノ移入高ノ五割位ガ實物市場ニ掛
ルモノト見テ居リマス、ソレカラ臺灣米ニ
付キマシテモ大體八割程度ヲ見込ンデ居リ
マシテ、是等ノモノハ實物市場ニ掛ルモノ
ト豫定ヲシテ居ル譯デアリマス、而シテ是
等ノオ世話ヲスルモノハ此ノ全部カト申シ
マス、其ノ中ノ大體八割見當ヲオ世話ヲ
シテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 大體諒承致シマシタ、次ニ御
尋致シマスノハ、資料トシテ配付ヲ受ケマ
シタ「十四年度ニ於ケル米、麥、甘藷、麻ノ
生産計畫」ト云フノハ、十二日ノ日曜ニ臨
時ニ經濟部長ヲ御集メニナツテ御指示ニナ
ツタ生産擴充計畫ト同一デアリマス、ソ
レトモ別ニ御指示ガアツタノデアリマス
カ、承リタイ

○周東政府委員 大體ソレハ經濟部長會議
ニ於キマシテ御話ヲ申上ゲタ内容デゴザイ
マス

○馬岡委員 此ノ第一項ニ地域別耕種改善基準ノ設定竝ニ是ガ實施促進獎勵、斯ウ云フ事項ガアルノデアリマス、而モ第一項ニ舉ゲラレテ居リマスノデ、是ハ非常ニ重要視サレテ御指示ニナツタコト思ハレマス、然ル處是ハ字デ見マスルト、非常ニ結構デアリマスガ、今年、昭和十四年ノ米ニ對シテ、地域別ノ耕種改善ガ出來得ルノデアリマスカ、是ガ疑問ニ屬スルノデアリマス、現在ハ最早冬作ト申シマスカ、菜種ヤ麥モ植ハツテ居ルモノモアリマスレバ、植ハツテ居ラナイモノモアリマス、地域別耕種改善ヲスルナラバ、一地方ニ早稻デアルトカ晩稻デアルトカ、サウ云フモノヲ集メ、成ベク農家實行組合ヲ基準ニシテ、茲ニ經濟的農業ヲ行フコトガ、所謂地域別耕種改善デアラウト思ハレルノデアリマス、ソレニ今頃之ヲ御指示ニナツタノデハ、連モ冬作ノ邪魔ニナツテ今年ノ收穫ニ間ニ合ハヌ、繪ニ描イタ餅ト同ジヤウニ、掛ケ聲ダケデハナイカ、此ノ點ニ付テハ何カ私ガ考ヘ違ヒヲシテ居ルヨリ以上ニ、是ガ巧ク行クト云フ御考ガアリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○小濱政府委員 米ノ増産計畫ノ中心ヲ成スモノガ、耕種改善基準ノ設定ニ依リマシテ、地方別ニ耕種方法ヲ定メマシテ、ソレ

ノ指導徹底ヲ期シタイト云フ所ニアルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ昨年ノ暮農事試驗場及ビ府縣ノ主任者等ノ會合ヲ煩シマシテ、十四年度ニ於キマシテハ相當ノ米ノ増産ヲスル必要ガアルノダ、其ノ際サウ云フ部面ニ付キマシテハ打合セヲ致シマシテ、ソレノ準備ヲ事前ニ致シテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、今年十四年度ノ作付ノ初メカラ、其ノ計畫ニ從ツテ指導ヲ徹底シテ行キタイト云フノデ、其ノ準備ヲ進メテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス

○馬岡委員 昨年カラ準備ヲ進メラレテ居リマスルコトナラバ、或ハ出來ルカモ知レマセヌ、併シ掛ケ聲ダケデ、事實ハ出來テ居ナイノデハナイカ、諸方面ヲ見マシテモ、耕種改善ノ御計畫ノ呼ビ聲ダケデ、實際行ハレテ居ラス、今年十四年度ノ米作ニ直グニ間ニ合フヤウニナツテ居ルカ居ラナイカ、是ハ餘程疑問ダト思ヒマス、殊ニ此ノ間内カラ大分肥料ノ配給統制ニ付テモ、皆サンカラ御尋ニナツタ、第一肥料ガ、ドチラニシマシテモ化成肥料ハ輸入モ足リナイノデアリマス、製造カラ配給モ統制デ制當制ヲ採ツテ居ルノデ、諸方ニ閣取引ガ行ハレテ居ル、甚シイノハ過燐酸ノ如キハ、燐

礦石ガ無イト云フノデ、一時過激思想マデ行キマセヌデモ、各農民ガ動イテ來タノデアリマス、此ノ時ニハ足ラナイモノナラ足ラナイ、人造肥料ハ足ラナイガ、之ヲ補フニハ自給肥料デヤル、ドウスルノガ宜イト云フコトヲ指示シテ戴クコトガ、先ニナケレバナラナイト思フノデアリマス、是ハ實際的ニ種ラナケレバナラナイ米デアリマスカラ、代用肥料ヲ手ヲ取ツテ教ヘル位ニ、各町村ナラ各町村ノ間ニ、實際ニ與ヘラレル肥料ハ、是ダケダ、不足分ハ何ヲ以テ補ヘト、是マデ徹底シテ指導、一括シテ關聯シタ獎勵ガナケレバ、絶對的ニ之ヲ行ヘナイモノデハナカラウカ、呼ビ聲ダケデハ到底米ハ穫レマセヌ、ドウモ繪ニ描イタ餅ヲ食ハサレルヤウナ考ガシマス、或ル時ハ「ペーパープラン」デアルトカ、同僚ノ方カラ言葉ガ出マシタ、又所謂稻熱病ヲ藥品デ消毒スル、其ノ藥品ガアルカナイカ、三宅君カラモ盛ニ御話ガアリマシタガ、私ハ藥品ガアルカナイカハ別問題トシテ、實際稻熱病ヲ消毒シテ、現在之ヲ豫防シ得ラレルモノハ豫防シ得ラレル、僅ナ試驗區域若クハ試驗場ノ一畦ノ上デノ試験ナラ率知ラズ、全國ヲ通ジテ斯ル事ガ出來得ルノカ、モウ少シ眞實ニ實際指導者ハ、自ラ地下足袋ヲ履

イテ田ノ中ニ入ツテ指導シテ戴カナイト、紙ノ上ノ指導ダケデハ出來ナイノデアリマス、是ハ私ハ特ニ此ノ計畫デ經濟部長ヲ御集メニナツテ御話下サツタノデハ、連モ四百萬石ノ米ハ増收出來ナイト思ハレルノデアリマス、ソレヲ心配致シマス爲ニ、斯ルコトヲ申上グルノデアリマス、或ハ私ノ申シマスルコトハ當ツテ居ラナイカモ分リマセヌ、併シ實際ハ百姓ハ今頃コンナコトヲ教ヘテ貰ハナクテモ、何トカシナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、モウ一ツ之ヲ赤裸々ニ申シマスナラバ、出征者ノ家族ハ、成ベク田ヲ作ラナイヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、人様ノ御世話ニナルコトハ恐多イ、成ベク是ハ他ノ人ニ米ヲ作ツテ貰ツタ方ガ宜イ、現在デハ耕地ハ斯ル形ニナツテ居リマス、是ハ實際ニ農村ノ中心ヲ御調願フト分ルノデアリマス、所謂農業ヲ萎靡スルトデモ申シマスカ、斯ル傾向ニアリマス時ハ、餘程御考慮ヒマセヌト、此ノ暮ニ米ハ穫レナイノデアリマス、今頃肥料ガアルノ無イノト騒イデ居ル時デナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ當局ハ餘程御考慮ヒマセヌト、思ヒ違ヒマスルコトガ必ズアリマス、古イ歌ニ「此ノ秋ハ雨カ風カハ知ラネドモ其ノ日ノ業ニ田草取ルナリ」

ト云フノガアリマス、百姓ハ一朝ノ風ナリ、又一ツノ洪水ニ依ツテ穫レナクナルノヲ知ラズシテ、致々營々ト働イテ居ルノデアリマス、所ガ一朝ニシテ洪水又天災地異ニ依ツテ惠マレザルナラ兎モ角モ、肥料ガナイ、又心構ガ善クテモ米ガ穫レナイト云フヤウナコトハ、國家的ニ考ヘテ戴カナケレバナラヌノデアリマス、是等ノコトヲ餘程御考願ヒタイノデアリマシテ、モウ少シ實地ニ就イテ徹底シテ、直グニ間ニ合フヤウナ御指導ヲ願ヒマセヌト、呼ビ聲ヤ、掛聲ヤ、紙ノ上ダケデハ、米ガ穫ツテシマフ秋ニナツテ、初メテ氣ガ付クノデアリマス、私ハ是以上深く申シマセヌ、ドウカ當局ニ於カレマシテハ、モウ少シ實際ニ田ノ耕作ノ内容ヲ御調願ツテ、直グ間ニ合フヤウニ一ツ指導獎勵シテ戴キタイ、是ダケノ希望ヲ申上ゲテ置キマス、之ヲ以テ私ノ質問ハ打ちリマス

ガ、唯吾々ガ現在此ノ法案ノ各條章ノ贊否ヲ決シマスニ當リマシテ、尙ホ多少ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、私ハ其ノ整理ノ意味ニ於キマシテ、極ク事務的ノ質問ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ政府當局ニ於カレマシテハ、各質問ノ條項ニ於テ、商工當局ノ方ガ御答下サルコトガ便利デアリマスレバ、私ノ方カラ別ニドナタカラト指定致ス譯デアリマセヌカラ、然ルベク御擔當ノ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ終ニ農林大臣ニ對シマシテ、一二ノ私ノ感想の質問ヲ致シマシテ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、先ヅ第一條カラ御伺スルノデアリマスガ、此ノ第一條ニ付キマシテモ從來各同僚カラ質問ヲセラレタノデアリマスガ、先ヅ私ノ聽キタイノハ、此ノ米穀商人即チ許可ニ依ツテヤル所ノ米穀商人ハ、營業區域ト云フモノハ限定サレナイノデアリマスガ、苟モ許可ヲ受ケタ以上ハ、極端ニ申シマスレバ、日本中何處ヘ參リマシテモ米ノ營業ガ出來ルノデアリマスガ、ソレトモ一定ノ許可ガ法律上制定サレルノデアリマスガ、先ヅ此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○周東政府委員 差當リマシテハ、此ノ許可ヲ致シマス者ニ付キマシテハ、各營業區域ト云ヒマスガ、販賣區域ト云フモノヲ限定スルコトニ考ヘテ居リマセヌ、併シ此ノ點ハ本法ノ制定ノ趣旨等ニ鑑ミマシテ、此ノ制定ヲ致ス上ニ於キマシテ、地方ノ實情等、又米穀商人等ノ事情ヲ考慮致シマシテ、將來ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ能ク考究シテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○勝田委員 現在ニ於テハ營業區域ト云フモノヲ限定シナイ、斯ウ云フ風ニ承ツタノデアリマスガ、ソコデ私ハ疑問ガ起ルノデアリマス、先般來ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、此ノ第一條ハ勅令ガ付イテ居リマシテ、勅令ニ依ツテハ不要許可ノ地域ヲ規定スル、斯ウ云フ風ニ御説明ニナツテ居ル、一體ハ何ノ必要ガアツテサウ云フヤウナ不要許可ノ地域ヲ御決メニナルノデアルカ、極ク簡單ニ今日マデヤツテ居ツタ仕事デアツテ、サウ此ノ許可ト云フコトガ大キナ利權デモナイシ、今マデハ届出主義デヤレタモノガ今度ハ統制ノ必要上許可ヲスル、私ハ極ク簡單ニ之ヲ見テ居ルノデアリマス、是ガ私ノ素人デアル所以カモ知レマセヌ、而シテ一方ニ於テハ營業區域ヲ限定シナイト云フコトデアレバ、不要許可ノ所デ營業シテ居リマス者ト、許可ヲ要スル所ニ於テ營業シテ居リマス者トノ摩擦ガ、相當起リハセヌカト思フノデアリマス、此ノ點ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスガ、承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤デアリマスガ、主トシテ只今其ノ點ニ付キマシテ斯ウ云フ制度ヲ置キマスノハ、配給業者ノ濫立ヲ防グト云フコトガ勿論一ツハアリマス、一ツノ點ハ米穀配給統制上ノ必要カラ之ヲ置イタノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、現在ノ米ノ取扱業者ノ配給區域ト云フモノハ、自ラ實際ニ於テハ或ル程度制限サレテ居リマス、之ヲ直チニ今日實際上相當販賣シテ居リマスモノヲ、或ル米穀業者ニ對シテハ何處々々ノ地區以外ニ出ルコトハ出來ナイ、乙ノ米穀取扱業者ニ對シテハ何處々々ノ地區ト云フ風ニ營業地區ヲ急激ニ制限致シマスコトハ、問題ヲ惹起スコトガ多イノデゴザイマスノデ、是等ハ徐々ニ今後將來ノ問題トシテ、サウ云フ方面ニ制限ヲ加ヘテ、サウシテ所期ノ目的ヲ達シタイトハ思ツテ居リマスガ、差當ツテハ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、實際ノ實情等ヲ餘程考慮シテ之ヲヤツテ行カナイト困ルト思ヒマスノデ、差當ツテ今ハサウ云

フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○勝田委員 私ノ言葉ガ足ラナカツタノデアリマス、少シ答ト質問ガ「ピント」ガ合ヒマセヌ、私ハ營業區域ヲ決メナサイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアアリマセヌ、營業區域ヲ御決メニナルカナライカ、決メナイト言フカラ、決メナイナラ不要許可ノ地域ヲ決メラレト云フコトハ、其ノ點ニ摩擦ガ起リハセヌカ、斯ウ云フコトヲ言フノデアリマス、若シ區域ヲ御決メニナルナラバ、ソレハ宜イノデスガ、御決メニナラヌト言ハレルカラ、其ノ境界ニ付テハ困ルノデヤナイカ、例ヘバ東京市內ガ許可區域デ郡部ガ不要許可ノモノデアレバ、郡部ニ米ノ業者ガ出テ、ソレガ東京ヘドン／＼米ヲ持ツテ來ルト云フコトガアツテハ困ルデハナイカ、ダカラ寧ろ全國的ニ許可事業ニセラレタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ意味デ質問ヲ致シタノデアリマス、此ノ意味ニ於テ簡單ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤デアリマスガ、本法ヲ置キマシタ趣旨カラ言ヒマシテ、山間僻地ノ所マデ全部許可制ヲ布ク必要ガアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、實際問題ト致シマシテ十分考究ノ要ガアリマスノデ、第一條ニ付テ或ル程度ノ施行地域ト云フモノヲ決メタラ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ只今考ヘテ居リマス、併シ御話ノ點モアリマスノデ、能ク其ノ點ハ實施ノ際マデニハ考究致シタイト思ヒマス

行地域ト云フモノヲ決メタラ宜カラウ、斯

○勝田委員 ソレデハ是ハ尙ホ御一考ヲ願フコトニ致シマス、ソレカラ先程小賣業ノ濫立ト云フカ、ドン／＼殖エテ來テハ困ルト云フ御話デアリマシタガ、ソレニ關聯シテ私御尋スルノデアリマスガ、是ハ第一條ト第五十九條ニ關聯スル點デアリマス

即チ此ノ第五十九條ニ依ルト、第一條規定施行ノ際ニ現ニ米屋デアル者ハ當然米屋ノ許可ヲ得タ者ト看做スト書イテアツテ、動キガ取レヌコトニナツテ居リマス、ソコデ此ノ第一條ノ規定施行ノ際ト云フノハ何時デアルカト云フト、恐ラク本法ガ施行セラレタ後ニナリマス、サウスルト此ノ法律ノ通過竝ニ施行ヲ見越シテ、今日ハ許可ガ要ラスノデアリマスカラ、各方面デ相當米屋ヲヤラウト考ヘ、又現ニヤル者ガアルカト考ヘマスガ、若シサウ云フコトガ起ツタ場合ニハ、何カ共ノ點ニ付テ一定ノ時期ヲ限定シテ制限ヲ加ヘラレルノデアアルカ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○周東政府委員 此ノ點ハ五十九條ノ規定ノ中「命令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマス

ガ、之ニ依リマシテ、施行前一定ノ期間繼

○勝田委員 此ノ第五十九條ノ「第一條ノ規定施行ノ際現ニ同條ノ許可ヲ受クベキ米穀ノ買入」云々、平タク申セバ、此ノ時期ニ米屋デアツタナラバ、許可ヲ受ケタ者ト看做ストハツキリ書イテアル、ソコデ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ、恐ラク此ノ五十九條ヲ執行スル爲ニ必要ナル命令デアツテ、五十九條ノ本質ト矛盾シタ命令ヲ御出シニナル、命令ノ内容ト云フモノハソナモノデハイケナイト思フ、現ニ御配リニナツタ五十九條ノ命令事項ヲ見ルト、サウ云フコトハ中ニ入ツテ居ラヌ、「本條ニ掲グル者ハ一定ノ期間內ニ届出ヲ爲シタル場合ニ限り許可ヲ受ケタル者ト看做スモノトスルコト」斯ウ云フコトガ書イテアツテ、第五十九條ノ命令事項ノ中ニハ、只今言ハレタコトハ書イテナイ、サウ云フ命令ヲ五十九條ニ付テ出シ得ルカドウカ、私ハ法律上ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リマス

○周東政府委員 此ノ點ハ五十九條ノ規定ノ中「命令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマス

令デ書ク積リデ居ツタノデアリマス、是ハ

○勝田委員 是ハ私ノ意見ト或ハ政府ノ方ノ御意見ト違フノカモ知レマセヌガ、ドチラガ正シイカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ御研究ヲ願フ餘地ガ相當アルト思ヒマス、現在權利ヲ持ツテ居ル者ヲ、遡及的ニ權利ヲ奪フヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ御一考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此ノ點ニ關シマシテ御伺シタイノデアリマスガ、現在ノ米屋ハ平タク申シマスレバ、是デ米屋ノ免許ヲ得ルコトニナルカラ宜シウゴザイマスガ、斯ウ云フコトニナツテ來マスト、將來新ニ米屋ヲヤリタイト思フ者ハドウシテモ許可ヲ得ナケレバナルヌ、是ハ大體何カ標準デモ設ケラレマシテ許可ヲ致スノデアリマスガ、ソレトモ其ノ時ノ米ノ需給ノ狀態ヲ御覽ニナツテ、所謂認定ト申

○周東政府委員 是ハ私ノ意見ト或ハ政府ノ方ノ御意見ト違フノカモ知レマセヌガ、ドチラガ正シイカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ御研究ヲ願フ餘地ガ相當アルト思ヒマス、現在權利ヲ持ツテ居ル者ヲ、遡及的ニ權利ヲ奪フヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ御一考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此ノ點ニ關シマシテ御伺シタイノデアリマスガ、現在ノ米屋ハ平タク申シマスレバ、是デ米屋ノ免許ヲ得ルコトニナルカラ宜シウゴザイマスガ、斯ウ云フコトニナツテ來マスト、將來新ニ米屋ヲヤリタイト思フ者ハドウシテモ許可ヲ得ナケレバナルヌ、是ハ大體何カ標準デモ設ケラレマシテ許可ヲ致スノデアリマスガ、ソレトモ其ノ時ノ米ノ需給ノ狀態ヲ御覽ニナツテ、所謂認定ト申

シマスカ、サウ云フヤウナモノデ許可スル、全ク物指ノナイ自由裁量デオヤリニナルノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、ト申シマスノハ、米屋ガ許可事業ニナルコトハ、米穀商人ハ相當満足シテ居ルト考ヘマス、モツト率直ニ申上ゲマス、米穀商人ノ反對緩和ノ一ツノ材料ニナツタトスラ考ヘル節ガアルノデアリマス、ソコデ此ノ許可ト云フモノハ、今度新ニヤル者ニ對シマシテハ相當ノ條件ガアルベキデハナイカト云フヤウニモ考ヘマス、從來斯ウ云フヤウナ仕事ヲ自由ニヤツテ居ルモノヲ許可事業ニスルト云フコトハ農林省關係ノ法律ニチヨイ見受ケルノデアリマスカ、大抵今後ハ原則トシテハ新ニ許サナイト云フ頭ヲ以テ許可事業ニシテ居ラレル、他ノ關係ニモ隨分サウ云フモノガアリマス、ソレガ日本ノ許可事業ノ大體デアルト申シテ宜カラウト思フ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ何カ條件デモ御附ケニナリマスカ、内規デモ拵ヘルノデアリマスカ、之ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ許可申請ノアリマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ地方ニ於ケル取扱者ノ分布狀況或ハ其ノ地方ヘ需要サレテ居リマス米ノ數量等ト云フヤウナモノヲ參酌シマシテ、許可ヲ致

スカ致サナイカヲ決メタイト思ツテ居リマス、尙ホ標準ト致シマシテハ其ノ他ニモアラウト思ヒマス、主ナ點ハ左様デアリマス

○勝田委員 吾々ノ考ト致シマシテハ何カソコニ客觀的ナ標準ヲ設ケテ戴イタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマスカラ、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ米穀商ガ米ヲ扱ヘルト云フノハ一ツノ權利ニナツテ來ルノデアリマス、是ハヤハリ營業權ト云フカ、少クトモ私ハ一ツノ權利ト云フコトニ考ヘ得ルノデアリマスガ、此ノ命令ノ條項ニ依リマス、許可ヲ受ケマシタ者ガ死亡シタ場合ニハ、直チニ權利ハ消滅ヲシナイノデアリマスガ、直グ相續スル譯ニハ行カナイヤウナ扱ヒニナルヤウニ規定サレルノデアリマス、家督相續人ニ對シマシテハ無條件デ此ノ權利ヲ繼承シ得ルコトニシタ方ガ常識的デハナイカト考ヘマス、米屋ヲ致シテ居リマス者ハ、ヤハリ相當ノ設備ヲ持ツテ居リマスカラ、斯ウ云フ場合ニハ相續人ハ直チニ其ノ權利ヲ繼承シ得ル、此ノ法律ニハ罰則カ何カガアリマスカ、サウ云フコトニ依ツテ營業ノ免許ヲ取止メラレルマデハ、相續人ハ當然ノ權利トシテ繼承シ得ラレルト云フコトガ、吾々財産權ニ對スル通念デアリマス、之ヲ嚴格ナ

意味ニ於ケル財産ト申スコトハ兎モ角ト致シマシテ、常識カラ申シマス財産權ノ一ツト見ラレルノデアリマスカラ、ソレ位ナ寛大ナ御取扱ガ理窟ハ別トシテ常識的デハナイカト、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○周東政府委員 御話ノ點御尤モデアリマス、唯此ノ許可ハ大體人ヲ對象ニシテ考ヘテ居リマシタ、隨ヒマシテ人ガ變ル毎ニ許可ヲ受ケルコトニ致シテアルノデアリマスカ、御話ノヤウニ相續、親ノ業ヲ繼グヤウナモノニ付キマシテハ、實際問題トシテハ殆ド許可サレルト考ヘテ宜カラウト思ヒマス、唯其ノ場合ニ特ニ非常ニ信用ノナイ或ハ素行ノ修ラナイト云フ特ニ之ヲ除外シナケレバナラスト云フモノニ付キマシテハ、或ハ其ノ際不許可ニナルト云フコトハアルカモ知レマセヌ、大體ニ於キマシテハ御話ノヤウニ、親ノ業ヲ繼グモノニ付キマシテハ許可サレテ行クモノト御諒承願ツテ差支ナカラウト考ヘマス

○勝田委員 私ハ此ノ米穀商ニ付テ、是程マデ人的條件ヲ重要視セラレテ居ルトハ實ハ考ヘテ居ラナカツタノデアリマス、何故カト申シマス、從來ノ米屋ハ誰デモ今度新シイ制度ニ於テモ米屋ニナレルト云フ制度

デアリマスカラ、人的要素ニ非常ニ重キヲ置カレルト云フコトデアリマスレバ、此ノ際整理ヲシナケレバナラス、整理ヲシナクテ、誰デモヤツテ居ルモノハ入レテヤルト云フ考ハ、人的要素ノ方ハ第二トシテ、ヤハリ米ノ配給ト云フコト從來ノ既得權ト云フモノニ重キヲ置カレタ結果、斯ウ云フ風ニナツタ、其ノ趣旨ヲ徹底致シマスレバ、相續ノ場合ニ於キマシテモ左様ニサレルコトガ常識デアリマセヌカ、是モ時間ガアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、一ツ御考ヲ願ヒタイ、斯様ニ存ジマス、是ハ結論的ニサウナツテ來ルト思ヒマスガ、法律的ニ相續モ許サヌ、事實ハ許シマセウガ、許サヌト云フコトニナリマスレバ、營業權ノ讓渡ハドウナリマスカ、御認メニナルノデアリマスカ

○周東政府委員 ソレハ只今申上ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ、讓渡ハ許サヌ積リデ居リマス

○勝田委員 相續ヲ法律上御許シナラスト云フコトデアリマスカラ、讓渡ハ當然サウ云フコトニナルト思ヒマス、是ハ私ハ或ル程度マデ御考ニナツタラドウカト思フ、他ノ例ヲ申スト何デアリマスガ、釀造業ノ如キハ現ニ造石高ノ賣買ガ認メラレデヤツ

テ居リマス、ダカラ法律問題ハ別ト致シマシテ、實際問題トシテ讓渡ノ方ヲ寛大ニ御認メニナリ相續ハ當然届出位デ御解決セラレルノガ當然デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ尙ホ御一考ヲ願ヒタイ斯様ニ存ジマス、ソレカラ四條ノ問題ニ付テ少シ御同致シタイ、實ハ先程申上ゲタ通り、米ノコトハ素人デアリマスカラ、此ノ委員ニ選任セラレマシテ、條文ヲ見マシテ實ハ驚イタノデアリマス、此ノ四條ハ、是サヘ持つテ居レバ、米穀配給統制法ト云フモノガ殆ド要ラナイデ是一本デモヤツテ行ケルノカト素人ノ私ハ感じタノデアリマスガ、ソレ程大キナ力ヲ持つテ居ル法律デアルト思ツテ居ツタ所ガ從來度々同僚諸君ノ御質問ニ對シテ農林大臣初メ政府委員ノ方ハ、是ハ所謂非常立法デアリ、傳家ノ寶刀デアル、サウ屢、拔カスノデアル、成程私ハサウデアラウト思フノデアリマスガ、此ノ非常立法デアリ、傳家ノ寶刀デアルト云フ御説明ヲ其ノ儘私受ケ入マス時ニ、此ノ條文自體ニ於テ非常ナ不滿ヲ持つ、此ノ條文ノ何處ニ非常立法デアルト云フ用意ガシテアリマスカ、全ク不用意デアル、私ハ色々ノ非常立法ヲ見マスガ、斯様ナ大難把ナ、斯様ナ亂暴ナ非常立法ハツイゾナイト

思フ、他ニ例ガアルカドウカ、或ハ言ハレマセウ、肥料配給統制法ハドウダ、總動員法ハドウダト言ハレマスガ、是等ハ非常立法デアルト云フコトヲ法文自體デハツキリ現シテ居ル、私ガ申スマデモナク、之ニ關聯シマスルモノハ總動員法ノ第八條デアリマセウ、是ハドウ云フ用意ヲシテ居ルカト申シマス、先ヅ是ハ戰時デアアル、戰時ニノミ適用セラレル法律デアルト云フコトヲハツキリ言ツテ居ル、ソレカラ國家總動員上必要アル時ト云フ制限ガアル、ソレカラ生産、修理、配給、讓渡ト云フヤウナコトニ付テモ、キツチリト規定ヲシテ居リマス、ノミナラズ御承知ノ通り、是ハ議院デ修正ニナツタノデアリマスガ、總動員審議會ノ議ヲ經ル、斯ウ云フヤウナコトマデ用意ヲシテ居ル、是ガ國家總動員法第八條デアアル、ソレカラ農林省ニ關係ノアル法律デ申シマスレバ、臨時肥料配給統制法デゴザイマセウ、之ヲ見マスト、是モ相當用意ヲシテ居ル、是ハヤハリ支那事變ニ關聯シ——支那事變ノ爲ニ出來テ居ル、平常如何ナル場合デモ施行セラレル法律デハナイ、モツト狭イ支那事變ト云フコトニ、ハツキリ局限サレテ居リマシテ、「肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキ」

斯ウ云フ前提ヲ附ケテ居ル、又其ノ次ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ適當ト認ムル者ニ對シ肥料ノ配給統制上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得」斯ウアツテ、終ヒノ方ノ文句ハ同ジデスガ、前ハ特ニ必要アル場合トナツテ居ツテ、決シテ疎カニハ此ノ法律ハ使ハヌモノデアルト云フコトハ、此處デ政府委員ガ非常立法デアアル、傳家ノ寶刀デアルトロデ言ハレタコトヲ、條文デ明ニ現ハシテ居ル、斯ウ云フコトヲ吾々見マシテ、翻ツテ第四條ヲ見マス時ハ「政府ハ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ米穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトガアツテ、是ハ立法上ノ進歩デアルカ退歩デアルカ、色々ナ見方モゴザイマセウガ、私ハ此ノ總動員法並ニ農林省關係ノ臨時肥料配給統制法ト、此ノ第四條トヲ比ベレバ、非常ニ形ノ變ツテ居ルコトニ疑惑ノ念ヲ懷ク、是ハ戰時デモ平時デモ同ジデ、何モ非常立法デハナイ、ソコデ私ハ斯ウ云フ前提ニ對シテ疑問ヲ起スノデアリマスガ、私ノ考ヘ方ハ間違ツテ居リマスレバ御訂正ヲ願ヒタイノデアリマス、恐ラク此ノ命令ニ依ツテ影響ヲ受ケマス者ハ殆ド日本全國——是ハ法律的ノ解釋トシテ言フノデアリマス、技

術的ニ言フノデアリマセス、極端ナ場合ヲ申シマスレバ、殆ド國民ノ全部ガ此ノ法律ノ對象ニナル、斯ウ云フヤウニ考ヘテモ宜イノデアリマスカ、ソレトモ此ノ法律ノ對象カラ理論的ニ免レ得ルモノガアルト云フノデスカ、ドウ云フモノガ免レルノデスカ、又積極的ニ斯ウ云フモノガ此ノ法律ノ對象トナルト云フ御説明デモ宜シイノデスガ、何レニシテモ其ノ範圍ヲ明ニ願ヒタイ

○周京政府委員 是ハ先日モ御説明申上ゲマシタヤウニ、其ノ對象ト致シマシテハ、米穀ノ買入若クハ賣渡其ノ代理若クハ媒介ヲ爲ス者ト云フコトニ付キマシテハ、廣ク含メテ入ル譯デアリマス、唯發動ノ場合ニ其ノ必要ト時ヲ考ヘマシテ對象ガ變ルダケデゴザイマシテ、大體御話ノヤウニ總テナルノデアリマス

○勝岡委員 結局私ノ考ヘテ居ル通り、極端ニ申シマスレバ、米ヲ食ハナイ人間ハナイノデアリマス、殆ド全日本國民ハ極端ノ場合ニハ入ル、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ法律ノ發動ニ對シマシテ、一寸簡單ナ場合ト、極端ニ發動スル場合ト、ソレヲ私ハ事例ニ依ツテ御説明願ヒタイノデアリマス、ドウ云フヤウニ此ノ法律ガ働クノカ見當ガ付カヌ、統制上必要ナ

ル命令ト書イテアリマスガ、他ノ法律ノヤ
ウニ斯ウ云フヤウニ働クト、其ノ方向ガ書
イテナイカラ、其ノ方向ヲ御示ヲ願ヒマス

○周東政府委員 是ハ第一番目ニ於キマシ

テハ、米ノ配給業者等ニ對シマシテ、米ノ
市場ヘノ出荷ト云フヤウナ事柄ガ考ヘラレ
マス、ソレハ當然價格ガ公定サレク場合ニ
關聯スル問題デアリマスガ、能ク賣惜ミ或
ハ買占メト云フヤウナコトガ起ル譯デアリ

マス、之ニ對シマシテ、只今申シマシタヤウ
ナ特定ノ市場等ヘノ出荷ヲ命令スルト云フヤ
ウナコトガ、直チニ考ヘラレル問題ダト思

ヒマス、併シ今御話ノヤウナ極端ナ場合ト
致シマシテハ、地主等ノ持ツテ居ル米ニ付
テ、其ノ價格ニ依ツテ賣レト云フヤウナ命

令ガ出ル場合ガ、極端ナ場合デゴザイマス
○勝田委員 今極端ナ場合トシテ、地主ニ

對シテ米ヲ賣レ、斯ウ云フ命令ヲスル、斯
ウ云フコトデアルガ、買入ノ場合ノ極端ナ

場合ハドウ云フコトヲスルノカ、「買入若ハ
賣渡」ト書イテアリマスガ、賣渡ノ方ハ地主

ガ米ヲ持ツテ居ル、ソレヲ出セト云フ命令
デアリマスガ、買入ノ方ノ極端ナ事例ハド

ウ云フ場合デスカ
○周東政府委員 消費者ニ於テ普通ニ必要

トスル消費量以上ニ多額ニ買占メテ行ク、

斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ必
要量ニ應ジテ買入ヲサセルト云フヤウナコ
トガ、極端ナ場合ニハアルドラウト考ヘテ

居リマス

○勝田委員 サウシマスト結局ハ願ハス
コトデアリマカ、萬一米ニ切符制度デモ行

ハナケレバナラヌスト云フヤウナ事態ガ發
生致シマシタ場合ニハ、此ノ第四條ノ規定

ノ運用ニ依ツテ執行セラレルノデアリマス
カ、ソレトモ他ノ規定ヲ必要トセラレルノ

デアリマスガ、念ノ爲ニ承ツテ置キタイ
○周東政府委員 不幸ニシテ御話ノヤウナ

極端ナ場合ガ出來タト假定致シマスレバ、
是ハ此ノ四條ニ依ツテ、配給會社等ニ對シ

マシテ、其ノ一日ニ賣ル分量ヲ制限スルト
云フヤウナコトニナレバ、御話ノヤウナコ

トガ起ルカト考ヘテ居リマス
○勝田委員 是デ大體此ノ法案ガ考ヘテ居

リマス所ノ全貌ガ、私ハ臆氣ナガラ分ツタ
ノデアリマスガ、兎ニ角極端ナ場合ニ於キマ

シテハ、切符制度ガ此ノ法律デ行ヒ得ル、今
オ前ノ持ツテ居ル米ヲ幾ラ出セト云フコト

マデ行ツテ宜イ、委任命令デアリマスカラ、
サウ云フヤウナ強力ヲ持ツテ居リマス法律

ヲ發動致シマス場合ニ於キマシテ、此ノ時

フモノヲ決定致シマスノハ、政府ノ獨斷專
行デオヤリニナル考デゴザイマスカドウデ

アリマスガ

○周東政府委員 本法ノ制定ノ場合ニ於キ
マシテハ、左様ニ考ヘテ居リマシタ

○勝田委員 尙ホ一點承ツテ置キマスガ、
大體先程カラノ米穀局長ノ御説明ニ依リマ

スト、米ガ足ラナイ場合ヲ想定シテノ御話
デスガ、私モ米ノ足ラナイ場合ヲ想定シテ

御尋シタノデアリマス、米ガ餘ツタ場合、
此ノ四條ノ規定ヲ發動スル餘地ハアルノデ

アリマスガ、ナイノデアリマスガ、若シア
ルト致シマスレバ、ドウ云フヤウナ方法ニ

於テ、此ノ四條ヲ發動スルノデアリマスガ
○周東政府委員 米ガ非常ニ國內ニ生産サ

レマシテ餘ルト云フヤウナ場合ニ於キマシ
テハ、是ハ寧ろ現在ノ自治管理法ナリ、或

ハ統制法ノ發動ニ依ツテ、或ハ自治的ニ貯
藏ヲ命ジ、或ル場合ニ於テハ必要ナ數量ヲ

政府ガ買上ゲルト云フ、別箇ノ法律デ行ク
ト考ヘマス

○勝田委員 結局此ノ第四條ハ米ノ足ラナ
イ場合ニノミ發動スル規定デアル、斯様ニ

諒承致シマシタ、ソコデ今度ハ第二ニ質問

務ヲ命ゼラレテ居ルノデアリマスガ、而モ
第一項ノ規定ガ發動致シマス場合ニ、政府

ハ第二項ノ權能ヲ發揮セラレルノデアル、

斯ウ讀違ヒシテ思ツタノデアリマスガ、ズ
ツト讀ンデ見マスルト、前項ヲ受ケテ居リ

マセス、第一項第二項ハ縁ノナイ條項デア
ル、斯ウ云フヤウニ讀ンダノデアリマスル

ガ、左様デゴザイマスルカ
○周東政府委員 是ハ大體ハ第一條トノ關

聯デゴザイマスガ、併シ二項ノ方ノ關係ハ、
米穀ノ需給等ニ付テ非常ニ窮乏デアルト云

フヤウナ場合ニ於キマシテハ、配給統制ニ
或ル程度ノ許可ヲ受ケマシタ米穀業者等ニ

協力ヲサセル必要モゴザイマスノデ、ソレ
等ノ必要上必要ガアル場合ニ於キマシテハ、

豫メ種々ナ報告ヲ求メテ置ク、斯ウ云フ風
ナ意味合デ此ノ二項ヲ規定致シタ譯デアリ

マス
○勝田委員 第一項ト必然的ノ關係ハナイ

ガ、多少ノ事實上ノ關係ハ持ツ、常ニ第二
項ノ規定ヲ働カスト云フ考ヲ持ツテ居ナ

イ、斯ウ云フヤウニ承ツテ宜シウゴザイマ
スカ
○周東政府委員 左様デゴザイマス

○勝田委員 ソコデハ報告義務ト検査義

務ニナツテ居ルノデアリマスガ、帳簿検査、

物品ノ検査ヲセラレル場合ニ於キマシテハ、提出ヲ命ゼラレルノデアリマスガ、又ハ役人ヲ現場ニ差向ケラレテ検査スルノデアリマスガ、雙方トモ併用セラレルノデアリマスガ、ドウ云フ方法ヲ執ルノデアリマス

○周東政府委員 大體是ハ現場ニ参リマシテ検査ヲ致サセル積リデアリマス

○勝田委員 ソコデ伺ヒタイコトハ、提出ヲ命ゼラレマシテ、役所ニ持ツテ来イト言ツテ持ツテ呉レバ問題ハナイノデアリマシガ、商賣人ノ宅ニ行ツテ検査ヲセラレルト云フ場合ニ、此ノ義務ニ反シタ場合ニハ罰則ガ出来テ居ルノデアリマス、サウシテ役人ガ参リマシテ、唯俺ハ政府ノ役人デアリマス云フコトデ検査ガ出来ルノデアリマシガ、之ニ付テハ身分證明ノヤウナモノヲ必ズ持ツテ行クト云フコトニナルノデアリマセウカ、他ノ法律ニ斯ウ云フヤウナ規定ガアリマス場合ニハ、必ズ身分證明書ヲ携帯シテ行クト云フ條文ガアツタト記憶シテ居リマスガ、是ハ拔ケテ居リマスガ、ドウ云フコトニナルノデアリマスガ

○周東政府委員 是ハ實際ニ於キマシテハ其ノ身分ヲ證明スルモノヲ持タセタイト思ツテ居リマス

○勝田委員 大體條文ノ意味ハ分ツタノデアリマスルガ、此ノ際農林大臣ニ御伺シタイノデアリマス、御聴キノ通り、又御承知ノ通り、此ノ條文ハ私未ダ會テ見ナイヤウナ廣汎ナル權力、殆ド無條件ニ任スヤウナ條文ト存ズルノデアリマス、併シナガラ一面ニ於キマシテ此ノ種ノ條文ノ必要デアルコトハ無論私承知致シマス、斯ウ云フ條文ガナケレバ、實際ニ於キマシテ米穀ノ配給統制モ圓滿ニ實行出来ナイデゴザイマセウ、寧ロ此ノ第四條ガ私ハ他ノ條項ノ總テノモノヨリ強イカラ、此ノ統制ニ付テ持ツモノデアアルコトハ考ヘテ居ルノデアリマシルカラ、此ノ條文ノ趣旨ニ付キマシテハ、多ク反對スル理由ハゴザイマセヌガ、此ノ條文ガ先程申シタヤウニ、餘リニ不用意ニ出来テ居ル、露骨ニ申セバ亂暴ニ出来テ居ル、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、ソレカラ此ノ發動ノ時期ト方法ニ付キマシテ、只今政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト、此ノ法律ヲ發動スルトキニハ政府ノ獨斷デアルノデア

ル、斯ウ云フノデアリマスガ、先程來承ツテ居リマスルヤウナ斯ノ如キ廣汎ナル權限ヲ發動致シマスル場合ニ、敢テ政府ヲ信用セスト言フノデハゴザイマセヌガ、他ノ法

規トノ鈞合カラ申シマシテモ、是ハ何トカシテ適當ナ機關ニ御諮詢ニナツテ、慎重ノ上ニモ慎重ヲ期シテ御發動ニナル、斯ウ云フコトガ實際慎重ナ處置デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル農林大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 第四條ニ付キマシテハ勝田君ノ仰セノ通り、是ハ極メテ稀ナ場合デアリマシテ、平素本條ヲ適用スルト云フ考ハ毫末モ持ツテ居ナイノデアリマス、即チ特ニ必要ヲ認メタル場合ニ於テノミ、ソレモ極メテ斯クシナケレバナラスト云フ場合ニ於テノミ之ヲ致シタイト思ヒマス、而シテ之ヲ發動致シマス際ニハ、緊急已ムヲ得ズ一刻ヲ爭フ場合ニ於キマシテハ、政府自ラノ責任ニ於テ致シタイト思ヒマスガ、然ラザル場合ニ於テハ本法ニ定メラレタ米穀取引事業審議委員會トカ或ハ米穀統制委員會トカ斯様ナ委員會ノ議ヲ經タイト考ヘテ居リマス

○勝田委員 農林大臣カラ只今是ハ緊急已ムヲ得ナイ場合ハ行フガ、然ラザル場合ニ於テハ必ズシモ米穀統制委員會デアルトカ其ノ他ノ適當ナ委員會ノ議ニ付シタ上デ然ルベク發動スルト云フ御言葉ヲ賜ツタノデアリマス、斯ウ云フ際デアリマスカラド

ノ委員會ニ懸ケルト云フコトハ御言明ヲ得ヌ譯デゴザイマセヌガ、此ノ法案ガ議會ニ於テドウ云フコトニナルカ分リマセヌガ、議決ヲセラレマスルマデニ具體的ノ方法ヲ或ル程度御決メ下サイマシテ御發表ヲ賜レバ幸甚デアリマス、次ニ第五條ニ關係シタコトデスガ、市場ヲ三十トカ、四十トカ、五十トカ御許シニナルノデアリマスガ、其ノ中ニハ現物取引、未著物取引、延取引、全部包含スルノデゴザイマセウカ、又中ニハ現物取引ダケデ延取引ヲ許サナイ、或ハ未著物取引ト現物取引ヲ許スト云フヤウナコトニ色々種類ガ分レルノデゴザイマスガ、ソレトモ許サレタ市場ニ於テハ全部三ツノ市場ノ取引ガ行ハレルノデアルカ、此ノ點承リタイ

○周東政府委員 延、未著、現物、斯ウ云フコトヲ兼ネタモノト、現物ダケニサセルト云フヤウニ市場毎ニ於テ取引方法ガ違ツテ参リマス

○勝田委員 大體サウ云フコトデオヤリニナルノデアルト考ヘルノデアリマスガ、現在ノ市場ヲ、何處ヲドウ云フ取引ヲサセルコトニスルカ私ヨク分リマセヌガ、現在現物取引ダケヤツテ居ル所ハ現物取引ダケヲ御許シニナル、ソレハ宜シイデアリマセウ

ガ、併シナガラ現在清算取引ヲ許サレテ居ル市場ヲ、此ノ機會ニ於キマシテ現物ダケニシテシマウト云フコトニ於キマシテハ、何ダカ其ノ地方ニ於キマシテ非常ニ寂シク思フ、或ル意味ニ於キマシテ、既得權ヲ奪フト云フ節モアルノデナйкаト考ヘラレマス、大體ハ從來ノ例ニ依ツテオヤリニナリ、特ニ事情ガアルト云フモノニ付テハ色々違ツタ御處置ヲ取ラレルノデアリマスカ、ソレトモ全然白紙ニ還ツテ、會社ガ出來タ以上ハ其ノ會社ヲ新ラシイ法律ノ下ニ處理セラレルノデアリマスカ

○周東政府委員 市場ヲ許シマス場所ハ餘程例外的ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、隨テ現在清算市場ノアリマス所ヘ、必ズ延ベ市場ヲ置クト云フ風ニ只今考ヘテ居リマセヌ、是ハ實際ニ市場ヲ置キマス場合ニ、十分考慮致シマスガ、只今ハ左様ナ方針デ居リマス

○勝田委員 尙ホ、ドナタカ御聽キニナツタカモ知レマセヌガ、米穀市場ノ類似ノ施設ト云フ意味ヲ、ハツキリシテ戴キタイと思フノデアリマス

○周東政府委員 是ハ本法デ認メマス市場、即チ其ノ市場ニ於ケル取引方法、即チ現物、未著物、延ベ取引ト云フモノガアル譯デス

ガ、其ノ各、ニ付テノ賣買仕法、受渡期間、總テデアリマスガ、ソレト同様又ハ類似ナモノヲ致ス場合ヲ指シマシテ、類似市場ト言フ譯デゴザイマス

○勝田委員 抽象的ニ申セバ、大體サウ云フコトニナルト思ヒマス、其ノ位ノコトハ私モ知ツテ居ルノデアリマスガ、具體的ニモウ少シ聽キタイ、サウ云フ抽象的ナ御答ナラ、是ハ常識的ニ分ルノデアリマス、ソコデ一番問題ニナルノハ、延ベトカ何トカ云フコトデハナク、現物市場ニ付テハ相當際DOI所ガアリハセヌカ、又類似デナイモノモ、類似ノ施設ト云フコトデ、問題ニセラレル節ガアルノデハナйкаト思ヒマスガ、其ノ紙一重ノ所ヲ伺ツテ居ルノデアリマスカラ、若シ出來レバ、斯ウ云フ場合ハ類似ニナル、斯ウ云フ場合ハ類似ニナラスト云フコトノ、實例ニ付テノ説明ヲ伺ヘレバ結構ト思ヒマス

○周東政府委員 多數ノ賣手買手が集合致シマシテ、ソコニ米ノ賣買取引ヲ致サセルト云フヤウナ事柄ヲヤツタ場合ニ於テハ、先ヅ第五條第三項ニ云フ類似施設カト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○勝田委員 物的設備ニハ全然關係ハアリマセヌカ、ソレハドウ云フコトニナリマス

カ

○周東政府委員 物的設備ニハ必ズシモ關係ハナйкаト思ヒマス

○勝田委員 ソレハ其位ニシテ置キマシテ、第八條ニ關係致シマスコトニ付テ一寸伺ヒマス、第八條ノ關係命令事項トシテ頂戴致シマシタ騰寫版刷ヲ見マス、現物取引ニ於テハ、市場員デナイ者デモ、市場員ト取引ヲスルコトガ出來ル、斯ウ云フコトガアリマス、此ノ内容ハ分ツテ居ルノデアリマスカ、是ハ私ノ感じヲ申上ゲマシテ、政府委員ノ感想ヲ御伺スルノデアリマスガ、斯ウ云フコトニナリマス、餘程現在米屋又ハ卸賣ナドヲヤツテ居ル者ガ困ルノデハナйка、斯ウ云フヤウナ感じガ致シマスガ、サウ云フコトハゴザイマセヌカ

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、大體現在ノ正米市場ニ於ケル取引ノ方法ト同様デゴザイマス、隨テ米屋サン等ニ餘リ影響ハナカラウカト考ヘテ居リマス

○勝田委員 同様デゴザイマスガ、併シナガラ今度ハ現ハレテ來ル者ガ違ヒマシテ、御承知ノ通りニ全販聯ガ市場員ニナツテ市場ニ出テ來マスガ、是ト出テ來ナイ場合ノ取引トハ相當實質ガ違フノデハナйка、斯ウ云フコトヲ私ハ常識的ニ考ヘルノデアリマス

スガ、其ノ點ニ對スル御見透シヲ聽キタイ

○周東政府委員 是ハ從來ニ於テモ全販聯ハ、地方ニ依ツテハ異ツテハ居リマスガ、直接小賣人或ハ卸賣商ニ米ヲ賣ツテ居リマス、ソレガ今度ハ直接市場ヘ出テ賣ルト云フコトニナル譯デアリマス、取扱數量等デモ特ニ殖エルト云フナラ別デスガ、大體今ノ程度ノ取扱ヲ全販聯ガシテ居リマス場合ニ於キマシテハ、此ノ賣買ノ結果ト云フモノハ、左程變ラナイノデヤナйкаト云フヤウニ考ヘル次第デアリマス

○勝田委員 是ハ一ツ商工省ノ政府委員ニ伺ヒタイ、農林省ノ政府委員ハ、今御聽キノ通りニ御覽ニナツテ居ル、從來ト取引高ガ餘リ變ラナイグラウト言ハレル、吾々素人ノ常識ト申シマスルカ、觀測ニ依リマスルト、全販聯ガ市場員ニナツテ、此ノ市場ニ現ハレテ來マシタ場合ニ於テハ、相當違フノデヤナйкаト云フ氣ガスル、是ハ取引所ノ方ヲ御監督ニナツテ居ラレル關係上、商工當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○新倉政府委員 全販聯等ガ市場ノ市場員トナツテ參リマシタ場合ニ、ドウ云フ風ナ影響ガアルカト云フ點ニ付キマシテハ、色々觀方ガアルグラウト思ヒマス、唯實際問題ト致シマシテ、此ノ市場ノ仕法等ニ付キ

マシテ相當色々ナ制限ガアル、例ヘバ取扱ヒマスル單位ヲ、相當高ニスルトカト云フヤウナ方法ヲ講ジマスルト、必ズシモ其ノ影響ト云フモノガ、サウ從來ト變ラナイノデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレマス、併シ又一面ニ何等ノ制限ナシニ無條件ニヤルト云フ場合ヲ考ヘマスルト、又相當ナ影響ガアルト云フ風ニモ實ハ考ヘラレマスノデ、其ノ邊ノコトニ付テハ、全販聯ガ入リマシタ爲ニ、非常ニ從來ト著シク違ツテ、業者ノ間ニ相當摩擦ガ起ルヤウナコトノナイヤウナ方法ヲ、講ジナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○勝田委員 能ク分リマシタ、商工當局ハ、多少ハ變ルカモ知レナイガ、從來ト餘リ變ラナイヤウナコトニ、何等カノ形デ以テ摩擦ヲ防ギタイ、斯ウ云フ御意見デアアル、農林當局ノ御意見ハ、從來ト變ラナイ、斯ウ云フ御意見、即チ農林當局ガ此ノ案ヲ立案致シマスル際ニハ從來ト違ハナイカラ是デヤツテ行カウト、斯ウ云フコトデアリマスカラ、從來ト變ラナイヤウナ程度ニ於テヤラサウト云フコトニ付テハ、商工、農林意見ガ合致シタト、斯様ニ考ヘルノデアリマスカ、ソレデ宜シウゴザイマスカ、私ハ左様ニ聽ク、サウ云フ前提ノ下ニ此ノ案ヲ御

出シニナツタ、是ガ違フト言ハレナイカラ、從來ト變ラナイト云フ認識ノ下ニ此ノ案ヲ作ツテ居ラレル、商工省ノ方ハ、多少ハ變ルカモ知レヌケドモ、成ベク變ラナイヤウニシテ摩擦ヲ防ギタイト言ハレル、結論ハ一致シテ居ル、ダカラサウ云フコトニ當然處置セラレルヤウニ考ヘテ居ラレルノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 只今ノ問題ハ、餘程考究ヲ重ネタ問題デアリマス、即チ生産者ノ方カラ販賣組合ガ入リマス、又消費者ノ階級カラ所謂米穀ノ商業團體ガ入リマス、而シテ從來七割何分ノ集荷機構ヲ持つテ居ル米穀業者ガ、此ノ儘之ニ入り得ルノデアリマス、此ノ三建テニ依ツテ經營ヲ致スコトニナリマスル結果ハ、大體ニ於テ、從來ト大シタ相違ハナカラウト考ヘテ居リマス、併シナガラ是ハ、異常ナル變化ガアルト云フヤウナ事柄ニ對シマシテハ、私共ハ左様ニ考ヘマセヌガ、萬一左様ナ事柄ガアリマシタナラバ、ソレニ對スル所ノ相當ナ方法ハ又アリ得ルト、斯様ニ思ツテ居リマス

○勝田委員 農林大臣ノ御答辯ヲ戴キマシテ、大體商工當局ノ御答辯ト同ジコトノヤウニ伺ツテ、洵ニ結構ダト考ヘルノデアリマス、是非トモ餘リ大シタ變動ヲ急激ニ起

サナイヤウニ、吾々ハドチラニ味方ヲスルト云フコトデナク、所謂現代主義ト申シマスカ、總親和ト申シマスカ、サウ云フ趣旨ノ下ニ吾々時勢ヲ見テ居リマスル者ハ、出來ルダケ摩擦ヲ少クシテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ序ニ聽イテ置キマスガ、此ノ市場員ト市場員デナイ者トノ取引ニ付キマシテハ、市場員デナイ者モ取引ノ數量ニ付テハ何カ制限デ

モアルノデアリマスカ、最低限ハ無論アリマスカ、最高限ヲ何カ御付ケニナリマスカ

○周東政府委員 別ニ其ノ點ニ付キマシテ制限ヲ付ケル意思ハゴザイマセヌ

○吉植委員 一寸只今ノ問題ニ關聯シテ御伺シタイト思ヒマスガ、只今ノ商工當局ト農林大臣トノ御答辯ニ依リマス、大體全販聯ノ方ノ進出ヲ或ル程度ニ緩和シテ行ク、サウスルト殖エナイガラウ、殖エナイヤウニスルト云フ御答辯デアリマシタガ、全販聯ノ現狀ト云フモノハ永遠ニ現狀デ居ルモノデハゴザイマセヌデ、日ニ月ニ進展シテ居ル現狀デアリマスガ、此ノ會社ガ出來マセヌト取扱數量ハ日ニ月ニ進展シテ參ツテ居ル現狀デアリマス、サウシテ其ノ現勢ヲ抑ヘテ行クト云フコトニナルト、此ノ會社ガ出來タ爲ニ自然ノ趨勢ヲ抑壓スルコトニ

ナリマスガ、此ノ點カラシテ此ノ會社ハ生産團體ノ進展ヲ抑壓スルコトニナリマスガサウアツテハナラスト思ヒマス、如何デゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 私ハ生産者ノ團體ガ此ノ市場ニ流シマス米ニ付テハ、ヤハリ漸次殖エテ行クデアラウト思ヒマス、併シナガラソレガ此ノ市場ニ入ツタガ爲ニ殖エルノデハナクシテ、自然ニ殖エテ行ク力デ殖エテ行クノデアラウト考ヘマス、併シ一面ニ於テ消費者側ニモ亦相當ナ消費ガ集中サレルト思ヒマスカラ、從來ノ米穀業者ノ取扱數量モ大ナル減少ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○勝田委員 次ニ第十一條ニ關スル勅令事項ヲ拜見致シマス、米穀市場ノ市場員ノ免許ヲ受ケ得ル者ハ米穀取扱業者及其ノ團體並ニ米穀生産者ノ團體ト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ米穀取扱業者ノ團體ノ中ニハ米穀ノ全國商業組合聯合會ト云フモノモ入ルノデアリマセウカ

○周東政府委員 米穀取扱業者ノ團體ト法規ニ書イテアリマスカラ、理論的ニ申シマスト入ルコトニナリマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ具體的ノ場合ニ如何ナルモノヲ入レルカト云フコトニ付キマシテハ、能ク商

工當局ト話合ヲ致シマシテ必要ニ應ジテ決メテ行キタイト思ヒマス

○勝田委員 勿論米穀全販聯ハ米穀生産者團體ノ資格デ入り得ルト思ヒマス、サウシテ其ノ方法ハ米穀局長ノ御説明ニ依ルト、全國ノ市場ニ出張所ヲ出シテ取引ヲスル、斯ウ云フヤウニ伺ツタノデアリマスガ、サウスルト、一方ノ米穀商業組合全國聯合會ハヤハリ日本全國ニ出張所ヲ出シテ市場員トシテ取引サセルト云フコトガ常識的ニ考ヘラレルトデアリマス、私ハ此ノ組合ノ内容ヲ能ク知りマセスガ、一方ニサウ云フモノガ入ルト云フコトニナレバ、是モ入レテ商賣ヲサセテヤツタラドウカト云フ觀念ニナルノデアリマスガ、是ハドウデアリマスカ

○周東政府委員 理論的ニハ御話ノ通りデアリマスガ、全販聯ト商業組合聯合會トノ性質上ノ差ガアリマスノデ、實際上ハ全國商業組合聯合會トシテ入ルコトノ實益ハ殆ドナカラウカト思ツテ居リマス

○勝田委員 私ハ實際ヲ知りマセス、紙ニ書イテ理論デ御伺スルノデアリマスカラ、或ハ間違ツテ居ルカモ知レマセスガ、理論的ニハサウナルドラウト思ヒマス、之ニ付テハ御一考願ヒタイ、斯様ニ考ヘル次第デ

アリマス、此ノ際私ハ酒米ノ問題ニ付テ極ク簡單ニ御伺シタイ、私ハ酒米ハ特殊米デアルカラ、斯ウ云フ市場ニモ出テ來ナイデ、殆ド直接ニ生産者カラ消費者ニ渡ルモノト信ジテ居リマス、私ノ地方ノ如キハ殆ド全部酒米デ、生産者カラ殆ド全部酒屋ニ廻ツテ居リマス、親ノ代カラ自分ノ所ハ何處ノ酒屋ト云フヤウニ決ツテ居ルノデアリマス、サウ云フモノハ全部特殊米トシテ當然此ノ適用ヲ受ケナイ、今マデ通りヤツテ行ケルモノト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、此ノ間、時ト場合ニ依レバ是モ米穀統制法ノ適用ヲ受ケルノダト云フ御答辯ガアツタヤウニ伺ヒマシタガ、如何デアリマスカ

○周東政府委員 大體御話ノ通りデ宜シイノデアリマス、此ノ間申上ゲタノハ第四條ノ發動ガアルヤウナ場合ニ酒米マデ行クカト云フ御質問デアリマシタカラ、此ノ點ハ食糧問題トシテ考ヘル、サウ云フ場合ニハ酒米ト然ラザルモノト區別ハ出來ヌカラト云フノデ、サウ云フ場合ヲ豫想シテ申上ゲタノデアリマス

○勝田委員 サウスルト第四條ノ發動ノアル場合ニ於テハ非常時デアルカラ、酒米ダトカ云フヤウナコトハ言ツテ居ラレナイ、併シナガラ平時ノ場合ニ於テハ、特殊米ノ

取扱ヲスルト云フ御答辯ト承ツテ宜シイカ

○周東政府委員 左様デゴザイマス

○勝田委員 ソレカラ飛ビマスガ、二十九條ノ第一項第三號ニ依ルト「前二號ノ事業ニ附帶スル事業」ト書イテアリマス、ソレカラ第四ニハ「其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル事業」ト書イテアリマスガ、是ハドウ云フコトヲ會社ガヤルノデアリマスカ、具體的ニ御示シテ願ヒタイ

○周東政府委員 御話ノ第四號ハ差當ツテ只今ノ所具體的ノ例ヲ持ツテ居リマセスガ、本會社ノ特殊ノ使命ニ鑑ミテ、經濟事情ニ應ジテ必要ナル事柄ガ起レバ是デヤリ得ルヤウニ途ヲ開イテ居ルダケデゴザイマス

○勝田委員 ソレカラ先程一寸質問ガアリマシタガ、二十三條ノ規定デアリマス、申スマデモナク此ノ會社ハ特殊會社デアルカラ、外國人ニハ株ヲ持タセナイト云フ建前デ出來テ居ル、「日本米穀株式會社」ノ株式ハ記名式トシテ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得」斯ウ書イテアリマス、斯ウ云フ外國人排斥

ノ規定ガ善イカ惡イカト云フコトノ立法上ノ議論ハ別ニシテ、先程ノ御答ニ依ルト日本ノ法人デアツテ初メハ適格者ノ中ヘ入ツテ居タ者ガ、法人ノ組織内容、株券ガ移動シテ、其ノ法人ハ日本ノ法人デアルケレドモ、遂ニ中味ハ外國人ニナツテシマフト云フヤウナコトガアツタラドウスルカト云フ質問ニ對シテ、何トカ實際上ノ處置ヲスルト言ハレマシタガ、ドウモ實際上ノ處置ト簡單ニ行ケナイノデハナイカ、是ハ何カ適法ニ御決メニナツテ置カナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス

ソレカラ第二點ハ、私ハ寧ロ斯ウ云フ面倒ナコトハ止メテシマツテ、苟モ日本ノ法人デアルナラバ、ソナナ株式ノ半分ヤ幾ラヲ持ツテ居ラウガ居ルマイガ、ソコマデ神經衰弱的ニ考ヘナイデ、株ヲ外人ニモ持タシタラドウカト考ヘマスガ、ソレニ付テ御意見ヲ承リタイ

○周東政府委員 第一點ニ付テ御答致シマス、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、現在ノ法規ニ於キマシテハ、適法ニ處置スルト云フコトハ書イテアリマセス、實際問題トシテサウ云フ風ナ會社ガ持ツテ居ル持株ニ付キマシテハ、他ハ讓ツテ貰フトカ云フヤウナ方法ヲ採リタイト云フコトヲ、先程申上ゲ

タ譯デアリマス、ソレカラ第二點ニ付キマシテハ、成程御尤ナ御意見デアリマスガ、出來ルダケ國民ノ主要食糧品ニ付テノ市場ヲ經營サセ、ソレニ對シテ色々國家ノ米穀統制ニ協力セシメル會社ニ付キマシテハ、外國人ガ多數、株ヲ持ツテ居ル會社ニハ持タセナイ方ガ宜カラウ、現ニ各國策會社ニ於テ外國人ヲ排除シテ居リマスト同様ナ趣旨ニ於テ、ソレヲ止メサセタイト云フ意向ニ外ナラナカッタノデアリマス、ソレカラ一寸先程御答辯ヲ致スコトヲ漏ラシタノデハナイカト思ヒマス、業務ノ第三號ノ内容ヲ御尋ニナツタト思ヒマスガ、其ノ第三號ニ付キマシテ只今考ヘ居リマスノハ、此ノ會社ノ市場デ取引サレマシタ米穀ニ付テノ保管トカ、或ハ立替金ヲシテヤル、ソレカラ運送ノ仲立ヲシテヤルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

○勝田委員 私ハ率直ニ申スノデアリマスガ、一體第二十三條ノ斯ウ云フノハ是ハ舊イ型ダト思フノデアリマス、前例ガ斯ウ云フヤウニナツテ居ルカラト言ツテ、或ハオヤリニナツタノデハナイカト思ヒマスガ、先刻米穀局長ノ言ハレタ通り、此ノ會社ノ株ハ半分政府ガ持ツ、理事長モ副理事長モ政府ガ任命スル、無論政府ニ株主總會ノ議決

權ガアリマス、政府ガ半分議決權ヲ持ツコトニナレバ、他ノ理事ヲ選ブノハ任意デ、外國人ガ理事ニナルトカ、外國人ノ願使ニ甘ンズルヤウナ者ハ理事ニナルコトハアリマセスカラ、ソレハ認メテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ際ニハ昔外國人ヲ恐レテ居ツタヤウナ考ハ去ツテ、斯ウ云フ條文カラハ御取リニナルノガ本當デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、只今此處デ御答辯ヲ求メル譯デアリマセスガ、幸ヒ農林大臣ガ御出席デアリマスカラ、私ノ意見ヲ聽イテ置イテ戴キタイノデアリマス、尙ホ若シ之ヲオヤリニナルト云フノデアリマスカラ、先程言ハレルヤウニ、何トカ處置スルト云フヤウナコトヲ御考ニナラナイデ、モウ少シ法律的ニ御考ニナツタラドウカ、斯様ニ考ヘマス、ソレカラ第五十六條ノ規定竝ニ之ニ關スル勅令ニ付テ、御質問申上ゲタイト思ヒマス、私ガ申スマデモナク、今度ノ法律ガ出來マスレバ、今マデノ取引所ハ止メル、止メザルヲ得ス、ソコデ其ノ善後處置ヲ御決メニナツテ居ルノガ此ノ第五十六條ノ條文ト考ヘマスガ、ソレニ關聯致シマシテ、手許ニ廻ツテ居リマス此ノ勅令事項ニ付テ御問ヒ致シタ方ガ便宜カト考ヘマス、ソコデ先ヅ取引所ニ對シテハドウ云フ風ナ

コトヲセラレルカト申シマス、財産ヲ買取ルト云フコトデアリマス、ソレカラ取引員ニ對シマシテハ市場員ニスルト云フコト、ソレカラ資金ノ要ル場合ニハ資金融通ノ途ヲ開イテヤル、取引所ノ從業員ニ對シテハ引續イテ從業員ニ採用シテヤル、大體斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ條文ガ出來マシタ経緯ニ付キマシテハ、私ガ申スマデモナイガ、賠償主義デアルトカ非賠償主義デアルトカ云フヤウナコトデ、種々議論ガ交サレテ居ツタノデアリマス、米穀統制法ガ議會ニ掛リマス際ニ於キマシテモ此ノ點ニ付テハ議論ガアツテ決議マデアツタノデアリマス、率直ニ申シマス、私モアノ當時ニ於キマシテハ賠償主義ヲ採ルト云フコトハ面白クナイト言ツテ居ツタ一人デアリマス、併シナガラ今日ノ如クニ取引所ヲ法律ノ力ニ依ツテ閉鎖ヲ致シマス場合ニハ、此ノ非賠償主義ヲ何處マデモ徹底スルコトガ宜イノデアルカドウカト云フコトヲ理論的ニ考ヘマスレバ、私ハ相當ニハ議論ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、併シナガラ一面現在ノ日本ノ時局ヲ考ヘマシテ、又時勢ノ空氣ヲ考ヘマス時ニ、理論ヲ超越致シマシテ政治的ニ解決シナケレバナラスト云フ趣意モ相當アルト私ハ

思ヒマス、農林大臣ハ此ノ點ニ付キマシテ非常ニ御苦心サレマシテ、政治的裁量ニ依ツテ一定ノ基準ヲ御作リニナツタコトニ付キマシテハ、私ハ此ノ際敬意ヲ表シマス、私ハ大體ニ於テ斯ウ云フ解決ガ時勢ニ最モ適合シタルモノデアルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ觀點カラ第五十六條竝ニ之ニ關聯スル事項ニ付テ御伺スルノデアリマスガ、非賠償主義ハ主義トシテハ結構デアリマス、併シナガラ兎ニ角法律ノ力ニ依ツテ今日マデヤツテ居ツタ營業ヲ閉鎖シテシマフノデアリマスカラ、此ノ點ニ於テ一掬ノ涙ガナケレバナラスト云フ考モ一面ニ於テ起ルノデアリマス、ソコデ色々規定ガ出テ來ルノダト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ取引所ノ財産ヲ買取ルト云フ第五十六條ノ規定ハ、是ハ新會社ノ買取義務ヲ規定シタモノデアルト思ヒマスガ、左様デアリマスカ、簡單ニ御答辯ヲ願ヒマス

○周東政府委員 是ハ買取リ得ルト云フ權能ヲ、會社ノ重役ニ對シマシテ付與シタ規定ト考ヘテ居リマス

○勝田委員 私ハ全ク此ノ法文ヲ讀ミ違ヘテ居ツタノデス、買取リ得ルト云フコトヲ規定シタト云フノデアアルガ、一方ニ於テハ兎ニ角止メナケレバナラスト云フノデアアルカ

ラ、ドウシテモ是ハ買取ラナケレバナラス、
兎ニ角今マデヤツテ居ルモノヲ法律ノ力ニ
依ツテ止メサセテシマフノデアルカラ、其
ノ跡ヲ同ジ仕事ヲヤルモノガ買取ツテヤレ、
斯ウ云フヤウナ命令的ノ意味ヲ含シテ居ル

條文ト考ヘテ居リマシタガ、政府委員ノ御答
辯ニ依リマス、買取ルコトガ出來ルト云
フノデアルガ、私ハサウ云フヤウニ解サナ
イ、是非買取ラナケレバナラスモノト思フ、
幸ヒ只今農林大臣ガ御出席デアリマスカラ、
之ニ對シテドウ考ヘマスカ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 是ハ本文ニ書イデアリマ
ス通り「土地、建物其ノ他ノ設備ヲ其ノ申
込ニ應ジ買取ルモノトス」ト書イデアリマ
スカラ、買取ルノデアリマス、併シナガラ
從來ノモノガ申込マナケレバ買取ラナイノ
デアリマス

○勝田委員 甚ダ失禮デアリマスガ、政府
委員ノ御答辯ト農林大臣ノ御答辯トが大變
ニ喰ヒ違ツテ居リマス、私ハ農林大臣ノ御答
辯ヲ信用シナケレバナラスト思フノデアリ
マスガ、又理論カラ申シマシテモ、事情カ
ラ申シマシテモ、經歷カラ申シマシテモ是
ハ新會社ガ舊會社ノ施設ヲ買取ツテヤルノ
ダト言ハレタモノト承知シテ宜シイカ、是
ハ結局ニ於テハ買取ラシメナケレバナラス、

法律的ニ申シマスレバ之ヲ買取ル義務ガア
ルト思フ、農林大臣ハ只今左様ニ御答辯下
サイマシタガ、若シ政府委員ノ御答辯通り
トシマスレバ、更ニ私ハ聽カナケレバナラ
ヌ——宜シウゴザイマスカ

○櫻内國務大臣 此ノ法文ノ通りニ御解釋
下サツクラ宜シウゴザイマス

○勝田委員 私ハ法文ノ意味ヲ聽イテ居ル
ノデアリマス、法文ノ通りト言ハレルト私
ノ解釋通りト云フコトニナリマス、常識上
ドウシテモ斯ウナケレバナラス、ソコデ此
ノ買取——私ハ敢テ義務ト申シマスガ、新

會社ガ舊會社ノ持つテ居ル財産ノ買取ヲシ
ナケレバナラスト云フコトニナルノデアリ
マスガ、是ハ無論營業上必要ナル財産ノ限
度ニ限ルヤウニモ見ラレルノデアリマス
ルガ、ドウデアリマスカ、現會社ノ施設ハ
全部買取ツテヤル、斯ウ云フノデアリマスカ、
又ハ新會社ガ營業上必要トスル限度ニ於テ
買取權ガアルノデアリマスカ、モツト廣ク
申シマシテ、舊會社ノ持つテ居リマス全財
産ヲ買取ラナケレバナラスノデアアルカ、私

ハ全財産トマデハ考ヘマセマスガ、少クトモ
現會社ノ營業施設トシテ持つテ居リマスモ
ノヲ全部買取ル、斯様ニ其ノ條文カラモ見エ
マスガ、サウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴ

ザイマスカ

○周東政府委員 是ハ大體市場ニ使ツテ居
ルモノヲ買フ譯デアリマス、何デモ彼デモ
總デ從來持つテ居ルモノヲ皆買フト云フ譯
デハゴザイマセズ

○勝田委員 左様グラウト思ヒマス、併シ
ナガラ新シイ會社ニ於テハ不必要デアアルガ、
現在ノ會社ニ於テハ市場トシテ使ツテ居ル
モノハ買取ツテヤル、斯ウ云フコトデゴザイ
マスネ

○周東政府委員 大體御話ノ通りデゴザイ
マス

○勝田委員 ソコデ今度ハ買取ノ價格ノ決
定ニ入ツテ行クノデアリマスガ、之ニ對スル
決定ハ委員會ガ出來マシテ皆御決メニナル
ノデアリマシテ、洵ニ結構ダト思フノデア
リマスガ、委員會ガ價格ヲ決定セラレマス
ル場合ニ於キマス標準ト致シマシテ、買取
ノ價格ハ時價建設價格及ビ利用價值、斯ウ
云フコトニナツテ居リマス、私ハ斯ウ云フ

問題ニ付テハ餘リ論ジタクナイノデアリマ
スガ、併シナガラ此ノ問題ヲハツキリシテ
置カナイト議會デハ此ノ問題ニ付テ殆ド檢
討ガ行ハレナクテ、全部審議委員會ニ任シ
タト云フヤウナコトニナツテハ甚ダ遺憾デ
アリマスカラ、私ハ敢テ質問スルノデアリ

マスガ、此ノ中デ問題ニナルノハ世間デモ
問題ニサレテ居ルヤウデアリマスガ、利用
價值ノ問題デアアル、私ハ斯様ニ考ヘテ居ツ
タノデアリマス、一體買フナラバ時價デ買
フ、是ハ一番素直ナ買ヒ方デアアルノデ、審
議委員會ガ建設價格及ビ利用價值ヲ斟酌ス
ルト云フ、建設價格ノ方ハ分リマスガ、利
用價值ヲ斟酌スルト云フコトハ、或ル意味
カラ申シマスレバ意味ガ分ラナイ、利用價
値ト申シマシテモ、是ハ理窟ニナルカモ知
レマセマスガ、物ニハ一般的利用價值ト特別
利用價值ガアルト思フ、一般的利用價值ト云
フモノハ、是ハ當然價格ニ入ツテ參リマス
ノデ、此ノ利用價值ガ金錢ニ見積ラレル場
合ニ是ハ價格ニナツテ現ハレルト思フ、若
シ一般的利用價值ダケヲ標準ニシテ御決メ
ニナルト云フコトデアアルナラバ、利用價值
ナント云フコトヲ書カレル必要ハナイト思
フ、サウシマスレバ、特別利用價值ト云フモ
ノモ引括メタ此ノ價格ヲ御決メニナルノデ
ハナイカト云フ疑ガ發生シタノデアリマス
ガ、此ノ點ハドウデアリマスカ

○櫻内國務大臣 只今ノ勝田君ノ御意見ハ
世間往々問題ニナツテ居ルコトデアリマス
カラ、私カラ御答致シマス、利用價值ト申
シマスノハ、要シマスルノニ、例ヘバ市場

ノ例ヲ取リマス、此處ニ市場ガアリマシ
テモ、若シソレヲ利用シナイモノトスレ
バ、或ハ學校ニスルトカ何カニスルヨリ外
使ヘナイノデアリマス、故ニ是ハ市場トシ
テ使フ、其ノ利用價值ヲ言ツタノデアリマ
シテ、將來其ノ市場ニ於ケル所ノ所謂利用
スル價值ヲ含シテ意味スルノデアリマ
ス、別ニ之ヲ壞シテ賣ルトカ何シテ賣ルト
云フ意味デハナイノデアリマス

○勝田委員 農林大臣ノ御趣旨ハ大體ニ於
テ分ツテ居ルノデアリマス、尙ホ少シ分ラ
ナイコトガアリマス、御尋スルノデアリ
マスガ、サウ云フ風ニ利用價值ト云フモノ
ヲ御覽ニナルト云フコトデアリマス、所
謂特定利用價值ヲ御覽ニナルト思フノデア
リマスガ、ソコデ此ノ特定利用價值ト云フ
コトニナリマス、買フ方ノ特定利用價值
ト賣ル方ノ利用價值ガアルト思フ、私ガ家
ヲ持ツテ居ル、ソレヲ農林大臣ニ賣ルトシ
マスレバ、農林大臣ハ其ノ家ヲ自分デ斯ウ
云フ風ニ使ハフ、ア、云フ風ニ使ハフト思
ツテ居ル、私ハ空家ニシテ居ルト云フ場
合、私ノ利用價值ハ非常ニ少イノデアリマ
スガ、農林大臣ノ利用價值ハ非常ニ多イ、
私ハ早く賣リタイト思ヒマスカラ安ク賣ル、
農林大臣ハ欲シイノデアリマスカラ高ク買

フト云フノ直グ話ガ出來マス、斯ウ云フ
風ニ非常ニ早く決ツテ來ルト思フ、ソコデ
私ハ問題ニナルト思フノデアリマスガ、新
會社ノ利用價值ヲ御認メニナルノデアリマ
スルカ、舊會社ノ利用價值モ併セテ參考ニ
セラレテ價格ノ決定ヲセラレルノデアリマ
スカ、之ヲ伺ヒマス

○櫻内國務大臣 此ノ利用價值ハ新會社ガ
利用スル價值ヲ言フノデアリマシテ、其ノ
新會社ノ利用ノ價值ヲドウ云フ風ナ算定ノ
方法ニスルカト云フコトハ、委員會ニ於テ
御審議ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○勝田委員 勿論此ノ取引所ノ財産ヲ換價
セラレル場合ニ於キマシテハ、利用價值ニ
依ツテノミ決メナク、建設價格モ御覽
ニナリ、時價等モ御覽ニナルノニ、只今ノ
農林大臣ノ御答ノヤウニナツテ來ルト、私
ハ少シ理窟ガ合ハナイヤウナ所ガアルノデ
アリマス、ソレハナゼカト申シマス、先程
私同ツタノデアリマスガ、今度ノ買收義務
ト云フモノハ、舊會社ガ市場ノ施設トシテ
使ツテ居ツタ全財産ヲ買フ、是ハ先程ノ御
答辯デ動カナイ、所ガ新會社ハ果シテ舊會
社ノ施設ノ全部ガ必要デアリマセウカドウ
デアリマセウカ、必ズ必要デアルトハ言ヘ
ナイ事項ガ私ハ相當アルト思フ、サウシマ

スト舊會社デハ相當市場トシテ利用シテ居
ツタ、所ガ新會社ト致シマシテハ是ハ要ラ
ナイ、コンナモノハ買ヒタクモ何モナイ、
利用價值ハ「ゼロ」デアル、「ゼロ」ト云フコ
トハ極端カモ知レマセヌガ、先程ノ御説明
デ申シマス、サウ云フヤウニナツテ來ル、
所ガ之ヲ買ツテ貰ハナケレバナラヌ、買ツ
テ貰フト云フコトハ賠償デハアリマセヌガ、
ソレダケ損ヲシナイヤウニシテヤラウト云
フ溫カイ心カラ出來テ居ルト思フ、ソレニ
モ拘ラズ、オ前ノ方ハ買ツテ貰ヘバ宜イカ
モ知レナイガ俺ノ方ハ要ラナイ、利用價值
ガナイノデヤナイカト云フノドウント引下
ゲラレルト云フコトデアツテハ、私ハ可哀
相デヤナイカト思フ、此ノ點ハドウ云フ風
ニ御覽ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 將來ノ利用ニ付テ要ラス
部分ガアル、サウナレバ其處ハ利用價值ハ
見ラレナイデヤナイカ、斯ウ云フ御話デア
リマスガ、大體ニ於テ從來ノ市場ヲ使フノ
デアリマスガ故ニ、ソレヲ市場トシテ使フ利
用價值ヲ見マシテ、ソレデ市場トシテ使ハナ
イ部分ニ對シマシテハ、要スルニ所謂時價
トカ原價トカサウ云フモノヲ參照シテ決メ
ルト云フコトニ相成ラウト思ヒマス、
何レニシマシテモ、ソレ等ノ問題ニ對シマ

シテハソレノ十分ナル調査ヲ遂ゲテ、サ
ウシテ此ノ委員會ニ於テ決定スルコトナ
ラウト思ヒマス

○勝田委員 是レ以上此ノ事ニ付キマシテ
申上ゲマスレバ、意見ヲ申上ゲルコトニナ
リマスカラ申上ゲマセヌガ、唯繰返シテ申
上ゲマスルト、ソレデハ利用價值ノ片手落
チニナル、所謂現在ノ會社ノ施設ヲ買ハナ
ケレバナラヌト云フ義務ヲ新會社ニ負擔セ
シメテ趣旨ト、此ノ間ニ多少ノ食違ヒガア
ルト云フコトダケヲ申上ゲテ、此ノ點ニ關
シテノ質問ヲ止メマス、ソレカラ最後ニ取
引員ニ關スル資金ノ融通方法デアリマスガ、
丁度大藏大臣ガ御見エニナツテ居リマスカ
ラ御伺シタイト思ヒマスガ、取引員ニ對シ
マシテ、是ハ轉業資金ヲ新會社カラ貸付ケ
ラレルト云フコトデゴザイマスルガ、此ノ
融通ノ方法竝ニ限度、ソレ等ニ付テ何カ御
内定デモアリマスレバ、ナタカラデモ宜シ
ウゴザイマスガ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○櫻内國務大臣 此ノ問題ハ非常ニ考慮ヲ
要スベキ問題デアリマシテ、各取引員ノ使
用シテ居ル使用人ノ狀態、或ハ其ノ營業シ
テ居ツタ年月、其ノ取引員ノ將來經營セン
トスル米穀市場員トナル人等ニ付キマシテ

ハ、市場員トナツテドウ云フ計畫ヲサレルカ、色々ノ點ニ付キマシテ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ譯デアリマシテ、今茲ニ確定的ナ金額ヲ申上ゲルコトハ如何カと思ヒマスガ、何レニセヨ此ノ問題ニ付キマシテハ、取引所自體ニ於テモ無論若シ解散サレル場合ニ於テハ、考慮サレルコトデアラウト思ヒマスシ、雙方相俟ツテ出來ルダケノ方法ハ講ジナケレバ相成ラヌト思ツテ居リマス、併シ此ノ會社ニ對シテ幾ラ貸付金ヲ附與スルカト云フコトニ付キマシテハ、其ノ貸付方法等ニモ依ルノデアリマス、其ノ貸付方法等ニ付キマシテハ、相當審議ヲ致サナケレバ決定ヲ致サナイ譯デアリマス、極ク簡單ナ例ヲ申上ゲマスナラバ、茲ニ市場員組合ガ出來テ、其ノ組合ニ貸付ケテ組合ノ手ヲ經テ貸ス、市場員組合ト云フト語弊ガアリマスガ、舊取引員ノ即チ轉業資金及ビ開業資金ヲ借りル人ノ團體ヲ拵ヘテソレニ貸ス方法モアルト思ヒマス、又直接ニ考ヘテ貸サナケレバナラヌ點モアルノデアリマシテ、今確タル數字ヲ申上ゲ兼ネマスガ、大體ニ於テ此ノ限度ト云フ腹案ハ持ツテ居ル次第デアリマス

○勝田委員 私ハ此ノ法案ニ直接關係致シマス事項ニ付テノ質問ハ、大體是デ終ツタ

ノデアリマスガ、終リニ臨ミマシテ、一二米穀政策竝ニ統制經濟ノ問題ニ關聯致シマシテ、農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ劈頭ニ申上ゲマシタル通り、米ノ問題ニ付キマシテハ全クノ素人デアリマス、隨テ米穀政策ニ對シマシテ云々スル資格ハ毫モナイノデゴザイマスガ、唯素人ハ素人ナガラニ米ノ問題ニ對スル一ツノ心配ガアルノデアリマス、此ノ素人ノ心配ハ即チ國民ノ心配ダト私ハ思フ、玄人ノ心配ハ専門的ニ色々御研究ニナツテノ心配デアリマスカラ、中々深ミガアリ、研究サレテ、本當ノ心配デナケレバナラスノデアリマスガ、一般人ハソコマデ知リマセヌ、併シ吾ノ如キ素人ノ心配ハ何人モ心配シテ居ル點デアリマスカラ、此ノ意味ニ於キマシテ私ハ質問スルノデアリマス、國民ノ惑ヒヲ解イテ戴ク意味ニ於キマシテ質問スルノデアリマス、米ガ足ルカ足ラナイカト云フ問題ニ付キマシテハ、此ノ委員會ヲ通ジテ終始論議セラレテ居ルノデアリマスガ、政府ノ方デハ四百萬石ノ増產計畫、竝ニ臺灣、朝鮮ノ増產計畫デ大部分間ニ合フカラ心配要ラヌト云フ趣旨ノ御答辯ニナツテ居ル、又委員諸君ノ御質問ノ趣旨ハ率直ニ申シマスレバ、足ラヌデハナイカト云フコトデ質

問ヲシテ居ラレル、吉植君ノ如キ専門家ハ、今年ハ色々ノ關係カラ不作デアルト云フヤウナ斷定マデセラレルヤウナ御質問ガ出タ、私ハ素人デアリマスカラ、今年不作デアルカ豐作デアルカ分リマセヌ、併シナガラ吾ノ常識カラ申シマス、米ガ非常ニ窮屈ニナルノデハナイカト云フ心配ヲ實ハスルノデアリマス、段々政府ノ持米モ少クナツテ參リマスシ、又是ハ戰爭ノ場合ニ於キマスル通例ト致シマシテ、米ガ餘計要ル、需要ガ殖エル、勿論私ハ獨逸、佛蘭西ノ大戰後三年ノ三割減ノ事例ヲ以テ直チニ日本ノ生産米數ガ三割モ減ルト云フ極端ナコトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ戰爭ノ事情モ違ヒマスカラ左様ニ考ヘテハ居リマセヌガ、併シナガラ戰爭ノ影響ト、ソレカラモツト突進シテ考ヘマスレバ、現在ノ下層社會ノ景氣、又生活ノ進歩ト云フヤウナコトガ重リマシテ、相當米ノ需要ガ殖エルノデハナイカト私ハ素人ナガラ考ヘルノデアリマス、ソコデ米穀政策ニ付キマシテハ色々御話ガゴザイマシタガ、最モ手ツ取早イノハ消費ノ統制、消費ノ節約デハナイカ、生産ノ増加ハオ天道様ガ相手デアリマスカラ、オ天道様ノ關係デ殖エモシ減リモシマスガ、消費ノ節約ハ人間ガスルノデアリマスカラ是

ハ巧クヤレバ狂ヒツコハナイ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテ御用意ヲ伺ヒタイ

尙ホ之ニ關聯致シマシテ吉植君カラ七分搦ノ問題竝ニ搦紛ヲ入レナクテ米ヲ搦カセルト云フ問題ニ付テ、本會議デ御質問ニナツテ、私速記録ヲ拜見致シタノデアリマスガ、是ハ私洵ニ御尤ダト思フノデアリマス、其ノ吉植君ノ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ハ七分搦ニ付テハ成程理窟ハ結構ダケレドモ、併シナガラ是ハ嗜好ノ問題ダカラ直チニ同意スル譯ニハ行カナイト申サレマシタガ、私ハ今日ハ國民ガ嗜好デアルトカ何トカ云フヤウナ時代デハナイト思フノデアリマス、七分搦ガ米穀政策ノ上カラ宜イモノデアル、而モ是ガ保健衛生ノ上カラ白米ヨリ宜イト云フコトデゴザイマスレバ、國民ノ嗜好位ノコトハ、此ノ非常時デアルカラ我慢シナケレバナラス、其ノ爲ニ事變ニナリマシテ米ガ三百萬石モ五萬石モ殖エルト云フコトデアリマスナラバ、政府ハ勇氣ヲ鼓シテ何等カノ方法デ之ヲ強制セラレルコトガ、私ハ非常時對策トシテハ當然ノコトダト思フ、今日斯ウ云フ風ニ押詰ツテ參リマシテ、尙ホ國民ノ嗜好ダカラト云ツテ、三百萬石ノ米ヲ失ツテシマフト云フコトハ

ドウカト思ヒマス、又搗粉ノ問題ニ關シマシテモ、厚生大臣ハ是ハ尤モダ、ヤラナケレバナラスト思フガ、是ハ砂業者ガ困ル、砂業者ガ困ル位ハ何トカ方法ガアラウ、今日砂業者以上ニ困ツテ居ル人間ガ澤山アリマスカラ、米穀政策ヲ御立デニナルナラバ、砂業者ガ何人アルカ、其ノ損害ガドノ位アルカ分リマセヌガ、相當ナ方法ヲ講ジマシテ、國家ノ大政策ニ協力セシムルコトガ私ハ當然ダト思フ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ノ答辯ヲ求メルノハ聊カ變デアリマシテ、私ハ其ノ意味ニ於キマシテ強イテ答辯ヲ求メナクテモ宜イノデアリマスガ、ドウカ米穀政策ノ上カラアノ問題ヲ御考ヲ願ヒタイ、厚生省ノ立場デナク、農林省ノ立場カラアノ問題ヲ御考ヲ願ヒタイト云フコトヲ私ハ希望スルノデアリマス

尙ホ消費節約ノ問題ニ付テ一言蛇足ヲ加ヘマスガ、私ハドウ致シマシテモ是ハ國民運動トシテヤラナケレバナラスト思フノデアリマス、吾々ガ今日何ガ一番有難イカト申シマス、此ノ食糧ガ十分足りテ居ルト云フコトデアリマス、ダカラ國民ハ此ノ食糧ガ足りテ居ルト云フコトニ對シマシテ、全幅ノ感謝ヲ神ニ捧ゲテ宜イト私ハ思フノデアリマス、幸ヒサウ云フヤウナ事情ニアリマスル今日ニ於キマシテ、食糧ノ愛護運動ト申シマス、豐穰感謝運動ト申シマス、外國ニモサウ云フ例ガアルノデアリマシテ、サウ云フ運動ヲ國民精神運動ニモ織込ミマシテ、多少デモ無駄ナ米ヲ餘スト云フコトヲ、御考ヲ願ヘヌモノガラウカト云フコトヲ此ノ際申上ゲテ置キマス

第二ニ是ハ大臣ノ御答辯ヲ戴キタイノデアリマスガ、此ノ法案ガ出マスルト、吾々ノ所ヘ委員ニナリマシタ關係カラカ、色々ノ文書ガ舞込ンデ來マス、又色々ノ人ガ訪ネテ來マス、ウルサクテ仕方ガナカツタノデアリマスガ、會ツテ話ヲ聽イテ見、又書面ヲ見マス、大抵反産運動ノ諸君、即チ米穀業者ガ産業組合ノ進出ニ對シマシテ反對スル趣旨ノ文書ナリ陳情デアリマス、反産運動ハ從來カラデモ非常ニ激烈デアリマシテ、産業問題ニ於キマシテハ産業組合ト反産運動トノ相剋ガ大キナ問題トナツテ現ハレテ居ルノデアリマス、併シナガラ吾々之ヲ今日ノ世ノ中ニ於テ見マスル時ニ於キマシテ、何モ此ノ相剋ハ産業組合ト反産運動トノ間ノ争デハナクテ、モツト私ハ深刻ナモノガアルト思フ、總テノ産業機構ト云フモノハ統制經濟機構ノ下ニ統一サレ

マシテ、今日デハ大企業家ノ下級労働者トハ非常ニ宜イノデアリマスガ、中産階級ノ者ハ、米屋ト言ハズ、商人ト言ハズ、其ノ他悉ク不況ノ下ニ呻吟シナケレバナラスト云フヤウナ境遇ニ陥ツテ居ルノデアリマス、平沼總理大臣ガ度々本會議ノ議場ニ於キマシテ、萬民輔翼デアルトカ、總親和デアルトカ云フコトヲ此ノ内閣ノ一ツノ大キナ政綱トシテ御述ベニナツテ居ルノデアリマスガ、若シモ此ノ非常時局ニ於キマシテ、萬民輔翼、總親和ノ實ヲ舉ゲサセヨウトナサルナラバ、私ハ此ノ産業方面ニ於キマス摩擦相剋、思想方面ニ於キマス摩擦相剋、此ノ二ツヲ何トカシテ克服シナケレバ其ノ實ガ望メナイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、櫻内農林大臣ハ曩ニハ商工大臣トシマシテ反産運動ノ方面カラ色々ノ知識ヲ得ラレ、經驗ヲ持ツテ居ラレ、此ノ度農林行政ノ首班ニ立ツテ産業組合ヲ率キテ行カレル立場ニ居ラレ

ルノデアリマス、或ル意味カラ申シマスレバ、私ハ最モ兩方ノ事情ヲ公平ニ御覽ニナリ得ル境遇ニ居ラレト信ジマス、ドウカ農林大臣ニ於キマシテハ反産運動ト産業組合運動トヲ解決スルト云フノミナラズ、更ニ産業大臣ノ一人トシマシテ、日本ノ統制産業ト中産階級ノ相剋、是ハ口ニハ申シマセヌガ、事實ノ上ニ於テハ相剋ガアルノデアリマスカラ、此ノ相剋ヲ今ノ内ニドウ云フ風ニシテ解消スルカト云フコトニ對シマシテモ、平沼内閣ノ一大政綱デアリマスカラ、何カ具體的ノ處置ヲ御執リヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、之ニ對シマス農林大臣ノ御考ヲ此ノ機會ニ併セテ聽クコトガ出來レバ甚ダ仕合セデアルト思ヒマス

○櫻内國務大臣 米穀ノ消費ニ關スル點ニ付キマシテハ、謹ンデ勝田君ノ御意見ヲ傾聽致シマス、最後ニ御話ニナリマシタ所謂産業組合ト反産運動、此ノ問題ハ實ハ永年ニ互ル所ノ懸案デアリマシテ、現状ノ儘ニ推移致シマス、將來相剋摩擦ヲ起スノ虞ガ起ラストモ限ラナイヤウナ懸念モ致スノデアリマシテ、此ノ件ニ付キマシテハ私共ハ深く關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、只今御述ノ如ク、平沼總理大臣ガ總親和ノコトヲ提唱致シマシテ、今日其ノ方針ニ從ツテ居ル其ノ意味カラ申シテモ、此ノ兩者ノ間ニ摩擦ノ起ルヤウナコトガアツテハ相成ラスト考ヘルノデアリマス、即チ中小農業者ト中小工業者トノ間ニ、動トモスレバ今ノ如キ問題ノ起ラント致シマスコトハ、洵ニ吾々ト致シマシテハ深く留意シナケレ

バ甚ダ仕合セデアルト思ヒマス

バ甚ダ仕合セデアルト思ヒマス

バ甚ダ仕合セデアルト思ヒマス

バナラスコトデアリマシテ、此ノ件ニ付キマシテハ、内閣ニ於キマシテモ夙ニ此處ニ意ヲ注ギマシテ、遠カラザル内ニ、總理大臣ヲ首班トシテ、商工、農林、其ノ他關係ノ各省大臣モソレニ參畫致シ、朝野ノソレゾレノ方面ノ人々ヲモ網羅致シマシテ、茲ニ中層階級ノ生活維持安定ニ關スル意味ノ調査ヲ致ス爲ニ一大調査機關ヲ設ケタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

未ダ其ノ具體的案ガ出來テ居リマセヌノデ、茲ニ具體的ニ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、其ノ話合ヲ致シテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲマシテ、是非共此ノ問題ハ何トカ解決シテ總テガ共存共榮デ相抱キ合ツテ、而シテ此ノ國難打開ニ邁進スルヤウニ致シタイ、斯様ニ期待致シテ居ル次第デアリマスカラ、此ノ機會ニ於テ之ヲ以テ御答辯ト致シマス、尙ホ此ノ件ニ付キマシテハ石坂君カラモ先般御話ガアリマシタカラ、併セテ之ヲ以テ答辯ト致シマス

○勝田委員 只今農林大臣カラ中産階級擁護、中産農商業者ノ相剋摩擦ヲ解消セシムル爲ニ總理大臣ヲ首班トスル一大調査機關ヲ設ケテ此ノ問題ノ解決ニ邁進スルト云フ具體的ノ御答辯ヲ得マシテ、洵ニ私ハ心強ク感ズルノデアリマス、此ノ多年ノ懸案デ

アリマスル階級闘争ト申シマスルカ、階級相剋ト申シマスルカ、産業相剋ト申シマスルカ、兎ニ角私共ノ最モ懸念致シテ居リマスルコトヲ農林大臣其ノ他ノ閣僚ノ御配慮ニ依リマシテ一日モ早く解消シ得ル實際的ノ段階ニ入ランコトヲ祈リマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○三善委員 只今農林大臣カラ中産階級ノ保護ト言ヒマスカ、生活安定ト云フコトニ付キマシテハ一大調査機關、委員會等ヲ設ケテ是ガ根本對策ヲ講ジナケレバナラスト云フコトヲ言ハレマシタガ、御尤ナ御意見ダト思ヒマス、此ノ法案ヲ繞リマシテ實ハ産業組合ガ中小ノ商業者ノ領域ヲ侵スノデハナイカ、其ノ爲ニ中小ノ米穀商ハ非常ニ苦痛ヲ感ズルヤウニナリハシナイカト云フコトガ非常ニ心配サレテ居ルノデアリマス、總テノ國民ガ之ニ對シマシテハ非常ナル注意ヲ拂ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、然ルニ一方考ヘテ見マスレバ、農村ガ作ツタル品物ヲ農村自身ノ手ニ依ツテ賣ルコトニ付キマシテハ敢テ異存ガナイトモ考ヘ得ラレノデアリマス、然ラバト云ツテ從來此ノ配給機關トシテ中小ノ商業者ガ社會ノ爲ニ盡シテ來タコトニ付キマシテハ又認メテヤラナケレバナラスト思ヒマス、其ノ

間ノ相剋摩擦ガアルヤウナコトガアツテハ絶對ニナラナイト思ヒマス、殊ニ此ノ事變ニ當リマシテハ斯様ナコトハ絶對ニ根絶スルヤウニセナケレバナラスト思ヒマス、本案ガ若シ實施セラレルヤウナコトニナリマシテ、其處ニ一層相剋摩擦ヲ生ズルヤウナコトガアリマスレバ、總理大臣ガ總親和ノコトヲ言ハレマシタ其ノ本旨ニモ悖ルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテハ特ニ政府當局ハ御注意ヲ下サランケレバナラスト

思ヒマスガ、先程言ハレマシタ委員會等ヲ作ラレマスニハ、民間ノ權威アル者、民間ノ相當經驗アル者ト云フヤウナモノモ併セテ勿論入レテ御研究下サルコトト思ヒマスルガ、唯政府内ダケデ御考ニナルノト、民間ノ者ヲ入レテ研究サレルノトハ、ソコニ非常ナル相違ノアルコトヲ信ズルノデアリマスカラ、此ノ點ヲ一應御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 勿論三善君ノ御話ノ通り民間ノ有力ナル方々ノ協力ヲ俟タナケレバ、斯ノ如キ事柄ハ成功致サナイノデアリマス、十分民間ノ各方面ノ方々ノ御協力ヲ煩ハシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○牧野委員 只今ノ勝田君ノ質問ニ關聯シテ私御伺シタイト思ヒマスガ、田中君ノ質

問ガ續キマスル關係上、田中君ノ質疑ガ終リマシテカラ併セテ申上ゲル方ガ時間ガ短クテ濟ミマスカラ、豫メ御願申上ゲテ置キマス

○田中委員 段々時間ガ經チマシタカラ極ク簡單ニ理由ヲ省略シテ御伺シタイト思ヒマス、此ノ法律案ヲ見マス、取引所並ニ米穀關係者ニ對シマシテ非賠償主義ガ採用セラレテ居ルノデゴザイマス、昨年發送電會社ノ法律案ノ場合ニ於キマシテモ、非賠償ノ制度ヲ採ツタ部分ニ對シマシテハ、賠償ヲスベク其ノ法律案ヲ修正シタト云フヤウナコトモゴザイマシタ、電力案ト本案トヲ比較致シマス、非常ニ賠償ノ厚薄ガアルノデゴザイマス、最初私ノ御伺シタイコトハ、此ノ問題ノ爲ニハ過去二箇年ニ亙ツテ豫算ヲ要求セラレテ各方面ノ識者ヲ集メラレテ御研究ニナツタト云フコトヲ承ツテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ調査會力或ハ審議會力知リマセヌガ、其ノ會決決定致シマシタ要項ト、ソレカラ今御提案ニナリマシタ所ノ法律案ガドウ云フ重要ナ點ニ於テ相違ガアルカト云フコトヲ先ヅ以テ御伺シタイノデアリマス

○周東政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、本案ニ關聯致シマシテ審議致シマシタ

委員會ノ決議ノ問題デゴザイマスガ、是ハ最終マデノ決定ニ至ツテ居ラナカツタノデゴザイマス、特別委員會ニ於キマシテ、昨年未ニ一應ノ決定ヲ見タノデアリマスガ、是ハ總會等ニ掛ケル手續ガ残ツテ居リマシタノデ、其ノ意味ニ於キマシテハ全部委員會ノ決議ヲ了シタモノデハナカツタノデアリマス、其ノ點御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○田中委員 ツレデハ其ノ小委員會ノ決定ガ濟ンデ居タデゴザイマセウカラ、其ノ小委員會ノ決定ト本法案トハドノ點ニ於テ違ツテ居ルカ、殊ニ賠償ノ問題ニ關シテドウ違ツテ居ルカ、其ノ一點ダケ御伺スレバ宜イノデアリマス

○周東政府委員 大體ノ點ハ同様デアリマス、賠償ノ點ニ付キマシテハ其ノ時マデニ一應決リマシタノハ、新會社ノ事業ノ運營業ニ支障ノナイ限度ニ於テ廢業手當ヲ給スルト云フコトニナツテ居ツタ點ダケガ違ツテ居リマス

○田中委員 能ク分リマシタ、私ハ大藏大臣ニ御伺シタイノデアリマスガ、吾々ガ承ツテ居リマス所ニ依ルト、取引所ノ廢業手當トシテ若干ノ補償ヲセラレルト云フ案ガ立ツテ居リマシタ、即チ第一回案トデモ申

シマスカ、其ノ場合ハ三百万圓ヲ補償スルノデアアル、斯様ニ承ツテ居ツタノデゴザイマス、第二回案ニナリマス、農林省ト商工當局トノ意見ガ對立シマシテ農林省ハ三百万圓ヲ補償スルノデアアル、又商工省ハ四百七十五萬圓ヲ補償シナケレバナラヌト云フヤウナ意見ノ對立ガ起ツタト云フヤウニ聞イテ居リマス、ソコデ其ノ兩省ノ爭ヲ大藏省ニ持ツテ行ツタ所ガ、大藏省ハ全部賠償スル必要ハナイト云フヤウナコトニナツテ、本案ガ提出セラレタカノ如ク承ツテ居リマスガ、大藏省ハ賠償スルノ要ナシト御決定ヲナサレマシタ其ノ事由ヲ詳細ニ承リタイノデゴザイマス

○石渡國務大臣 法案トシテ現ハレマシタモノガ政府ノ決定致シマシタ意見デゴザイマシテ、其ノ前ニ各省間ノ交渉ガ如何ナルモノデアツタカト云フコトハ、是ハ内輪ノ問題デゴザイマスノデ差控ヘタ方ガ本當デアラウカト存ジマスガ、屢、私ハ此ノ問題ニ引合ニ出サレテ居リマスノデ、政府ノ内輪ノ問題ヲ茲ニ申上ゲルノモ如何カと思フノデゴザイマスガ一言申上ゲマス、私ハ此ノ問題ニハ二三年前ノ委員會カラ關係シテ居ツタノデゴザイマス、其ノ際ニ賠償金ト云フモノガ、結局取引所等ノ土地建物ハ之ヲ買

フガ、營業權ト云フモノヲ買收スルカドウカ、斯ウ云フ問題デアツタノデゴザイマス、非賠償ト云フヤウナ言葉言ハレテ居リマスガ、問題ノ實體ハ營業權ヲ見積ツテ買フカドウカ、斯ウ云フ問題デアルト思フノデアリマス、ソレデ營業權ト云フモノヲ一體ドウシテ見積ルカト云フ實際上ノ問題ガゴザイマス、又果シテ此ノ取引所ト云フモノガ今後如何様ニ相成ツテ行クノカ、ソレヲ一體解消シテ、其ノ營業權ヲ買ツテ如何ニナルノデアアルカ、斯ウ云フ問題モゴザイマス、同ジヤウナ營業權ヲ買ツテ行クト云フコトナラソレデモ宜シウゴザイマスガ、全然別ノ營業權ヲ買ツテ行ク場合ニ、果シテ其ノ前ニ營業權ト云フモノヲ買フ必要ガアルカドウカト云フコトニ多少疑問ガアツタノガ一點デアリマス、ソレカラ會社ガ成立シマシテ、其ノ會社ガイキナリ賠償金ヲ拂ツテシマヘバ、ソレダケ會社ニ穴ガアツク、最初カラ千万圓ナラ千万圓ノ會社ガ八百万圓ノ補償ヲスレバ、其ノ金ハ會社カラ拂ツテシマフノデアリマス、サウシテ其ノ營業權ガ用ヒラレルカト云フト、清算取引ニ關スルコトハ今後消滅シテシマフノデスカラ、詰リ營業權ノ用ヒヤウガナイ、即チ會社ガ茲ニ成立シテ、其ノ會社ガ大キナ穴

ヲ背負ツテ經營シテ行クコトガ、會社トシテ妥當デアアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ相當疑ガゴザイマシテ、色々私ノ意見ヲ申述ベテ置イタノデゴザイマス、此ノ問題ニ付テハ相當考慮スル必要ガアルノデアラウ、若シ賠償金ヲ受取ル必要ガアルナラバ、正面カラ堂々ト營業權ノ賠償金ト云フモノヲ要求スベキモノデハアルマイカ、ソレガ今日ニ相成ツテ會社ト云フモノノ中カラソレニ相當スルモノヲ引出スト云フコトデハ、出來タ會社モ不堅實デアアル、斯ウ云フ考カラシマシテ色々相談モシ又研究モ致シテ居ツタ次第デゴザイマスガ、其ノ後漸次其ノ問題ガ色々變形致シタノデゴザイマス、昨年末ノ農林省ノ小委員會ノ決定ハ、廢業手當ト云フモノガ營業權ノ解消ヲ意味スルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ多少議論モゴザイマシタ、議論モゴザイマシタガ、色々話ヲ伺ツテ見ルト、ヤハリ營業權ノ解消デアアルカノ如ク取レタノデゴザイマシテ、私ハサウ云フコトヲヤルニ付テハ相當考慮ヲ要スルノデアアルマイカ、殊ニ此ノ一二年來戰爭ノ影響ヲ受ケマシテ、各方面ニ此ノ營業ノ轉換ヲ餘儀ナクサレテ居ル者ガアルノデアリマスガ、是等ハ其ノ土地建物サヘモ政府ハ補償シナイト云フカ、買

ハナイノデアリマスガ、今回ノ場合ニ於テハ取引所ノ如キハ不動産ハ皆之ヲ買フ、斯ウ云フコトヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、其ノ上ニ尙ホ營業權ニ相當スルモノヲ買フト云フコトニ付テハ、是ハ外トノ釣合上、斯ウ云フ際ニ之ヲ行フコトニハ、相當考慮ヲ要スルノデアリマス、別ニ反對シテ此ノ案ヲ打潰ストカ打潰サナイトカ云フコトマデハ、實ハ言ツテ居ラナイノデアリマシテ、極ク内輪デ以テ、サウ云フヤウナ意見デ相談シテ居ツタ問題デアリマス、是ハ何處マデモ内輪ノ問題デゴザイマシテ、各省間ニ其ノ意見ノアル所ハ十分ニ私ハ意見ヲ闡ハセル必要ガアルト思フノデゴザイマスルガ、此處ニ現ハレマシタ案ハ、私共各省ノ間ニ一致シタ意見トナツテ現ハレテ居ル次第デゴザイマス、サウ云フヤウナコトヲ申上ゲル必要モナイカト思フノデゴザイマスルガ、一應御尋ガゴザイマシタノデ申上ゲタ次第デアリマス

○田中委員 内輪ノコトヲ強イテ聽ク譯デハゴザイマセス、併シ今御述ニナリマシタ大藏大臣ノ御意見カラ判斷政シマスルト、恐ラク之ヲ非賠償ニセラレタノハ、大藏大

臣デアラウト云フヤウナ考ヲ起スノデゴザイマス、取引所ニ於キマスル所ノ營業權ハ、ドウ云フモノカ分ラナイト云フヤウナ御意見デゴザイマスルケレドモ、是ハ完全ナル權利デアリマシテ、恐ラク此ノ營業權ハ權利デヤナイト云フヤウナコトハ、法律常識ノ上カラ申シマシテモ、私ハ言ヘナイデアラウ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、殊ニ土地收用法等ニ於キマシテハ、是等ノ營業權ヲ通常補償ヲ受クベキ損失トシテ見テ、今日マデ補償制度ヲ以テ進ンデ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスルカラ、今更此ノ營業權ガ權利デアルカドウカト云フヤウナコトヲ、私ハ論議スル必要ハナイト思フ、當然ノ權利デアアル、又其ノ權利ハドウ云フヤウニシテ計算スルカ、權利ノ價值ヲドウ云フヤウニシテ計算スルカト云フコトガ甚ダ困難デアルカラ、大イニ考ヘナケレバナラス、斯ウ仰シヤイマスルケレドモ、土地收用ノ場合ニ於キマシテハ、ソレハ色々ナ權利ヲ各評價シテ補償シテ居リマス、ソレ等ノコトモ私ハ理由ニハナルマイト思フ、又今度ノ會社ハ前ノ取引所トハ全然違ツタモノデアツテ新タナモノデアアル、斯様ニ仰シヤラレマスルケレドモ、農林大臣ノ御答辯ニ依リマス、新タナ會社デアルケレド

モ、前ノモノハ成ベク之ニ向ケテ、前ノ者ガ困ラナイヤウニヤルノダト言ツテ居ラレルヤウナ有様デゴザイマスルカラ、全然新タナ會社デアアルト云フヤウナ形式論デ、賠償ヲスルシナイト云フヤウナコトヲ判斷スベキモノデハナカラウ、又大臣ノ仰セラレマシタ、左様ナ權利ヲ新會社ガ買フト、新會社ノ經營ソレ自身ガ危クナル、是ハソレニ違ヒゴザイマセス、併シナガラ人ノ權利ヲ消滅セシメテ——他人ノ持つテ居ル權利ヲ消滅セシメテ、其ノ人ガ俺ノ方ノ懷ロエ合ガ惡イカラ、オ前ノ方ノ權利ハ認メテヤリハシナイノダト云フヤウナコトデハ、ドウシテモ是ハ旨ク行カナイノデヤナカラウカ、大臣ノ御話ニ依ルト、私ハドウモ大臣ガ御潰シニナツタヤウナ氣ガスルト云フノハソレデアリマス、ソシナ理窟デハ餘リニモ残酷デアアル、而モ權利ヲ輕視スルモノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、ヤハリ今ノ御説明ニナリマシタヤウナ御意見デ、非賠償ガ適當デアルト云フ御考デアアルノデゴザイマセウカ、尙ホ一應御尋シテ置キマス

○石渡國務大臣 私ノ考ヘテ居リマシタコトハ、一ツノ點ハ、營業トシテ同ジ營業ヲ繼續シテ行クト云フコトデアラナラバ、是ハ新會社ガ其ノ營業ヲシテ行クノデアリマスカラ、其ノ營業ニ對スル所ノ利益ト云フモノヲ得ルノデゴザイマシテ、一千万圓ナラ一千万圓ノ營業權、五百万圓ナラ五百万圓ノ營業權ト云フモノガ其處ニアルノデアリマシテ、立派ニソレガ活動シテ行クト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、新會社ガソレダケノ權利ヲ獲得シテヤツテ行クト云フコトニモ、合理性ガ相當ニ存在スルト思フノデゴザイマス、新會社ガ今度ハ全然別ノ取引ヲヤルト云フコトデアラナラバ、一體前ニ持つテ居ル權利ト云フモノハ消滅シテシマフカ、ソレトモ其ノ權利ト云フモノガアルトスルナラバ、果シテソレハ幾ラ位ニ評價致サルベキモノデアルカト云フコトニ付テハ、是ハ相當困難ナ問題ガアルト存ジマス、サウ云フ點カラ考ヘタノガ一點デゴザイマス

○田中委員 是ハ中々兩方カラ旨ク言拔ケルヤウニ言ハレルノデス、權利移轉ノ方カラ申シマスルト、權利ハ移轉シナイノデス、新會社デアアル、斯ウ言ハレル、ソレデハ困ルデヤナイカト取引所ノ方ガ言フト、イヤ建物ハ買ツテヤルノダ、斯ウ言ツテ逃ゲラレル、私ハドウシマシテモ是ハ新會社デアアル、舊來ノ取引所ト云フモノハ消滅スル

ノデアル、斯様ニ見ルノガ適當アラウト思ヒマスガ、サウデヤナイノデセウカ

○石渡國務大臣 從來取引所ノヤツテ居リマシタ權利ト云フモノハ、主トシテ清算取引ニ依ル所ノ營業權デアラウト存ジマス、隨テ今回ハ清算取引ト云フモノヲ行ハナイノデゴザイマスルカラ、サウ云フ意味ニ於ケル所ノ權利ト云フモノガ、將來果シテアルカドウカト云フコトニ付テ疑ガアル、斯ウ申シテ居ルノデゴザイマス

○田中委員 疑ガアルト云フコトハ、御否認ニナツテ居ルト解釋シテ宜カラウト思ヒマシテ、此ノ點ハモウ申シマセヌ、併シナガラ此ノ間カラノ段々ノ御意見ヲ聽イテ居リマス、又今大藏大臣ノ御述ニナリマシタヤウニ、事變ニ因ツテ他ニモ同ジヤウナ犠牲產業ガアルカラ、是モヤハリ同ジコトダ、ダカラ國家ガ賠償シナクテモ宜イノダト云フヤウナ御意見ハ、是ハ餘リヒドイノデヤアルマイカト思フノデゴザイマス、是ハ勿論本法ヲ御提出ニナリマシタ動機ハ、事變ニ立脚シテ居ルカモ知レマセヌ、併シナガラ是ハ何モ戰時中ノ法規デヤゴザイマセヌ、先程勝田君ガ縷々御述ニナリマシタ如ク、是ハ平戰兩時ニ互ル所ノ法律デゴザイマシテ、此ノ制度ハ飽クマデモ繼續スル

モノト見ナケレバナラス、ソレニ今戰時ニ於テ見ル所ノ犠牲產業ト同ジヤウナモノデアルト云フヤウナ理由ヲ以テ補償セラレナイト云フノハ、第一誤ツテ居ルノデヤナカラウカ、斯様ニ見ルノデゴザイマス、私ハ斯ウ云フヤウナ行政制度ヲ以テ政治ヲヤルヤウニ相成リマシタナラバ、是ハ大變ナコトガ起ツテ來ルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、成程此ノ法案ヲ出サレルノハ非常ニ重要ナ事柄デアアル、何人モ之ヲ拒マナイ、併シナガラ此ノ法律ヲ施行スル爲ニ、特定人ノ權利ヲサツサト取上ゲテシマツテ、サウシテ米ノ配給ガ旨ク行クノダト云フヤウナヤリ方ハ、先年ノ電力ヲ國家ガ收メテ、勝手ニ取ツテ來タト云フヤウナ方策ト同ジヤウナ方策デ、所謂古イ頭カモ知レマセヌガ、權利ヲ非常ニ輕視スルヤウナ結果ニナルノデヤアルマイカ、若シ權利ヲ輕視スルト云フコトニ相成リマシタナラバ、世ノ中ノ吾々ノ生活ト云フモノハ非常ニ不安定ヲ來スノデアリマス、私ハ此ノ際今申サレマシタダケノ理由デアリマスタラバ、政府ハ考慮セラレテ、非賠償主義ニ幾分カデモ緩和スルト云フ御考ハナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺イシタノデアリマス

○石渡國務大臣 取引所ノ營業權ト云フ問題ト存ズルノデアリマス、此ノ點ヲ申上ゲテ居ル譯デアリマスガ、從來カラモ取引所ノ免許ヲ取消シタヤウナ例モアリマス、免許ヲ取消ス一定ノ期間ガアリマシテ、サウシテ此ノ一定期間ガ來ルト免許ヲ取消ス、斯ウ云フ場合ニハ、勿論是ハ營業權ニ付テ政府ハ補償ヲ致シタコトハゴザイマセヌ、其ノ免許ハ當然其ノ儘消滅スルト思ヒマス、隨テ之ニ權利ガアルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハソレ自體ニ於テ相當問題ガアルト存ジマス、併シナガラ其ノ權利ト云フモノガ、法律ニ依ツテ斯ウ云フモノハ止メサシタ、其ノ時ニ斯ウ云フモノガ解消スベキモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ相當論議セラルベキ價値ノアル問題デアルト思ヒマス、ソレハ既ニ米穀統制法ノ際ニ、今日ノ取引業ト云フモノハ、漸次商賣シテ行カレナクナツテ來テ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、寧ロ其ノ當時ノ問題デアツタノデアアルマイカト思フノデアリマス、ソレガ會社ノ形式ニ於テ、新會社ガ此ノ權利ヲ補償シテ行クト云フコトハ、會社ノ性質カラ行キマシテモ、亦權利自體ノ性質カラ行キマシテモ、私ハ相當是ハ疑ガアルト思ツテ居タノデアリマス、最後ニ仰セニナリマシタ、

其ノ他ノ營業ト同視サレテハ困ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ時期ヲ得ナイ、今日ノ時期、即チ幾多ノ產業ガ、サウ云フヤウナ已ムヲ得ナイ所ノ事態ニ相成ツテ居ル時期ニ於テ、此ノ取引所ノ營業權ノ補償ヲ行フト云フコトハ、斯ウ云フ際ニ非常ニヤリニクイ問題デアアル、隨テ若シソレヲ全部補償スルト云フコトデアレバ、國ノ金ガ非常ニ要ルノデアリマシテ、今日ノ財政上到底行ヘナイト思フノデアリマス、私ハソレ等ノ點カラ如何カト疑フ持ツテ居タノデアリマス

○田中委員 ドウモ私ハ大藏大臣ノ仰シヤルコトガ能ク諒解出來ナイノデアリマスガ、金ガ要ルカラ補償シナイノダ、戰時デ金ガ要ルカラ斯ウ云フコトヲシナイト云フノナラバ、斯ウ云フ法律ヲ出シニナラナケレバ宜イ、オウシニナル以上、是ハ昔カラ認メラレテ居ル確實ナル權利デスカラ、金ヲ出スヨリ外ナイデハナイカ、配給統制ハ必要デアアル、併シナガラ金ガ要ル、金ガ要ルカラ補償セズニ取ツテ置ク、斯ウ云フコトデハ私ハ國民ハ決シテ納得スルモノデナイト思ヒマス、殊ニ先年ノ米穀自治管理案ノ場合デアリマシタカ、其ノ場合ニ於キマシテハ條件ヲ附ケテ居ル、是ハ非常ニ米穀業

者等ニ對シテ重大ナル影響ヲ與ヘルカラ、特ニ注意シテ、損害アリタル時ハ、適當ナル對策ヲ講ジナサイト云フ、衆議院ノ院議ヲ附ケマシテ、米穀自治管理案ヲ通過セシメテ居ルノデアリマス、此ノ點カラ見マシテモ、私ハドウモ大藏大臣ガ今仰シヤルヤウナ理由ヲ以チマシテ、非賠償主義ヲ強行スルト云フコトハ、非常ニ惡例ヲ貽スモノデアルト考ヘルノデアリマスガ、是以上ハ意見ニナリマスカラ多クハ申シマセヌ、私ハ斯様ナ立法手段ヲ以テ、私人ノ權利利益ヲ取ルコトガ許サレルナラバ、今後ハドンナコトデモ出來ルヤウナ結果ニナルノデハナイカ、サウナルト國ノ治安ト云フモノハ維持サレナイノデハナカラウカ、斯ウ云フ多大ノ懸念ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ダテ、此ノ點ニ關スル質問ハ打切りマス、私ハ大藏大臣ニ對スル質問ハ是デモウ結構デス

○添田委員長 牧野君

○牧野委員 私ハ質問ヲ取消シマス

○田中委員 ソレデハ次ニ事務的ノコトヲ御尋致シマス、先ヅ第一條ニ付テ御尋致シマスガ、第一條ノ但書ニ依リマシテ、勅令ニ依ツテ指定セラレマシタル所ノ團體ハ、第二條、第三條ノ規定ニ謂フ許可ヲ受ケタ

ル者ニ該當スルノデアリマスガ、シナイノデアリマスガ、其ノ點カラ御伺シテ行キマス

○周東政府委員 只今ノ御話ハ、第一條ノ但書デ除外シタモノハ、第二條、第三條ノ適用ガアルノカト云フ御質問ト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテハ御話ノ通りデアリマシテ、除外サレタモノニ付キマシテハ、第二條、第三條ノ適用ハゴザイマセヌ

○田中委員 サウナルト第三條、第三條ノ行為ヲ命令セラレルヤウナ場合ニ於キマシテハ、ドノ法律ニ依ツテオヤリニナルノデアリマスガ、第一條ノ但書ノ勅令ニ依ツテ指定セラレタ産業組合、商業組合ト云フヤウナモノニ對シテハ、ドウ云フヤウナ規定デオヤリニナルノデアリマセウカ

○周東政府委員 第二條、第三條ノ命令ヲ爲スト仰シヤイマスガ、此ノ第二條、第三條ハ共ニ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ、許可ヲ受ケテ正當ノ事由ナクシテ一定ノ期間内ニ業務ヲ開始シナイ者ハ取消ス、又第三條ハ許可ヲ受ケタル者ノ行為ガ公益ヲ害シタリ、本法ニ違反シタ場合ニ許可ヲ取消シタリ、業務ヲ制限シタリ、或ハ停止スルト云フ規定デアリマシテ、一寸今ノ御質問ノ點ト關聯ガナイヤウニ思ヒマスガ……

○田中委員 私ハ斯ウ云フ團體ニ對シテハ

營業ヲ停止スル、禁止スルト云フコトハオヤリニナラヌヤウニ思ヒマス、私ノ方ガ深ク考ヘテ居ルカモ知レマセヌカラ御話申上デマス、私ハ第一條ノ但書ニ於テ團體ヲ指定セラレテ、二條、三條ガ第一條ノ許可ヲ受ケタ者ト云フヤウナコトニ該當シナイヤウニ致サレタノハ、産業組合法ノ六十一條或ハ商業組合ノ二十七條、斯ウ云フヤウナ規則ガアルカラ、其ノ方ノ制裁デ是等ノ團體ヲ拘束セラレルモノデアラウト思ツテ居ツタ、所ガサウデナイト云フ話デスガ、サウデナイトスレバ、斯ウ云フヤウナ商業組合或ハ産業組合ニ對シテ營業ヲ一時停止スルトカ、或ハ處分ヲスルトカ云フヤウナコトヲナサナイノデアリマスガ

○周東政府委員 御話ノ點ニ付キマシテ御答致シマス、ソレ等ノ團體ニ付キマシテ、若シモ公益ヲ害スルト云フヤウナコトガアリマスレバ、御話ノヤウニ、其ノ團體法ノ監督命令デ參ルコトハ御話ノ通りデアリマス、只今ノ御尋一寸取違ヘテ濟ミマセヌガ、第二條、第三條ノ適用ガアリヤド云フ御話カト思ヒマシテ、ソレハナイト申上デマシタガ、ソレハノ團體ニ付テハ、監督ノ規定命令ニ依ツテヤツテ行キタイト思ヒマス

○田中委員 ソレハ一寸間違ヒデアル、第

三條ヲ見ルト一番能ク分ル、即チ第三條ハ「政府第一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行為ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ業務ヲ制限シ若ハ停止スルトヲ得」斯ウシテアル、サウシマシテ産業組合法ノ第六十一條ヲ見デミマス、今アナタガ産業組合ハ産業組合ノ團體ノ法規ニ依ツテヤルカラ、ソレデ宜シイト云フ御話デスカラ、其ノ六十一條ヲ見テミマス、命令違反ニハ處分スルトチヤント書イテアル、所ガ本法ノ第三條ニ規定シテ居ル命令ニ依ル處分ニ違反シタト云フモノニ對シテハ、産業組合法ハ書イテナイ、サウスルト私ガ先程申上デマシタウヤニ、此ノ二ツノ團體ノ規定デ取締ラレルト云フコトニナリマス、茲ニ食違ヒガ出來テ來ル、一體ドツチノ方デオヤリニナルノカ、監督ヲ放任セラレルノカ、或ハ今ノ局長ガ御話ニナルヤウナ方法デ行カ、行クトスレバ處分ニ對スル違反ハ制裁ガナイガ、是ハドウナサルノデアルカ

○周東政府委員 御話ノ點デゴザイマスガ、産業組合等ニ對シマシテハ、二條三條ノ規定ノ適用ハゴザイマセヌガ、産業組合等ガ

若シモ其ノ組合法第六十一條ニ書イテアリ
マスヤウナ場合ニ該當スル時、即チ組合ノ
行爲ガ定款若クハ法令ニ違背シ、其ノ他公
益ヲ害スルノ虞アルトキハ、主務大臣又ハ
地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シタリ、理事、
監事若クハ清算人ノ改選ヲ命ジタリ、組合
ノ事業ヲ停止シ、又ハ組合ヲ解散サセルコ
トハ、此ノ法ノ規定デ參ル譯デアリマス、
隨ヒマシテ本法ニ依ル第二條第三條ノ適用
ハナイノデアリマス

○田中委員 ソレハ能ク分ツテ居ルノデス
ガ、マア試ミニ第三條ト産業組合法第六十
一條トヲ比較シテ見テ下サイ、行政處分ノ
違反ノ場合ノ制裁ト云フモノハ片方ニアツ
テ、片方ニナイ、サウスルト免許ヲ受ケタ
者ハ二條三條ニ書イテアル通りノ處分ヲ受
ケル、團體ノ方ハ、産業組合法ノ第六十一
條ハソレヲ規定シテ居ナイカラ、ソコデ抜
ケルト云フコトニナツテ、變ナコトニナラ
ナイカト思フノデス

○周東政府委員 其ノ點ハ已ムヲ得ナイト
思ツテ居リマス

○田中委員 第一條デ許可ヲ受ケタ者ヲ處
分スルノト、但書ニ依ル所ノ團體ノ處分ニ
差異ガアツテ、ソレデ已ムヲ得ナイト云フ
コトデハ驚入ツタコトデスガ、何カ誤解ト

思ヒマスカラ、多ク申上ゲマセヌ、ソレカ
ラ私ハモウ時間ガ遅イカラ端的ニ質問致シ
マス、本法ノ第二十九條第二項、雜穀ノ取
引ノ問題デゴザイマス、此ノ間農林大臣
其ノ他政府當局ノ御説明ヲ承リマス、マ
ア是マデ取引所ガヤツテ居ツタ取引デアル
カラ、現狀維持ノ方針デ此ノ制度ヲ認メヨ
ウ、斯ウ云フヤウナ御説明ガアリマシテ、
私ノ方ノ伊東君等ハ全ク消極的ノ態度デア
ルト云フコトヲ難シク位デゴザイマスガ、

私ハ端的ニ御質問申スノハ、此ノ條項ハ甚
ダ受ケガ惡イ、之ヲ削ツタラ政府ハドウ云
フヤウニ御考ニナルデセウカ、削ルモノト
致シマシタナラバ、非常ナ何カ差支ガアル
ノデゴザイマスガ、ドウカト云フ點ヲ伺ヒ
マス

○櫻内國務大臣 私ハ此ノ米穀配給統制ノ
上カラハ大シテ差支ハナイト思ヒマス、唯
從來之ヲ取扱ツテ居ツタ地方ガ、多少不便
ヲ感ズルダラウト思ヒマス

○吉植委員 關聯事項デ極ク簡單デス、是
ハ米穀配給統制法ト云フ法ノ建前カラ致シ
マシテモ、當局ニ於テ潔ク之ヲ撤廢サレル
コトガ然ルベキカト考ヘマス、魚市場ハ魚
市場デアツテ、其ノ魚市場デ野菜、乾物ヤ
ルト云フコトニナリマス、是ハ第一本筋

ニ合ヒマセヌ、ドウカーツ之ヲ潔ク撤廢サ
レタイト思ヒマス、此ノ希望ダケヲ申上ゲ
テ置キマス

○田中委員 私ハモウ簡單ニ致シマスガ、
先程勝田君モ質問セラレテ居リマシタ第四
條ノ規定デゴザイマス、勝田君ハ之ヲ進歩
カ退歩カト云フヤウナ御言葉ヲ以テ言ツテ
居ラレマシタガ、私ハ退歩ノ規定デアルト
考ヘルノデゴザイマス、米穀生産者ガ第四
條ノ命令ヲ受ケテ行ク、其ノ場合ニ於キマ
スル損失ト云フモノハ、何等考慮セラレテ
居ナイ、而モ公定米價ノ上ヲ割ツテ賣ラウ
ト賣ルマイト、ソレハ各個人ノ任意デア
ルニ拘ラズ、第四條ノ命令ヲ受ケタガ爲ニ、
其ノ米穀ノ所有者ハ測ラザル損害ヲ受ケル
コトト相成ルノデゴザイマスガ、之ニ對シ
テハ何等ノ損害ヲ補償セラレナイ、大藏大
臣ノ先程ノ御話ヲ以テシマスレバ、コンナ
コトハ當然無償デ宜イノダ、國家非常時ダ
カラ取上ゲテモ宜イノダト云フヤウナ御議
論ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ左様ナ思
想ハ斷ジテ許スベキデナイト考ヘテ居リマ
ス、ソコデ一ツ御伺シタイノハ、此ノ場合
ニ於テ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ適當
ノ補償ヲスルト云フヤウナ條文ヲ入レルモ
ノト致シマシタナラバ、政府ハ御困リニナ

ルヤウナコトガアルノデゴザイマセウカ、
其ノ點ヲ伺ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點デゴザイマスガ、
第四條ノ規定ニ依リマシテ所有權ヲ收用ス
ルトカ、所有物ヲ沒收スルト云フ所マデハ
考ヘテ居ラスノデゴザイマス、隨ヒマシテ、
唯價格ヲ決メマシタ場合ニ、ソレニ依ツテ
出セト云フ命令ヲ致スノデアリマス、只今
ノヤウナ點マデハ來ナイト思ヒマス

○田中委員 サウシマスルト、是ハ本人ガ
言フダケノ價格デ政府ガ買上ゲラレルト云
フ譯デスカ、吾々ノ承知スル所デハ、公定
ノ最高米價ニ依ツテ買収セラレルモノデア
ル、所ガ所有者ノ持ツテ居ル米ハ、必ズシ
モ最高ノ米價ヲ以テ賣ラナケレバナラスト
云フ義務ハナイ、モット高イ金デ賣ツテモ構
ハヌ、ソレノミナラズ政府ガ此ノ四條ノ命
令ヲ出サレル場合ハ、最高米價ニ依ラレル
カラ米穀ノ所有者ハ損ヲスル、ソレデア
ルカラ損害ノ補償ノ問題ガ起ツテ來ルノデス
○周東政府委員 其ノ點ハ御意見デゴザイ
マスガ、非常ニ需給ガ窮屈ニナツテ、總テ
ノ取引ニ對シマシテ價格ガ公定サレテ參
ル、其ノ公定サレタ價格ニ依ツテ取引ヲサ
セルヤウニ命令ヲ致シテ參ル場合デアリマ
ス、固ヨリソレモ唯取上ゲルノデハアリマセ

スガ、ソレニ依ツテ——必要ナ場合ニ依ツテハ政府が買上ゲル場合モアリマセウシ、其ノ決メラレタ價格ニ依ツテ出荷ヲ命ズル場合モアリマスノデ、其ノ場合ニ於テハ、總テ各方面ニ於テ其ノ點ハ忍バナケレバナラスト考ヘマス

○田中委員 サウシマス此ノ場合ニ出荷命令ヲセラレル、生産者ガ米ヲ持ツテ居ルノヲ出セト仰シヤル、其ノ場合ノ價格ハ何ニ依ルノデスカ

○周東政府委員 是ハ第七條ノ關係ニ依リマシテ、公定サレタ價格デゴザイマス

○田中委員 サウナレバ私が先程言ヒマスル如ク、米穀所有者ガ損害ヲ受ケル場合ガアルノデハナйка、稀ナ場合ダカラ是ハ補償シナイノダ、ソレデハ理窟ハ立タナイト私ハ思フ

○周東政府委員 是ハ特定ノ人デナクシテ、總テサウ云フヤウナ極端ナ場合ニ於キマシテハ、全國的ニ取引ノ價格ヲ決メル譯デス、左様ナ場合ニ、特ニ特別ナ人ダケニソレニ依ツテ補償スル云フヤウナコトハ、考ヘテ居ラナイノデアリマス

○田中委員 ソレナラバ先程勝田氏ノ質問ニ對シテ其ノ通り御答辯ニナレバ、何モ初メカラ問題ニハナラヌ、對象ノ範圍ハ

何デアルカト言フト、是ハモウ稀ナ場合デ、非常ニ困ツタ場合デアルト云フヤウナコトヲアナタハ御答辯ニナツテ居ル、今ノ御答辯ト違フヤウニ思ヒマスガ、此ノ場合ニ於テ損害ガアルト云フコトハ政府當局モ御認ニナリマセウ、ナリマセヌカ

○周東政府委員 先程ノ勝田サンノ時ノ答辯ト違ツテ居ルヤウナ御話デアリマスガ、是ハ私ハ同ジコトヲ申上ゲテ居ル積リデゴザイマス、第四條ノ發動ノ時ハ、極端ナ場合ニサウ云フ場合ガ起ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テ、ソレデハ如何ナル形デ命令スルカト申シマスレバ、價格ガ全國的ニ決メラレテ、ソレニ依ツテ出荷ヲ命ゼラレルコトニナル、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス

○田中委員 以下端的ニ質問シマス、未著物取引ト延取引、此ノ二ツノ制度ガ今併立シテ居リマスルガ、之ヲ一ツニ纏メルト云フヤウナコトニナリマスルト、何等カ取引事業ニ非常ニ差支ガアルノデゴザイマセウカ、ナイノデゴザイマセウカ

○周東政府委員 只今ノ所ヤハリ配給ノ圓滑ヲ期シマスル上ニ於キマシテ、二箇月位ノ先物取引ハ認メテ置く必要ガアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 ソレカラ今一點御尋シタイコトハ、先程モ問題ニナツテ居リマシタ取引所ノ建物ノ買收デゴザイマス、此ノ中デ問題ニナリマスルノハ、ヤハリ勝田氏ガ質問セラレテ居リマシタヤウニ、利用價值ノ問題デアラウト思フノデアリマスガ、私ハ理窟ハ申シマセヌガ、此ノ利用價值ト云フモノハ、所謂前段ニアリマスル所ノ時價、建設價格ヲ以テ判定セラレルモノデナカラウカト思フノデアリマス、土地收用法等ノ場合ニ於キマスル所ノ價格算定ノ標準ハ、ヤハリ土地ノ位置、等級、或ハ建築ノ當時ノ經濟界ノ狀況等ヲ參酌シテ標準トスル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスルガ、是モソレト同ジヤウナ意味デハナイノデゴザイマセウカ、先程大臣ノ御返事ト致シマシテハ、新會社カラ見タ利用價值デアツテ、舊所有者、現ニ持ツテ居ル人ノ見タル利用價值デハナイノデアアル、斯ウ云フヤウニ御返事ニナツタヤウニ思ヒマシタガ、ソレデハ是モ亦餘リニ残酷ナ見方デハアルマイカ、斯ウ思フノデスガ、ドウ云フヤウニ判斷スレバ宜イノデゴザイマスカ

○櫻内國務大臣 先刻勝田君ニモ御返事申上ゲマシタ通り、此ノ買收ニ對シマシテハ、時價ト、建設費ト、ソレカラ利用價值ヲ含ムノデアリマスガ、其ノ利用價值ハ之ヲ他ノモノニ利用スル場合ニ於キマシテハ、値打ガ下ルノデアリマスケレドモ、ヤハリ市場トシテ之ヲ使ツテ、其ノ利用スル所ノ價值ヲ含ンデ、總テノモノヲ見合ツテ、委員會ニ於テ審議シテ御決定ヲ願フ、斯ウ云フ譯デアリマス

○新倉政府委員 新會社ガ此ノ建物ヲ買取リマス場合ニ、ドウ云フ標準デヤルカト云フコトニ付キマシテハ、大體只今農林大臣ノ仰セニナリマシタ通りデゴザイマシテ、何レ委員會ガ出來マシテ、其處デ公正ニ審議サレルコトト存ジマス、唯商工大臣カラ、自分ノ了解シテ居ル所デハト云フ風ニ聞イテ居リマス所デハ、單純ニ新會社ガ自分デ利用スル價值ト云フコトヲ考ヘルダケデナシニ、其ノ際ニハ現在ノ會社ガドウ云フ風ニ利用シテ居タカト云フコトモ念頭ニ置イテ、是ハ參酌シナケレバナラヌモノデアアルト云フ風ニ考ヘテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、何レ是ハ尙ホ能ク相談致シマシテ、委員會デ公正ニ決メラレルコトト存ジマスガ、一應ソレダケ申上ゲテ置キマス

○田中委員 ソレデハ是デ一應止メテ置キマス

○添田委員長 窪井君

○窪井委員 大變時間ガ進ミマシタノデ、

簡單ニ本法ニ對シテ私共ノ態度ヲ決メル上ニ付テ、二三大臣ニ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、實ハ本法案ガ出マス時ニハ、世間一般デハ今マデ米穀自治管理法案ノ附帶決議、其ノ他米穀統制法案ト云フモノカラ、日本米穀株式會社法案ガ生レルヤウニ期待サレテ居ツタノデアリマス、所ガ今度出マシタ本案ハ、日本米穀株式會社ガ一ツノ大キナル目標デアリマスケレドモ更ニ今マデ考ヘラレテ居リマシタ賠償主義ヲ放擲サレテ、非賠償主義ニスル、其ノ代リニ大臣ガ本案ヲ御提案ニナリマシタ時ニ御述ニナリマシタヤウニ、今マデノ清算取引ヲ廢メテ正米取引ニスル、サウシテ新ニ日本米穀會社ヲ作ツテ、所謂正米市場本位ニスルト云フコトガ一ツ、一ツハ所謂米穀取扱業者ニ對シテ許可制度ニスル、是ガ恐ラク今マデノ考ヘ方デアツタラウト思フ、所ガ今度此ノ本案ヲ拜見シテ見マス、丁度大臣ガ提案ノ時ニ述ベラレマシタヤウニ、一朝米穀事情ノ急激ナル變動ニ際會スル場合ニ於テモ、所謂國民生活ニ脅威ヲ與ヘナイ、此ノ意味ニ於テ本法案ヲ出シテ、萬般ノ準備ヲ致シテ置クト云フノデアリマシテ、所謂今述ベマシタ一點二點ノ外ニ、大臣ガ第

三點ト致シマシテ、政府ハ必要ナル場合ニ於テハ命令ヲ以テ適當ナル處分ヲスルコトガ出來ル、所謂第四條ノ問題デアリマス、或ハ第十九條ノ問題トナルノデアリマス、デアリマスカラ、此ノ法案ハ今マデノ米穀ニ對スル色々ナ政府ガ考ヘラレテ居タ米穀統制法トカ、或ハ自治管理法トカ其ノ他ノ法案ヨリ一步進ンデ、恐ラク米穀ノ法案ト致シマシテハ、戰時平時ヲ通ズル劃期的ナ法案デアアル、特ニ大臣ガ此ノ法案ヲ出サレタ御趣旨ヲ承ツテ見マス、平時ノ場合、所謂平常ノ場合ニ於テハ、市場其ノ他ノ取引ヲ以テスル、萬一國家或ハ米穀ノ事情ニ急激ナル變動ヲ起シタ場合ニハ、第四條其ノ他ヲ發動シテヤルト云フノガ、本案ノ目安デアラウト思フ、サウ致シマス、初ニ本法案ガ出マス時ニハ、本案ト云フモノハ如何ニモ非常ニ巧妙ナル大臣ノ練達ナ手腕ニ依リマシテ、進歩的ナ、或ハ調和ノ取レタ法案ノヤウニ、新聞モ世間モ批評シテ居タノデアリマス、所ガ私共ガ能ク此ノ内容ヲ見マス、本案ハ劃期的ナ法案デアリマスガ、此ノ法案ヲ通覽シテ私共ガ見マス時ニ、此ノ第四條ガ無カッタラバ、此ノ法案ト云フモノハ大シテ今マデノ法案ト餘リ違ハナイ、第四條ガ一條加ツタ爲ニ、本案ノ總

テガ非常ニ性質ヲ異ニシタモノニナツテ居ルノデアリマス、隨テ私ハ此ノ第四條ニ付テ今少シク御聽シテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ恐ラク此ノ第四條ヲ出サレタ以上ハ、此ノ法案ハ一種ノ米穀管理法案ト言ツテモ宜イト私ハ思フ、何故カト云フト、價格ニ付テハ米穀統制法ノ第二條ニ依ツテ決メラレテ居ル、配給ニ付テハ配給ノ統一機關ヲ設ケラレテ統一サレテ居ル、而モソレガ非常ニ變動ガ起ツタ場合ニハ、此ノ第四條ニ依ツテ非常手段ニ訴ヘテ政府ガ命令ヲ出シテ、有ユル米ヲ一所ヘ集メテ賣ラセルト云フ義務ヲ國民ニ負ハセルト云フヤウニナツテ居ル、ソレデ私ハ第四條ニ付テ御尋シタイノデアリマスガ、先日私ガ大臣ニ御尋シタ時ニハ「米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者」ト書イテアリマシマス、第一條ニハ業務ト書イテアリマスケレドモ、是ハ第四條ノ買入、賣渡、代理、媒介ヲ爲ス者ト云フノハ業者モ包含サレテ居ルノデアリマスガ、

○周東政府委員 御説ノ通りデアリマス、第四條ノ方ニハ含ンデ居リマス

○窪井委員 先日ハ四條ハ業者ヲ含ンデ居ラス、業者ニアラザルモノヲ指スモノデアツテ、第一條ハ業者ヲ指シテ居ルト云フコ

トヲ明ニ御説明デアツタノデアリマスガ、私ガ質問シタ時ニハサウ云フ風ニ仰シヤラレタノデアリマスガ、サウスルト、今ノ米穀局長ノ仰シヤル通りニ致シマス、是ハ市場員ハ入ツテ居ルノデスカ

○周東政府委員 勿論市場員モ米穀ノ取扱ヲ爲ス者トシテ入ツテ居リマス、先程ノ御話デゴザイマスガ、農林大臣ノハ違ツテ居リマセヌ、寧ロ農林大臣ハ第四條ノ方ハ廣クテ此ノ方ハ業者モ入ツテ居ルシ、其ノ上ニ業者ニアラザル者モ入ツテ居ル、一條ノ方ハ業務ヲ營ンデ居ル者ニ限ル、斯ウ云フ御説明ガアツタヤウニ記憶致シマス

○窪井委員 サウ致シマス、市場員モ入ツテ居ルト云フト別ニ十九條ハ必要ナイト思フノデスカ

○周東政府委員 此ノ點ハサウ云フ風ヲ御説モ立ツト思ヒマス、是ハ先ヅ市場員ニ對シマシテハ市場員トシテノ特別ナ配給統制命令ヲ出ス場合ガアラウ、更ニ進ンデ廣クナツタ場合ニ於テハ市場員タル者ト市場員タラザル者トヲ問ハズ廣ク業者ニ對シテ爲シ、又モウ一ツ廣ク業者ニアラザル者ニ付テモ出來ルヤウニト云フノデ、廣ク四條ヲ書イタノデアリマス、特ニ市場員ダケニ出シ得ル場合モアリ得ルト云フ風ニ書イタノ

デアリマス

○窪井委員 ドウモ立法技術ノ上デモアルシ、又非常ニ誤解ヲ招クノデアリマス、第一條ノ業者ニ對シテモ何故是ト同ジ規定ガナイノデアルカ、市場員ニアルノナラバ取扱業者ニ對シテモ同様ナ規定ガナケレバナラスト云フコトハ、是ハ立法ノ技術トシテ誰ガ考ヘテモサウナルノデスガ、ソレヲ私ハ特別ニ第一條ト第四條ノ區別ヲ聽イタノデスガ、十九條ト云フ規定ガアリマシテ、十九條ニハ同ジヤウナ命令規定ヲ出シテ居ラレルカラ、ソレデ私ハ特ニ第一條ト第四條ヲ聽クノデス、誰ガ條文ヲ讀ンデ見テモ非常ニ迷フノデス、而モ第四條ト云フモノハ非常ニ國民全般ニ互ルヤウナ規定デアルヤウニ見受ケラレル、業者ニアラザル者ノヤウニ見受ケラレルカラ、ソレデ私ハ質問申上ゲタノデス、十九條ハ要ラスト思フノデスガ、之ヲ政府ハ削除ナサル意思ガアルカドウカ、一應確メテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 十九條ハ御覽ノ如ク「政府ハ市場員ニ對シ米穀市場ノ賣買取引ニ關シ米穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」即チ米穀會社ノ市場員ニ對スル所ノ配給統制上ノ必要ナル命令ヲ爲スコトガ出來ル規定デアリマシテ、是ト第四條トハ餘

程ノ懸隔ガアル譯デアリマシテ、是ハ常ニ營業上ノ取締ヲスル上ニ於テモ、場合ニ依ツテハ平生カラ何時デモ斯ウ云フ命令ガ出シ得ルコトニシテ置カナケレバ監督ガ出來ナイ譯デアリマス

○窪井委員 サウスルト前ニ石坂君ガ御質問申上ゲタ時ニ、市場員ニ對シテ配給統制上ノ命令ヲ出ス、ソレダケデハマダ不十分ナ場合ニハ市場員ニアラザル業者ニ對シテモ出ス、更ニ業者ダケデ行カヌ場合ニハ四條ガ發動スル、斯ウ云フヤウナ御答辯ニナツテ居ルノデスガ、サウスルト市場員ニアラザル業者ニ對スル命令權ハ第何條ニ依ツテナサルノデスカ

○周東政府委員 市場員ニアラザル者ニ對シマシテノ命令ハ四條デヤレル譯デアリマス

○窪井委員 ダカラ私ハソレヲ聽イテ居ルノデス、誰ガ讀ンデ見テモ立法上下ウシテモサウ取レナイノデス、ソレハ今大臣ガ言ハレタヤウニ、第四條ノ發動ハ國家非常ナル場合ダ、例ヘバ大饑饉ガ起キテ米穀ガ不足スル、サウシテ物價ハ非常ニ高クナルト云フ場合デアツテ、ソレナラバ何故第一條ノ業者ニ對シテ米穀ノ統制命令ヲ御出シニナラナイカ、サウスルト四條ハ非常ノ

場合ダト云フト、業者ト云フノハ其ノ性質上市場員ニ次グモノデ、大シタ變リハナイノデハナイカ、第四條ノ發動ト云フコトニナルト立法上非常ニヨカシクナル、大臣ガ折角提案サレタ本法ノ趣旨ガ貫徹シナイコトニナツテ、非常ニ誤解ヲ招クコトニナルト思ヒマス

○周東政府委員 市場員ハ御承知ノヤウニ大體市場ノ設置箇所ニ於テ、其ノ場所ニアル米穀業者等ニ付キマシテ市場員ノ免許ヲ與ヘテ市場員トナル譯デアリマス、ソレ等ニ對シマシテ先ヅ大體的ニ必要ナル命令ヲ出シマスガ、第四條ノ對象ニナリマス米穀ヲ取扱フ爲ス者、其ノ中ニハ業務トシテヤル者ト業務トシテヤラザル者ト入ツテ居リマスガ、ソレ等ノ中ニハ市場員デナイ者ガ相當ニ居リマス、是ハ度々申シマスヤウニ市場設置箇所ガ差當リハ三十箇所内外ニナラウカト思ヒマスガ、ソレ以外ノ地區ニ於キマスル米穀業者等ニ對シマシテモ、極端ナ場合ニ於キマシテハ命令ヲ出ス必要ガアリマスノデ、ソレハ四條デ參リ、更ニ必要ガアレバ個人ニモ參ルト云フヤウナ必要ガアリマシテ、四條ヲ別ニ規定シタ譯デアリマス、四條ノ對象ニナルノハ市場員トノ關係ニ於テ重ナル點ガアリマスガ、大キナ點ニ

於テ四條ハ違ツテ居リマスノデ別々ニ規定致シタ譯デアリマス

○窪井委員 今ノ米穀局長ノ説明デハ私ハ満足出來ナイノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、本法ヲ提案サレタ理由ニ對シテ大臣モ米穀局長モ屢、迷ベラレテ居ル者ヘ方ト今ノ考ヘ方トハテンデ違フノデス、所謂本法ハ米穀配給ノ統制ヲシ、之ヲ單一機關ニスルト云フコトガ目的デアル、其ノ單一機關ハ何カト云フト、日本米穀會社ノ市場ト、サウシテ一ツハ許可制度トシタ所謂米穀取扱業者、此ノ二ツノモノヲ以テ兩建トシテ米穀ノ配給ノ統一ヲナサラウトスルノガ本案ノ骨子デアリマス、然ラバ今ノ片一方ノ市場員ノ取締ト同様ニ此ノ業者ノ取締ガアツテ、更ニ非常ニ變動ノ場合ニハ第四條ヲ發動スル、斯ウ云フ立法ノ建前ニナサルノガ私ハ結構デハナカラウカト思フ、サウデナイト私ハ更ニ御質問シナケレバナラヌヤウニナツテ來ル、サウシタナラバ如何ナル場合ニ市場員ニ對シテ十九條ノ命令ヲ發動ヲナサルカ、ソレデ如何ナル場合ニ業者ニ對シテ命令ヲ發動ヲナサルカ、如何ナル場合ニ一般ノ國民ニ對シテ——所謂地主其ノ他ノ者ニ對シテ第四條ノ發動ヲナサルカ、個々ノ場合ヲ明示シナカツタナラバ

此ノ法律ハ完全トハ言ハレナイノデス、何故カト云フト、法ノ運用ト云フモノハ政府ガ勝手ニ運用スルト云フコトニナツタラ大變ダ、法律ト云フモノハ今少シク明確ニ細密ニ各個ノ場合ヲ明記スルノガ法律デアリマス、ソレガ國民ニ對スル政府ノ態度デアリ、又國民ノ政府ヲ信賴スル所ノ所以デアリマシテ、此ノヤウニ規定サレマス、誰ガ讀ンデモ分ラナイ、此ノ法律ハ分ラナイノミナラズ、今マデ政府ガ説明サレタ所ノ趣旨ト相反スル結果ヲ法文ノ上ニ於テ吾々が見ルヤウニナツテ來マス、吾々今日立法ニ參與シテ居リマス一人トシテ考ヘテ見テモ、甚ダ是デハ徹底シナイ法律ニナリマシテ、吾々が態度ヲ決スル上ニ非常ニ困ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモウ少シハツキリシタ見解ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

リト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ業務ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得」下規定シテ居リマシテ、要スルニ第一條ニ對シマシテハ相當ナ監督ヲ致シ、本法ニ基キテ發スル命令ニ背イタ場合ニハ云々ト規定シテアルノデアリマス、第四條ハ度々申上ゲマス通り國家非常ノ場合デアリマシテ、是ハ特ニ必要ノアル場合ハ地主其ノ他ノ人デ米ヲ藏ツテ居ルトスレバ、ソレ等ノ人ニ對シテモ出荷命令ヲ出シ得ルト云フ非常特別ノ意味ヲ含ンデ居ルノデアリマス

ハ色々ヤリ方ガ善イトカ惡イトカ云フノデヤナクシテ、政府ガ米穀配給ノ統制上必要ナ命令ヲ出ス、ソレデ巧ク行カヌ時ニハ第四條ヲ發動スルト度々委員會等デ言ハレテ居ル、所ガ今アナタノ御説明ヲ聽キマス、又喰違ツテ來ルノデアリマスガ、其ノ點ヲハツキリシテ置イテ戴キタイト思ヒマス

ナ場合ガアルドラウ、色々ノ場合ガアラウト云フヤウニ諒解シテ宜シウゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ第十九條ノハ會社ノ市場ニ於ケル市場員ノ行動ニ對スル監督デアリマス、ソレカラ第一條ニ付キマシテハ是ハ許可致シテ居リマス關係上之ニ對スル所ノ監督權ガ當然伴ツテ來ルノデアリマシテ、即チ第三條ニ於テ「本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞ア

○窪井委員 ドウモ今大臣ガ御説明ニナツタノハ一應御尤デアリマス、所ガ今マデ私ガ本委員會ノ席上デ御聽シテ居リマシタノハサウデヤナイノデス、ソレハ斯ウ云フ説明ナノデス、速記録ヲ讀ンデ見ルト間違ヒナイノデスガ、十九條ノ發動ト云フモノハ市場員ニ對スル命令デアツテ更ニソレダケデハ配給統制上非常ニ不都合ガアル場合ガアル、其ノ場合ニ市場員ニアラザル米穀ノ配給業者ニ對シテ配給ノ非常命令ヲ出スノダ、更ニ配給業者ニ徹底サスル場合ニ當ツテハ順次地主等ニ參ル豫定ダ、是ハ配給統制上ノ問題ナン

○石坂委員 一寸關聯シテ……私ハ前回第四條ト第十九條ノ關係ヲ御尋致シタノデアリマスガ、十九條ノ關係ハ明瞭ニ分ツテ居リマス、四條ノ關係ハ或ル特定ノ人ニ發動スル場合ガアリ得ルドラウト思ヒマスガ、或ル場合ハ市場員ニアラザル業者ニ發動スル場合モアリマセウシ、或ル場合ハ石坂ナラ石坂ト云フヤウナ業者ニアラザル人ニ發動スルヤウ

○窪井委員 大體政府ノ趣旨モ能ク分ツテ居リマスガ、サウシマス第四條ニ對シテモウ一點御尋シタイノハ、第四條ノ發動ト云フモノハ、色々ナ意味ニ吾々ハ解釋ガ出來ルノデアリマス、非常ナ場合ト云フコトヲ度々言ハレテ居リマスガ、ソレナラバ米穀市場ノ急激ナル變動アリタル場合ト云フヤウナコトヲ第四條ニ加ヘル意思ハゴザイマセヌカ、其ノ點明瞭ニシテ置イテ貰ハヌト、柔カイ意味ニモ解セラレルガ、サウカト思フト非常ニ強烈ナ米穀管理法ノヤウナ風ニモ解釋出來マス、何カ非常ナ誤解ヲ招クノデアリマスガ、ソレガ一點ト、ソレカラ先程ノ御質問ノ時ニ大臣ガ之ヲ發動スル場合ニハ緊急已ムヲ得ナイ場合ニハ所管大臣ニ依ツテ命令ヲ發スルカ、或ハ市場ヲ許ス場合ニハ米穀

審議會トカ何トカ色々ナモノガ出來ルカ知レマセヌガ、サウ云フ「オルガニゼーション」ヲ通ジテ發動スルヤウナ方法ヲ執ルト言ハレテ居リマスガ、サウ云フ點ヲ今少シハツキリシテ貰ヘバ、此ノ法案ノ運用上誤解モナク、間違モ生ジナイと思ヒマス、即チ米穀市場ノ急激ナル變動ガアルトカ云フヤウナ場合ニ第四條ヲ發動スルトカ何トカ、ハツキリシテ置イテ貰ヒタイと思フ

○櫻内國務大臣 例ヘバ地主其ノ他ノ人々ノ生産者ニ對シテ、其ノ出荷命令ヲ出シテ、特ニ必要ト認メテ此ノ命令ヲ出シマス、場合ニ依ツテハ事態ガ非常ニ逼迫ヲシテ居リマシテ餘日ノナイ場合ニハ無論政府ノ全責任ニ於テ出シマスケレドモ、サウ云フ場合ニ於テ本案デアリマス所ノ米穀專業審議會トカ若ハ米穀統制法ヲ使ヒマスカドウカ知レマセヌガ、ソレ等ノ方々ニ協議ヲシテ出スト云フコトモ差支ナイコト考ヘテ居リマス

○窪井委員 私ハ大臣ガ清算取引ヲ止メラレテ正米取引ニスルコトニ對シテ、思想上其ノ他ニ對シテ非常ニ宜イコトダと思ヒマス、其ノ趣意ヲ貫徹スル意味ニ於テ、又第四條ノ如キ配給統制上思ヒ切ツタ條文ヲ出サレルコトモ私必要ダと思フ、サウ云フヤ

ウナ決心ヲナサツテ所謂米穀ニ對シテハ國家ガ一種ノ力ヲ以テ國民ノ生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトニナサレマスナラバ、本案ニ認メラレテ居リマス所謂延取引デアリマシガ、是ハ今ハ已ムヲ得ナイと思ヒマス、本法案ヲ遽ニ出サレル以上ハ、今マデノ慣習モアリマセウシ、色々ナ點ガアルノデアリマスガ、之ヲ今少シ徹底シテ、本案ガ國家管理ニ進ミ、更ニ專賣ニマデ進ムヤウナ考ヲ持ツテ居ルモノデアルト思フノデアリマスガ、今日大臣ニサウ云フ御意思ガアルカドウカト云フコトヲ御尋シテ見タイ、之ニ付テハ或ハ御答ニナラナイダラウト思ヒマスガ、サウ云フ運命ニナツテ、所謂米穀配給統制法案トカ、或ハ米穀自治管理法トカ、斯様ナモノハ一ツノ專賣ノ形ニナツテ——言葉ハ何デモ宜シイガ、サウ云フ強力ナ國家統制ト申シマスガ、管理ト申シマスガ、サウ云フヤウナ所ニ進ムヤウナ「レール」ヲ引イテ、何時カハ是ハ專賣トカ何トカ云フ汽車ガ走ルヤウニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレダケノ状態ニナツテ居ル場合ニ當リ、此ノ延取引トカ何トカ云フモノハ、之ヲ止メル時期ガ來タラ御止メニナル——是ハ將來ノコトデスガ、サウ云フ御考ガアルカナイカト云フコトヲ、

此ノ際一應農林當局ニ御聽ヲ致シテ置キタイと思フノデアリマス

○周東政府委員 只今ノ所ニ於キマシテハ、之ヲ置イテ置カナケレバ配給上支障ヲ生ズル虞ガアルト考ヘテ居リマスノデ、實行ヲ致シタイと思ヒマスガ、之ヲ實行致シマシタ後ニ於キマシテ、御話ノヤウニ延取引ヲ止メテモ、配給ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ、價格ヲ適正公正ナラシメル上ニ於テ何等差支ナイト云フ見込ノ立チマシタ曉ニ於キマシテハ、是ハ慎重審議ノ上止メテモ差支ナカラウト考ヘマス

○窪井委員 私ハ最後ニ一點ダケ御聽シタイノデスガ、ソレハ二十九條ノ但書ノ問題デアリマス、此ノ法案ハ所謂米穀配給統制法デアリマシテ、米ナノデアリマス、此ノ米一本デ行クコトニ對シテモ、此ノ米ノ取扱ニ對シテモ是ハ非常ナ劃期的ナ立法デアリ、大立法デアアルノデアリマスガ、此ノ立法ニ更ニ米以外ノ有ユル穀物、肥料ヲ加ヘルト云フコトニナリマス、斯ウ云フ米穀株式會社ト云フモノノ内容ニ立入ツテ色々議論サレナケレバナラヌコトガアルノニ、ソレ一ツモ議論サレテ居ナイト云フノニ、ソレニ肥料トカ、麥トカ、大豆トカ、小豆トカヲ加ヘテ行クトナルト、非常ニ煩雜ニ

ナツテ、短時間デハ迎モ論議ヲ盡セナイ、審議未了ニ陥ルト云フコトヲ委員ガ惧レマシテ實ハ質問シナカワタ思フノデアリマス、デアリマスガ、私ハ是ダケノモノヲ本當ニ此ノ本案ノ中ニ入レテオヤリニナルト云フコトニナツテ來ルト、此ノ法案ヲ審議スル上ニ於テ私共考ヘ方ヲ變ヘナケレバナラヌ、ソレハ一應審議シテ見テ、ドウ云フ收支計算ニナルカト云フコトマデ御聽シナケレバナラヌ、デアリマスカラ、私ハ單刀直入ニ大臣ニ御聽スルノデアリマスガ、之ヲ削ラレタ方ガ本案ノ精神ヲ活カス上ニ於テ宜イノデハナイカ、是ハ私ダケデハナク、多數ノ方ガサウ考ヘテ居ラレルコトデアラウト思フノデアリマス、ソコデ之ヲ政府ニ率直ニ御尋スルノデアリマスガ、若シ之ヲ削ツタ場合ニ、此ノ削ツタコトニ依ツテ本案ノ精神ヲ没却スルモノデアルト云フ風ニ御考ニナリマスカドウカ、此ノ點ハ吾々ガ態度ヲ決メル上ニ於テ必要ダと思フノデアリマス、甚ダ露骨デゴザイマスガ、最後ニ是ダケ御聽シテ置キタイと思ヒマス

○櫻内國務大臣 度々此ノ問題ニ付テハ申上ゲマス通り、本案ハ米穀配給統制ノ根幹ヲ成スモノデハナイノデアリマシテ、從來營業シテ居リマシタモノヲ取入レタ、市場ヲ

開設シテ居リマシタ處ガアリマシタノデ、其ノ地方ノ便宜ノ爲ニ之ヲ其ノ儘入レタト云フヤウナ譯デアリマス、事情ハ其ノ通りデアリマス

○高田委員 議事進行ニ付テ……、何モ言ハナイ方ガ宜イト思ツテ居リマシタガ、斯ウ云フコトヲ聽キタクナツタ、今ノ取引所ノ利用價值ノ問題、農林大臣ハ新規會社ノ利用價值ヲ見テヤルト云フ御意見デアル、サウ承ツテ居ル、所ガ商工省ノ政府委員ハ何カソレト反對ノ意味ノコトヲ仰シヤツタ、元ノ利用價值ヲ見ルノデアルト云フヤウナコトヲ仰シヤツタ、ドツチガ本當デアルノカ分ラナイ、急場ノコトデマダ御意見ガ纏ラナカツタカト思ヒマスガ、吾々ハドツチヲ採ツテ宜イカ分ラナイカラ、之ヲ此ノ次マデニドツチデアルカノ御意見ヲ決メテ戴キタイ

ソレカラモウ一ツハ全販聯ノ市場進出ノ問題デアリマス、是ガ又農林省ノ政府委員ノ説明ト商工省ノ政府委員ノ説明ガ違フ、商工省ノ説明ハ何カ全販聯ノ市場進出ニ付テ、其ノ數量ニ或ル制限ヲ加ヘルガ如キコトヲ申サレタト思ヒマス、サウスルト全販聯ガ市場員トナツテ農民ノ米ヲ賣ル場合ニ、其ノ進出ニ制限ヲ加ヘルト言ハレルト、私

モ少シ考ヘナケレバナラスノデアリマス、是モ政府ノ意見トシテ農林省ノ政府委員ノ言フコトト、商工省ノ政府委員ノ言フコトガ反對ノコトヲ言ツテ居ル、是デハ困ルカラ、ハツキリトシタ答辯ヲ此ノ次マデニシテ戴キタイ

○櫻内國務大臣 高田君ノサウ御感ジニナリマシタコトニ付テ私カラ申上ゲマス、商務局長ノ今御話シマシタノハ、此ノ市場ノ利用價值ヲ見ル時ニ、其ノ市場ガ從來利用サレテ居ツタ事柄モ參酌スル、斯ウ云フ事柄ヲ此ノ審議委員會ニ於テ篤ト協議スル、斯様ナ意味デアリマス、ソレカラ販賣組合ガ市場ニ入ツテ米ヲ賣リマス場合ニ於キマシテハ、是ハ豫テ米穀局長ガ度々申シマシタ通り、一時ニ其ノ米ヲ全部賣ルト云フヤウナコトハセズニ、別々ニ販賣スルヤウニシタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、即チ之ニ依ツテ市場ガ混亂ニ陥ル如キ事柄ヲ致サセタクナイ、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○高田委員 更ニ伺ヒマスガ、サウスルト全販聯ノ市場進出ノ問題ハ、全販聯ハ相當多量ノ米ヲ持つテ居ルカラ、ソレヲ一度ニ賣出スト云フヤウナ場合ニハ市場ニ影響ガ及ブカラ、是ハ或ル場合ニ於テハ抑ヘルコ

トガアルカモ知レマセヌガ、併シ全數量ニ付テ之ヲ抑ヘルト云フ意味デハナイノデスネ

○周東政府委員 御話ノ通りデアリマス

○新倉政府委員 私ノ申上ゲヤウガ惡クテ誤解ヲ生ジテハイケマセヌカラ、尙ホ申上ゲマス、私ノ先程申上ゲマシタコトハ、要スルニ新會社ガ市場ヲ開設シマシタ場合ニ、之ニ生産者ノ團體ガ入ツテ來ル、其ノ入ツテ來ルコトニ依リマシテ、即チ生産者ト配給業者ト云フモノノ間ニ非常ニ摩擦相剋ヲ起スト云フコトハ避ケナケレバナラス、隨テサウ云フコトノナイヤウナヤリ方デ行ク、何モ全販聯ノ進出ヲ積極的ニ阻止スルト云フヤウナ意味デ申上ゲタノデハナイノデアツテ、所謂兩者ノ間ニ相剋摩擦ノナイヤウナヤリ方デヤツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ思ツテ居リマス

○杉山委員 議事進行ニ付テ……明日討論ヲ致シマス前ニ極ク簡單ナ質疑デアツタヲ御許シ願ヘマセウカ、若シ御許シ願ヘマスナラバ、今日ハ止メテ置キタイト思フノデアリマスガ……

○添田委員長 極ク簡單ナラ許シマス、併シ極ク簡單ダト云ウテ數時間ヲ要スルコトハ困リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○長野委員 本委員會ハ十日間ニ互リマシテ熱心ニ委員ト政府ノ間ニ論議ガ交サレタノデアリマスガ、大體ニ於テ質疑ハ是デ盡キタト思ヒマスカラ、一應委員會ノ質問ハ是デ打切り動議ヲ提出致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○添田委員長 ソレデハ質問ノ打切り討論ガ決定サレタト思ヒマスガ、先刻杉山君ノ御尋モアリマシタ、極メテ簡單ナコトナラバ、討論ニ入ル前ニ御許致シマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午後三時ニ開會ヲ致シテ討論ヲ致シタイと思ヒマス

午後八時三十一分散會

昭和十四年三月十八日印刷

昭和十四年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局